WILLCOM

WX330J シリーズ
（防水タイプ／非防水タイプ）
取扱説明書

はじめに／目次

1 ご使用になる前に

2 基本機能

3 メール

4 インターネット

5 パソコンとの連携

6 セキュリティ（安全）

7 便利な使いかた

8 モードの活用

9 困ったときは

付録／索引など

JRC 日本無線株式會社

はじめに

このたびは、「WX330Jシリーズ」を
お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご利用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本電話機を正しくお使いください。

ご使用にあたって

●本電話機のご利用には、ウィルコムと契約する必要があります。契約申し込みをされるときには、契約事務手数料がかかります。また､契約申し込み後は､毎月の基本料金と通話料がかかります。詳しくは､巻末の「お問い合わせ窓口」に記載されているウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。
●できるだけ電波の強い所でご使用ください。本電話機は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが４本あるいは５本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
●公共の場所、人の多い場所や静かな場所では、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
●繁華街など人通りの多い所では、通行の妨げにならない場所でご使用ください。
●オートバイや車などが近くを通ると、雑音が入ることがあります。
●一般の電話機、テレビ、ラジオなどをお使いになっている近くでご使用になると、雑音などの影響を与えることがあります。
●電気製品やOA機器などの近くでご使用になると、雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。
●電子レンジをご使用のときは電磁波の影響を受けやすく、雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。
●本電話機は電波を使用している関係上、第三者に傍受される場合がまったくないとはいえませんが、デジタル信号を使用した秘話機能をサポートしております。
●お客様自身で本電話機に登録された内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。万一、登録された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用いただくことをご承諾するものとします。
ご利用にあたり株式会社ウィルコム、日本無線株式会社および別に掲載した認証会社は、万一何らかの損害が発生したとしても責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
認証会社：VeriSign, Inc. RSA Data Security, Inc. Entrust.net

ご不要となりました電話機本体、電池パック、卓上ホルダおよびＡＣアダプタは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店へお持ちください。

本書の見かた

本書では、２タイプのPHS電話機　防水タイプ<WX330J>と非防水タイプ<WX330J E>の取扱いを説明いたします。

２タイプの電話機の主な違いは以下のポイントです。

防水タイプ<WX330J>と非防水タイプ<WX330J E>の主な違い

- ・電話機本体の防水仕様　　（防水タイプと非防水タイプ）
- ・電話機本体の部品素材
- ・電話機本体のボタン形状　（キーの配置は同じです）
- ・卓上ホルダの形状

この２タイプの電話機は、仕様が異なるため、ご使用いただく上でご注意いただく点が異なります。本書では、お客様が安全にお使いいただくため、ご使用の前によくお読みいただきたいことを「安全上のご注意」と「取扱い上のお願い」に記載しております。必ずお読みいただくようお願いいたします。

<table>
<tr><th></th><th>防水タイプ<WX330J></th><th>非防水タイプ<WX330J E></th></tr>
<tr><td>「安全上のご注意」</td><td colspan="2">☞ 0-12～20ページ</td></tr>
<tr><td>「取扱い上のお願い」</td><td>☞ 0-21～23ページ</td><td>☞ 0-30、31ページ</td></tr>
<tr><td>「防水性能について」</td><td>☞ 0-24～29ページ</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>「セットを確認する」</td><td>☞ 0-4ページ</td><td>☞ 0-5ページ</td></tr>
<tr><td>「充電する」</td><td>☞ 1-2、4、6、8、9、10ページ</td><td>☞ 1-3、5、7、8、9、10ページ</td></tr>
<tr><td>「各部の名前」</td><td colspan="2">☞ 1-12、1-13ページ</td></tr>
</table>

＊上記以外のページは共通で説明しているページです。

本書では、以下のように操作方法について説明しています。

この２タイプの電話機は、キー操作や表示内容が同じですので機能の操作方法を共通で説明いたします。

留守録音を設定する

「留守録音」を使うと、電話に出られない場合など相手にメッセージを流したり、伝言を録音したりすることができます。
電話がかかってくると、「ただいま電話に出られません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください」という応答メッセージが流れ、相手のメッセージを録音できます。
相手のメッセージは、１件につき約3秒～60秒間録音できます。
相手のメッセージは、データ保存容量の範囲内で何件でも保存できます。

留守録音を設定／解除する

1　待ち受け画面で◉ 5 5

2　4 ► 1 または 2

- **1（ON）を押すと**
  応答メッセージを流し、相手のメッセージをデータフォルダに保存します。
- **2（OFF）を押すと**
  留守録音設定を解除します。

3　0 ～ 9 で応答時間を入力◉

留守録音が設定され、「設定しました」と表示されます。本機能を設定すると、待ち受け画面に「　」が表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「留守録音設定」は「OFF」に設定されています。
- お買い上げ時には、「応答時間設定」は「10秒」に設定されています。
- 待ち受け画面で　を約１秒以上押すことでも、留守録音を設定／解除できます。
- 応答メッセージを流しているときや留守録音中は、相手からの音声をレシーバで聞くことができます。
- 応答メッセージの再生中に　または◉（通話）を押すと、通話状態となり相手と話すことができます。
- 「留守録音設定」を設定していなくても、着信中に◉（留守録）を押すと、留守録音に切り替わります。
- 通話中に相手の声を録音することもできます。「通話を録音する（通話録音）」（☞2-8ページ）
- 相手がメッセージを録音している途中で、最大録音可能時間が過ぎると「ピー」という音が鳴り、録音を終了します。
- 保存先の空き容量が足りなくなると、保存できなくなります。不要なデータは削除してください。「録音されたメッセージを削除する」（☞2-49ページ）、「データを削除する」（☞7-49ページ）
- 「留守録音設定」は、国際ローミングでも同様に動作します。

録音されたメッセージを再生／削除する

相手のメッセージが録音されると、待ち受け画面に録音メッセージの件数と「留守録音」が表示されます。この表示は、　を押すか、録音メッセージが再生されるまで表示されます。

留守録音から再生する

1　待ち受け画面で◉ 5 5 5

：再生されていない録音メッセージ
：再生済みの録音メッセージ

- **待ち受け画面に「留守録音　○○件」と表示されているときは**
  まだ再生していない留守録音メッセージがあります。この場合は、◉を押すと最新の留守録音メッセージが再生されます。

2　で再生したい録音メッセージを選択◉ ► ◉

選択された録音メッセージを再生します。再生が完了すると、再生完了音が鳴ります。◉または　を押すまで、同じメッセージの再生を繰り返します。

- **スピーカから音を聞くには**
  再生中に　（スピーカ）を押します。レシーバに切り替えるには　（レシーバ）を押します。
- **再生を終了するには**
  再生中に　を押します。
  ◉を押すと一時停止します。
- **再生中の録音メッセージを削除するには**
  再生中に　（削除）を押すと、「削除しますか？」と表示されます。この場合、「Yes」を選択して◉を押すと、「削除しました」と表示されます。フォルダ内に録音メッセージがある場合は、次の録音メッセージを再生します。録音メッセージが１件もない場合には、元の画面に戻ります。

2-48

ボタン（◉ ◎ 保留 　留守録 0 ～ 9 など）
本書では、防水タイプ<WX330J>ボタンで記載しています。

知りたい情報を検索するには

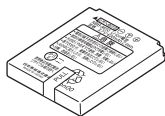
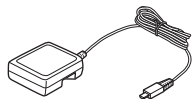
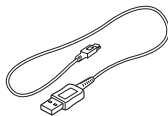
目次や索引を活用して、お知りになりたい情報を素早く検索していただけます。
本書の索引では、機能名をキーにした検索だけでなく、「入力する」、「削除する」のように、操作をキーにして情報を検索できるようになっています。

防水タイプ WX330J　セットを確認する

次のものが揃っているかどうかをご確認ください。万が一、不足のもの、破損品、取扱説明書の乱丁・落丁がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●本体　WX330J（1 台）

●電池カバー（1 個）

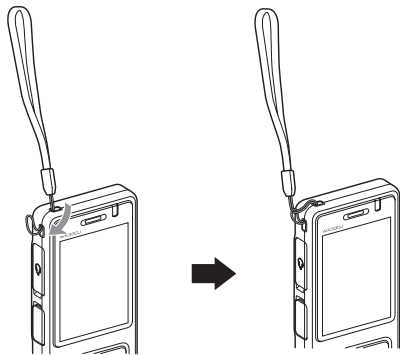
●リチウムイオン電池パック NBB-9650（1 個）

●ACアダプタ NBA-9650（1 個）

●USBケーブル（A to micro USB）（1 本）

●卓上ホルダ NQE-9650（1 台）

●取扱説明書（1 部）（本書）

●保証書（1 部）

●CD-ROM（1 枚）

ハンドストラップを取り付けるには

お手持ちのハンドストラップを取り付ける場合は、本体から外れないことを確認してから使用してください（図は取り付け例です）。

お知らせ

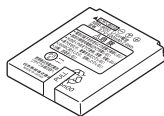
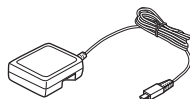
- ハンドストラップは同梱しておりません。

非防水タイプ WX330J E　セットを確認する

次のものが揃っているかどうかをご確認ください。万が一、不足のもの、破損品、クイックマニュアルの乱丁・落丁がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●本体　WX330J E（1台）

●電池カバー（1個）

●リチウムイオン電池パック NBB-9650（1個）

●ACアダプタ NBA-9650（1個）

●クイックマニュアル（1部）

●保証書（1部）

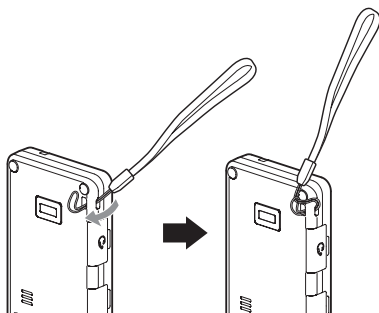
●CD-ROM（1枚）
（取扱説明書はPDFファイルとしてご覧いただけます。）

●卓上ホルダ NQE-9660（1台）

お知らせ

- USBケーブルは同梱しておりません。

ハンドストラップを取り付けるには

お手持ちのハンドストラップを取り付ける場合は、本体から外れないことを確認してから使用してください（図は取り付け例です）。

お知らせ

- ハンドストラップは同梱しておりません。

こんなことができます

本電話機の代表的機能や便利な機能の一部をご紹介します。仕事や生活のさまざまな場面で本電話機をご活用ください。

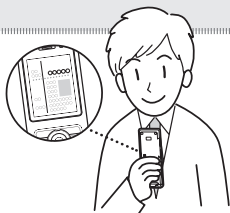
使う前の準備

お使いになる前に、充電や日時の設定などの準備が必要です。
☞1章 ご使用になる前に

電話で話そう

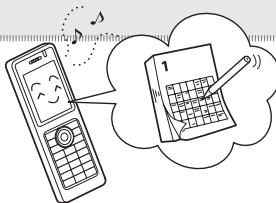
電話帳や留守録音など便利な機能がたくさんあります。
☞2章 基本機能

メールを使おう

パソコンや他社の携帯電話にもメールが送れます。
☞3章 メール

ホームページを見よう

パソコン用のホームページも見ることができます。
☞4章 インターネット

パソコンとつなごう

パソコンをインターネットに接続したり、パソコンとデータのやり取りができます。
☞5章 パソコンとの連携

予定を登録しておけば、音とメッセージで予定が近づいたことを知らせてくれます。
☞スケジュール機能を利用する（7-18ページ）

スケジュールを管理しよう

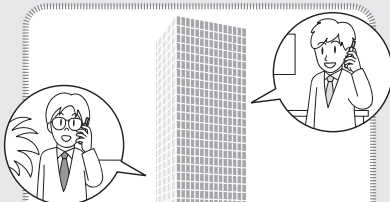
番号非通知の電話の拒否や暗証番号によるロックなど、安全のための機能も充実しています。
☞6章 セキュリティ（安全）

安全に使えます

ボタンを押すだけですぐに録音が開始できます。
☞ICレコーダを利用する（7-27ページ）

ICレコーダで手軽に録音

メールやパソコンから受け取った画像など各種データを表示することができます。
☞データフォルダを活用する（7-38ページ）

パソコン文書を見よう

事業所コードレスシステムの子機として利用できます
☞オフィスモードで使う（8-3ページ）

オフィスシステムに対応

目　次

はじめに…… 0-1
本書の見かた…… 0-2
セットを確認する…… 0-4
ハンドストラップを取り付けるには…… 0-4
こんなことができます…… 0-6
目　次…… 0-8
安全上のご注意―必ずお守りください…… 0-12
<防水タイプ WX330J >
取扱い上のお願い…… 0-21
防水性能について…… 0-24
防水性能について…… 0-24
ご使用の前には…… 0-24
本電話機の防水上の注意事項…… 0-26
濡れたときには…… 0-27
利用シーン別の注意事項…… 0-27
充電する際の注意事項…… 0-29
ゴムパッキンについての注意事項…… 0-29
<非防水タイプ WX330J E>
取扱い上のお願い…… 0-30

1 ご使用になる前に

充電する…… 1-2
電池パックを取り付ける…… 1-2
卓上ホルダで充電する…… 1-6
ACアダプタで充電する…… 1-8
電源を入れる／切る…… 1-11
電源を入れる…… 1-11
電源を切る…… 1-11
電源OFF確認メッセージの表示を設定する… 1-11
各部の名前…… 1-12
内蔵アンテナについて…… 1-13
画面の見かた…… 1-14
ガイダンス表示について…… 1-17
ボタンの使いかた…… 1-18
項目の選択と決定のしかた…… 1-18
メインメニューについて…… 1-19
共通のボタン操作…… 1-19
日時を設定する…… 1-21

2 基本機能

電話をかける（発信）…… 2-2
利用できるサービス…… 2-2
利用できないサービス…… 2-2
電話をかける…… 2-2
より強い電波を探す（パワーサーチ）…… 2-3
通話ごとに発信者番号の通知／非通知を設定する…… 2-3
記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）…… 2-3
ポーズを利用する…… 2-5
電話を受ける（着信）…… 2-6
相手の発信者番号が通知されないとき…… 2-6
電話に出ないとき…… 2-6
通話中に電話がかかってきたとき（通信中着信）…… 2-6
通話中の操作…… 2-8
受話音量を調節する…… 2-8
通話を保留にする…… 2-8
通話を録音する（通話録音）…… 2-8
小声で話す（ひそひそ通話）…… 2-10
手に持たずに通話する（ハンズフリー通話／スピーカ受話）…… 2-10
通話中に電話帳を検索する…… 2-10
通話中にスケジュールを確認する…… 2-10
通話中に電話番号をメモする（番号メモ）… 2-11
通話中にメモ帳に入力する…… 2-11
通話中に自分の電話番号を確認する…… 2-11
通話中に電話番号を送出する…… 2-11
文字を入力する…… 2-13
文字入力画面について…… 2-13
入力モードについて…… 2-13
入力する文字の種類を切り替える…… 2-14
ひらがなや漢字を入力する（漢字モード）… 2-15
カタカナを入力する（カタカナモード）…… 2-18
英字を入力する（英字モード）…… 2-19
数字を入力する（数字モード）…… 2-20
改行を挿入する…… 2-20
記号や絵文字を入力する…… 2-21
定型文を引用する…… 2-21
文字サイズを変更する…… 2-22
文章を編集する…… 2-23
ポケベル方式で入力する…… 2-24
電話帳を利用する…… 2-26
電話帳に登録する…… 2-28
電話帳を使って電話をかける…… 2-31
短縮番号で電話をかける…… 2-33
電話帳の内容を編集する…… 2-33
電話帳の内容を削除する…… 2-33
電話帳のグループ設定を変更する…… 2-34
電話帳ロック中の着信表示を設定する…… 2-35
シークレットデータを一時的に表示する（シークレット一時表示）…… 2-35
電話帳の登録件数を確認する（登録件数表示）…… 2-35
赤外線通信を行う…… 2-36
音を調整する…… 2-39
受話音量を設定する（受話音量／スピーカ音量）…… 2-39
ひそひそ通話を設定する（ひそひそ通話）… 2-39
着信音を設定する…… 2-39
マナーモードを設定する…… 2-43
特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）…… 2-44

安全運転モードを設定する・・・・・・・・・・・・・ 2-44
キー確認音を設定する（効果音）・・・・・・・・・ 2-45
成功／エラー音を設定する（効果音）・・・・・ 2-45
圏外／充電警告音を設定する（効果音）・・・ 2-46
送達確認音を設定する（効果音）・・・・・・・・・ 2-46
保留音を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-46
相手が出たことを振動で通知する
（発信先応答通知）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-47
留守録音を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2-48
留守録音を設定／解除する・・・・・・・・・・・・・ 2-48
録音されたメッセージを再生／削除する・・ 2-48
マイメニューを利用する・・・・・・・・・・・・・・・・2-50
マイメニューに登録する・・・・・・・・・・・・・・・ 2-50
マイメニューから操作する・・・・・・・・・・・・・ 2-50
マイメニューから削除する・・・・・・・・・・・・・ 2-50

3 メール

メールについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-2
Eメールについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3-2
ライトメールについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3-3
メールBOXについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3-4
メールメニューを表示する・・・・・・・・・・・・・・・・3-4
Eメールアドレスを作成する ・・・・・・・・・・・・・・ 3-5
Eメールアドレス設定の流れ ・・・・・・・・・・・・・・3-5
オンラインサインアップを行う・・・・・・・・・・・・3-6
Eメールを作成送信する ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-7
Eメールを新規に作成して送信する ・・・・・・・・3-7
Eメールを保存し、まとめて送信する ・・・・・・3-9
受信したメールを読む・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3-11
Eメールを受信する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-11
受信メールを表示する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-12
受信BOXのフォルダを活用する・・・・・・・・・ 3-14
送信メールを読む・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3-16
送信メールを表示する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-16
送信メールを編集して送信する・・・・・・・・・・ 3-16
メールを管理する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3-17
メール本文の電話番号、メールアドレス、
URLを利用する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-17
メール本文の文字をコピーする・・・・・・・・・・ 3-18
メールを削除する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-18
メールを保護する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-19
メールを並べ替える（ソート）・・・・・・・・・・・ 3-20
メールを抽出する（フィルタ）・・・・・・・・・・・ 3-21
メールのヘッダ情報を表示する・・・・・・・・・・ 3-21
文字サイズを切り替える・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-21
メールBOXの使用状況を見る・・・・・・・・・・・ 3-22
Eメールの環境を設定する ・・・・・・・・・・・・・・・3-23
本文の引用について設定する・・・・・・・・・・・・ 3-23
フォルダ表示を切り替える・・・・・・・・・・・・・・ 3-23
Eメール自動受信機能を設定する ・・・・・・・・ 3-23
送信するメールに表示する名前を設定する 3-24
署名を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-24
返信メールアドレスを設定する・・・・・・・・・・ 3-24
Eメールをサーバに保存する ・・・・・・・・・・・・ 3-25
Eメールの受信行数を設定する ・・・・・・・・・・ 3-25
プロバイダのメールアカウントを利用する 3-26
メールアカウントを設定する・・・・・・・・・・・・ 3-26
ライトメールを使用する・・・・・・・・・・・・・・・・・3-28
ライトメールを作成して送信する・・・・・・・・ 3-28
受信したライトメールを読む・・・・・・・・・・・・ 3-30

4 インターネット

Webの基本操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-2
Webの利用を開始する／終了する・・・・・・・・・4-2
公式サイトを表示する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-2
前のページに戻る／次のページに進む・・・・・・4-2
Webページ上の電話番号に電話をかける・・・4-3
Webページの電話番号にライトメールを
送信する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-3
WebページのEメールアドレスにメールを
送信する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-3
端末情報を通知する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-4
フレームを選択する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-4
ホームページを利用する・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-5
ホームページを設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・4-5
ホームページを表示する・・・・・・・・・・・・・・・・・4-5
アドレスを使ってWebページに接続する ・・ 4-6
アドレスを入力してWebページに接続する・4-6
最後に表示していたWebページに接続する・4-6
アドレスの入力履歴からWebページに
接続する（入力履歴）・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-6
Webページの表示履歴を利用する・・・・・・・・・ 4-7
履歴からWebページに接続する（履歴）・・・・4-7
履歴のアドレスを確認する・・・・・・・・・・・・・・・4-7
Webページの表示履歴を削除する・・・・・・・・・4-7
タブを利用して複数のWebページを開く ・・ 4-8
リンクを新しいタブで開く・・・・・・・・・・・・・・・4-8
表示するタブを切り替える・・・・・・・・・・・・・・・4-8
表示中のタブを閉じる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-8
表示していないタブを閉じる・・・・・・・・・・・・・4-8
ブックマークを利用する・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-9
ブックマークを登録する・・・・・・・・・・・・・・・・・4-9
ブックマークに登録したWebページに
接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-9
ブックマークフォルダ名を変更する・・・・・・・・4-9
ブックマークのタイトルやアドレスを
編集する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-10
ブックマークを移動する・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-10
マイメニューにブックマークを登録する・・ 4-10
ブックマークを削除する・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-10
Webページを検索する・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-12
インターネット上のWebページを検索する
（インターネット検索）・・・・・・・・・・・・・・・ 4-12
Webページ内の文字列を検索する
（文字列検索）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-12
ページメモを利用する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-13
ページメモを保存する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-13
ページメモを表示する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-13
ページメモのタイトルを編集する・・・・・・・・ 4-13
ページメモのアドレスを確認する・・・・・・・・ 4-13
ページメモを保護／保護解除する・・・・・・・・ 4-13
ページメモを削除する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-14
Webページに関する機能を活用する・・・・・・4-15

Webページを再読み込みする（再読込み）4-15
Webページを翻訳する（翻訳）･･････････ 4-15
Webページの画像を保存する ･･････････ 4-15
Webページ内の文字列をコピーする ････ 4-15
Webページの電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する ････････････････････ 4-16
BGMの音量を調整する（音量調節）･･･････ 4-16
BGMのサウンドデータを保存する（BGサウンドリスト）･･･････････････ 4-16
Webページの先頭／末尾にジャンプする･ 4-17
文字サイズを変更する（文字サイズ）･････ 4-17
文字コードを変更する（エンコード）･････ 4-17
Webページの情報（プロパティ）を表示する ･･････････････････････････ 4-17
ファイルをダウンロードする･･･････････ 4-18
ファイルをアップロードする･･･････････ 4-19

ブラウザの各種機能を設定する･･･････････4-20
JavaScriptの有効／無効を設定する（JavaScript）･･･････････････････････ 4-20
アニメーションの表示／非表示を設定する（アニメーション）･･････････････････ 4-20
画像の表示方法を設定する（画像）････････ 4-20
テーブル機能の有効／無効を設定する（テーブル）･･････････････････････････ 4-20
自動判別する言語を設定する（自動判別言語）･････････････････････ 4-21
BGMの再生を設定する（BGM）･････････ 4-21
画面の表示幅を設定する（表示モード）･･･ 4-21
画面のスクロール量を設定する（スクロール）･･････････････････････ 4-22
画面の表示倍率を変更する（ズーム）･････ 4-22
キャッシュに関する設定を行う（キャッシュ）･･････････････････････ 4-22
Cookieに関する設定を行う（Cookie）･･･ 4-23
最大リフレッシュ回数を設定する（最大リフレッシュ回数）･････････････ 4-23
最大リダイレクト回数を設定する（最大リダイレクト回数）･････････････ 4-24
ポップアップブロックを設定する（ポップアップブロック）･････････････ 4-24
認証データの有効／無効を設定する（認証データ）･･････････････････････ 4-24
ユーザエージェントを選択する（ユーザエージェント）････････････････ 4-24
証明書の有効／無効を設定する（証明書）･ 4-25
ブラウザに関する各種設定を確認する（設定確認）･･････････････････････････ 4-25

接続先を変更する（インターネット設定）･･4-26
ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ）･･･････････････････ 4-26
接続モードを設定する（接続モード）･････ 4-29
接続モードを選択する･････････････････ 4-30
接続モードを初期化する･･･････････････ 4-30

5 パソコンとの連携

パソコンと接続する････････････････････ 5-2
パソコンと接続する･････････････････････5-2

データ通信を行う･･････････････････････ 5-3
データ通信について･････････････････････5-3
データ通信用ソフトをインストールする････5-4
通信方式を設定する･･･････････････････ 5-14
データ通信で発信する･････････････････ 5-15
ATコマンドで音声発信する･････････････ 5-17
パソコン接続中に着信する･････････････ 5-17
データ通信中の着信を設定する･････････ 5-17

6 セキュリティ（安全）

発信者番号通知を設定する（番号通知）･････ 6-2
番号非通知の電話を受けない（非通知ガード）6-3
特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）6-4
着信拒否番号を登録する･････････････････6-4
着信拒否番号を削除する･････････････････6-4
暗証番号による認証を行う（暗証番号変更） 6-6
暗証番号を設定する･････････････････････6-6
暗証番号で認証を行う･･･････････････････6-6
ボタン操作をロックする（キーロック）･････ 6-7
キーロックを設定する･･･････････････････6-7
キーロックを解除する･･･････････････････6-7
ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）･･･ 6-8
キーロック時にダイヤルロックする（キーロック起動）･･･････････････････6-8
無操作が続いたときにダイヤルロックする（タイマ起動）･･････････････････････6-8
紛失／盗難時に電話機をロックする（リモートロック）･･･････････････････6-10
リモートロック機能の概要･････････････ 6-10
リモートロック機能の設定をする･･･････ 6-10
リモートロックを実行する･････････････ 6-12
ユーザの情報をロックする（機能ロック）･･6-14
ロックする項目を設定する･････････････ 6-14
機能ロック一覧･･･････････････････････ 6-15
管理者による制限を行う（管理者ロック）･･6-16
管理者ロック機能の概要･･･････････････ 6-16
管理者パスワードを設定する･･･････････ 6-16
管理者パスワードで認証を行う･････････ 6-16
管理者ロック機能の設定をする･････････ 6-17
設定をリセットする（リセット）･･････････6-23

7 便利な使いかた

メニュー一覧表････････････････････････ 7-2
いろいろな機能を設定する･･････････････ 7-5
プロフィールを表示する･････････････････7-5
USBで充電する ････････････････････････7-6
日時表示を設定する･････････････････････7-7
日時の自動補正を設定する･･･････････････7-8
画面の配色を設定する･･･････････････････7-8
カレンダーを設定する･･･････････････････7-8
バックライトを設定する･････････････････7-9
着信ランプを設定する･････････････････ 7-10
省電力モードを設定する･･･････････････ 7-11
サブアドレスを設定する･･･････････････ 7-12
エニーキーアンサーを設定する･････････ 7-12
英語表示にする･･･････････････････････ 7-12

メインメニュー画面を変更する………… 7-13
メインメニュー画面を切り替える……… 7-13
シンプルメニュー画面に切り替える…… 7-14
カスタムボタンを設定する……………… 7-15
カスタムメニューと短押し／
長押しでの呼び出しについて ……… 7-15
カスタムメニューに登録する………… 7-16
カスタムメニューに短押し／
長押しを設定する ………………… 7-17
ガイダンスを編集する……………… 7-17
スケジュール機能を利用する………… 7-18
カレンダーを表示する……………… 7-18
スケジュールを登録する…………… 7-19
スケジュールの内容を表示する……… 7-21
スケジュールの内容を変更する……… 7-22
スケジュールを削除する…………… 7-22
目覚ましを利用する…………………… 7-24
電卓を利用する………………………… 7-26
IC レコーダを利用する ……………… 7-27
音声を録音する……………………… 7-27
音声を再生する……………………… 7-27
音声データを編集する……………… 7-28
音声データを削除する……………… 7-28
メモ帳を利用する……………………… 7-30
メモを入力する……………………… 7-30
メモを表示する……………………… 7-30
メモを編集する……………………… 7-30
メモを削除する……………………… 7-31
位置情報を利用する…………………… 7-32
位置情報通知機能の概要…………… 7-32
発信型機能を利用する……………… 7-34
着信型機能を利用する……………… 7-34
イヤホンマイクを利用する…………… 7-36
イヤホンマイク端子の使いかた……… 7-36
イヤホン装着時の鳴動先を設定する…… 7-36
イヤホン自動応答を設定する………… 7-36
イヤホン装着時に電話を受ける……… 7-37
データフォルダを活用する…………… 7-38
データフォルダについて…………… 7-38
データフォルダを表示する………… 7-39
画像データを活用する……………… 7-39
画像データを赤外線通信で送信する…… 7-41
サウンドデータを活用する………… 7-41
録音データを活用する……………… 7-42
テキストデータを開く……………… 7-43
圧縮データを開く…………………… 7-44
HTML データを開く ………………… 7-44
Java アプリケーションを活用する……… 7-44
データを管理する…………………… 7-47
フォルダを管理する………………… 7-51
国際ローミングを利用する
（国際ローミング）………………… 7-53
ローミングモードに切り替える……… 7-53
台湾のローミング電話番号を登録する…. 7-53
タイ／ベトナム／中国のローミング情報を
登録する …………………………… 7-54
国際プリフィックス番号を簡単に付ける‥ 7-54
国際電話をかける（ウィルコム国際電話
サービス）…………………………… 7-56
ウィルコムのサービスを利用する……… 7-57
料金分計サービスを利用する（有料）…. 7-57
留守番電話サービスを利用する（有料）‥ 7-57
着信転送サービスを利用する………… 7-58
高速化サービスを利用する
（高速化サービス追加設定）（有料）…. 7-59
ビジネス安心サービスを利用する（有料）· 7-60
ソフトウェアを更新する……………… 7-62

8 モードの活用

利用するモードを選ぶ………………… 8-2
待受モードについて………………… 8-2
待受モードを切り替える（待受モード設定）· 8-2
オフィスモードで使う………………… 8-3
電話をかける………………………… 8-3
電話を受ける………………………… 8-4
電話を転送する……………………… 8-4
外線発信番号を登録する（外線発信番号）… 8-4
自動的に外線発信番号を付ける
（自動外線発信番号付加）…………… 8-4
優先発信するモードを切り替える
（優先発信切替）…………………… 8-5
発信するモードを一時的に切り替える…… 8-5
電話帳で発信方法の指定をする……… 8-5
オフィス番号を切り替える
（オフィス番号切替）……………… 8-6
オフィス E メールを送受信する ……… 8-6
オフィスモードでのその他の機能……… 8-6
グループモードで使う………………… 8-7
グループを登録する………………… 8-7
グループリストを登録する…………… 8-8
グループ名を編集する……………… 8-8
グループ登録を削除する…………… 8-9
相手を呼び出す〔トランシーバ通話〕…… 8-9
相手の呼び出しに応じる
〔トランシーバ通話〕……………… 8-9
グループ内で電話帳やブックマークを転送する
（電話帳/ブックマーク転送）…………8-10

9 困ったときは

故障かな？ちょっと確認してください…… 9-2
エラーメッセージ一覧………………… 9-5

付　録

記号・絵文字一覧…………………… A-2
定格・仕様…………………………… A-3
防水タイプ　WX330J ……………… A-3
非防水タイプ　WX330J E …………… A-3
商標・登録商標……………………… A-4
索　引………………………………… A-5
お問い合わせ窓口……………………A-10
本電話機に関するご相談…………… A-11

安全上のご注意—必ずお守りください

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、お読みになった後はこの取扱説明書を大切に保管してください。
●ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危険や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。		
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	接触禁止	触れてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。	電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

注意	注意を示します。

［免責事項について］
●地震、雷、風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害について、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通話・録音・通信などの機会を逃したために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●当社指定外の接続機器（パソコンなど）、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●本商品の故障、修理、その他取扱いによって、ダウンロードしたデータなどが変化または消失することがありますが、これらデータの修復により生じた損害、逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●お客様自身で登録された情報内容は、故障や障害の原因にかかわらず保障いたしかねます。情報内容・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

〈共通〉電話機本体、電池パック、卓上ホルダ　およびＡＣアダプタの取扱いについて

⚠ 危　険

指示

本電話機に使用する電池パック、卓上ホルダおよびＡＣアダプタは、下記指定のものをご使用ください。

・リチウムイオン電池パック　NBB-9650
・ACアダプタ　NBA-9650
・<WX330J　専用>　卓上ホルダ　NQE-9650
・<WX330J E専用>　卓上ホルダ　NQE-9660

上記指定以外のものを使用した場合は、電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。

禁止

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、火災・爆発の原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理器に、電池パック、本電話機、卓上ホルダおよびＡＣアダプタを入れないでください。特に水没したときなど、濡れたときに電子レンジで加熱するようなことは絶対にやめてください。

電池パックの液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火や、本電話機、卓上ホルダおよびＡＣアダプタの発熱、発煙、発火や故障の原因となります。

禁止

直射日光の強い場所や、炎天下の車内、火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所での使用、放置はしないでください。

電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火、機器の変形、故障の原因となります。

⚠ 警　告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となる恐れがあります。また、電池パックに組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電され、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因になります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

次ページにつづく

⚠注　意

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温となる場所には保管しないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがなどの原因となります。

本電話機は周囲の環境による電波障害や受信状態によって通話ができなくなる場合があります。

〈共通〉電話機本体の取扱いについて

⚠警　告

ハンズフリー通話やスピーカ受話の際は、必ず本電話機を耳から離して使用してください。

難聴になる可能性があります。

本電話機より煙が出たり、異臭がするときは、直ちに電源を切ってください。

そのままご使用になると、火災の原因になります。ウィルコムサービスセンターにご連絡ください。

ストラップなどを持って本電話機を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機内など、使用を禁止された区域では、本電話機の電源を切ってください。

電子機器に影響をおよぼす場合があります。

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、本電話機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

＊ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、心臓ペースメーカ、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。心臓ペースメーカ、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

屋外で使用中に雷が発生した場合は、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

振動や着信音が身体に影響を与える原因となります。

医用電気機器（心臓ペースメーカ等）などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

本電話機を医用電気機器などの近くで使用すると、電波の影響で医用電気機器などの誤動作や故障の原因となる恐れがあります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員電車の中など混雑した場所や近くに心臓ペースメーカを装着している方がいる場合は、本電話機の電源を切るようにしてください。

電波が心臓ペースメーカの作動に影響を与える場合があります。

自動車や自転車等を運転中に使用しないでください。

安全走行を損ない、事故の原因となります。乗り物を運転しながらPHS電話機等を使用することは、危険なため法律で禁止されており罰則の対象となります。自動車や自転車を安全なところに停車させてからご使用ください。

本電話機のすき間などに金属や異物を差し込まないでください。

感電や故障の原因となります。

分解、改造をしないでください。

火災、けがなどの事故または故障の原因となります。

病院内でのご利用にあたっては、必ず各医療機関の指示に従ってください。

医用電気機器に影響をおよぼす場合があります。

人の多い場所では、使用しないでください。

本電話機が人に当たり、けがの原因となります。

⚠ 注　意

ズボンやスカートの後ろポケットに本電話機を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

破損や故障の原因となります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

安全走行を損なう原因となります。

本電話機を胸ポケットに入れたまま、かがまないでください。

本電話機が落下して、故障あるいは人に当たりけがの原因となることがあります。

次ページにつづく

磁気カードなどを本電話機に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

本電話機に乗らないでください。特に小さいお子さまのいるご家庭では、ご注意ください。

転んだり、壊したりしてけがの原因となることがあります。

建築構造やアンテナの取付位置により、通話ができない場合や通話範囲が狭くなったり、雑音が入ったり通話が途切れる場合があります。また、設置後において電波状態の変化により使用できなくなることがあります。

本電話機はオフィスシステムの主通信網と併用して使用されるように設計されています。電波障害や電池消耗の影響を受けますので、必ず補助的なものとしてご使用ください。

本電話機だけでは重要な連絡が取れなくなる場合があります。

外部からの電気雑音の影響を受けて、通話中に雑音が入ったり、通話ができなくなることがあります。このようなときはしばらく待つか、本電話機を雑音源から遠ざけてください。

雑音源としては、テレビ・ラジオ・パソコン・ファクシミリ・ワープロ・複写機などのAV・OA機器および自動車、オートバイなどがあります。

〈共通〉電池パックの取扱いについて

この電池パックは有機溶媒等の可燃物を使用しています。取扱いを誤りますと破裂、発火、発煙のおそれ、性能低下、故障の原因となりますので、次の禁止事項を必ずお守りください。

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表　示	電池の種類
Li-ionOO	リチウムイオン電池

⚠ 危　険

電池パックは火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所や炎天下などでの使用、放置はしないでください。

高温になると危険を防止するための保護装置が働いて充電できなくなったり、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電されたりして、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。また、熱により樹脂セパレータが損傷した場合には、電池パックがショート状態となり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

電池パックには、プラス・マイナスの向きが決められています。電池パックを本電話機にうまく接続できない場合は無理に接続しないでください。また電池パックのプラス・マイナスの向きを確かめてから接続してください。

電池パックのプラス・マイナスを逆に接続すると、電池パックが逆に充電されて内部で異常な化学反応が起こったり、放電時に思わぬ異常な電流が流れたりして、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

絶対に火の中に投げ入れたり、加熱しないでください。

絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したり、電解液に引火したりして発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックが破裂したり、変形したりして、内部でショート状態になり発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

電池パックの充電には、専用の卓上ホルダおよびACアダプタまたはパソコンとUSBケーブルを使用してください。

その他の改造した充電器などで充電しますと、電池パックが過度に充電されたり、異常な電流で充電されたりして、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

電池パックの内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください。

皮膚に障害を起す原因となります。

電池パックの内部の液が漏れだした場合は、絶対に素手で触れないでください。

素手でさわると、やけどをする場合があります。万一、目に入った場合は、失明の恐れがありますので、こすらずにきれいな水で洗い落として、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える結果となります。

水や海水、ペットの尿などで電池パックを濡らさないでください。

電池パックの発熱、発煙、破裂、発火や感電、故障の原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

電池パックの（+）と（−）の端子を針金などの金属類などで接続しないでください。また、金属製ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックがショート状態となり、過大な電流が流れ発熱、発煙、破裂、発火したり、あるいは針金やネックレス、ヘアピンなどの金属が発熱したりする原因となります。

分解、改造をしないでください。また、直接ハンダ付けしないでください。

電池パックには、危険を防止するための安全機構や保護装置が組み込まれています。これらを損なうと、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。また熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したりして発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

外傷、変化の著しい電池パックは使用しないでください。

発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

電池パックを電源コンセントや、車のシガレットコンセントなどに接続しないでください。

高い電圧を加えられることによって電池パックに過大な電流が流れ、発煙、破裂、発火の原因となります。この電池パックを指定機器以外の用途に使いますと、電池パックの性能や寿命が低下したり、機器によっては、異常な電流が流れたりして電池パックが破損したり発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

次ページにつづく

⚠ 警　告

電池パックが液漏れしたり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。

液漏れした溶解液に引火し、発煙、破裂、発火の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックの液漏れや、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、本電話機から取り外し、使用しないでください。

電池パックの液漏れや、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

濡れた手で電池パックを交換しないでください。

発火や故障の原因となります。

⚠ 注　意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となることがあります。不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

電池パックの充電温度範囲は 10℃～ 40℃です。

この温度範囲以外で充電すると、液漏れや発熱の原因となったり、電池パックの性能や寿命を低下させることがあります。

〈共通〉卓上ホルダおよびＡＣアダプタの取扱いについて

⚠ 警　告

ＡＣアダプタには必ずAC100Vを使用してください。

誤った電圧で使用すると火災、故障の原因となります。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災の原因となります。

ＡＣアダプタの電源プラグをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

感電、ショート、火災の原因となります。

万一、卓上ホルダおよびＡＣアダプタを落としたり、破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用されると、火災、感電の原因となりますので、ウィルコムサービスセンターにご連絡ください。

風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。

感電の原因となります。

充電中は卓上ホルダおよびＡＣアダプタを安定した場所に置いてください。また、卓上ホルダおよびＡＣアダプタを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

本機が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

コンセントにつながれた状態で電源端子を絶対にショートさせないでください。また、電源端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

故障、けが、感電、火災の原因となります。

コードなどを持って卓上ホルダおよびＡＣアダプタを振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

コードが傷んだら使用しないでください。

感電、火災、故障の原因となります。

コードを無理に曲げたり、束ねたりして傷つけないでください。

故障や感電、火災の原因となります。

卓上ホルダおよびＡＣアダプタのすき間などに金属や異物を差し込まないでください。

感電や故障の原因となります。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこ足配線はしないでください。

発熱、火災の原因となります。

万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントからＡＣアダプタの電源プラグを抜いてください。

感電、発熱、火災の原因となります。

卓上ホルダおよびＡＣアダプタから煙が出たり、異臭がするときは、すぐにＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜いて安全な場所に移動してください。

そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険です。絶対におやめください。ウィルコムサービスセンターにご連絡ください。

近くに雷が発生した場合は、安全のため、すぐにコンセントからＡＣアダプタの電源プラグを抜いてください。

火災、感電、故障の原因となります。

充電終了後はＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災、故障の原因となります。

分解禁止

分解、改造はしないでください。

感電、火災、故障の原因となります。

次ページにつづく

水ぬれ禁止

卓上ホルダおよびＡＣアダプタの電源プラグを濡らさないでください。
電池パックの発熱や感電、故障の原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

ぬれ手禁止

濡れた手で卓上ホルダ、ＡＣアダプタの電源プラグやコンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

⚠ 注　意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて、行ってください。
感電の原因となります。

指示

ＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜く場合は、コードを引っ張らず、ケース全体を持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因となります。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。
発熱、発火、破裂の原因となることがあります。

禁止

卓上ホルダおよびＡＣアダプタに乗らないでください。
＜特に、小さいお子さまのいるご家庭では、ご注意ください＞
転んだり、壊したりしてけがの原因となることがあります。

禁止

ＡＣアダプタのコードの上に重いものをのせたり､改造したりしないでください。
感電や火災の原因となります。

〈防水タイプ　WX330Jのみ〉電話機本体の取扱いについて

⚠ 危　険

禁止

本電話機は防水機能を有しておりますが、万一水やペットの尿などの液体が本電話機の内部に入ると、発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

⚠ 注　意

禁止

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
本電話機の図の黒い部分には、アルミニウムを使用しています。金属アレルギーなどのために皮膚に異常な症状が出た場合には、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

取扱い上のお願い

■はじめに

この製品は総務省の技術基準に適合しています。製品に貼り付けてある銘板をはがさないでください。

製品を分解して改造することは法律により禁止されています。不法に改造を加えてご使用になると、法律により罰せられることがあります。

■共通のお願い

本電話機に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

お手入れは乾いた柔らかい清潔な布で行ってください。

濡れたぞうきんなどで拭くと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

本電話機の充電端子や卓上ホルダの電源端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた柔らかい清潔な布、綿棒などで拭いてください。

エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■付属品についての共通のお願い

水につけたり濡らしたりしないでください。

電池パック、卓上ホルダ、ACアダプタ、およびUSBケーブルには防水性能がありません。

風呂場などの湿気の多い所で使用しないでください。また、雨などの水滴がかからないようにしてください。故障の原因となり保証の対象外となります。

汗や水がついた場合は、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。水に濡れた場合はただちに使用を中止してください。

■電話機本体についてのお願い

極端な高温、低温はさけてください。

温度は0℃～40℃、湿度は35%～85%の範囲でお使いください。

本電話機を直射日光のあたる場所や、ほこりの多い場所ではご使用にならないでください。

一般の電話機やテレビ、ラジオなどからなるべく離れた場所でご使用ください。

一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合があります。

電子レンジをご使用のときには…。

電磁波の影響で雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。

電子機器から発生されるノイズ等により、本電話機の動作に影響を与える場合があります。

水にぬれたり、汚れが付着した場合は、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。

ディスプレイやケースを硬い布などで強くこすると、傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい清潔な布（めがね拭きなど）で行ってください。

また、ディスプレイに水滴や汚れが付着したまま放置すると、染みになったりしますので、すみやかに拭き取るようにしてください。

汗をかいた手でさわったり、汗をかいた衣服のポケットに入れたりしないでください。汗が内部に浸入し故障の原因になります。汗や水がついたときにはすぐに乾いた柔らかい清潔な布で拭いてください。

イヤホンマイク端子、USB端子、充電端子に水や汚れを付着させないでください。

本体内部に浸水させたり、電池パック、卓上ホルダ、ACアダプタに水をかけたりしないでください。

水滴がついたままでの電池パックの取り付け･取り外し、電池カバー、イヤホンマイクの端子のキャップおよびUSB端子のキャップの開閉は行わないでください。水が侵入して本電話機内部の腐食の原因となります。お客様の不適切な使用によって故障した場合に、弊社内で調査した結果、原因が水の浸入（浸水）による故障と判明した場合には、保証対象外となります。

本電話機は耐熱設計ではありません。そのため熱湯につけたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤなど）を当てたりしないでください。

以下の場合には、本電話機の内部に水滴（結露）が付き、故障の原因となる場合があります。

・寒い戸外から急に温かい屋内に移動した場合

・湿気が極端に多い場所で使用した場合

・エアコンの吹き出し口付近で使用した場合

充電時には次の点を確認してください。

本電話機が濡れていないか確認してください。濡れている場合には、乾いた手で、乾いた柔らかい清潔な布で丁寧に水をふき取ってから充電してください。

USB端子のキャップを開いてACアダプタで充電した場合には、充電後にUSB端子のキャップがしっかり閉められているか確認してください。USB 端子のキャップがしっかり閉められていないと、水の侵入（浸水）の原因になります。USB端子からの水の侵入（浸水）を防ぐために、卓上ホルダを使用して充電することをお勧めします。

■電池パックについてのお願い

充電は、適正な周囲温度（10℃～ 40℃）の場所で行ってください。

初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。充電中、電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。

電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化の具合により異なります。

直射日光があたらず、風通しのよい涼しい場所に保管してください。

長時間使用しないときは、高温多湿を避けて、本電話機から外して保管してください。

電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

電池パックは電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

電池パックは消耗品です。

使用状態によっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。

不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り絶縁してから、お近くのモバイル･リサイクル･ネットワークのマークのあるお店にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

■卓上ホルダおよびＡＣアダプタについてのお願い

周囲の温度が 10℃～ 40℃の所でご使用ください。

次のような場所では充電しないでください。

湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作や故障の原因となります。）

一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く（ラジオなどに雑音が入ることがあります。）

充電中、卓上ホルダおよびＡＣアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

防水性能について

WX330Jは、電池カバーを取り付けてロックレバーをしっかりロックし、イヤホンマイク端子やUSB端子のキャップをしっかり閉めた状態で、IPX5相当/IPX7相当の防水性能（当社試験方法による）を有しておりますが、これは完全防水を保証するものではありません。
下記の注意事項をお読みのうえ、適切な方法でご利用されるようお願いいたします。

防水性能について

IPX5相当の防水性能

WX330JはIPX5相当の防水性能を有しています。
防水性能IPX5相当とは、本電話機のロックレバーをしっかりロックし、イヤホンマイク端子やUSB端子のキャップをしっかり閉めた状態で、内径6.3㎜のノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル/分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことを意味します。

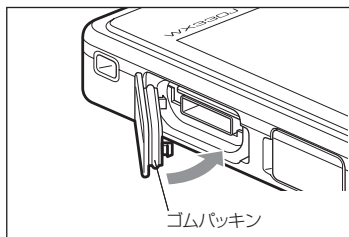
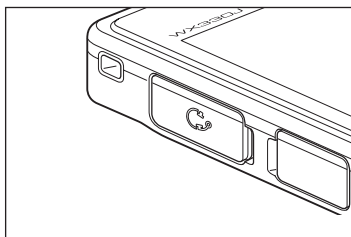
IPX7相当の防水性能

WX330JはIPX7相当の防水性能を有しています。
防水性能IPX7相当とは、本電話機を常温の水道水、かつ水深1mの静水に、ロックレバーをしっかりロックし、イヤホンマイク端子やUSB端子のキャップをしっかり閉めた状態で静かに沈め、30分間放置後に取り出した後に電話機としての機能を有することを意味します。
※耐水圧設計ではありませんので、高い水圧で水をかけたり、長時間水中に放置したりなどはしないでください。

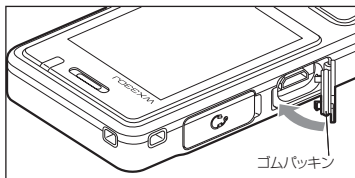
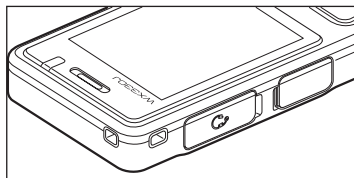
> 実際の使用に当たって、すべての状況で動作を保証するものではありません。弊社内で調査した結果、お客様の不適切な使用による故障と判明した場合には、保証対象外となります。

ご使用の前には

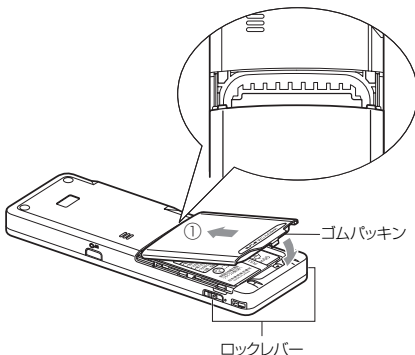
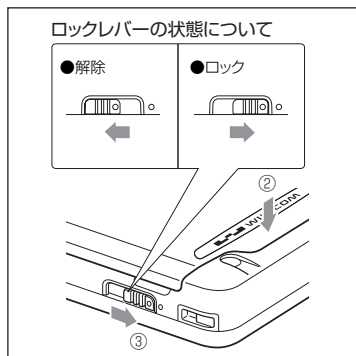
防水性を保持するために、次の3点を必ずご確認ください。

- **イヤホンマイク端子のキャップ**
  キャップ周辺部分にゴムパッキンが付いていることを確認してから、きっちりと閉じてください。

1.キャップを押し込みます。　2.きっちりと閉まったことを確認します。

● USB端子のキャップ

キャップ周辺部分にゴムパッキンが付いていることを確認してから、きっちりと閉じてください。

1.キャップを押し込みます。　2.きっちりと閉まったことを確認します。

● 電池カバー

電池カバー裏面の接合部分にゴムパッキンが付いていること、また左右のロックレバーが解除されていることを確認してから、以下の要領で取り付けてください。

1.電池カバーのツメを本体の内側に入れ、本体と電池カバーの間にすき間が生じないよう①の方向に押さえながら、電池カバーを閉じます。

2.電池カバーを②の方向に押し込み、本体の左右にあるロックレバーを③の方向にスライドさせレバーをロックします。
最後にきっちりと閉まったことを確認します。

ご注意

- ロックレバーは必ず左右両方をロックするようにしてください。片方だけロックした状態では、十分な防水効果を得られず、本体内部への浸水の原因となります。
- 電池カバー、イヤホンマイク端子のキャップおよびUSB端子のキャップの開閉などをするときは手袋などをしたまま操作しないでください。また、カバーやキャップにゴミなどが付着しないようにしてください。ゴムパッキンの接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など）がわずかでも挟まると、本体内部に浸水する原因となります。微細なゴミが付着している場合は、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。

本電話機の防水上の注意事項

・電池カバーを本電話機に取り付けて、本体左右両側にあるロックレバーでしっかりロックしてください。またイヤホンマイクの端子やUSB端子のキャップをしっかり閉めてください。電池カバーやキャップが浮いているところがないことを確認してからご使用ください。すき間に髪の毛1本程度の微細なものでも挟まった場合、水が付着した際に本体内部に浸水することがあります。

・電池カバー、イヤホンマイク端子のキャップ、およびUSB端子のキャップが開いている状態または、電池カバーのロックレバーが解除された状態で水などの液体がかかった場合、本体内部に浸水し、感電や故障の原因となることがあります。その場合には、使用を中止し、電源を切り、電池パックを外し、ウィルコムサービスセンターへご連絡ください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）

・水につけた状態では使用（キャップ等の開閉やキー操作も含む）しないでください。また水中に長時間放置しないでください。故障の原因になります。本電話機は水に浮きません。

・手が濡れているときや本電話機に水滴が付いている状態で、電池カバー、イヤホンマイクの端子のキャップおよびUSB端子のキャップの開閉をしないでください。

・電池カバー、イヤホンマイクの端子のキャップおよびUSB端子のキャップのゴムパッキンに水滴や汚れ、砂粒、泥などがわずかでも付着している場合、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。

・海水、温泉、プールの水や、石けん、洗剤、シャンプー、リンス、入浴剤、薬品などの入った水には絶対につけないでください。もし、誤って付着した場合、そのままにせず、すみやかに洗面器などに溜めた水道水で洗ってください。洗う際にはブラシなどは使用せず、電池カバーのロックレバーをしっかりロックした状態で、イヤホンマイク端子およびUSB端子のキャップが開かないように押さえたままで洗ってください。
また、蛇口からの流水は直接当てないでください。洗濯機や超音波洗浄機等で洗わないでください。

海水

温泉

プール

せっけん／洗剤／シャンプー／リンス

入浴剤

流水

・送話口（マイク）、スピーカなどを先がとがったものでつつかないでください。防水性能が損なわれる原因となります。

・送話口（マイク）、スピーカに水滴を残さないでください。通話不良の原因となる恐れがあります。

・本電話機は耐熱設計ではありません。熱湯をかけたり、サウナで使用したり、またドライヤなどの熱風を当てたりしないでください。

・本電話機は防湿設計ではありません。お風呂場、キッチンなど、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。

・本電話機の防水性能は、常温の真水・水道水にのみ対応しています。

・本電話機を落下させると、衝撃により傷の発生や防水性能を劣化させることがあります。本電話機を落下させるなどした場合には、防水性能の保証を負いかねます。取扱いには十分ご注意ください。

・電池カバーが破損した場合には内部に水が入り、感電や電池の腐食など故障の原因となります。その場合は電池カバーを交換してください。

・本電話機を砂浜などの上に直接置かないでください。送話口（マイク）スピーカなどに砂粒などが入り、音が聴き取りにくくなる恐れがあります。

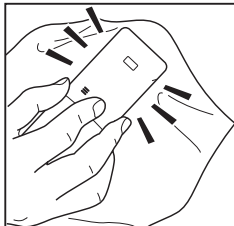
・卓上ホルダ、ACアダプタ、電池パックなどの付属品は防水性能を有してはおりません。水分や湿気のある場所で使用しないでください。

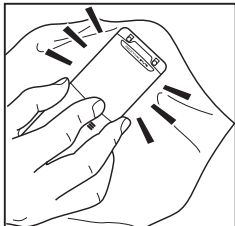
濡れたときには

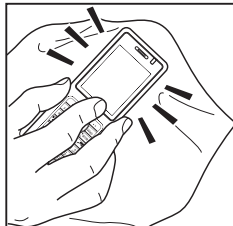
・本電話機が濡れたときには、乾いた手で、乾いた柔らかい清潔な布をご使用の上、次の手順で丁寧に拭いてください。

1　電源を切る

2　受話口、送話口、スピーカ、アルミカバーの裏面に入った水を軽くたたいて取る

●受話口の場合

図のように本電話機を持ち、軽くたたいて受話口に入った水を布でふき取ってください。

●送話口の場合

図のように本電話機を持ち、軽くたたいて送話口に入った水を布でふき取ってください。

●スピーカとアルミカバーの裏面の場合

図のように本電話機を持ち、軽くたたいてスピーカとアルミカバーの裏面に入った水を布でふき取ってください。

3　本電話機全体を拭く

4　電源を入れる

・充電端子、イヤホンマイク端子およびUSB端子がショートする恐れがあるため、水滴が付着したまま放置しないでください。また、濡れている状態で充電しないでください。

・寒冷地で本電話機に水滴が付着したまま放置すると凍結することがあります。凍結した状態で使用すると故障の原因になりますので、水分が付着したら必ず拭き取ってください。

・本電話機に水滴が付着した状態で放置しないでください。本電話機はボタンの周囲に水分が入り込む構造になっていますが、水分が入り込んだ場合は本電話機を垂直にし、軽くたたくなどして払い落としてください。その際、本電話機を落下させないよう十分注意してください。払い落とせず残った水分は、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。

・本電話機に水や雪がついた状態のままにすると、本体に付着した水や、すき間にたまった水で服やバッグを濡らす場合がありますのでご注意ください。

・電子レンジ、オーブンやドライヤー等で乾燥させないでください。

利用シーン別の注意事項

雨の中で

・電池カバーのロックレバーをしっかりロックし、イヤホンマイク端子およびUSB端子のキャップをしっかり閉じた状態で、雨の中で使用することができます。

・「やや強い雨※」の中で、傘をささずに通話できます。

・雨の中や、手が濡れているとき、あるいは水滴が付いたままでの電池カバーの取り外しや、イヤホンマイクの端子やUSB端子のキャップの開閉は絶対に行わないでください。

※やや強い雨とは、1時間の雨量が10mm以上20mm未満。

洗う

・汚れた場合、洗面器などに溜めた水道水で洗うことができます。

・洗う際にはブラシなどは使用せず、電池カバーのロックレバーをしっかりロックした状態で、イヤホンマイク端子およびUSB端子のキャップが開かないように手で押さえたまま洗ってください。
・耐水圧設計ではありませんので、水道の蛇口やシャワーなどから直接流水をかけないでください。また、洗面器などの水の中に、長時間放置しないでください。
・本電話機は水に浮きません。水の中に投げ入れたりせずに、手で持った状態で取り扱ってください。
・本電話機を洗濯機や超音波洗浄機や食器洗い機などに入れて洗わないでください。

お風呂場で

・電池カバーのロックレバーをしっかりロックし、イヤホンマイク端子およびUSB端子のキャップをしっかり閉じた状態で、お風呂場で使用することができます。濡れた手で持って通話することもできますが、湯船にはつけないでください。
・水道水や真水の中につけることはできますが、温泉や石けん、洗剤、シャンプー、リンス、入浴剤などの入った水にはつけないでください。
・水につけた状態では使用（キャップ等の開閉やキー操作も含む）しないでください。故障の原因になります。
・耐水圧設計ではありませんので、水道の蛇口やシャワーなどから直接流水をかけないでください。
・使用する場所によっては、電波が入りにくくなることがあります。
・使用場所の急激な温度の変化は、結露の原因となり、故障につながります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本電話機を持ち込む場合には、本電話機が常温になったことを確認してから持ち込んでください。
・ディスプレイパネルの内側に結露が発生した場合には、結露が取れるまで常温の状態で放置してください。
・お風呂場での長時間のご使用は避けてください。
・本電話機を浴槽につけたり、落下させたりしないよう注意してください。
・本電話機は耐熱設計ではありません。熱湯につけたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤなど）を当てたりしないでください。
・周囲温度0℃～40℃、湿度35%～85%の範囲で使用してください。
・卓上ホルダ、ACアダプタ、電池パックなどの付属品は防水性能を有してはおりません。お風呂場には持ち込まないでください。

キッチンで

・電池カバーのロックレバーをしっかりロックし、イヤホンマイク端子およびUSB端子のキャップをしっかり閉じた状態で、キッチンで使用することができます。
・石けん、洗剤、調味料、ジュース、お茶、果物の果汁など、水道水以外のものをかけたり、つけたりしないでください。
・耐熱設計ではありませんので、ポットのお湯などの熱湯や冷水をかけたり、つけたりしないでください。
・耐水圧設計ではありませんので、水道の蛇口やシャワーなどから直接流水をかけないでください。
・耐熱設計ではありませんので、コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる所には置かないでください。

プールサイドで

・電池カバーのロックレバーをしっかりロックし、イヤホンマイク端子およびUSB端子のキャップをしっかり閉じた状態で、プールサイドで使用することができます。
・濡れた手で持って通話することもできますが、プールの水などの薬品が含まれている水につけたり、落下させたりしないでください。
・水につけた状態では使用（キャップ等の開閉やキー操作も含む）しないでください。故障の原因になります。

・プールの水がかかった場合は、洗面器などに水道水を溜めて洗い流してください。洗う際にはブラシなどは使用せず、電池カバーのロックレバーをしっかりロックした状態で、イヤホンマイク端子およびUSB端子のキャップが開かないように手で押さえたまま洗ってください。
・炎天下で高温になる場所で使用したり、放置したりしないでください。

充電する際の注意事項

・卓上ホルダ、ACアダプタ、電池パックなどの付属品は防水性能を有してはおりません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。
 - 水に濡れた後に充電する場合は、乾いた柔らかい清潔な布で水を拭き取ってから充電してください。
 - 充電の際にUSB端子のキャップを開いた場合には、充電後にキャップをしっかり閉じてください。
 - 本電話機が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や本体内部の回路がショートするなどして、火災や故障の原因となります。
 - 卓上ホルダ・ACアダプタを濡れた手で触れないでください。感電の原因となります。
 - 卓上ホルダ・ACアダプタは、水のかからない場所で使用してください。濡れた状態で使用すると火災・感電の原因となります。
 - 卓上ホルダ・ACアダプタは、お風呂場、キッチン、サウナ、洗面所などの水周りや湿気の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
・充電時は、卓上ホルダをご使用ください。
USB端子のキャップを開けてACアダプタと接続しても充電できますが、卓上ホルダを使用することでキャップの閉め忘れや、すき間に異物が挟まることを防ぐことができます。本体とUSB端子のキャップとのすき間に異物が挟まると防水性が保持できないことがあります。

ゴムパッキンについての注意事項

本電話機の電池カバー、イヤホンマイク端子のキャップおよびUSB端子のキャップの周囲のゴムパッキンは、防水性能を保持するために非常に重要な役割を果たします。そのため以下の点に注意してください。
・ゴムパッキンをはがしたり、傷付けたりしないでください。
・電池カバー、イヤホンマイク端子のキャップおよびUSB端子のキャップを閉める際はゴムパッキンを挟み込まないよう注意してください。挟み込んだまま無理やり閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が保持できなくなる場合があります。
・常温の真水や水道水以外の液体（海水、温泉、プールの水や、石けん、洗剤、シャンプー、リンス、入浴剤、薬品、汗などの入った水）が付着すると、防水性能を維持できなくなる場合があります。
・電池カバー、イヤホンマイク端子のキャップおよびUSB端子のキャップの開閉などをするときは手袋などをしたまま操作しないでください。また、カバーやキャップにゴミなどが付着しないようにしてください。ゴムパッキンの接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など）がわずかでも挟まると、本体内部に浸水する原因となることがあります。微細なゴミが付着している場合は、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。
・電池カバー、イヤホンマイク端子のキャップおよびUSB端子のキャップのすき間に、先のとがったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つくおそれがあり、本体内部に浸水する原因となります。
・電池カバー、イヤホンマイク端子のキャップ、およびUSB端子のキャップを閉じるときは、ゴムパッキンが付いていることを確認してください。

ご注意

- 防水性能を維持するために、異常の有無にかかわらず定期的なメンテナンスをお勧めします。
- メンテナンスはWX330Jをお預かりして有償にて承ります。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）

非防水タイプ
WX330J E

取扱い上のお願い

■はじめに

この製品は総務省の技術基準に適合しています。製品に貼り付けてある銘板をはがさないでください。

製品を分解して改造することは法律により禁止されています。不法に改造を加えてご使用になると、法律により罰せられることがあります。

■共通のお願い

本電話機に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

お手入れは乾いた柔らかい清潔な布で行ってください。

濡れたぞうきんなどで拭くと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

水につけたりしないでください。

おふろの中や水の中につけたりしないでください。また、雨などの水滴がかからないようにしてください。故障の原因となり保証の対象外となります。

汗や水がついたときには、すぐに布で拭き取ってください。

汗をかいた手でさわったり、汗をかいた衣服のポケットに入れたりしないでください。汗が内部に侵入し故障の原因になります。汗や水がついたときにはすぐに乾いた柔らかい清潔な布で拭いてください。

端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

本電話機の充電端子や卓上ホルダの電源端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた柔らかい清潔な布、綿棒などで拭いてください。

エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■電話機本体についてのお願い

極端な高温、低温はさけてください。

温度は0℃～40℃、湿度は35%～85%の範囲でお使いください。

本電話機を直射日光のあたる場所や、ほこりの多い場所ではご使用にならないでください。

一般の電話機やテレビ、ラジオなどからなるべく離れた場所でご使用ください。

一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合があります。

電子レンジをご使用のときには…。

電磁波の影響で雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。

電子機器から発生されるノイズ等により、本電話機の動作に影響を与える場合があります。

お手入れは、乾いた柔らかい清潔な布で行ってください。

ディスプレイやケースを硬い布などで強くこすると、傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい清潔な布（めがね拭きなど）で行ってください。

また、ディスプレイに水滴や汚れが付着したまま放置すると、染みになったりしますので、すみやかに拭き取るようにしてください。

■電池パックについてのお願い

充電は、適正な周囲温度（10℃～40℃）の場所で行ってください。

初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。充電中、電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。

電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化の具合により異なります。

直射日光があたらず、風通しのよい涼しい場所に保管してください。

長時間使用しないときは、高温多湿を避けて、本電話機から外して保管してください。

電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

電池パックは電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

電池パックは消耗品です。

使用状態によっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。

不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り絶縁してから、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

■卓上ホルダおよびＡＣアダプタについてのお願い

周囲の温度が10℃～40℃の所でご使用ください。

次のような場所では充電しないでください。

湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作や故障の原因となります。）

一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く（ラジオなどに雑音が入ることがあります。）

充電中、卓上ホルダおよびＡＣアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

1

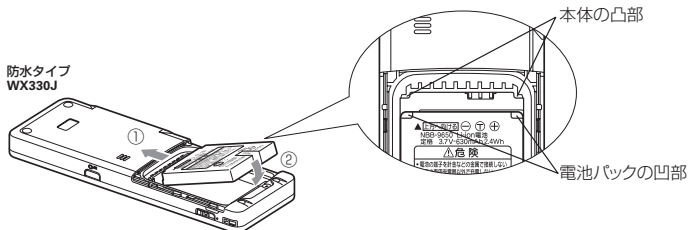
ご使用になる前に

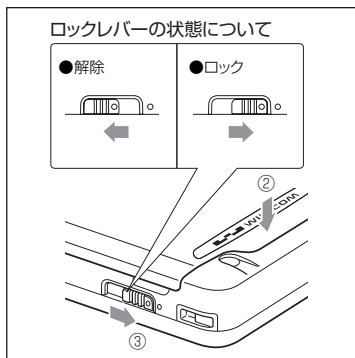
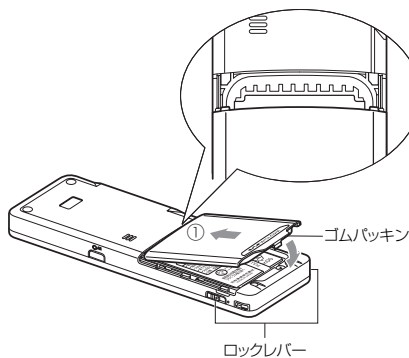
充電する…………………………………………… 1-2
電源を入れる／切る………………………… 1-11
各部の名前…………………………………… 1-12
画面の見かた………………………………… 1-14
ボタンの使いかた…………………………… 1-18
日時を設定する……………………………… 1-21

充電する

電池パックを取り付ける

1 電池パックをはめ込む

電池パックの印字面を上にして電池パックの凹部を本体の凸部に合わせて①の方向に差し込み、②の方向に押し付けてはめ込みます。

2 電池カバーを取り付ける

電池カバー裏面の接合部分にゴムパッキンが付いていること、また左右のロックレバーが解除されていることを確認してから、以下の要領で取り付けてください。

1. 電池カバーのツメを本体の内側に入れ、本体と電池カバーの間にすき間が生じないよう①の方向に押さえながら、電池カバーを閉じます。
2. 電池カバーを②の方向に押し込み、本体の左右にあるロックレバーを③の方向にスライドさせレバーをロックします。
最後にきっちりと閉まったことを確認します。

3 電池カバーと本体に大きなすき間がないことを確認する

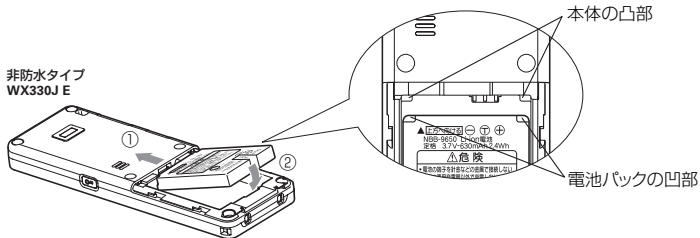
ご注意

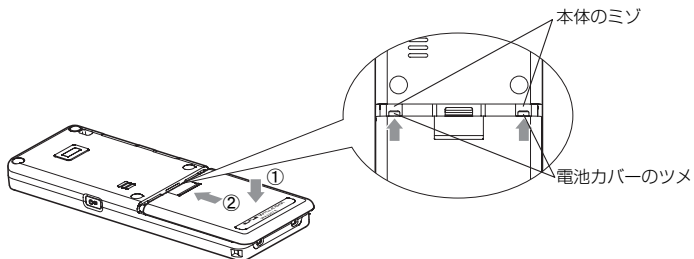
- 電池カバーはゆるみのないよう、ロックレバーでしっかり閉めてください。
- ロックレバーは必ず左右両方をロックするようにしてください。片方だけロックした状態では、十分な防水効果を得られず、本体内部への浸水の原因となったり、はずみで電池パックが飛び出したりする恐れがあります。

電池パックを取り付ける

本電話機を使用するには、電池パックを取り付ける必要があります。

1 電池パックをはめ込む

電池パックの印字面を上にして電池パックの凹部を本体の凸部に合わせて①の方向に差し込み、②の方向に押し付けてはめ込みます。

2 電池カバーを取り付ける

電池カバーのツメを本体のミゾに合わせ、本体との間にすき間が生じないよう①の方向に押さえながら②の方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせて取り付けます。

3 電池カバーと本体に大きなすき間がないことを確認する

ご注意

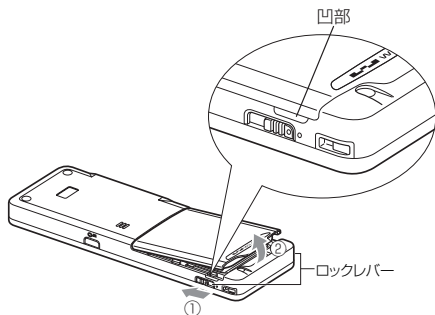
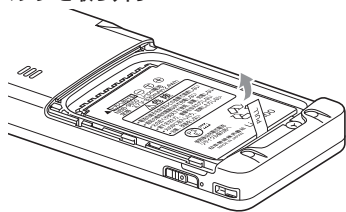
- 電池カバーはゆるみのないようにしっかり閉めてください。ゆるみがあると、振動で電池カバーが外れて電池パックが飛び出す恐れがあります。

電池パックを交換するときは

電池パックの寿命の目安は使用頻度によりますが、約1年です。十分に充電しても使用時間が短くなったときは新しい電池パックと交換してください。交換用の電池パック（NBB-9650）は、本電話機をお買い上げの販売店でお求めになれます。
電池パックは次の手順で交換してください。

1 電源が入っているときは、[PWR]を約3秒以上押して電源を切る

2 電池カバーを取り外す

電池カバーのロックレバーを①の方向にスライドさせて、電池カバーの両端の凹部を指でつかみ、②の方向に持ち上げて取り外します。

3 電池パックのPULLテープを引っ張り、電池パックを取り外す

4 新しい電池パックを入れ、電池カバーを取り付ける

「充電する」（☞ 1-2ページ）の手順2にしたがって、電池カバーを確実に取り付けてください。

5 充電する

「卓上ホルダで充電する」（☞ 1-6ページ）

ご注意

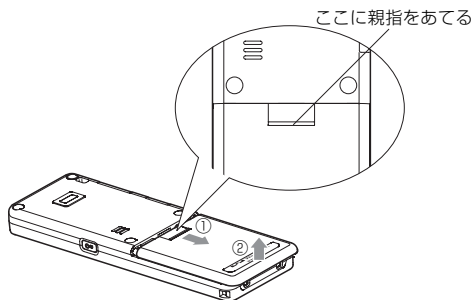
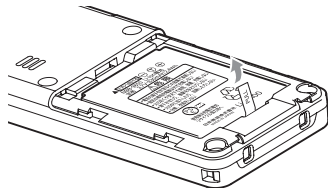
- 電池パック交換の際は、必ず電源を切ってください。電源を切らずに交換すると、本電話機の故障の原因となります。
- 環境保護のため、使用済みの電池パックは、モバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちください。その際、ショートによる液漏れ、発熱、発火の恐れがあるため、必ず端子にテープを貼るなどの絶縁処理を行ってください。

電池パックを交換するときは

電池パックの寿命の目安は使用頻度によりますが、約1年です。十分に充電しても使用時間が短くなったときは新しい電池パックと交換してください。交換用の電池パック（NBB-9650）は、本電話機をお買い上げの販売店でお求めになれます。
電池パックは次の手順で交換してください。

1　電源が入っているときは、PWR を約3秒以上押して電源を切る

2　電池カバーを取り外す

親指で電池カバーを押さえながら①の方向にスライドさせて、本体と平行にゆっくりと②の方向に持ち上げて取り外します。

3　電池パックのPULLテープを引っ張り、電池パックを取り外す

4　新しい電池パックを入れ、電池カバーを取り付ける

「充電する」（☞1-3ページ）の手順2にしたがって、電池カバーを確実に取り付けてください。

5　充電する

「卓上ホルダで充電する」（☞1-7ページ）

ご注意

- 電池パック交換の際は、必ず電源を切ってください。電源を切らずに交換すると、本電話機の故障の原因となります。
- 環境保護のため、使用済みの電池パックは、モバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちください。その際、ショートによる液漏れ、発熱、発火の恐れがあるため、必ず端子にテープを貼るなどの絶縁処理を行ってください。

卓上ホルダで充電する

卓上ホルダとACアダプタを接続すると、本電話機を卓上ホルダに置くだけで充電することができます。初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、充電を行ってください。

1 卓上ホルダの接続端子にACアダプタのコネクタを接続する

ご注意

- ACアダプタのコネクタを卓上ホルダに接続する際には、下図Aのようにコネクタの先端部分の幅が狭い方を上側にして接続してください。下図Bのようにコネクタの向きが逆の状態で接続しようとすると、卓上ホルダの接続端子やコネクタの先端部分を破損する恐れがあります。

2 ACアダプタの電源プラグをコンセント（AC100V）に差し込む

3 本電話機を卓上ホルダに置く

本電話機の背面底部を卓上ホルダの壁面に沿わせて電話機の底部が卓上ホルダのポケット内に確実に収まるように挿入してください。
その際、若干の抵抗感がありますが、そのまま軽く押し下げてください。
本電話機を卓上ホルダに置くと、充電が始まります。
充電中　：着信ランプが赤く点灯
充電完了：着信ランプが消灯

4 着信ランプが消灯したら充電完了

充電には約2.5時間かかります。

ご注意

- 電池パックを外した状態で本電話機を卓上ホルダに置かないでください。
- 本電話機を卓上ホルダに逆にして置かないでください。
- 本電話機の充電端子や卓上ホルダの電源端子を時々清掃してください。
  端子が汚れていると、充電時間が長くなったり、充電できないことがあります。乾いた綿棒や乾いた柔らかい清潔な布で時々拭いてください。また、卓上ホルダの置台部内に異物が入っていないかどうかご確認ください。異物が入っているとショートする恐れがあります。
- 卓上ホルダから本電話機を取り外す際には、片手で卓上ホルダを押さえ、もう一方の手で本電話機を持ち、静かに持ち上げてください。

卓上ホルダで充電する

卓上ホルダとACアダプタを接続すると、本電話機を卓上ホルダに置くだけで充電することができます。初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、充電を行ってください。

1 卓上ホルダの接続端子にACアダプタのコネクタを接続する

ご注意

- ACアダプタのコネクタを卓上ホルダに接続する際には、下図Aのようにコネクタの先端部分の幅が狭い方を上側にして接続してください。下図Bのようにコネクタの向きが逆の状態で接続しようとすると、卓上ホルダの接続端子やコネクタの先端部分を破損する恐れがあります。

（AC アダプタのコネクタを正面から見た断面図）

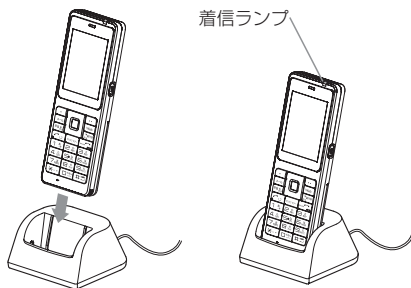
2 ACアダプタの電源プラグをコンセント（AC100V）に差し込む

3 本電話機を卓上ホルダに置く

本電話機の背面底部を卓上ホルダの壁面に沿わせて電話機の底部が卓上ホルダのポケット内に確実に収まるように挿入してください。
その際、若干の抵抗感がありますが、そのまま軽く押し下げてください。
本電話機を卓上ホルダに置くと、充電が始まります。
充電中　：着信ランプが赤く点灯
充電完了：着信ランプが消灯

4 着信ランプが消灯したら充電完了

充電には約2.5時間かかります。

ご注意

- 電池パックを外した状態で本電話機を卓上ホルダに置かないでください。
- 本電話機を卓上ホルダに逆にして置かないでください。
- 本電話機の充電端子や卓上ホルダの電源端子を時々清掃してください。
  端子が汚れていると、充電時間が長くなったり、充電できないことがあります。乾いた綿棒や乾いた柔らかい清潔な布で時々拭いてください。また、卓上ホルダの置台部内に異物が入っていないかどうかご確認ください。異物が入っているとショートする恐れがあります。

ACアダプタで充電する

初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、充電を行ってください。

1 本電話機のUSB端子のキャップを開ける

2 本電話機のUSB端子にACアダプタのコネクタを接続する

3 ACアダプタをコンセント（AC100V）に差し込む

充電が始まります。充電中は着信ランプが赤色に点灯します。

4 着信ランプが消灯したら充電完了

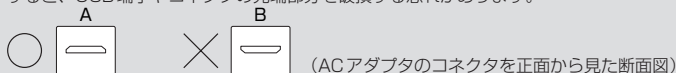
充電には約2.5時間かかります。

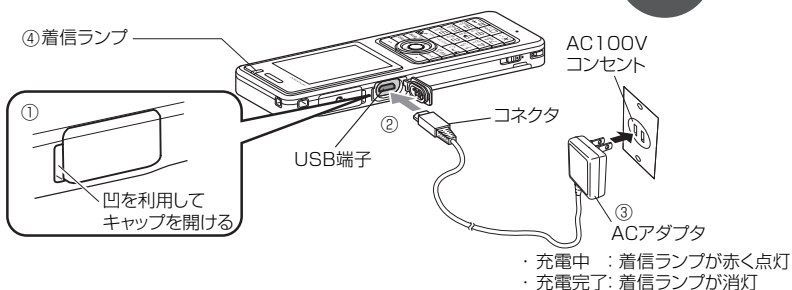
5 充電が完了したらコンセントから抜き、ACアダプタのコネクタを本電話機から取り外す

充電が完了したらUSB端子のキャップを閉じてください。

ご注意

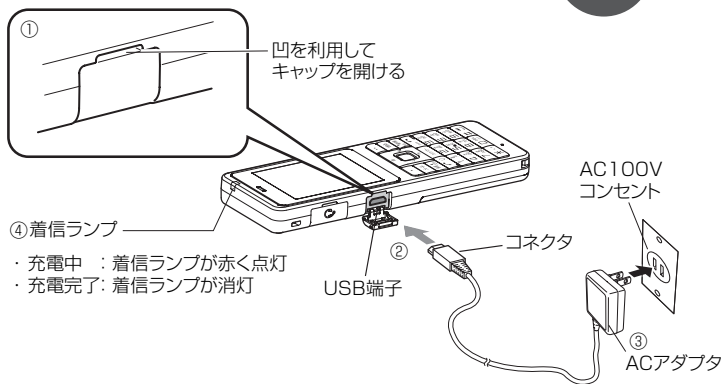
- 電池パックを外した状態で本電話機を充電しないでください。
- ACアダプタでの充電は、USB充電の設定にかかわらず、「高速」で行われます。「USBで充電する」（☞7-6ページ）
- ACアダプタのコネクタを、本電話機以外に挿さないでください。
- ACアダプタのコネクタをUSB端子に接続する際には、下図Aのようにコネクタの先端部分の幅が狭い方を上側にして接続してください。下図Bのようにコネクタの向きが逆の状態で接続しようとすると、USB端子やコネクタの先端部分を破損する恐れがあります。

（ACアダプタのコネクタを正面から見た断面図）

お知らせ

- 充電時間は、本電話機の電源を切り、電池パックを空の状態から充電した場合の目安です。電源を入れたままの場合、充電時間は長くなります。
- 本電話機を卓上ホルダに逆向きに置かないでください。充電できません。
- 充電端子が汚れていると、正しく充電を行うことができません。時々、充電端子を乾いた柔らかい清潔な布で拭いてきれいにしてください。
- 充電中に着信ランプが点滅した場合は、充電異常が発生しています。再度、本電話機を卓上ホルダに置き直してください。それでも着信ランプが点滅する場合は、電池パックの寿命や故障が考えられます。
- 本電話機の電源の入／切に関係なく充電できます。
- 充電中は、本電話機、卓上ホルダおよびACアダプタの一部が多少熱くなりますが、異常ではありません。
- 初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、着信ランプが消灯するまで充電してください。お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。
- 充電完了後に本電話機を取り外したあと、すぐに卓上ホルダに戻すと、いったん着信ランプが赤色に点灯することがありますが、異常ではありません。
- 本電話機と電源の入ったパソコンをUSBケーブルで接続して充電することもできます。「パソコンと接続する」（☞5-2ページ）
- 電池パックを長時間使用しなかったり、使い切った状態で充電せずに放置した場合、充電を開始しても着信ランプが点灯しないことがあります。この場合、電池パックの寿命や故障でなければ、数分後には着信ランプが点灯します。
- 充電中に電池パックが高温となった場合、充電状態を示す着信ランプは点灯しながらも、安全のため電池パックへの充電電流を一時停止し、満充電にならないことがあります。この場合は、電池パックの温度が下がるのを待って、充電を再開してください。
- 充電開始後、着信ランプが一瞬消灯することがありますが、異常ではありません。

ご注意

- 充電完了後は、USB端子のキャップは完全に閉じてください。キャップを完全に閉じないと、十分な防水効果が得られず、本体内部への浸水の原因となります。

非防水タイプ
WX330J E

①
凹を利用して
キャップを開ける
AC100V
コンセント
④着信ランプ
コネクタ
②
・充電中　：着信ランプが赤く点灯
・充電完了: 着信ランプが消灯
USB端子
③
ACアダプタ

電池残量を確認するには

電池残量は、画面に表示される電池マークで確認できます。ただし、表示は目安です。

十分にあります。
まだあります。
少なくなりました。
ほとんどありません。すぐに充電してください。

■電池がなくなったときは

「ピーピーピーピー」という警告音が鳴り、「充電して下さい」と表示されます。
通話中の場合は、「ピーピーピー」という警告音が鳴ってから約3分後に通話が切れ、本電話機の電源が切れます。

満充電したときの使用可能時間の目安

充電のしかたや電池パックの劣化度、使用環境によって以下の表の時間は変動します。

待受／通話モード	連続通話時間	連続待受時間※
公衆モード	約 6.5 時間	約 700 時間

※省電力モード「ON」設定時

オフィスモード、グループモード、電話帳転送モードおよびデュアルモードでの連続待受時間は、公衆モードでの連続待受時間より短くなります。

お知らせ

- 連続して通話だけを行った場合を連続通話時間、通話や操作を一切せずに、連続して待ち受け状態を保った場合を連続待受時間と呼びます。
- 連続通話時間や連続待受時間は、静止した状態で、かつ電波状態が安定した場所での時間です。
- 連続通話時間や連続待受時間は、使用場所の電波状態や機能の設定動作などにより短くなります。
- 電話帳、メールなどの文字入力や、インターネットなどのご利用が多い場合、電池パックの消耗が早くなります。

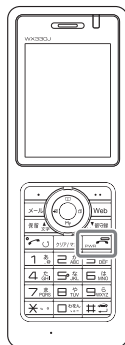
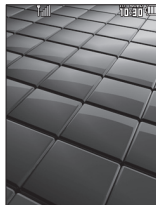
電源を入れる／切る

電源を入れる

1 PWR を約2秒以上押す

アニメーションが表示され、待ち受け画面が表示されます。

お知らせ

- アニメーションの途中で PWR を押すと、アニメーションが中断され、すぐに待ち受け画面が表示されます。
- 本電話機には、通常の電話機として使用できる公衆モードのほか、オフィスモード、グループモード、転送モード、公衆+オフィスモード（デュアルモード）、公衆+グループモード（デュアルモード）があります。お買い上げ時は公衆モードに設定されていますが、他のモードをご利用になる場合は、モード設定を変更してください。「モードの活用」（☞8-1ページ）

電源を切る

1 PWR を約3秒以上押す

「電源を切りますか？」と表示されます。

2 ◎で「YES」を選択 ◉

アニメーションが表示され、電源が切れます。

お知らせ

- 電源OFFメニューを「OFF」に設定している場合は、確認メッセージは表示されずに電源が切れます。

電源OFF確認メッセージの表示を設定する

電源を切る場合に、表示される確認メッセージを表示しないで、すぐに電源を切ることができます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 9 3

2 1 または 2 ► ◉

1 ► ◉ で「設定しました」、2 ► ◉ で「解除しました」と表示されます。

- **1（ON）を押すと**

  電源を切る場合に確認メッセージを表示します。

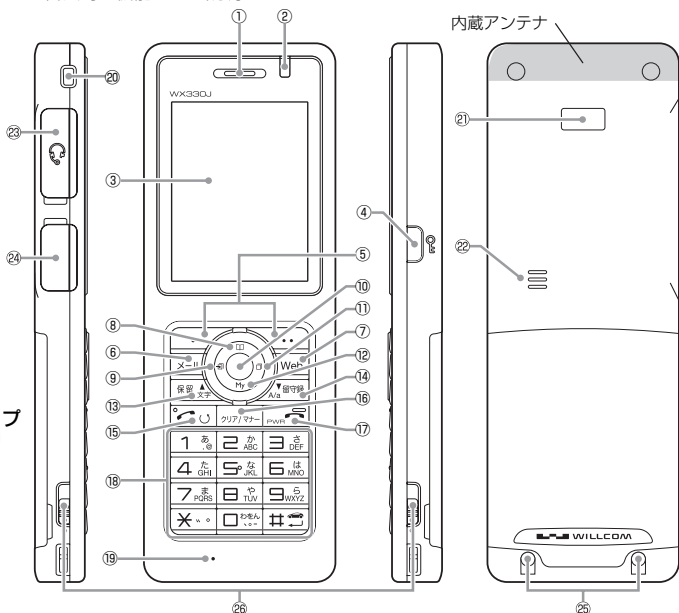
- **2（OFF）を押すと**

  電源を切る場合に確認メッセージを表示しないで、すぐに電源を切ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

各部の名前

ボタンについては代表的な機能だけを説明しています。

①受話口（レシーバ）

②着信ランプ
着信があったときなどに点滅します。「着信ランプを設定する」（☞7-10ページ）

③画面
「画面の見かた」（☞1-14ページ）

④サイドロックスイッチ
キーロックの設定／解除を行います。「ボタン操作をロックする（キーロック）」（☞6-7ページ）

⑤カスタムボタン（ ）
よく使う電話番号や機能を登録し、ワンタッチで呼び出すことができます。登録した機能は待ち受け画面の左下と右下にソフトキーとして表示されます。また、ソフトキーとして画面下に表示された機能を実行します。
「ガイダンス表示について」（☞1-17ページ）

⑥
メールメニューを表示します。
「メール」（☞3-1ページ）

⑦ Web
Webメニューを表示します。
「インターネット」（☞4-1ページ）

⑧
画面上の上の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、電話帳を表示します。

⑨
画面上の左の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、着信履歴を表示します。

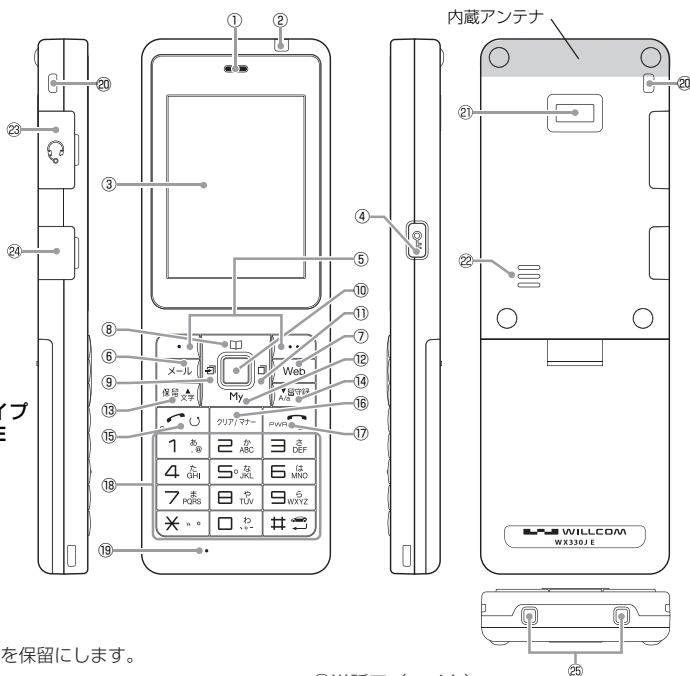
⑩
画面に表示された項目を確定します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、メインメニューを表示します。また、ソフトキーとして画面下部中央に表示された機能を実行します。
「ボタンの使いかた」（☞1-18ページ）

⑪
画面上の右の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、発信履歴を表示します。

⑫
画面上の下の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、マイメニューを表示します。

内蔵アンテナについて

アンテナは本体に内蔵されています。内蔵アンテナ付近を指や金属などで触れたり覆ったりすると電波感度が弱まることがあります。特に内蔵アンテナ付近にシールなどを貼らないようにしてください。

⑬ [保留/文字]
通話中の電話を保留にします。

⑭ [A/a/留守録]
電話に出られないときに相手にメッセージを伝えたり、相手の音声を録音します。
留守録音を設定／解除できます。
「留守録音を設定する」（☞ 2-48ページ）

⑮ [発信]
電話をかけたり受けたりするときに押します。
「電話をかける」（☞ 2-2ページ）

⑯ [クリア/マナー]
入力した番号・文字を消去します。また、操作中の前の画面に戻るときやマナーモードを設定／解除するときに押します。

⑰ [PWR]
通話を終了します。また、電源の入／切、着信音の停止を行います。

⑱ダイヤルボタン（[0] ～ [9]、[＊]、[＃]）
電話番号や文字を入力します。また、メニューの項目を番号で選択するときにも押します。

⑲送話口（マイク）

⑳ストラップ取り付け穴

㉑赤外線ポート
赤外線通信を行うときに使用します。「赤外線通信を行う」（☞ 2-36ページ）

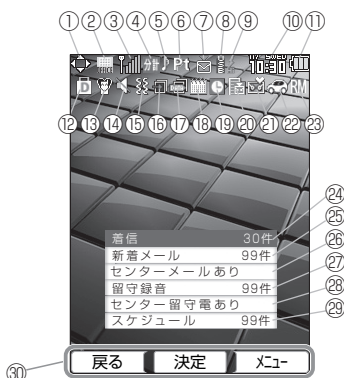
㉒スピーカ

㉓イヤホンマイク端子
市販のイヤホンマイクを接続します。「イヤホンマイクを利用する」（☞ 7-36ページ）

㉔USB端子
USBケーブルでパソコンと接続できます。「パソコンと接続する」（☞ 5-2ページ）

㉕充電端子
「充電する」（☞ 1-2ページ、1-3ページ）

㉖ロックレバー
電池カバーを固定します。「充電する」（☞ 1-2ページ）

画面の見かた

①
上下左右の項目を選択できるときに表示されます。

上下の項目を選択できるときに表示されます。

左右の項目を選択できるときに表示されます。

②
オフィスモード時に表示されます。

公衆／オフィスモード時に表示されます。

オフィス／公衆モード時に表示されます。

グループモード時に表示されます。

公衆／グループモード時に表示されます。

グループ／公衆モード時に表示されます。

転送モード時に表示されます。

③ 圏外、 ～ （公衆、オフィスモード）
受信している電波の強度を表示します。電波が強いほど通話に適しています。 や のときは電波が弱く、通話できないことがあります。圏外のときは通話できません。電波が弱く通話できないときは、電波の強い場所に移動してご使用ください。

弱い ←→ 強い

待ち受けモードを公衆＋オフィスのデュアルモードに設定しているときは、公衆基地局と事業所用コードレスシステムに設置されたアンテナからの電波の受信状態を のように表示します(上が公衆、下がオフィス)。

④ 分計
料金分計設定時に表示されます。「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞7-57ページ）

呼び出し中、通話中に表示されます。

データ送受信中に点滅します。「インターネット」（☞4-1ページ）

SSL通信中に表示されます。データ送受信中は点滅します。

J
Java™起動中に表示されます。「Javaアプリケーションを実行する」（☞7-45ページ）

⑤

Webページに音楽データが組み込まれているときに表示されます。「BGMの再生を設定する(BGM)」(☞4-21ページ)

⑥

パケット通信中に表示されます。「データ通信を行う」(☞5-3ページ)

32kPIAFS通信中に表示されます。「データ通信を行う」(☞5-3ページ)

64kPIAFSのベストエフォート通信中に表示されます。「データ通信を行う」(☞5-3ページ)

64kPIAFSのギャランティ通信中に表示されます。「データ通信を行う」(☞5-3ページ)

AO/DI(1xパケットと64kPIAFSの切り替え)通信中に表示されます。「データ通信を行う」(☞5-3ページ)

未読メールがあるときに表示されます。「受信したメールを読む」(☞3-11ページ)

⑦

Eメールやライトメールの受信中にアニメーションで表示されます。「受信したメールを読む」(☞3-11ページ)

Eメール受信に失敗し、サーバに未受信のメールが残ったときに表示されます。「Eメールを受信する」(☞3-11ページ)

⑧

USBケーブルでパソコンと接続中に表示されます。データ送受信中は点滅します。「パソコンと接続する」(☞5-2ページ)

⑨

USBケーブル経由で高速充電中に表示されます。「USBで充電する」(☞7-6ページ)

USBケーブル経由で低速充電中に表示されます。「USBで充電する」(☞7-6ページ)

⑩

日付/時計が表示されます。「日時を設定する」(☞1-21ページ)

⑪ ～

電池残量が表示されます。「充電する」(☞1-2ページ)

充電しているときに点灯します。「充電する」(☞1-2ページ)

充電するよう警告を表示しているときに点滅します。「充電する」(☞1-2ページ)

⑫

ダイヤルロック(キーロック起動、タイマ起動)設定時に表示されます。「ダイヤルをロックする(ダイヤルロック)」(☞6-8ページ)

⑬

マナーモード時に表示されます。「マナーモードを設定する」(☞2-43ページ)

オートサイレントモード時に表示されます。「特定の時間帯に着信音を消す(オートサイレント)」(☞2-44ページ)

⑭

マナーモードで各種音量がオフになっているときに表示されます。「マナーモードを設定する」(☞2-43ページ)

⑮

マナーモードで各種バイブレーションがオンのときに表示されます。「マナーモードを設定する」(☞2-43ページ)

⑯

履歴の確認されていない不在着信があるときに表示されます。「記録されている電話番号にかける(発信履歴/着信履歴/番号メモ)」(☞2-3ページ)

⑰

データ呼の着信に応答しなかったときに表示されます。「パソコン接続中に着信する」(☞5-17ページ)

⑱

通知「なし」以外の未確認のスケジュールがあるときに表示されます。「スケジュール機能を利用する」(☞7-18ページ)

⑲

目覚ましが設定されているときに表示されます。「目覚ましを利用する」(☞7-24ページ)

⑳

留守番ネットワークセンターに留守録があるときに表示されます。「留守番電話サービスを利用する（有料）」（☞7-57ページ）

㉑

マナー留守録が設定されているときに表示されます。「「留守録音」のマナーモードの設定内容を変更する」（☞2-44ページ）

留守録が設定されているときに表示されます。「留守録音を設定する」（☞2-48ページ）

未確認の留守録があるときに表示されます。「録音されたメッセージを再生／削除する」（☞2-48ページ）

保存先の容量がいっぱいでこれ以上録音できないときに表示されます。「録音されたメッセージを再生／削除する」（☞2-48ページ）

㉒

安全運転モードのときに表示されます。「安全運転モードを設定する」（☞2-44ページ）

㉓ RM

国際ローミングやオフィスローミングが設定されているときに表示されます。「国際ローミングを利用する（国際ローミング）」（☞7-53ページ）「オフィスモードで使う」（☞8-3ページ）

位置情報機能が設定されているときに表示されます。「位置情報を利用する」（☞7-32ページ）

㉔ 着信　　○○件

応答しなかった着信の件数が表示されます。「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞2-3ページ）

㉕ 新着メール　○○件

メールを受信したときに表示されます。「Eメールを受信する」（☞3-11ページ）

㉖ センターメールあり

サーバにメールがあるときに表示されます。「Eメールを受信する」（☞3-11ページ）

㉗ 留守録音　○○件

留守録にメッセージが録音されたときに表示されます。「留守録音を設定する」（☞2-48ページ）

㉘ センター留守電あり

留守番ネットワークセンターに留守録があるときに表示されます。「留守番電話サービスを利用する（有料）」（☞7-57ページ）

㉙ スケジュール　○○件

「通知する」または「事前通知する」のスケジュールが未確認のとき、その件数が表示されます。「スケジュール機能を利用する」（☞7-18ページ）

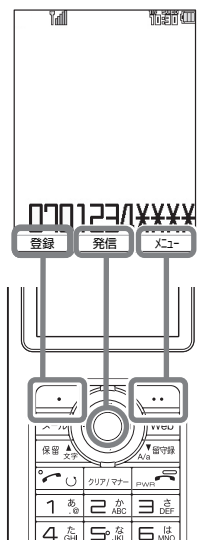
㉚ ガイダンス表示

「ガイダンス表示について」（☞1-17ページ）

お知らせ

- 「㉔着信」の表示は最大30件です。30件を越えた場合でも「30件」と表示されます。
- 「㉕新着メール」「㉗留守録音」「㉙スケジュール」の表示は最大99件です。99件を越えた場合は「＊＊件」と表示されます。

ガイダンス表示について

画面の下端には、[左ソフトキー]、◉、[右ソフトキー]のその時点の機能が表示されます。

お知らせ

- ガイダンス表示がないときは、[左ソフトキー]、[右ソフトキー]はカスタムボタンとして機能する場合があります。「カスタムボタンを設定する」（☞7-15ページ）

ボタンの使いかた

項目の選択と決定のしかた

本電話機では、画面に表示された項目を選択して「決定」という操作を行うことでさまざまな機能を実行します。項目選択と決定の操作には、上下左右ボタンを使う方法とダイヤルボタンを使う方法があります。

上下左右ボタンで選択し、決定するには

1　上下左右ボタンで項目を選択する

この画面のように選択肢が上下に並んでいる場合は、Ⓞで項目を選択します。例えば「壁紙」が選択された状態から「着信ランプ」を選択する場合は、Ⓞを5回押します。

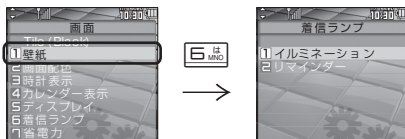
2　◉を押す

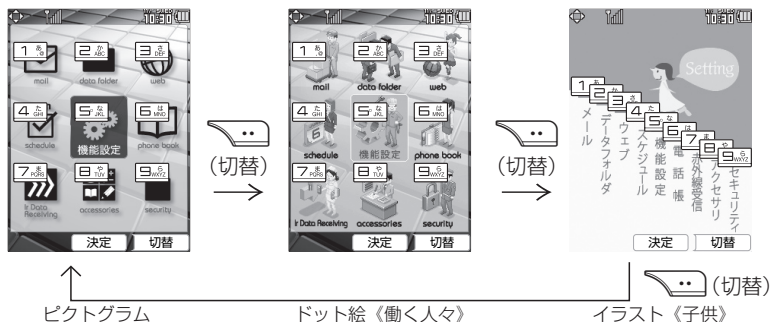
「着信ランプ」の画面が表示されます。

ダイヤルボタンで決定するには

選択肢に1、2、3…と番号が振られている場合は、その番号のボタンを押すことで項目が選択されます。

1　ダイヤルボタンを押す

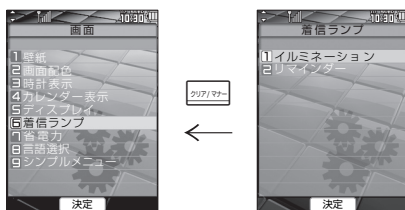
例えば「着信ランプ」を選択する場合は 6 を押します。

メインメニューについて

待ち受け画面で◉を押すとメインメニューが表示されます。メインメニューから本電話機の各機能を使用することができます。メインメニューは（切替）を押すことでデザインを切り替えることができます。
メインメニューの項目は で選択して◉を押す方法で実行できるほか、図で示したダイヤルボタンで実行することもできます。「メインメニュー画面を変更する」（☞7-13ページ）

共通のボタン操作

以下は、本電話機の機能全体に共通するボタン操作です。

前の画面に戻る

1 クリア/マナー を押す

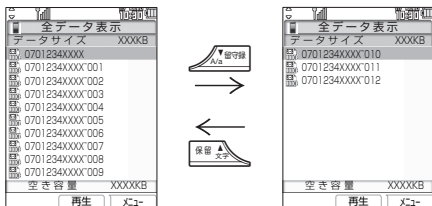
操作の途中で クリア/マナー を押すと、操作が取り消されて前の画面に戻ります。

待ち受け画面に戻る

1 PWR を押す

スクロールする

一覧表示の画面では、次のページにスクロールしたり元のページに戻ったりすることができます。

1 [留守録] または [保留/文字] を押す

[留守録] で次の一覧を表示することができます。また、[保留/文字] で前の一覧に戻ることができます。

高速スクロールする

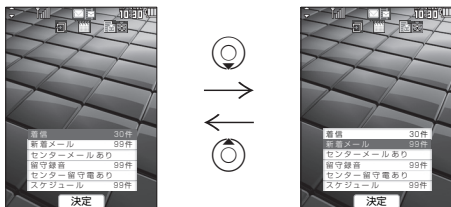
一覧表示の画面では、高速にスクロールを行うこともできます。

1 [上] または [下] を約1秒以上押したままにする

画面上のカーソルが高速にスクロールします。
[留守録]、[保留/文字] も、ボタンを約1秒押したままにしておくと、ページ単位の高速なスクロールが行えます。

ポップアップを選択する

着信があったことや新しくメールが届いたことなどを通知するのが「ポップアップ」です。

1 ポップアップが表示されているとき [上下] でポップアップを選択する

2 [決定] を押す

その通知に関連する機能の画面が表示されます。

- **ポップアップを消すには**

  [クリア/マナー] を押します。

- **ポップアップを再表示するには**

  [決定] を約1秒以上押します。

日時を設定する

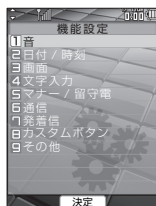
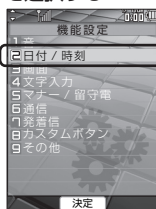
本電話機の使用開始前に日時を設定してください。日時が正しくないと、着信履歴やメールなどの日時も正しく表示されません。

1　待ち受け画面で ◉ を押す

メインメニューが表示されます。

2　◉ を押す

● 「機能設定」が選択されていないときは

　◎ で「機能設定」を選択してから ◉ を押してください。

3　◎ で（日付／時刻）を選択する

4　◉ を押す

ここに現在の設定内容が表示されます

5　◉ を押す

● （時計設定）が選択されていないときは

　◎ で（時計設定）を選択してから ◉ を押してください。

6　◎ で年月日の直したい箇所にカーソル（点滅する四角）を移動し、0 ～ 9 で正しい数字を入力する

年は、西暦の下2桁だけが変更できます。

1桁の数字を入力するときは、先頭に0をつけて「01」のように入力してください。

7　年月日を直したら、◎ でカーソルを時刻側に移動する

◎ で、年月日と時刻の間をカーソルが移動します。

8 ◎ で時刻の直したい箇所にカーソルを移動し、0 ～ 9 で正しい数字を入力する

9 正しい日時に合わせたら ● を押す

完了音が鳴って「設定しました」とメッセージが表示され、日時が設定されます。

10 PWR を押す

待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時には、「2008年1月1日 00：00」に設定されています。
- 時計の精度は、1ヶ月に±60秒程度です(25℃常温の場合)。
- 時計の表示形式を変えることもできます。「日時表示を設定する」(☞7-7ページ)
- 時刻はパケット通信時に自動的に補正されるように設定されています。「日時の自動補正を設定する」(☞7-8ページ)

2
基本機能

電話をかける（発信）…… 2-2
電話を受ける（着信）…… 2-6
通話中の操作…… 2-8
文字を入力する…… 2-13
電話帳を利用する…… 2-26
音を調整する…… 2-39
留守録音を設定する…… 2-48
マイメニューを利用する…… 2-50

電話をかける（発信）

利用できるサービス

電波の届く場所であれば、以下の相手に電話をすることができます。

・警察... 110
・消防・救急............................... 119
・海上保安庁............................... 118
・NTT災害伝言ダイヤル............ 171*[1]
・時報... 117
・天気予報................................... 177
・番号案内................................... 104*[2]
・国際電話（ウィルコム国際電話サービス）*[3]
・ポケットベル呼び出し
・フリーダイヤル*[4]

*[1] 詳しくはNTT東日本／NTT西日本にお問い合わせください。
*[2] PHS電話番号はご案内できません。
*[3] 手続きなしで、本電話機から国際電話をかけることができます。「国際電話をかける」（ウィルコム国際電話サービス）（☞7-56ページ）
*[4] 「携帯・PHS OK」または「PHS OK」が表示されている番号が対象です。

■警察、消防・救急、海上保安庁にかけるには

・移動しながらでは通話中に電話が切れてしまうことがあるので、いったん止まったうえで通報してください。
・PHSからの通報であることを伝えてください。
・通報後、警察、消防、海上保安庁から問い合わせの電話がくることがあるので、電源を切ったり移動したりしないでください。

利用できないサービス

・電報... 115
・NTTテレホンセンター............ 116*[5]
・コレクトコール......................... 106
・ダイヤルQ²
・ナビダイヤル
・衛星船舶電話

*[5] ウィルコムの電話から116へかけた場合、ウィルコムサービスセンターへつながります。

電話をかける

1　画面にアンテナが表示されていることを確認する

● 「圏外」が表示されているときは
電波が届いていないため、ご利用になれません。アンテナの表示される場所へ移動しておかけください。

2　[0わをん] ～ [9wxyz] でダイヤル ► [発信] または ◉

電話がかかります。番号が電話帳に登録されている場合は、相手の名前が表示されます。

● 一般電話にかけるには
市外局番からダイヤルしてください。電話番号は32桁までダイヤルできます。

● 番号を間違えたら
[クリア/マナー] を押すごとに最後の1桁が削除されるので、間違っている番号を削除し、正しい番号を入力しなおしてください。◎ でカーソルを削除したい箇所に移動し、[クリア/マナー] を押して削除することもできます。
◎のあと [クリア/マナー] を約1秒以上押すことで、カーソル以降の番号をすべて削除することもできます。

● 電話をかけずに待ち受け画面に戻るには
[PWR] を押します。

3　相手が出たら通話する

相手が電話に出ると画面左上に「通話中」、右下に通話時間が表示されます。

● つながらないときは
「ツーツーツー」と聞こえるときは、相手が話し中、電波が届かない場所にいる、回線が混雑しているなどの理由で電話をつなぐことができない状態にあります。そのようなときは、[PWR] を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけなおしてください。

● 通話中に音量を変えるには
音量は5段階で調節できます。◎ で現在の音量レベルが表示され、続けて ◎ を操作するごとに音量が変わります。

● 相手が出たことを振動で知らせるようにするには
相手が電話に出たことを電話機の振動でお知らせするように設定することもできます。「相手が出たことを振動で通知する（発信先応答通知）」（☞2-47ページ）

4　通話が終了したら [PWR]

画面左上に「通話終了」、右下に通話時間が表示されます。

お知らせ

- [発信キー]を押してからダイヤルしても電話をかけることができます。この場合、ダイヤルしてから約５秒経つか、[発信キー]または◉（発信）を押すと発信が行われます。
- ISDN回線で端末を指定するときに使用するサブアドレスは[✱キー]に続けて入力します。「サブアドレスを設定する」（☞7-12ページ）
- 通話時間の表示は目安です。通話料金の請求とは一致しないことがあります。
- サービスエリア内でも、屋内や車の中、ビルの谷間、地下街やトンネルの中などでは電波が弱くなるので、聞き取りにくかったり途切れたりすることがあります。
- 移動しながら通話していると、「ポポ　ポポ」と鳴ることがあります。これは通話中の公衆基地局より電波の強い公衆基地局へ回線が自動的に切り替わるハンドオーバの通知音です。ハンドオーバの際は一時的に通話が途切れることがありますが、故障ではありません。
- 移動中にサービスエリア外に出てしまうと通話が切れます。切れる直前に「ピーピー　ピーピー」という圏外警告音でお知らせするよう設定することもできます。「圏外／充電警告音を設定する（効果音）」（☞2-46ページ）
- 待ち受け画面で入力した電話番号を、電話帳に登録することができます。「入力した電話番号を登録する」（☞2-31ページ）

より強い電波を探す（パワーサーチ）

いま検知している公衆基地局よりも電波の強い公衆基地局を探します。パワーサーチにより、さらに安定したクリアな通話ができます。

1　待ち受け時または通話時に[保留/文字キー]を約１秒以上押す

「パワーサーチ」という文字が点滅します。
公衆基地局が見つかると「パワーサーチOK!」と表示され、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 待ち受け時はパワーサーチに成功したときに成功音が鳴ります。
- 通話時は３回までパワーサーチを実行することができます。この場合、◉[✱キー]（パワーサーチ）を押して実行することもできます。
- パワーサーチを行っても状態が変わらないことがあります。
- パワーサーチを行っても、電波の状態が悪い場所などではうまく公衆基地局を探せず圏外になることもあります。
- パワーサーチは公衆モード、公衆／オフィスモード、公衆／グループモードでのみ行えます。

通話ごとに発信者番号の通知／非通知を設定する

電話をかけるとき、電話番号の前に「184」を付けると相手に番号が通知されず、「186」を付けると番号が通知されます。これらの番号は以下の操作により自動的に入力することができます。

1　[0]～[9]で相手の電話番号を入力 ►[メニューキー]►[2]または[3]

電話番号を通知しないときは[2]（184）、通知するときは[3]（186）を押してください。「184」または「186」が電話番号の先頭に入力されます。

2　[発信キー]または◉

電話がかかります。

お知らせ

- 「184」「186」のどちらも付加しなかった場合は、番号通知の設定内容に従います。「発信者番号通知を設定する（番号通知）」（☞6-2ページ）
- 本電話機の番号通知が「ON」に設定されていても、電話番号の先頭に「184」を入力して電話をかけると、相手には発信者番号が通知されません。また、番号通知が「OFF」に設定されていても、電話番号の先頭に「186」を入力して電話をかけると、相手に発信者番号が通知されます。
- 番号を通知した場合でも、発信者番号を表示する機能が相手の電話機にないときは発信者番号は表示されません。

記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）

電話をかけた相手や、発信者番号を通知してかけてきた相手の電話番号は、自動的に記録されます。記録されている内容を表示させて確認したり、電話をかけたりすることができます。また、通話中に入力した番号メモを使用して電話をかけることもできます。「通話中に電話番号をメモする（番号メモ）」（☞2-11ページ）

電話帳から電話をかける方法については「電話帳を使って電話をかける」（☞2-31ページ）を参照してください。

記録される内容

種類	内容
発信履歴	本電話機からかけた電話の記録です。電話番号とかけた日時が30件まで記録されます。 発信履歴画面のマークの意味は次のとおりです。 Lメール：ライトメールの発信「ライトメールを作成して送信する」（☞3-28ページ） 分計：分計発信「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞7-57ページ） 通録：未再生の通話録音が本体に保存されている「通話を録音する（通話録音）」（☞2-8ページ） 通録：再生済みの通話録音が本体に保存されている
着信履歴	本電話機にかかってきた電話の記録です。発信者番号通知を設定している相手からの場合は、電話番号と日時が記録されます。発信者番号非通知の場合は電話番号の代わりに非通知理由が記録されます。「電話を受ける（着信）」（☞2-6ページ） 着信履歴画面のマークの意味は次のとおりです。 応答：電話に出た 不在：電話に出なかった 拒否：着信拒否の相手からの電話「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）」（☞6-4ページ） Lメール：ライトメールの着信「ライトメールを作成して送信する」（☞3-28ページ） 通録：未再生の通話録音が本体に保存されている「通話を録音する（通話録音）」（☞2-8ページ） 通録：再生済みの通話録音が本体に保存されている 留録：未再生の留守録音が本体に保存されている「留守録音を設定する」（☞2-48ページ） 留録：再生済みの留守録音が本体に保存されている
番号メモ	通話中に番号メモとして入力した電話番号です。「通話中に電話番号をメモする（番号メモ）」（☞2-11ページ）

お知らせ

- 発信履歴／着信履歴／番号メモの内容は、電池パックを交換する際にも保持されますが、万一、登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 発信履歴／着信履歴／番号メモのデータがそれぞれ30件を超えた場合は、最も古いデータから削除されます。
- 電話帳に登録してある電話番号の場合は、相手の名前も表示されます。ただし、シークレットが「ON」で電話帳に登録されている場合は「ユーザ非通知」と表示されます。また、電話帳ロックが「ON」の場合は、名前は表示されません。「電話帳に登録する」（☞2-28ページ）、「ユーザの情報をロックする（機能ロック）」（☞6-14ページ）
- 発信履歴／着信履歴／番号メモの電話番号は、電話帳に登録することができます。「発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する」（☞2-30ページ）

発信履歴／着信履歴／番号メモで電話をかける

発信履歴／着信履歴／番号メモを表示して、記録されている電話番号に電話をかけることができます。

1　待ち受け画面で◎

◎で発信履歴、◎で着信履歴が表示されます。

2　◎で「発信履歴」「着信履歴」「メモ」のいずれかを選択 ► ◎で相手を選択 [発信]

表示されている相手に電話がかかります。

● **シークレットの電話番号を一時的に表示するには**

[メニュー]（メニュー）を押し、サブメニューで [8]（シークレット一時表示）を押します。暗証番号認証を行うと、シークレット設定が「ON」で登録されている電話番号が一時的に表示されます。

基本機能　2　電話をかける（発信）

お知らせ

- 手順2で ◎ で相手を選択し、◉ を押すと、より詳しい情報が表示されます。
- 待ち受け画面に「着信　○○件」が表示されているときは、◉ を押して着信履歴を表示することもできます。
- 電話帳に登録してある相手の場合、登録してある電話番号を変更すると、履歴の表示が変更されます。
- 通話中も発信履歴／着信履歴／番号メモを参照することができます。

■リダイヤルする

待ち受け画面で [発信] を2回押すことで、前回かけた相手に電話をかけることができます。

発信履歴／着信履歴／番号メモの内容を削除する

発信履歴／着信履歴／番号メモの電話番号を1件ずつ削除します。全件をまとめて削除することもできます。

1　待ち受け画面で ◎

◎ で発信履歴、◎ で着信履歴が表示されます。

2　◎ で「発信履歴」「着信履歴」「メモ」のいずれかを選択 ► ◎ で削除するデータを選択

3　[メニュー][メニュー] ► [1] ～ [3] のいずれか

● **[1]（一件削除）を押すと**

選択した履歴1件だけを削除します。

● **[2]（選択削除）を押すと**

履歴選択画面が表示されるので、◎ で削除する履歴を選択して ◉（チェック）を押します。履歴の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
全件選択する場合は、[メニュー][1]（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、[メニュー][2]（全件解除）を押します。
削除するデータの選択を終えたら [ソフトキー]（削除）を押します。

● **[3]（全件削除）を押すと**

履歴の全データ（発信履歴／着信履歴／番号メモ）を削除します。

4　◎ で「Yes」を選択 ◉

履歴が削除され、「削除しました」と表示されます。

ポーズを利用する

発信する電話番号にポーズ（一時停止）を挿入することができます。ポーズを挿入すると、発信が一時的に停止しますが、[発信] を押すとポーズ以降の番号が発信されます。留守番電話の暗証番号の入力やプッシュホンサービスなど、途中でポーズが必要な場合にご利用ください。電話帳にポーズ入りで登録することもできます。

1　ダイヤルボタンで電話番号を入力 [メニュー][6] ► ダイヤルボタンで続きの番号を入力する

[6]（ポーズ）を押した場所に「P」が表示されます。

2　[発信] または ◉

電話番号の発信が行われます。「P」のところで発信は停止します。

3　[発信]

「P」以降の番号が発信されます。

お知らせ

- ポーズを入れたいところで、[留守録] を押してもポーズを挿入できます。
- 電話帳に電話番号を「P」付きで登録しておくと、電話帳からかけた電話でポーズを利用することができます。「発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する」（☞2-30ページ）

電話を受ける（着信）

かかってきた電話を受けます。

1　着信音が鳴る

画面が点灯し、「着信中」と表示されます。相手の発信者番号が通知されてきたときは、画面に電話番号が表示されます。電話帳に登録されている相手の場合、名前も表示されます。
着信ランプの設定に従い、着信ランプが点滅します。「着信ランプを設定する」（☞7-10ページ）

- **着信中に着信音を止めるには（クイックサイレント）**
  着信を切断せずに着信音やバイブレータの振動を止めるには、（マナー）または を押します。この状態から着信を中断するには、（拒否）または を、通話を始めるには を押します。
- **留守録音で応答するには**
  または ◉（留守録）を押します。「留守録音を設定／解除する」（☞2-48ページ）

2　 を押して通話

- **通話中に音量を変えるには**
  音量は5段階で調節できます。 で現在の音量レベルが表示され、続けて を操作するごとに音量が変わります。

3　通話が終わったら

画面左上に「通話終了」、右下に通話時間が表示されます。

お知らせ

- 画面に「圏外」が表示されているときは、電話を受けることはできません。
- 着信音は着信メロディの設定によって変更することができます。「着信メロディを設定する」（☞2-39ページ）
- 着信の通知方法をバイブレータに設定している場合は、電話がかかってきたことを振動によってお知らせします。「バイブレータを設定する」（☞2-42ページ）
- エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、 を押すほかに、、、、、 〜 、、、 でも電話に出ることができます。「エニーキーアンサーを設定する」（☞7-12ページ）

相手の発信者番号が通知されないとき

発信者番号が非通知の相手からの着信では、非通知理由が画面に表示されます。

非通知理由	意味
ユーザ非通知	相手が発信者番号非通知に設定しています。
公衆電話発信	相手が公衆電話から発信しています。
通知不可能	国際電話などで発信者番号が通知できません。

お知らせ

- 相手の発信者番号が非通知のときは、着信履歴には電話番号の代わりに非通知理由が記録されます。「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞2-3ページ）

電話に出ないとき

電話に出なかったときは、待ち受け画面に「 」と「着信○○件」が表示されます。
「 」と「着信○○件」は着信履歴を確認すると消えます。「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞2-3ページ）

お知らせ

- リマインダーを設定しているときは、設定に従って着信ランプが点滅します。ボタンを何か1つ押すと点滅は停止します。「リマインダーを設定する」（☞7-11ページ）

通話中に電話がかかってきたとき（通信中着信）

「音声、PIAFS通信中着信」が「ON」の場合は、通話中に着信があると「プップッ　プップッ…」と鳴り、画面には着信の種類に応じて次のメッセージが表示されます。
　音声着信（通常の電話）の場合→「着信がありました」
　Eメール自動受信着信の場合→「センターにEメールがあります」
　データ着信の場合→「データ着信がありました」
　位置情報通知着信の場合→「位置情報通知着信がありました」
通話中着信のメッセージは ◉ で消すことができます。

通話を終了すると、通話中の着信の件数が「着信○○件」と表示されます。通話中の着信は、待ち受け画面では 📩 のマークが表示されます。

お知らせ

- ライトメールは、通話中は着信できません。
- 通話中に電話をかけてきた相手側には「ツーツーツー」という話し中の音が聞こえます。
- リマインダーを設定しているときは、設定に従って着信ランプが点滅します。通話終了後、待ち受け画面でボタンを何か１つ押すと点滅は停止します。「リマインダーを設定する」(☞ 7-11ページ)

通信中の着信を設定する

通信中の着信を受けるかどうかを設定します。

1 待ち受け画面で ◉ [5] [6]

2 [5] [1] ► 着信を受けるときは [1]、受けないときは [2]

設定が変更され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

通話中の操作

通話中に受話音量（相手の声の音量）やスピーカ音量を変えることができます。音量は1～5の5段階で調節できます。

受話音量を調節する

1 通話中に ◎

現在の音量レベルが表示されます。

2 ◎ で音量を変更 ◉

音量は ◎ で大きくなり、◎ で小さくなります。約60秒以上操作をしないと、その時点の音量が設定され通話画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時には、音量は「VOL.4」に設定されています。
- 通話を終了しても、設定した受話音量は次に変更するまで変わりません。
- 待ち受け中に受話音量を設定することもできます。「受話音量を設定する（受話音量／スピーカ音量）」（☞2-39ページ）
- 通話録音中は ◎ で受話音量を変えることもできますが、録音内容の音量は変わりません。
- スピーカでの受話については「手に持たずに通話する（ハンズフリー通話／スピーカ受話）」（☞2-10ページ）を参照してください。

通話を保留にする

通話を一時的に中断したいときに保留にします。保留中は、相手に保留音が流れ、こちらの音声は聞こえません。

1 通話中に 保留

「保留中」と表示され、設定している保留音が相手に流れます。

2 通話を再開するときは 保留 または ☎

お知らせ

- 通話中に ◉ 2（保留）で保留にすることもできます。また、保留中に ◉ 2（保留解除）で保留を解除することもできます。
- 保留音は、保留音設定によって変更することができます。「保留音を設定する」（☞2-46ページ）
- オフィスモードでは、オフィスシステム（PBX）の保留音が流れます。
- 保留は、グループモードではご利用いただけません。

通話を録音する（通話録音）

通話相手の声を録音できます（自分の声は録音されません）。録音内容は電源を切っても消えません。
1件の録音時間や、録音件数に制限はなく、メモリの空き容量一杯まで録音できます。ただし、保存先の空き容量が約3秒未満のときは、録音できません。

1 通話中に 留守録

録音が開始され、「録音時間／録音可能時間」（時：分：秒）が表示されます。

2 ◉

録音が終了し、「録音終了」と、「録音時間／録音可能時間」（時：分：秒）が表示されます。
通話が終了したときや保存先の空き容量がなくなったときも録音は終了します。

お知らせ

- 録音時間が約3秒未満だった場合は、その録音内容は保存されません。
- 通話中に ◉ 3（通話録音）で録音を開始することもできます。
- 録音の開始や終了の成功音は鳴りません。
- 録音中は充電警告音は鳴らず、「 」が表示されます。
- 録音中、◎ で受話音量を調節することもできますが、録音内容の音量は変化しません。
- 保存先の空き容量が足りなくなると、保存できなくなります。不要なデータは削除してください。「通話録音を削除する」（☞2-9ページ）、「データを削除する」（☞7-49ページ）

通話録音を再生する

■データフォルダから再生する

1 待ち受け画面で◉ 2

2 ◎で「録音」を選択◉ ► ◎で「通話録音」を選択◉

録音データ一覧が表示されます。再生されていない録音データは「」、再生済みの録音データは「」が表示されます。録音データ名は、相手の電話番号が使われます（番号非通知での着信の場合は、非通知理由が表示されます）。同じ電話番号が複数ある場合には、「相手の電話番号~連番」になります。電話帳に登録してある相手の場合は、登録名が表示されます。

3 ◎で再生する録音データを選択◉ ► ◉

録音データが再生されます。

- **再生を終了するには**
  再生中に◉（一時停止）または クリア/マナー を押します。
- **再生中の録音データを削除するには**
  再生中に（削除）を押します。「削除しますか？」と表示されるので、「Yes」を選択して◉を押します。録音データが削除されます。他の録音データがある場合は次の録音データが再生され、録音データがない場合は元の画面に戻ります。
- **音量を調節するには**
  ◎：再生音量レベルが上がります。
  ◎：再生音量レベルが下がります。
- **スピーカから音を聞くには**
  再生中に（スピーカ）を押します。受話口（レシーバ）に切り替えるには（レシーバ）を押します。

お知らせ

- 録音データ一覧では、新しい順にデータが並んでいます。表示順序を変えることもできます。「データを並べ替える」（☞7-47ページ）
- 再生中に 保留 を押すと前の録音が再生され、 留守録 を押すと次の録音データが再生されます。
- オートサイレントモードやマナーモードのときに再生しようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して◉を押すと、再生が開始されます。
- シークレットが「ON」で電話帳に登録されている相手の場合は、通話録音のデータ名は「ユーザ非通知」になります。登録名を一時的に表示するには、（メニュー）を押し、サブメニューで 8（シークレット一時表示）を押します。暗証番号認証を行うと、登録名が表示されます。

■発信履歴／着信履歴から再生する

通話録音のデータは、発信履歴／着信履歴から再生することもできます。

1 待ち受け画面で◎

◎で発信履歴、◎で着信履歴が表示されます。

2 ◎で「発信履歴」「着信履歴」のいずれかを選択 ► 7

3 ◎で履歴を選択◉ ► ◉

録音データが再生されます。

通話録音を削除する

1 待ち受け画面で◉ 2

2 ◎で「録音」を選択◉ ► ◎で「通話録音」を選択◉ ► ◎で削除する録音データを選択

3 ► 1 ～ 3 のいずれか

- **1（一件削除）を押すと**
  選択した録音データ1件だけを削除します。
- **2（選択削除）を押すと**
  録音データ選択画面が表示されるので、◎で削除する録音データを選択して◉（チェック）を押します。録音データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度◉（チェック）を押します。
  全件選択する場合は、 1（全件選択）を押します。
  チェックをすべて外す場合は、 2（全件解除）を押します。
  削除するデータの選択を終えたら（削除）を押します。
- **3（全件削除）を押すと**
  「通話録音」フォルダ内の全データを削除します。暗証番号認証を行います。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

4 ◎で「Yes」を選択◉

データが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 「削除中」のメッセージが表示されているときに[PWR]を押すと、その時点までのデータが削除され、処理が中断します。
- 削除対象の録音データの中に、他の機能で設定しているデータが含まれている場合、設定データを削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して◉を押すと、設定データも含め選択したすべての録音メッセージが削除されます。
- フォルダ内のデータを一括して削除することもできます。「フォルダを削除する」（☞7-51ページ）

小声で話す（ひそひそ通話）

小声でも相手に声が伝わるよう、送話音量を大きくします。あわせて受話音量も大きくなります。

1 通話中に◉[4]

ひそひそ通話が開始され、「ひそひそ通話中」と表示されます。通話が終了すると、ひそひそ通話は解除されます。

● **通話中にひそひそ通話を解除するには**

◉（機能）を押し、[4]（ひそひそ通話解除）を押します。

お知らせ

- 最初からひそひそ通話になるよう設定することもできます。「ひそひそ通話を設定する(ひそひそ通話)」(☞2-39ページ)

手に持たずに通話する（ハンズフリー通話／スピーカ受話）

ハンズフリー通話を利用すると、本電話機を手に持たずに話すことができます。また、スピーカ受話を利用すると相手の声をスピーカで聞くことができます。

ハンズフリー通話にする

ハンズフリー通話時は、本電話機を手に持たずに相手と通話することができます。相手の声は、本電話機背面のスピーカから聞こえます。

1 通話中に◉[9]

ハンズフリー通話が開始され、「H-Free通話中」と表示されます。

● **ハンズフリー通話を解除するには**

◉[9]を押します。

お知らせ

- ハウリング防止のため、ハンズフリー通話中は一方が話しているときはもう一方の声は音量が下げられ相手には聞こえません。相手が話し終えてから話すようにしてください。

スピーカ受話にする

相手の声を受話口（レシーバ）ではなく本電話機背面のスピーカで聞くことができます。こちら側の声は、相手に伝わりません。

1 通話中に◉[8]

スピーカでの受話に切り替わり、「スピーカ受話中」と表示されます。

● **スピーカ受話を解除するには**

◉（機能）を押し、[8]（スピーカ受話解除）を押します。

通話中に電話帳を検索する

通話中に電話帳を検索して電話番号など登録内容を表示することができます。ただし、登録や編集は行えません。電話帳の操作の詳細は「電話帳を利用する」（☞2-26ページ）を参照してください。

1 通話中に◉[1]

電話帳が表示されます。

● **登録内容の詳細を表示するには**

◎で表示する相手を選択して◉を押します。

● **元の画面に戻すには**

[クリア/マナー]を2回押します。また、何も操作せずに約60秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

通話中にスケジュールを確認する

通話中にスケジュールを表示することができます。ただし、登録や編集は行えません。スケジュール機能の詳細は「スケジュール機能を利用する」（☞7-18ページ）を参照してください。

1 通話中に◉[7]

2 ◎でスケジュールを確認する日付を選択◉ ► ◎でスケジュールを選択◉

スケジュールの詳細が表示されます。

● **元の画面に戻すには**

[クリア/マナー]を3回押します。また、何も操作せずに約60秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

通話中に電話番号をメモする（番号メモ）

通話中に32桁までの電話番号を30件までメモすることができます。

1 通話中に ◉ 5

2 ダイヤルボタンで電話番号を入力 ◉

番号メモが登録され、「登録しました」と表示されます。

- **登録しないで元の画面に戻すには**
  ◉ を押す前に （戻る）を押すと、番号メモは登録されずに通話中画面に戻ります。また、何も操作せずに約60秒経過した場合も、通話中画面に戻ります。
- **番号を削除するには**
  クリア/マナー を押します。最後の数字が削除されます。入力中の番号メモをすべて削除するには、クリア/マナー を約1秒以上押したままにします。
- **ポーズを入力するには**
  番号メモにポーズを入力するには、 （ポーズ）または 留守録 を押します。ポーズを入力した箇所には「P」が表示されます。

お知らせ

- グループモードでは番号メモは利用できません。
- 30件を超えて登録すると、一番古いデータが1件削除され、新しいデータが登録されます。

通話中にメモ帳に入力する

通話中にメモ帳を表示したり入力したりすることができます。メモ帳の詳細は「メモ帳を利用する」（☞7-30ページ）を参照してください。

1 通話中に ◉ 6

2 ► 文字を入力 ◉

3 ファイル名を編集 ◉

メモが保存され、「登録しました」と表示されます。

- **既存のメモの内容を表示するには**
  メモ帳一覧表示中に でメモを選択して ◉ を押します。
- **元の画面に戻すには**
  クリア/マナー を押します。また、何も操作せずに約60秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 入力の途中で、何も操作せずに約60秒経過するか通話が切断された場合は、その時点で確定済みだった文字が自動的にメモ帳に登録されます。

通話中に自分の電話番号を確認する

通話中に本電話機の電話番号やEメールアドレスなどプロフィール情報を表示することができます。ただし、登録や編集は行えません。プロフィール機能の詳細は「プロフィールを表示する」（☞7-5ページ）を参照してください。

1 通話中に ◉ 0

プロフィールが表示されます。

- **各種情報を表示するには**
  で表示させたい項目を選択します。
- **元の画面に戻すには**
  クリア/マナー を押します。また、何も操作せずに約60秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

通話中に電話番号を送出する

通話中に電話番号を送出することができます。

1 通話中に番号を入力

入力した番号が相手に送出されます。

電話帳から送出する

1 通話中に ◉ 1

2 相手先を検索する

電話帳の一覧画面は、前回使用したときと同じ方法で表示されますので、必要に応じて検索方法を切り替えます。次の6つの方法で検索できます。

- **あかさたな一覧で検索する**（☞2-32ページ）
- **グループ一覧で検索する**（☞2-32ページ）
- **メモリNo.一覧で検索する**（☞2-32ページ）
- **読み検索一覧で検索する**（☞2-33ページ）
- **電話番号で検索する**（☞2-33ページ）
- **メールアドレスで検索する**（☞2-33ページ）

3　相手先を選択 ◉

電話帳詳細画面が表示されます。
電話帳詳細画面通常表示および電話帳詳細画面一覧表示の説明については、「電話帳を使って電話をかける」（☞2-31ページ）の手順3を参照してください。

4　電話帳詳細画面通常表示中、◎で発信する電話番号に対応する分類マークを選択

そのマークが設定されている電話番号が表示されます。

- **電話帳詳細画面一覧表示のときは**
  ◎で発信する電話番号に対応する分類マークを選択します。

5　◉または ☎

選択した電話番号が相手に送出されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、電話帳は「あかさたな一覧」で表示するように設定されています。
- 電話帳からの電話番号送出は、公衆モード、オフィスモードでのみ行えます。

発信履歴／着信履歴／番号メモから送出する

1　通話中に ◎

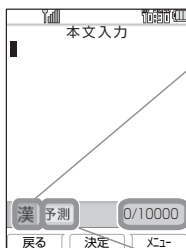
2　◎で「発信履歴」「着信履歴」「メモ」のいずれかを選択 ► ◎で相手を選択 ◉

3　◉または ☎

選択した電話番号が相手に送出されます。

文字を入力する

文字入力画面について

文字を入力する画面では、次の記号や数字が表示されます。

お知らせ

- 画面の右下に表示される「入力した文字数／入力できる文字数」は、半角文字の文字数で表示され、全角文字の場合は、１文字で半角文字２文字になります。

入力モードについて

電話帳に名前を入力するときやメールを書くときなど、文字を入力するときにはまず「入力モード」を選びます。ひらがな、カタカナ、英字（アルファベット）、数字といった文字の種類のうち、どの文字を入力するかを決めるのが入力モードです。入力モードは[保留/文字]で切り替えます。現在の入力モードは画面の左下に表示されます。

入力モード	入力できる文字
漢 漢字モード	ひらがな（あ　い　う　え　お）　漢字
ア カタカナモード（全角）	全角カタカナ（ア　イ　ウ　エ　オ）
ｱｲ カタカナモード（半角）	半角カタカナ（ｱｲｳｴｵ）
A 英字モード（全角）	全角英字（Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ　Ｅ）
AB 英字モード（半角）	半角英字（ABCDE）
1 数字モード	半角数字（１２３４５）

お知らせ

- 漢字は、漢字モードで入力したひらがなを変換して入力します。
- 全角と半角は、別の文字として扱われます。例えば全角カタカナの「ア」と半角カタカナの「ｱ」は別の文字になります。
- 入力画面によって、選択できる入力モードは異なります。例えば、Eメールの本文を入力する画面ではカタカナモード（半角）は選択できません。

入力する文字の種類を切り替える

入力する文字に応じて、入力モードを切り替えます。

1 文字を入力する画面で [保留/文字] ► [保留/文字] を押して入力モードを選択 ◉

入力モードが確定し、その入力モードの文字が入力できるようになります。◉を押さずにダイヤルボタンを押し、入力モードを確定するとともに文字入力を開始することもできます。選択中の入力モードの文字が入力されます。

● ◎ で入力モードを選択するには

文字入力モード選択画面では ◎ でも入力モードを選択できます。
◎ で左の入力モード、◎ で右の入力モードを選択できます。

お知らせ

- 記号や絵文字を入力することもできます。「記号や絵文字を入力する」（☞2-21ページ）
- 入力画面によって、選択できる入力モードは異なります。例えば、Eメールの本文を入力する画面ではカタカナモード（半角）は選択できません。

ひらがなや漢字を入力する（漢字モード）

ひらがなや漢字は漢字モードで入力します。入力モードの切り替えについては「入力する文字の種類を切り替える」（☞2-14ページ）を参照してください。
ひらがなは、ダイヤルボタンを次の表の回数だけ押すことによって入力します。
漢字は、読みをひらがなで入力してから漢字に変換して入力します。変換には、予測変換によって自動的に変換する方法と（変換）を押して変換する方法とがあります。

ボタン	ボタンを押したときに入力される文字									
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目
1	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
2	か	き	く	け	こ					
3	さ	し	す	せ	そ					
4	た	ち	つ	て	と	っ				
5	な	に	ぬ	ね	の					
6	は	ひ	ふ	へ	ほ					
7	ま	み	む	め	も					
8	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ				
9	ら	り	る	れ	ろ					
0	わ	を	ん	ー	、	。	？	！	～	全角スペース
#	改行									
＊	゛	゜								

お知らせ

- 同じ行の文字を続けて入力するときは、でカーソルを右に移動してからボタンを押します。例えば「あい」と入力するときは、1を押して「あ」を入力し、でカーソルを右に移動してから1を2回押して「い」を入力します。
  ① 1………………「あ」が入力される
  ② ………………カーソルが右に移動する
  ③ 1 1…………「い」が入力される
- #で改行が入力できるのは、プロフィールのメモ、メールの本文、署名設定、引用設定、自作定型文、スケジュールの内容、電話帳のメモ、アクセサリのメモ帳です。
- 濁点「゛」は、濁点の付く文字（か行、さ行、た行、は行）のあとに＊を押して入力します。
- 半濁点「゜」は、半濁点の付く文字（は行）のあとに＊を2回押して入力します。
- 濁点や半濁点がつかない文字でも、つけることは可能です。文字を入力し、でカーソルを右に移動してから＊を押して入力します。その場合、文字と濁点または半濁点はどちらも全角文字で入力されます。
- 「ぁぃぅぇぉっゃゅょゎ」（小さいひらがな）は、大きい文字を入力したあとまたは＊を押して入力することもできます。
- 「つ」の場合、＊を押すごとに「づ」→「っ」→「つ」となります。
- 表に示された回数を超えてボタンを押すと、最初の文字に戻ります。
- ダイヤルボタンを押したあとにを押すと、逆順に進みます。

予測変換を利用する（予測変換）

漢字モードで予測変換が「ON」の場合、その時点で入力が予測される文字列の一覧が表示されます。入力したい文字列が一覧にあるときは、それを選択するだけで文字列が入力できるので、文字入力の手間を大幅に減らすことができます。

1　漢字モードで文字を入力する

入力した文字から予測される予測候補の一覧が表示されます。
入力したい予測候補が表示されるまで文字を入力していきます。

2　で入力したい予測候補を選択

選択した候補が入力されます。

- **予測変換候補画面について**
  一覧の右上の数字は、選択した予測候補の番号と予測候補の総数です。
  で予測候補の先頭、で予測候補の末尾にカーソルが移動し、さらにでカーソルを上下左右に移動することができます。

お知らせ

- お買い上げ時には、予測変換は「ON」に設定されています。

■予測変換をON／OFFする

1　文字入力画面で

お知らせ

- 予測変換を「ON」にする場合も操作は同じです。

漢字に変換する（漢字変換）

予測変換が「OFF」の場合は予測候補が表示されないので、漢字を入力するにはひらがなを漢字に変換する操作が必要です。

1　ひらがなで読みを入力 ► で変換

再度を押すと変換候補一覧が表示されます。

- **変換結果を確定するには**
  表示された変換候補でよければを押します。

2　で変換候補を選択

変換が確定し、文字が入力されます。

お知らせ

- 読みは最大で20文字まで入力できます。

変換の区切りを変更する

予測変換や漢字変換したときに意図しない位置で文字列が区切られ、正しく変換されないときは、変換の区切りを変更します。

1　文字を入力する ► ► 適切な区切りになるまで で変換の範囲を短くする

- **漢字変換のときは**
  文字を入力した後、を2回押します。その後、適切な区切りになるまでを押して、変換の範囲を短くします。
- **変換の範囲を広げるには**
  で変換の範囲を右に広げます。

2　で変換候補を選択

変換された部分が確定し、変換されていない部分が変換対象になります。残りの未変換部分についても同様な操作を繰り返して変換します。
変換が必要ない場合はを押して文字列を確定します。

ひらがなをカタカナや英数に変換する（カナ英数変換）

漢字モードで入力したひらがなをカタカナ、英字、数字に変換します。

1　ひらがなを入力する ►

入力したボタンに対応する英字や数字からなる候補が表示されます。例えば「あした」（1、3×2回、4）と入力したときは、数字「１３４」「134」、数字を時間形式にしたもの「１：３４」「1:34」、英字「.ＥＧ」「.EG」「.ｅｇ」「.eg」、カタカナ「アシタ」「ｱｼﾀ」が変換候補として表示されます。

2　で変換候補を選択

変換が確定し、文字が入力されます。

お知らせ

- カナ英数変換は予測変換が「ON」「OFF」のいずれの場合でも行えます。

よく使う語句をユーザ辞書に登録する

よく使う語句を読みと一緒にユーザ辞書に登録します。登録した語句は、予測変換や漢字変換により入力することができます。変換に手間のかかる語句を簡単な読みで登録しておくと、入力の手間が省けて便利です。
ユーザ辞書には最大250件までの語句を登録することができます。1件につき語句は全角15文字（半角30文字）まで、読みは全角8文字まで登録することができます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 4 1

登録済みの語句がある場合は、その語句と読みが表示されます。
DIC：登録されている単語や語句
ヨミ：登録されている単語や語句の読み

2 ◉ ► 登録する単語や語句を入力 ◉ ► 登録する単語や語句の読みを入力 ◉

単語や語句が登録され、「登録しました」と表示されます。

- **文字入力画面から単語登録画面を表示するには**
  （メニュー）を押し、（次頁）を押し、7（ユーザ辞書登録）を押します。

■登録語句を変更する

登録した単語や語句、読みを変更することができます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 4 1

2 ◎ で変更する語句を選択 ◉ ► 必要に応じて語句を修正 ◉ ► 必要に応じて読みを修正 ◉

変更が登録され、「登録しました」と表示されます。

■登録語句を削除する

1 待ち受け画面で ◉ 5 4 1

2 ◎ で削除する語句を選択

3 ► 1 ～ 3 のいずれか

- **1（一件削除）を押すと**
  選択した語句1件だけを削除します。
- **2（選択削除）を押すと**
  語句選択画面が表示されるので、◎ で削除する語句を選択して ◉（チェック）を押します。語句の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
  全件選択する場合は、1（全件選択）を押します。
  チェックをすべて外す場合は、2（全件解除）を押します。
  削除するデータの選択を終えたら（削除）を押します。
- **3（全件削除）を押すと**
  登録語句の全データを削除します。

4 ◎ で「Yes」を選択 ◉

語句が削除され、「削除しました」と表示されます。

学習内容を削除する

本電話機は、予測変換や漢字変換での変換結果を記録し、次回からの変換時に変換候補として優先的に表示します。この学習内容を削除することができます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 4 3

2 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

認証されると、「学習文字をクリアしますか？」と表示されます。

3 ◎ で「Yes」を選択 ◉

学習内容が削除され、「クリアしました」と表示されます。

カタカナを入力する（カタカナモード）

カタカナは、カタカナモード（全角）またはカタカナモード（半角）で、ダイヤルボタンを次の表の回数だけ押すことによって入力します。入力モードの切り替えについては「入力する文字の種類を切り替える」（☞2-14ページ）を参照してください。

ボタン	ボタンを押したときに入力される文字									
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目
1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ
2	カ	キ	ク	ケ	コ					
3	サ	シ	ス	セ	ソ					
4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ				
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ					
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ					
7	マ	ミ	ム	メ	モ					
8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ				
9	ラ	リ	ル	レ	ロ					
0	ワ	ヲ	ン	ー	、	。	？	！	～	全角※ スペース
#	改行									
*	゛	゜								

※カタカナモード（半角）の場合は、半角スペースが入力されます。

お知らせ

- 同じ行の文字を続けて入力するときは、◎でカーソルを移動してからボタンを押します。例えば「アイ」と入力するときは、1を押して「ア」を入力し、◎でカーソルを移動してから1を2回押して「イ」を入力します。
- #で改行が入力できるのは、プロフィールのメモ、メールの本文、署名設定、引用設定、自作定型文、スケジュールの内容、電話帳のメモ、アクセサリのメモ帳です。
- 濁点「゛」は、濁点の付く文字（カ行、サ行、タ行、ハ行、「ウ」）のあとに*を押して入力します。
- 半濁点「゜」は、半濁点の付く文字（ハ行）のあとに*を2回押して入力します。
- 濁点や半濁点がつかない文字でも、つけることは可能です。文字を入力し、◎でカーソルを右に移動してから*を押して入力します。全角カタカナモードの場合、文字と濁点または半濁点は、どちらも全角で入力されます。半角カタカナモードの場合は、いずれの場合も文字および濁点、半濁点は半角で入力されます。
- 「ァィゥェォッャュョヮ」（小さいカタカナ）は、大きい文字を入力したあとA/aまたは*を押して入力することもできます。ただし、小さい「ヮ」が入力できるのは全角の場合だけです。全角カタカナモードで「ウ」を入力した状態で、*を押すと濁点あり／なしの切替えとなります。小さいカタカナの「ゥ」を入力するには、全角カタカナモードで「ウ」を入力した状態でA/aを押します。
- 「ツ」の場合、*を押すごとに「ヅ」→「ッ」→「ツ」となります。
- 表に示された回数を超えてボタンを押すと、最初の文字に戻ります。
- ダイヤルボタンを押したあとにクリアを押すと、逆順に進みます。
- 漢字モードの予測候補からカタカナの言葉を選択することで漢字モードでカタカナを入力することもできます。
- Eメールでは半角カタカナは入力できません。貼り付け、定型文からの入力などで半角カタカナを入力した場合は、半角のカタカナは切り捨てられます。

英字を入力する（英字モード）

英字（アルファベット）は、英字モード（全角）または英字モード（半角）で、ダイヤルボタンを次の表の回数だけ押すことによって入力します。入力モードの切り替えについては「入力する文字の種類を切り替える」（☞2-14ページ）を参照してください。
各ダイヤルボタンで入力できる文字の最後にはそのボタンと同じ数字があるので、英字モードで数字を入力することもできます。

ボタン	ボタンを押したときに入力される文字										
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	11回目
1	.	@	,	/	:	-	~	_	+	^	1
2	A	B	C	a	b	c	2				
3	D	E	F	d	e	f	3				
4	G	H	I	g	h	i	4				
5	J	K	L	j	k	l	5				
6	M	N	O	m	n	o	6				
7	P	Q	R	S	p	q	r	s	7		
8	T	U	V	t	u	v	8				
9	W	X	Y	Z	w	x	y	z	9		
0	?	!	;	‘	0	スペース					
#	改行										
*	英字モード（半角）の場合は、Eメールのアドレス用の文字列（http://など）										

お知らせ

- 同じ行の文字を続けて入力するときは、◎でカーソルを右に移動してからボタンを押します。例えば「AB」と入力するときは、2を押して「A」を入力し、◎でカーソルを右に移動してから2を2回押して「B」を入力します。
  ① 2 ………………「A」が入力される
  ② ◎ ………………カーソルが右に移動する
  ③ 2 2 …………「B」が入力される
- #で改行が入力できるのは、プロフィールのメモ、メールの本文、署名設定、引用設定、自作定型文、スケジュールの内容、電話帳のメモ、アクセサリのメモ帳です。
- 表に示された回数を超えてボタンを押すと、最初の文字に戻ります。
- ダイヤルボタンを押したあとにクリアボタンを押すと、逆順に進みます。
- 英字モードが小文字の場合、表の網かけの文字は入力できません。「大文字と小文字を切り替える」（☞2-20ページ）

大文字と小文字を切り替える

英字モード（全角）と英字モード（半角）では、それぞれ大文字と小文字を切り替えることができます。

	大文字	小文字
英字モード（全角）	A　ＡＢＣ…	a　ａｂｃ…
英字モード（半角）	AB　ABC…	ab　abc…

1　英字モードで文字を入力する

最初は大文字で入力されます。

2　小文字にしたい文字を入力 ►

カーソルの位置の文字が小文字に変わります。大文字に戻すには、もう一度 を押します。

- **入力前に大文字と小文字を切り替えるには**

  文字を入力する前に を押します。を押すごとに、大文字と小文字が切り替わります。

アドレス文字を入力する

英字モード（半角）ではアドレス用の文字列を入力することができます。Eメールアドレスや Webのアドレス（URL）を入力するときに便利です。

1　英字モード（半角）で ✻

2　入力したいアドレス文字を選択 ◉

選択した文字が入力されます。

数字を入力する（数字モード）

数字を入力するときは、数字モードに切り替えます。入力モードの切り替えについては「入力する文字の種類を切り替える」(☞2-14ページ)を参照してください。

ボタン	ボタンを押したときに入力される文字
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
0	0
#	#
✻	*

- **「-」（ハイフン）を入力するには**

  「-」を入力するときは、英字モードで 1 を6回押します。「英字を入力する(英字モード)」(☞2-19ページ)

改行を挿入する

プロフィールのメモ、メールの本文、署名設定、引用設定、自作定型文、スケジュールの内容、電話帳のメモ、アクセサリのメモ帳では、文章に改行を入力することができます。

1　で改行したい箇所にカーソルを移動 ► #

カーソルのあった箇所に改行が挿入されます。改行は「↲」で表されます。

お知らせ

- カーソルが文章の最後にあるときは で改行を挿入することもできます。

記号や絵文字を入力する

本電話機では記号や絵文字を入力することができます。記号や絵文字を入力できるのは、メールの本文や署名、ブックマークのタイトル、ページメモのタイトル、スケジュール、電話帳の名前、メモ帳、ユーザ辞書の単語、自作定型文などです。

1 文字入力画面で [キー] [1] または [2]

● **半角の記号しか入力できない場合は**
メールアドレスの入力画面など全角の文字が入力できない画面では、半角記号の選択画面のみ表示されます。

2 [キー]、[キー] で入力したい記号／絵文字のページを表示する

各一覧画面は、ページを切り替えていくことですべて表示することができます。[キー] で次のページ、[キー] で前のページを表示することができます。

● **記号一覧画面の切り替えについて**
半角記号1画面、全角記号8画面の順に表示されます。「記号･絵文字一覧」（☞A-2ページ）

● **絵文字一覧画面の切り替えについて**
Web入力用絵文字6画面、絵文字4画面の順に表示されます。「記号・絵文字一覧」（☞A-2ページ）

3 [キー] で記号／絵文字を選択 [キー]

記号／絵文字が入力されます。

お知らせ

- ライトメールでは、アニメーション絵文字を使用することもできます。「アニメーション絵文字を添付する」（☞3-28ページ）
- Web入力用絵文字を使用してメールを送信した場合、相手の携帯電話によっては正しく表示されないことがあります。
- 絵文字は、対応しているウィルコムの電話機で使用できます。絵文字に対応していない機種や他社の電話機やパソコンなどにメールで送信すると、相手側で正しく表示されないことがあります。

定型文を引用する

文字入力画面では、定型文を呼び出して入力することができます。定型文には次の3種類があります。

・自作定型文（自分で登録した定型文）
・顔文字（記号を組み合わせて表情を表した文字列）
・アドレス文字（Eメールアドレスや Webのアドレスで使われる文字列）

自作定型文を引用する

1 文字入力画面で [キー] [6] [1]

自分で登録した定型文の一覧が表示されます。「自作定型文を登録／編集する」（☞2-22ページ）

● **詳細を表示するには**
自作定型文の一覧には、全角換算で最初の10文字までしか表示されません。11文字以上の長さの定型文の全体を表示するには [キー]（詳細）を押します。

2 引用したい自作定型文を選択 [キー]

お知らせ

- 定型文が1件も登録されていないときは、自作定型文を引用することができません。

定型文から顔文字を引用する

記号を組み合わせて表情を表す顔文字が60件登録されています。顔文字は次の手順で入力します。

1 文字入力画面で [キー] [6] [2]

2 [保留/文字]、[A/a/留守録] を押して、入力する顔文字のページを表示する

顔文字の一覧は5ページにわたっています。[保留/文字] で前のページ、[A/a/留守録] で次のページが表示されるので、入力する顔文字のあるページを表示させてください。

3 [キー] で顔文字を選択 [キー]

定型文からアドレス文字を引用する

Eメールアドレスや Webのアドレスでよく使われるアドレス文字が定型文に収録されています。これは英字モード（半角）で [キー] を押して入力できるアドレス文字と同じものです。「アドレス文字を入力する」（☞2-20ページ）

1 文字入力画面で [キー] [6] [3]

2 引用したいアドレス文字を選択 [キー]

自作定型文を登録／編集する

メールなどでよく使う文章を自作定型文として登録しておくと、入力の手間を省くことができます。自作定型文は12件まで、1件につき全角50文字（半角100文字）まで登録できます。
「自作定型文を引用する」（☞2-21ページ）

1 待ち受け画面で ◉ 5 4 2

2 自作定型文を登録する番号を選択 ◉ ► 自作定型文を入力／編集 ► ◉

自作定型文が保存され、「登録しました」と表示されます。

- **新規に登録するには**
  自作定型文一覧画面で、未登録の番号を選択して ◉ を押します。
- **登録済みの自作定型文を編集するには**
  自作定型文一覧画面で、登録済みの番号を選択して ◉ を押し、（編集）を押します。

■入力画面の文章を自作定型文に登録する

メールの本文など、文字入力画面で入力した文章をコピーして自作定型文に登録することができます。

1 登録する文章を文字入力画面で入力 ► 3

2 で登録する文章の先頭にカーソルを移動 ◉ ► で登録する文章の最後にカーソルを移動 ◉

3 自作定型文を登録する番号のダイヤルボタンを押すか、で登録箇所を選択 ◉

- **既存の自作定型文に上書きするには**
  すでに自作定型文の登録されている番号を選択すると、元の定型文を削除し、新しい定型文を上書きするかどうか確認する画面が表示されます。上書きしてよければ で「Yes」を選択し、◉ を押します。

自作定型文を削除する

■1件だけ削除する

1 待ち受け画面で ◉ 5 4 2

2 で削除する自作定型文を選択 ► 1

3 で「Yes」を選択 ◉

自作定型文が削除され、「削除しました」と表示されます。

■選択して削除する

1 待ち受け画面で ◉ 5 4 2

2 2 ► 削除する自作定型文を選択 ►

- **1件ずつ選択するには**
  で削除する自作定型文を選択し、◉（チェック）を押します。自作定型文の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
- **全件選択するには**
  （メニュー）を押し、サブメニューで 1（全件選択）を押します。すべての自作定型文の先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、（メニュー）を押し、サブメニューで 2（全件解除）を押します。

3 で「Yes」を選択 ◉

自作定型文が削除され、「削除しました」と表示されます。

■全件削除する

1 待ち受け画面で ◉ 5 4 2

2 3

3 で「Yes」を選択 ◉

自作定型文が削除され、「削除しました」と表示されます。

文字サイズを変更する

文字を入力する画面では文字の表示サイズを3段階から選択することができます。

1 文字入力画面で 4

2 文字サイズを選択 ◉

お知らせ

- お買い上げ時は「20dot」に設定されています。
- 「dot」は、文字を構成する点のことです。16dot、20dot、30dotの順に大きくなります。
- 画面に表示できる最大行数は、16dotのときは12行、20dotのときは10行、30dotのときは7行です。
- ブラウザについては、それぞれの機能で設定された文字サイズになります。

文章を編集する

文章の途中に文字を挿入する

文字を入力する画面で、入力済みの文章の途中に文字を挿入することができます。

1 ◎で文字を入力したい箇所にカーソルを移動 ► 文字を入力する

カーソルの位置に文字が挿入され、カーソル以降の部分は入力した文字数分だけ後ろにずれます。

文字を削除する

1 ◎で削除したい文字にカーソルを移動 ► クリア/マナー

カーソルのあった箇所の文字が削除されます。カーソルが文章の最後尾にあるときはカーソルの前の文字が削除されます。

● **文章をまとめて削除するには**
◎でカーソルを文章の先頭または最後尾に移動し、約1秒以上クリア/マナーを押します。文章全体が削除されます。カーソルが文章の途中にある場合は、カーソル以降だけが削除されます。

文章をコピー／貼り付けする

文章をコピーします。コピーした文章は電源を切っても記録されており、必要なときに貼り付けることができるので、同じ文章を入力する手間が省けます。コピーできる文章は、全角2048文字（半角4096文字）までです。

■文章をコピー／カットする

編集中の文章をコピー／カットします。コピーの場合は元の文章はそのまま残りますが、カットの場合は元の文章は残りません。受信メール、送信メールの内容をコピーすることもできます。「メール本文の文字をコピーする」（☞3-18ページ）

1 文字入力画面で ► 3 または 4

2 ◎でコピー／カットする文章の先頭にカーソルを移動 ◉ ► ◎でコピー／カットする文章の最後にカーソルを移動 ◉

選択した範囲の文章が本電話機内に記録され、いつでも貼り付けられる状態になります。
コピーの場合は選択した範囲の文章はそのまま残りますが、カットの場合は削除されます。

■文章を貼り付ける

1 文字入力画面で◎でコピー／カットした文章を貼り付けたい箇所にカーソルを移動 ► 5

カーソル位置の文字の前に、コピー／カットした文章が挿入されます。

お知らせ

- 文字列がコピーされていないときは使用できません。
- その画面で入力できない文字が含まれている場合は、入力できる文字列だけが貼り付けられます。
- 半角文字しか入力できない画面で全角のカタカナ、英字、数字を貼り付けると、半角文字に変換されて貼り付けられます。
- その画面に入力できる文字数よりも貼り付ける文章の文字数が多い場合は、エラー音が鳴り、入力できる文字数分までが貼り付けられます。

電話帳／ブックマーク／プロフィール／メモ帳から引用する

文字入力画面では、電話帳／ブックマーク／プロフィール／メモ帳に登録してある情報を引用して入力することができます。

■電話帳から引用する

1 文字入力画面で◎で引用先の箇所にカーソルを移動 ► 7

2 ◎で引用する対象の人を選択 ◉ ► ◎で引用する項目を選択 ◉

カーソルの位置の前に、選択した項目の文字列が挿入されます。
電話帳の検索方法については「電話帳を使って電話をかける」（☞2-31ページ）を参照してください。

お知らせ

- 引用対象は、名前、電話番号、メールアドレス、メモとなります。
- 入力できない文字が含まれている場合は、入力できる文字だけが引用されます。

■ブックマークから引用する

1 文字入力画面で◎で引用先の箇所にカーソルを移動 ► 8

2 ◎でフォルダを選択 ◉ ► ◎で引用するブックマークを選択 ◉

カーソルの位置の前に、ブックマークのアドレスが挿入されます。

お知らせ

- 半角の英字、数字、記号のいずれも入力できない画面では、ブックマーク引用は選択できません。
- 入力できない文字が含まれている場合は、入力できる文字だけが引用されます。

■プロフィール／メモ帳から引用する

1 文字入力画面で で引用先の箇所にカーソルを移動 ►

2 または

3 で引用する項目を選択

カーソル位置の前に、選択した項目の文字列が挿入されます。

お知らせ

- プロフィールの引用対象は、名前、電話番号、オフィス番号、メールアドレス、メモとなります。
- 入力できない文字が含まれている場合は、入力できる文字だけが引用されます。
- メモ帳からの引用では、手順3で（詳細）を押すと、メモの詳細が表示されます。

ポケベル方式で入力する

ポケットベルと同様の方法で文字を入力することができます。

ポケベル方式に切り替える

1 文字入力画面で

● **かな入力に戻すには**

お買い上げ時の入力方法である「かな入力」に戻すには、（かな入力）を押します。

ポケベル方式で入力する

1 を押して入力モードを選択

大文字と小文字の切り替えは、文字入力画面で、を押します。
ポケベル入力には次の入力モードがあり、で選択することができます。

P：全角大文字モード
p：全角小文字モード
PB：半角大文字モード
pb：半角小文字モード

2 ダイヤルボタンで文字を入力する

ダイヤルボタンを2回押すことで文字を指定します。

＜全角モードの場合＞

		2回目に押すボタン									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1回目に押すボタン	1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
	2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
	3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
	4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
	5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	-	／
	7	ま	み	む	め	も	¥	&	スペース	☎	、
	8	や	(	ゆ	)	よ	＊	#	改行	♥	。
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

＜半角モードの場合＞

		2回目に押すボタン									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1回目に押すボタン	1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&	スペース		､
	8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#	改行		｡
	9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
	0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

お知らせ

- [#] を押して改行することもできます。
- [*] を押して濁点や半濁点を入力することはできません。
- アルファベットの大文字と小文字は [A/a 留守録] で切り替えます。
- 「ぁぃぅぇぉっゃゅょゎ」（小さいひらがな）と「ァィゥェォッャュョヮ」（小さいカタカナ）は、大きい文字を入力したあと [A/a 留守録] を押して変換します。

電話帳を利用する

よく電話をかける相手の電話番号などを、電話帳に登録しておくことができます。登録件数は最大で1000件です。
電話帳には、次の項目を登録できます。

名 名前、カナ フリガナ

発信者番号を通知している相手から電話がかかってきたときに、その電話番号が電話帳に登録されていると、相手の名前がディスプレイに表示されます（着信者表示機能）。

Gr グループ

ビジネスや友人など、電話帳に登録するデータを10グループに分類して管理できます。

電話番号　および分類マーク

電話帳1件の登録につき、3つの電話番号が登録できます。また、PHSや会社の電話など、相手の電話番号にマークを付けて分類できます。お気に入りのお店などにも、種類に応じてマークを付けることができます。マークは次の10種類です。

① ：電話番号　⑤ ：会社　⑨ ：病院
② ：携帯電話　⑥ ：FAX　⑩ ：その他
③ ：PHS　⑦ ：ショップ
④ ：自宅　⑧ ：レストラン

@ メールアドレス　および分類マーク

電話帳1件の登録につき、3つのメールアドレスが登録できます。また、携帯電話や会社PCなど、相手のメールアドレスにマークを付けて分類できます。マークは次の5種類です。

① ：指定なし　③ ：PHS　⑤ ：会社PC
② ：携帯電話　④ ：自宅PC

メモ

住所や誕生日など、相手に関する情報を登録しておくことができます。全角50文字（半角100文字）まで入力できます。

画像

特定の電話帳データに画像登録をしておくと、着信時に登録した画像が表示され、だれから電話がかかってきたのかを知ることができます。この機能は、電話帳に登録している相手が発信者番号を通知しているときにご利用いただけます。

短 短縮番号

よく電話をかける相手をメモリNo.000 ～ 009の短縮番号に設定しておくと、短縮番号の下1桁を押すだけで簡単に電話をかけることができます。

シークレット

電話帳データのシークレット設定を「ON」にすると、そのデータが電話帳に表示されなくなります。通常の発信時や着信時の画面にも名前が表示されません。また、シークレット設定を「ON」にして登録した相手に電話をかけても、発信履歴には名前が残りません。
シークレットデータを表示するには、暗証番号による認証が必要になります。

指定電話、Eメール、ライトメールの着信音

特定の電話帳データに着信音を登録しておくと、着信時の呼び出し音の種類でだれからの電話、Eメール、ライトメールなのかを知ることができます。
この機能は、電話帳に登録している相手が発信者番号を通知しているときにご利用いただけます。

指定電話、Eメール、ライトメールの着信イルミネーション

特定の電話帳データに着信イルミネーションを登録しておくと、着信時のイルミネーションの種類でだれからの電話、Eメール、ライトメールなのかを知ることができます。イルミネーションは8種類あります。
この機能は、電話帳に登録している相手が発信者番号を通知しているときにご利用いただけます。

お知らせ

- 登録した内容は、故障、修理の際、または静電気や電気的ノイズの影響などで消えてしまうことがあります。大切な内容は必ず、メモや住所録に控えておいてください。

電話帳に登録する

電話帳を新規登録する

1　待ち受け画面で ◉ 6 2

2　◎ で入力する項目を選択 ◉

選択した項目の編集画面が表示されます。
どの項目からでも入力できますが、名前、フリガナ、電話番号またはメールアドレスの最低3項目を入力しないと電話帳に登録できません。
次の項目が入力・設定できます。

- **名 ｶﾅ 名前とフリガナを入力する（☞同じページ内です。）**
- **Gr グループを選択する（☞同じページ内です。）**
- **電話番号と分類マークを入力する（☞2-29ページ）**
- **@ メールアドレスと分類マークを入力する（☞2-29ページ）**
- **メモを入力する（☞2-29ページ）**
- **電話の着信時に表示される画像を設定する（☞2-29ページ）**
- **短 短縮番号を設定する（☞2-29ページ）**
- **シークレットを設定する（☞2-30ページ）**
- **電話やメールの着信音を選択する（☞2-30ページ）**
- **電話やメールの着信イルミネーションを選択する（☞2-30ページ）**

3　必要に応じて手順2を繰り返し、各項目を入力・設定 ►

メモリNo.の登録画面が表示されます。ただし「短縮設定」を「ON」にしている場合は、登録画面は表示されずに登録が完了します。

4　0 ～ 9 でメモリNo.を入力 ◉

メモリNo.は、「010」～「999」の3桁の数字を入力します。
データが登録され、「メモリNo.○○○に登録しました」と表示されます。

- **自動でメモリNo.を登録するとき**

  メモリNo.を入力せずに ◉ を押します。メモリNo.010以降の、空いている一番小さいメモリNo.に登録されます。

- **すでに登録済みのメモリNo.を入力したとき**

  「○○○に上書きしますか？」のメッセージが表示されます。上書きをしてよいときは、◎ で「Yes」を選択して ◉ を押します。「No」を選択したときは、もう一度 0 ～ 9 でメモリNo.を入力します。

お知らせ

- 表示方法が「あかさたな一覧」、「グループ一覧」の場合は、待ち受け画面から ◎ で電話帳一覧を表示し、（新規）を押しても、電話帳の新規登録画面が表示されます。
- 電話帳ロック、管理者ロックの発信制限・着信制限が設定されているときには、電話帳登録はできません。
- 他の人に電話帳を利用されたくないときは、電話帳ロックを設定します。電話帳ロックを設定しておくと、暗証番号による認証を行わないと、電話帳機能が使えなくなります。「ユーザの情報をロックする（機能ロック）」（☞6-14ページ）
- 登録件数がいっぱいのときは、電話帳に登録できません。まず、電話帳から不要なデータを削除してください。「電話帳の内容を削除する」（☞2-33ページ）

■名前とフリガナを入力する

名前は全角16文字（半角32文字）まで、フリガナは半角で32文字まで入力できます。

1　名前を入力 ◉ ► ◉

名前を入力して ◉ を押すと、自動的に入力した読み（フリガナ）が表示されます。その読みのままでよければ ◉ を押します。名前とフリガナが表示された電話帳登録画面に戻ります。

- **文字の入力方法について**

  「文字を入力する」（☞2-13ページ）

- **フリガナを修正するには**

  ◎ で修正したい箇所にカーソルを移動し、クリア/マナー で消去してから、ダイヤルボタンで正しい読みを入力します。「文字を入力する」（☞2-13ページ）

お知らせ

- フリガナに空白は入力できません。名前に空白を入力しても、フリガナでは空白が削除されて表示されます。

■グループを選択する

グループを選択しなかった電話帳データは、「グループ0」に登録されます。
グループ名を変更することもできます。「グループ名を変更する」（☞2-34ページ）

1　登録するグループを選択 ◉

選択したグループが表示された電話帳登録画面に戻ります。

■電話番号と分類マークを入力する

電話帳1件につき、電話番号を最大3件まで登録できます。電話番号は32桁まで入力できます。

1　[0] ～ [9] で電話番号を入力 ◉

● **電話番号を修正するには**

[◎] で修正したい箇所にカーソルを移動し、[クリア/マナー] で消去してから、[0] ～ [9] で正しい番号を入力します。

2　登録する分類マークを選択 ◉

分類マークが設定され、電話帳登録画面に、入力した電話番号が電話番号1として表示されます。また、電話番号2を入力するための項目が追加されます。

● **分類マークを指定しないときは**

[0]（Tel その他）を押します。

● **電話番号2、3を登録するには**

電話帳登録画面で、追加表示された電話番号の項目を選択してから、手順1～2を繰り返します。

お知らせ

- 手順1で「070」から始まる電話番号を入力した場合は、手順2で「PHS PHS」が自動的に選択されます。
- 手順1で「090」や「080」から始まる電話番号を入力した場合は、手順2で「携帯電話」が自動的に選択されます。

■メールアドレスと分類マークを入力する

電話帳1件につき、メールアドレスを最大3件まで登録できます。また、メールアドレスは半角64文字まで入力できます。

1　メールアドレスを入力 ◉

「文字を入力する」（☞2-13ページ）

2　登録する分類マークを選択 ◉

分類マークが設定され、電話帳登録画面に、入力したメールアドレスがメールアドレス1として表示されます。また、メールアドレス2を入力するための項目が追加されます。

● **分類マークを指定しないときは**

[1]（@ 指定なし）を押します。

● **メールアドレス2、3を登録するには**

電話帳登録画面で、追加表示されたメールアドレスの項目を選択してから、手順1～2を繰り返します。

■メモを入力する

メモは全角50文字（半角100文字）まで入力できます。

1　メモを入力 ◉

メモが表示された電話帳登録画面に戻ります。

● **文字の入力方法について**

「文字を入力する」（☞2-13ページ）

■電話の着信時に表示される画像を設定する

画像を設定すると、電話帳に登録している相手から電話がかかってきたときに、ここで指定した画像が表示されます。設定できるのは、データフォルダ内に保存されている画像です。

1　[1] または [2]

● **[1]（設定なし）を押したときは**

画像の設定が解除されます。

● **[2]（データフォルダ）を押したときは**

[◎] でフォルダを選択後 ◉ を押し、[◎] で画像データを選択して ◉ を押します。「画像データを表示する」（☞7-40ページ）

お知らせ

- 画像の一覧画面で [⌐…]（一覧）を押すと、画像名の一覧に切り替わります。もう一度 [⌐…]（サムネイル）を押すと、画像の一覧表示に戻ります。
- 画像の一覧画面で、[◎] で画像を選択して [・/]（表示）を押すと、選択中の画像が大きく表示されます。[◎] で前後の画像を表示することもできます。[クリア/マナー] を押すと画像の一覧に戻ります。

■短縮番号を設定する

短縮番号は、メモリNo.000～009の10件まで設定できます。短縮番号を設定した相手先には、メモリNo.の下1桁を入力するだけで簡単に電話をかけることができます。

1　[1] ► [◎] で短縮番号を選択 ◉

短縮番号が表示された電話帳登録画面に戻ります。

● **短縮番号を解除するには**

短縮番号設定時に [2]（OFF）を押します。

● **短縮番号が10件登録されているときは**

短縮番号を設定できません。[クリア/マナー] または [2] を押して、電話帳登録画面に戻ります。

■シークレットを設定する

特に他人に知られたくない電話帳のデータを、シークレットに設定しておくことができます。この設定をしておくと、暗証番号による認証を行わないと、電話帳にデータが表示されません。「シークレットデータを一時的に表示する（シークレット一時表示）」（☞2-35ページ）

1 1

シークレットが設定された電話帳登録画面に戻ります。

● **シークレットの設定を解除するには**

2（OFF）を押します。

お知らせ

- シークレットを「ON」に設定した相手から電話がかかってきた場合、相手の名前は表示されず、電話番号だけが表示されます。
- シークレットを「ON」に設定してある相手先からの発信や着信があった場合、発信履歴には相手の電話番号が、着信履歴には「ユーザ非通知」と表示されます。相手の名前は表示されません。

■電話やメールの着信音を選択する

指定着信音を設定すると、登録した相手から電話がかかってきたときに、ここで設定した着信音が鳴ります。また、Eメールやライトメールの着信音を登録すると、登録した相手からメールが届いたときに、ここで設定した着信音が鳴ります。

1 1 ～ 3 **のいずれか**

● 1 **（設定なし）を押したときは**

着信音の設定が解除されます。

● 2 **（固定サウンド）を押したときは**

本電話機に初めから用意されているパターンやメロディの一覧が表示されます。◎で着信音を選択して◉を押します。

● 3 **（データフォルダ）を押したときは**

◎でフォルダを選択し、◎で着信音を選択して◉を押します。「着信メロディを設定する」（☞2-39ページ）

お知らせ

- 着信音を選択して（再生）を押すと、選択した着信音が再生されます。
- 着信音の再生中にを押すと、サウンド一覧での次のメロディが再生され、を押すとひとつ前のメロディが再生されます。

■電話やメールの着信イルミネーションを選択する

指定イルミネーションを設定すると、登録した相手から電話がかかってきたときに、ここで設定したイルミネーションが点灯します。また、Eメールやライトメールのイルミネーションを登録すると、登録した相手からメールが届いたときに、ここで設定したイルミネーションが点灯します。

1 イルミネーションを選択 ◉

イルミネーション名が表示された電話帳登録画面に戻ります。

● **イルミネーションを確認するには**

◎でイルミネーションを選択すると、そのイルミネーションが点滅します。

● **イルミネーションの設定を解除するには**

1（設定なし）を押します。

発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する

発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を、電話帳に登録することができます。登録方法には、名前を新しく入力して登録する「新規登録」と、すでに登録されている電話帳に追加して登録する「追加登録」があります。

1 待ち受け画面で ◎ ► 必要に応じて、◎で発信履歴画面／着信履歴画面／メモ画面を切り替える

2 ◎で登録する電話番号を選択 ► 1 または 2

● 1 **（新規登録）を押すと**

「新規登録する」（☞同じページ内です。）に進みます。

● 2 **（追加登録）を押すと**

「追加登録する」（☞2-31ページ）に進みます。

■新規登録する

1（新規登録）を押したときは、電話番号の分類マークを選択する画面が表示されます。

1 登録する分類マークを選択 ◉

選択した分類マークが設定されます。電話帳登録画面には、発信履歴／着信履歴／メモで選択した電話番号が表示されます。

2 他の項目を入力し、電話帳を登録する

「電話帳を新規登録する」（☞2-28ページ）

■追加登録する

2（追加登録）を押したときは、電話帳の一覧画面が、前回使用したときと同じ形式で表示されます。「電話帳を使って電話をかける」（☞同じページ内です。）

1 で登録先の名前を選択 ◉

2 で電話番号が登録されていない項目を選択 ◉ ► 登録する分類マークを選択 ◉

選択した分類マークが設定されます。電話帳登録画面には、発信履歴／着信履歴／メモで選択した電話番号が表示されます。

3 必要に応じて他の項目を入力し、電話帳を登録する

お知らせ

- 登録済みの電話番号に上書きするときは、手順2で上書きする電話番号を選択して ◉ を押してください。「上書きしますか？」と表示されるので、で「Yes」を選択して ◉ を押します。

入力した電話番号を登録する

待ち受け画面で入力した電話番号を、電話帳に登録することができます。

1 待ち受け画面で、電話帳に登録する電話番号を入力 ►

2 1 または 2 を押す

- **1（新規登録）を押すと**
  「新規登録する」（☞2-30ページ）に進みます。
- **2（追加登録）を押すと**
  「追加登録する」（☞同じページ内です。）に進みます。

電話帳を使って電話をかける

電話帳に登録してあるデータは、名前のフリガナの50音順･グループ･メモリNo.･名前の読み･電話番号・メールアドレスで検索して呼び出すことができます。この呼び出した電話帳データを使って、電話をかけられます。

1 待ち受け画面で ◉ 6 1

電話帳の一覧画面が表示されます。でも、同じ操作ができます。ただし、電話帳に１件もデータが登録されていない場合は、電話帳登録画面が表示されます。「電話帳に登録する」（☞2-28ページ）

2 相手先を検索する

電話帳の一覧画面は、前回使用したときと同じ方法で表示されるので、必要に応じて検索方法を切り替えます。次の６つの方法で検索できます。

- **あかさたな一覧で検索する（☞2-32ページ）**
- **グループ一覧で検索する（☞2-32ページ）**
- **メモリNo.一覧で検索する（☞2-32ページ）**
- **読み検索一覧で検索する（☞2-33ページ）**
- **電話番号で検索する（☞2-33ページ）**
- **メールアドレスで検索する（☞2-33ページ）**

3 相手先を選択 ◉

電話帳詳細画面が表示されます。

- **電話帳詳細画面の表示方法を切り替えるには**
  電話帳詳細画面を通常表示と一覧表示に切り替えることができます。
  電話帳詳細画面で（メニュー）を押し、1（表示切替）を押すと電話帳詳細画面の表示方法が切り替わります。
- **登録内容を確認するには**
  電話帳詳細画面通常表示は、電話帳詳細画面一覧表示はで分類マークを選択することができます。電話帳詳細画面通常表示の場合、その項目の登録内容が画面の下側に表示されます。の場合は、選択して ◉（確認）を押すとメモ帳の画面にメモの内容が表示されます。の場合は、選択して ◉（確認）を押すと、個別設定画面に着信音と着信イルミネーションの設定が表示されます。
- **前後のデータを表示するには**
  電話帳詳細画面通常表示でを押すと前のデータ、を押すと次のデータが表示されます。
  電話帳詳細画面一覧表示でを押すと前のデータ、を押すと次のデータが表示されます。

4 電話帳詳細画面通常表示中、で発信する電話番号に対応する分類マークを選択

そのマークが設定されている電話番号が表示されます。

基本機能 2 電話帳を利用する

● **電話帳詳細画面一覧表示のときは**
　　で発信する電話番号に対応する分類マークを選択します。

5　◉または

選択した電話番号に電話がかかります。

> **お知らせ**
> - お買い上げ時には、電話帳は「あかさたな一覧」で表示するよう設定されています。
> - 手順2で を押しても、相手に電話をかけることができます。電話番号が2つ以上登録されているときは、電話番号1に電話がかかります。
> - オフィスモードのときには、手順4の後で Web を押すと、登録した外線発信番号が先頭に付加されます。もう一度 Web を押すと、外線発信番号は消えます。
> - 手順4の後でダイヤルボタンを押すと、選択した電話番号の前にダイヤルボタンの番号が付加されます。 または を押すと、後ろに付加されます。また、 を2回押すと、P（ポーズ）が付加されます。その状態で （登録）を押して電話番号を新規登録または追加登録することもできます。登録手順は発信履歴などの電話番号を登録する場合と同じです。「発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する」（☞2-30ページ）
> - 手順4の後で （メニュー）を押し、4（184発信）または 5（186発信）を押すと、電話番号に「184」または「186」が付加されて発信されます。「通話ごとに発信者番号の通知／非通知を設定する」（☞2-3ページ）
> - 待受モードが「公衆+オフィス」に設定されている場合は、手順4で番号を選択して メール を押すと、その発信に限り現在の優先発信モードを切り替えて発信できます。「発信するモードを一時的に切り替える」（☞8-5ページ）

あかさたな一覧で検索する

1　電話帳の一覧画面で 1 1

2　表示する行を切り替え ► で相手先を選択

行を切り替えるには、による方法と、ダイヤルボタンによる方法の2つの方法があります。

● **ダイヤルボタンで切り替えるには**
　ダイヤルボタンに書かれているひらがなが、50音の行に対応しています。例えば 3 を押すと「さ」行が表示されます。# を押すと「あ」～「わ」行以外の名前が表示されます。

■待ち受け画面から直接、目的の行を表示させる

電話帳の表示方法があかさたな一覧に設定されているときは、待ち受け画面でダイヤルボタンを約1秒以上押すと、そのダイヤルボタンに書かれているひらがなに対応した行が表示されます。
例えば待ち受け画面で 3 を約1秒以上押すと、「さ」行の電話帳が表示されます。

> **お知らせ**
> - あかさたな一覧画面で、行に対応するダイヤルボタンを繰り返し押すと、名前の読みの最初の文字単位で選択位置が移動します。例えば「さ」行が表示されているときは、3 を押すたびに、読みが「さ」→「し」→「す」→「せ」→「そ」で始まる最初の名前に選択位置が移動します。

グループ一覧で検索する

1　電話帳の一覧画面で 1 2

2　で表示するグループを切り替え ► で相手先を選択

■待ち受け画面から直接、目的のグループを表示させる

電話帳の表示方法がグループ一覧に設定されているときは、待ち受け画面でダイヤルボタンを約1秒以上押すと、そのダイヤルボタンに書かれている数字に対応したグループが表示されます。
例えば待ち受け画面で 3 を約1秒以上押すと、「グループ3」の電話帳が表示されます。

> **お知らせ**
> - グループ一覧画面でダイヤルボタンを押すと、表示しているグループ内で、ダイヤルボタンに書かれているひらがなで始まる名前に選択位置が移動します。例えば 3 を押すと、読みが「さ」で始まる最初の名前に選択位置が移動します。

メモリNo.一覧で検索する

1　電話帳の一覧画面で 1 3

2　検索するメモリNo.を入力 ◉

● **上1桁を入力したとき**
　例えば「3」と入力すると、No.300～309の電話帳データが表示されます。表示は10件単位となります。

● **上2桁を入力したとき**
例えば「31」と入力すると、No.310～319の電話帳データが表示されます。表示は10件単位となります。

● **メモリNo.を入力しなかったとき**
「短縮（000）」から、10件単位で電話帳データが表示されます。

3　必要に応じて、表示するメモリNo.の範囲を切り替え ► ◎で相手先を選択

メモリNo.の範囲を切り替えるには、◎による方法と、ダイヤルボタンによる方法の2つの方法があります。

● **ダイヤルボタンで切り替えるには**
ダイヤルボタンに書かれている数字が、メモリNo.の上1桁に対応しています。例えば 0 を1回押すと、「短縮」（No.000～010）の電話帳データが表示されます。0 を押すたびに、表示される範囲がNo.010～019、No.020～029のように10件単位で切り替わります。

■待ち受け画面から直接、目的の行を表示させる

電話帳の表示方法がメモリNo.一覧に設定されているときは、待ち受け画面でダイヤルボタンを約1秒以上押すと、そのダイヤルボタンに書かれている数字に対応したメモリNo.が表示されます。例えば 3 を約1秒以上押すと、No.300～309の電話帳データが表示されます。

お知らせ

- 入力したメモリNo.に対応するデータが1件も登録されていない場合は、入力したメモリNo.以降で、最もメモリNo.の小さいデータが表示されます。

読み検索一覧で検索する

1　電話帳の一覧画面で 1 4

2　名前の読みを入力 ◉ ► 相手先を選択

読みは、すべてを入力しなくても構いません。最初の文字だけを入力すれば、その読みで始まる名前がすべて検索されます。

「あかさたな一覧で検索する」（☞2-32ページ）

電話番号で検索する

局番など、電話番号の一部で電話帳データを検索することができます。

1　電話帳の一覧画面で 2 ► 番号を入力 ◉

番号は5桁まで入力できます。

2　◎で相手先を選択

メールアドレスで検索する

メールアカウント（@より前）やドメイン名（@より後）など、メールアドレスの一部で電話帳データを検索することができます。

1　電話帳の一覧画面で 3 ► アドレスを入力 ◉

アドレスは半角で10文字まで入力できます。

2　◎で相手先を選択

短縮番号で電話をかける

短縮番号（メモリNo.000～009）に登録した相手先には、メモリNo.の下1桁を入力するだけで、簡単に電話をかけることができます。電話番号が複数登録されているときは、電話番号1にかかります。

1　待ち受け画面で、0～9でメモリNo.の下1桁を入力 ► または ◉

お知らせ

- 短縮番号による発信は、公衆モード、オフィスモードでご利用いただけます。
- 短縮番号にシークレットデータが設定されている場合は、短縮番号で電話をかけることはできません。

電話帳の内容を編集する

電話帳に登録された電話番号やメールアドレスなどの各項目を修正することができます。

1　修正する電話帳データの詳細を表示する

「電話帳を使って電話をかける」（☞2-31ページ）

2　► ◎で編集する項目を選択 ◉ ► 登録内容を編集

「電話帳を新規登録する」（☞2-28ページ）

電話帳の内容を削除する

電話帳のデータは、1件ずつ、または何件かまとめて削除できます。
電話帳のデータをすべて削除するには、暗証番号による認証が必要になります。

1件だけ削除する

1　待ち受け画面で ◉ [6] [1]

電話帳の一覧画面が表示されます。◎ でも、同じ操作ができます。

2　削除するデータを選択 ► [･･] [8]

削除するデータの内容を確認したいときは、データを選択して ◉ を押し、詳細を表示させてから [･･]（メニュー）を押します。

3　◎ で「Yes」を選択 ◉

データが削除され、「削除しました」と表示されます。

選択して削除する

1　待ち受け画面で ◉ [6] [1]

電話帳の一覧画面が表示されます。◎ でも、同じ操作ができます。

2　[･･] [･･] [1] ► 削除するデータを選択 ► [✓]

- **1件ずつ選択するには**
  ◎ で削除する電話帳データを選択し、◉（チェック）を押します。電話帳データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
- **全件選択するには**
  [･･]（メニュー）を押し、サブメニューで [1]（全件選択）を押します。すべての電話帳データの先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、[･･]（メニュー）を押し、サブメニューで [2]（全件解除）を押します。

3　◎ で「Yes」を選択 ◉

選択したデータが削除され、「削除しました」と表示されます。

全件削除する

電話帳のデータをすべて削除すると、シークレットデータも削除されます。

1　待ち受け画面で ◉ [6] [7]

2　暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

認証されると、「全件削除しますか？」と表示されます。

3　◎ で「Yes」を選択 ◉

電話帳のデータがすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

電話帳のグループ設定を変更する

電話帳のグループ名を変更することができます。また、グループごとに着信音やイルミネーションを設定することもできます。

グループ名を変更する

電話帳のグループ名は、全角9文字（半角18文字）まで入力できます。

1　待ち受け画面で ◉ [6] [3]

2　名前を変更するグループの番号を選択 ◉ ► ダイヤルボタンで新しいグループ名を入力 ◉

グループ名が設定され、「設定しました」と表示されます。

- **文字の入力方法について**

「文字を入力する」（☞2-13ページ）

■グループ名をお買い上げ時の状態に戻す

お買い上げ時には、グループ名は「グループ1」～「グループ0」に設定されています。

1　待ち受け画面で ◉ [6] [3]

2　[･･] [2]

3　◎ で「Yes」を選択 ◉

グループ名が初期化され、「初期化しました」と表示されます。

グループごとの着信メロディ／着信イルミネーション／バイブを設定する（グループ着信設定）

グループごとに着信メロディ／着信イルミネーション／バイブレータを設定することができます。

1　待ち受け画面で ◉ [6] [3]

2　◎ で設定するグループの番号を選択 ► [･･] [1] ► [1] ～ [3] のいずれか

- **[1]（電話着信）を押したときは**
  電話着信に対する設定になります。
- **[2]（Eメール着信）を押したときは**
  Eメール着信に対する設定になります。
- **[3]（ライトメール着信）を押したときは**
  ライトメール着信に対する設定になります。

3 1 ～ 3 のいずれか

- **1（着信メロディ）を押したときは**
  2（固定サウンド）または 3（データフォルダ）を押し、◎で着信メロディを選択して●を押します。1（通常と同じ）を押した場合は、「着信メロディを設定する」（☞2-39ページ）で設定した着信メロディとなります。
- **2（着信イルミネーション）を押したときは**
  1 ～ 9 のいずれかを押します。1（通常と同じ）を押した場合は、「着信ランプを設定する」（☞7-10ページ）で設定した着信イルミネーションとなります。
- **3（バイブ）を押したときは**
  1 ～ 8 のいずれかを押します。1（通常と同じ）を押した場合は、「バイブレータを設定する」（☞2-42ページ）で設定したバイブレータとなります。

電話帳ロック中の着信表示を設定する

「機能ロック」（☞6-14ページ）で電話帳をロック中に、電話帳に登録している相手から電話がかかってきたときの表示方法を設定できます。

1 待ち受け画面で ● 6 4

2 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

3 1 または 2

- **1（ON）を押したときは**
  着信中画面に電話帳に登録してある名前が表示されます。
- **2（OFF）を押したときは**
  着信中画面には名前は表示されません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

シークレットデータを一時的に表示する（シークレット一時表示）

電話帳の登録時にシークレット設定を「ON」にしたデータは、電話帳を検索しても表示されません。
シークレットデータを一時的に表示するには、暗証番号による認証が必要になります。
電話帳の検索画面から発信を行ったり、違う画面に表示を切り替えたりすると、シークレットデータは自動的に非表示に戻ります。

1 待ち受け画面で ● 6 5

または、電話帳検索画面で ⌒（メニュー）を押し、5（シークレット一時表示）を押します。

2 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）
認証されると電話帳の一覧画面が表示されます。シークレットデータは他と違う色の文字で表示されます。

電話帳の登録件数を確認する（登録件数表示）

電話帳に登録されているデータの総数、およびグループごとの登録件数を表示できます。
シークレット設定されているデータもカウントされます。

1 待ち受け画面で ● 6 6

登録件数表示画面が表示されます。登録件数は「○○○／1000」と表示され、棒グラフでも表示されます（1000は登録可能な最大件数）。

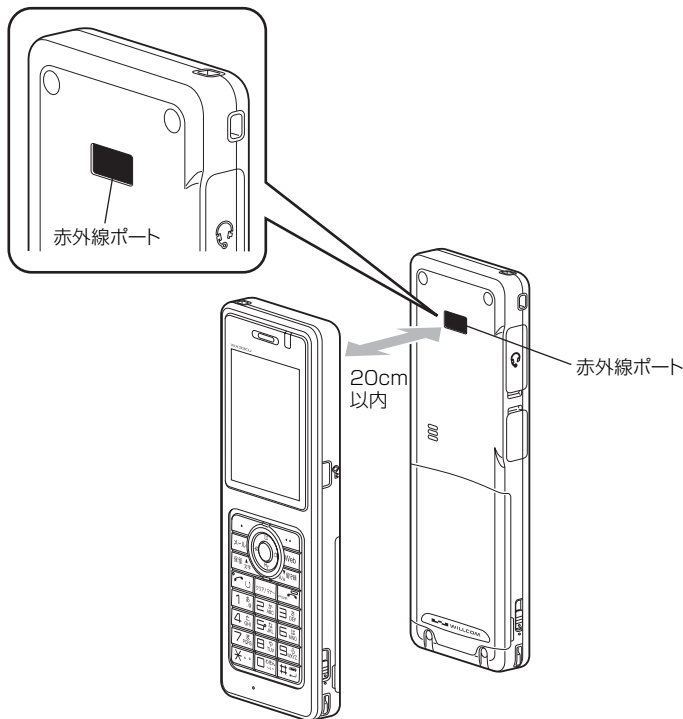
お知らせ

- 電話帳検索画面で ⌒（メニュー）を押し、4（登録件数表示）を押しても、電話帳の登録件数を表示できます。

赤外線通信を行う

赤外線通信により、本電話機どうしや赤外線通信機能を搭載した他の電話機との間で電話帳のデータをやり取りすることができます。

赤外線通信の利用のしかた

赤外線通信を行うには、送信側と受信側がそれぞれ準備をする必要があります。通信時は電話機の赤外線ポートどうしを向い合わせ、20cm以内の距離に近づけてください。また、通信が終わるまでは電話機は動かさないでください。

お知らせ

- 直射日光が当たる場所、蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 送受信できるデータは、電話帳の1件または全件です。1件の場合、電話帳に設定されている画像（JPEG、GIF、PNG、BMPのみ）もいっしょに送受信されます。
- 電話帳はvCard形式で送信されます。
- 受信できるデータの容量は1.25Mバイトまでです。容量によっては、通信に時間がかかる場合や正しく受信できない場合があります。
- 赤外線通信機能を使った電話帳の転送は、すべての電話機に対して完全な互換性を保証するものではありません。
- 赤外線通信を使ってプロフィールや画像データも送信することができます。
  ･「プロフィールを赤外線通信で送信するには」（☞7-6ページ）
  ･「画像データを赤外線通信で送信する」（☞7-41ページ）

赤外線通信で受信する

本電話機を受信待ちの状態にし、相手から送信される電話帳データを受信します。

1　待ち受け画面で ◉ 7

2　赤外線ポートを相手の赤外線ポートに向ける

送信側から送信が始まると、自動的に受信が始まり、「データ受信中」と表示されます。

3　受信データに応じて操作する

● **「電話帳一件を受信しました　登録しますか？」と表示されたときは**

1件のデータを受信しました。◎で「Yes」を選択し◉を押してください。受信したデータが電話帳に登録されます。

● **「認証パスワードを入力して下さい」と表示されたときは**

送信側が電話帳の全件を送信しようとしています。次のように操作してください。

① 送信側から指定された4桁の認証パスワードを入力し、◉を押します。
② ◎で「Yes」を選択し、◉を押します。
③ 1（追加登録）または 2（上書き登録）を押します。

追加登録では、受信したデータが電話帳の空き領域に登録されます。
上書き登録では、暗証番号認証（☞6-6ページ）の後、「電話帳を全件削除しますか？」と表示されます。「Yes」を選択して◉を押すと、現在の電話帳のデータはすべて削除され、受信したデータが登録されます。
登録が終わると、「（登録件数）／（受信件数）件登録しました」と表示されます。

● **「画像データを受信しました　保存しますか？」と表示されたときは**

◎で「Yes」または「No」を選択し、◉を押します。
「No」の場合は操作が終了します。「Yes」の場合は画像データが保存されます。

お知らせ

- 1件の電話帳データまたは画像データを受信した場合、受信データが1.25MBをこえた場合「サイズオーバーです受信できません」と表示され、データは登録されません。
- 電話帳の全件を受信した場合、登録の途中で受信側の電話帳がいっぱいになると「電話帳がいっぱいです」と表示され、以降のデータは登録されません。
- 電話帳の全件を受信した場合、上書き登録時に、先頭のデータはプロフィールに登録されます。追加登録時は電話帳に登録されます。
- 電話帳のグループ名とグループ番号は、電話帳を全件受信して上書き登録した場合のみ登録されます。
- 相手の電話機によっては、受信および送信できないデータもあります。
- 受信した電話帳データに電話番号とメールアドレスの情報がない場合、電話番号として「＊＊＊＊」が登録されます。
- 他社の電話機において設定された、絵文字を伴う電話帳データを受信した場合、正しく受信できないことがあります。
- 受信した電話帳データに名前がない場合、フリガナ、電話番号、メールアドレス、受信日時の優先順位で、これらのいずれかが名前として登録されます。
- 受信した電話帳データにフリガナがない場合、電話番号、メールアドレス、受信日時の優先順位で、これらのいずれかがフリガナとして登録されます。

赤外線通信で送信する

本電話機の電話帳データを送信します。

■1件だけ送信する

1　待ち受け画面で ◉ 6 1

電話帳一覧画面が表示されます。◎でも、同じ操作ができます。

2　送信するデータを選択し ► ✉ 7 1

送信するデータの内容を確認したいときは、データを選択して◉を押し、詳細を表示させてから ✉（メニュー）を押します。

3　1 または 2

選択した送信速度でデータを送信します。

● **送信する電話帳に画像データがあるとき**

「画像データを含めて送信しますか？」と表示されます。画像データを含めて送信したいときは、◎で「Yes」を選択して◉を押します。画像データを含めないで送信したいときは、◎で「No」を選択して◉を押します。

基本機能 2 電話帳を利用する

4 赤外線ポートを相手の赤外線ポートに向けて◉

通常送信の場合は、相手が認識されるとデータが送信され、送信完了後に「電話帳一件送信完了」と表示されます。高速送信の場合は、相手を認識しなくてもデータが送信され、送信完了後に「電話帳一件送信完了」と表示されます。

お知らせ

- コピーガード付きの画像データは送信されません。
- 512Kバイト以上の画像データは送信できません。
- 送信後は相手に正しくデータが送られたことを確認してください。

■全件送信する

全件送信の場合、送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります（暗証番号とは別のパスワードです）。事前に認証パスワードとして4桁の数字を決め、受信側に伝えておいてください。

1 待ち受け画面で◉ 6 1

電話帳一覧画面が表示されます。◎でも、同じ操作ができます。

2 ✉ 7 2

3 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

電話帳に登録されているシークレットデータは、一時的に表示していない限り送信されません。シークレットデータも含めてすべての電話帳データを送信するには、あらかじめシークレットデータを一時的に表示しておく必要があります。「シークレットデータを一時的に表示する（シークレット一時表示）」（☞2-35ページ）

- **シークレットデータを一時表示していないとき**

  「送信しますか？（画像は含まれません）シークレットデータは送信されません」と表示されます。

- **シークレットデータを一時表示しているとき**

  「送信しますか？（画像は含まれません）シークレットデータも送信します」と表示されます。

4 ◎で「Yes」を選択◉

- **「No」を選択すると**

  送信を中止し、手順1の電話帳一覧画面へ戻ります。

5 認証パスワードを入力◉ ► 赤外線ポートを相手の赤外線ポートに向けて◉

相手が認識されると、データが送信され、送信完了後に「電話帳全件送信完了」と表示されます。

お知らせ

- 全件送信の場合は、画像データは送信されません。

音を調整する

受話音量を設定する（受話音量／スピーカ音量）

電話先の相手の声を聞くときの受話音量を５段階で設定できます。ここで設定した受話音量は、スピーカに切り替えたときにも反映されます。

1　待ち受け画面で ◉ 5 5 2

2　◎ で受話音量レベルを選択 ◉

受話音量が設定され、「設定しました」と表示されます。

◎：受話音量レベルが上がります。

◎：受話音量レベルが下がります。

お知らせ

- お買い上げ時には、「VOL.4」に設定されています。
- 本機能の設定は、電源を切っても変わりません。
- 通話中に受話音量を調節することができます。「受話音量を調節する」（☞2-8ページ）

ひそひそ通話を設定する（ひそひそ通話）

公共の場所などで小さな声でしゃべりたいときに、通話時の音を設定できます。この場合、小さな声で話しても相手には大きく聞こえます。また、相手の声も大きく聞こえます。

1　待ち受け画面で ◉ 5 5 3 ► 1（ON）

ひそひそ通話が設定されていると、通話中の画面に「ひそひそ通話中」と表示されます。

- **ひそひそ通話設定を解除するには**

  ひそひそ通話設定時に 2（OFF）を押します。ひそひそ通話が解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 通話中に一時的にひそひそ通話設定を切り替えることができます。この場合、通話中に ◉（機能）を押し、通話中機能から 4（ひそひそ通話）を選択します。ひそひそ通話を解除するには、ひそひそ通話中に ◉（機能）を押し、通話中機能から 4（ひそひそ通話解除）を選択します。
- 通話中に一時的にひそひそ通話に切り替えた場合に、通話を終了すると自動的にひそひそ通話は解除されます。
- 本機能を「ON」に設定すると、解除するまで有効です。
- 本機能の設定は、イヤホン装着時の通話でも有効です。

着信音を設定する

着信時の着信メロディ、着信メロディの音量、鳴動時間、バイブレータ、Ｅメールのバックグランド受信通知について設定します。

着信メロディを設定する

相手から着信したときの着信メロディを設定できます。着信メロディの設定は、公衆着信、Ｅメール着信、ライトメール着信、オフィス外線着信、オフィス内線着信、およびオフィス専用線着信のいずれの場合でも同じ手順で設定できます。以下は公衆着信時の着信メロディの設定方法を例にしています。

着信メロディは、固定サウンド、データフォルダに保存されているサウンドデータ、または「公式サイトから探す」から選択できます。

1　待ち受け画面で ◉ 5 1 1

2　1 1 ► 1 ～ 3 のいずれか

- **1（固定サウンド）を押すと**

  固定サウンドの中から着信メロディを選択します。

- **2（データフォルダ）を押すと**

  データフォルダの中に保存されているサウンドデータの中から、着信メロディを選択します。データフォルダにサウンドデータが保存されていなければ、この項目は選択できません。

- **3（公式サイトから探す）を押すと**

  Webページからサウンドデータをダウンロードして着信メロディとして設定できます。「Webページからダウンロードしたサウンドデータを着信メロディに設定する」（☞2-40ページ）

● **メロディを聞くには**
でメロディを選択して（再生）を押すと、メロディが再生されます。この場合、で次のメロディ、で前のメロディを再生します。再生を終了するには、（停止）またはを押します。を押すと、再生中のメロディが着信メロディとして設定されます。

● **音量を調節するには**
メロディ再生中に、で音量の調節ができます。

● **着信時の動作を確認するには**
（リハーサル）を押すと、本電話機が現在の設定で着信時の動作をします。動作中は、で次のメロディ、で前のメロディを再生します。を押すと、その時点で再生中のメロディが設定されます。再生を終了するには、（停止）を押します。

3　で着信メロディを選択
着信メロディが設定され、「設定しました」と表示されます。

Webページからダウンロードしたサウンドデータを着信メロディに設定する

コンテンツダイレクトアクセス機能によって、Webページに直接アクセスしてサウンドデータをダウンロードし、着信メロディとして設定できます。

1　待ち受け画面で 5 1 1

2　1 1 3
「ダウンロード後に設定変更を行ってください」と表示され、（OK）を押すとWebページが表示されます。
Webページの画面に従って、サウンドデータをダウンロードしてください。
「ファイルをダウンロードする」（☞4-18ページ）
ダウンロードしたサウンドデータは、データフォルダに保存されます。

3　着信メロディを選択する
2（データフォルダ）を押し、でダウンロードしたサウンドデータを選択し、を押します。
着信メロディが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 管理者ロックで「Web制限」がONに表示されている場合、3（公式サイトから探す）を選択すると「Web制限設定中です」と表示され、Webページを表示できません。
- 機能ロックで「メール/Web/Java™」がONに設定されている場合、3（公式サイトから探す）を選択すると、暗証番号による認証が必要になります。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）
- 機能ロックで「データフォルダ」がONに設定されている場合、3（公式サイトから探す）を選択すると、「データフォルダの機能ロックを一時的に解除します。よろしいですか？」と表示されます。で「Yes」を選択し、を押します。次の画面で暗証番号による認証が必要になります。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）
- オフィスモードやグループモードで使用している場合、3（公式サイトから探す）を選択すると、「ネットワークが利用できません。」と表示され、Webページを表示できません。
- オンラインサインアップが未設定の場合、3（公式サイトから探す）を選択すると、オンラインサインアップの画面が表示されます。先にオンラインサインアップを設定してから、操作をやり直してください。
- ダイヤルアップの接続が「CLUB AIR-EDGE」ではない場合、3（公式サイトから探す）を選択すると、「ネットワークが利用できません。」と表示され、Webページを表示できません。
- コンテンツダイレクトアクセス機能は、待ち受け画面から Web 8 4 を押して表示モードを「ケータイモード」に設定してから使用してください。

■固定サウンド一覧

種別	サウンド名
メロディ	グリーンスリーブス 水族館 美しく青きドナウ ラグタイム・ダンス ４羽の白鳥の踊り アンダンテ・カンタービレ 一週間 バラード第２番 ジングル１ ジングル２ ジングル３ ジングル４ ジングル５ ジングル６ ジングル７ ジングル８
アラーム	アラーム１ アラーム２
音声	「お電話です。」 「メールがきています。」 「間もなくお時間です。」 「お早うございます。」
Beep音	パターン１ パターン２ パターン３ パターン４ パターン５ パターン６ パターン７ パターン８ パターン９ パターン10

■お買い上げ時の設定値

機能	着信メロディ	鳴動時間	音量	バイブレータ	バックグランド受信通知
公衆着信	パターン１	－	音量３	OFF	－
Eメール着信	ジングル１	10秒			ON
ライトメール着信	ジングル２	10秒			－
オフィス外線着信	パターン４	－			－
オフィス内線着信	パターン６	－			－
オフィス専用線着信	パターン10	－			－

着信音量を設定する

着信音量を調節できます。着信音量の設定は、公衆着信、Eメール着信、ライトメール着信、オフィス外線着信、オフィス内線着信、およびオフィス専用線着信のいずれの場合でも同じ手順で設定できます。以下は公衆着信時の着信音量の設定方法を例にしています。

1 待ち受け画面で ◉ 5 1 1

2 1 2

3 ◎ で着信音量のレベルを選択 ◉

着信音量が設定され、「設定しました」と表示されます。

◎：着信音量レベルが上がります。
◎：着信音量レベルが下がります。
STEP ▲：着信音量レベルが「VOL.1」から「VOL.5」の順で5秒ごとに1レベルずつ上がり、その後「VOL.5」の着信音量が継続されます。
STEP ▼：着信音量レベルが「VOL.5」から「VOL.1」の順で5秒ごとに1レベルずつ下がり、その後「VOL.1」の着信音量が継続されます。

● **着信音量を確認するには**

（再生）を押すと、現在選択している着信音量レベルが確認できます。確認を終了するには、（停止）を押します。

● **着信時の動作を確認するには**

（リハーサル）を押すと、現在の設定で着信時の動作をします。再生を終了するには、（停止）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「VOL.3」に設定されています。

バイブレータを設定する

相手から着信したとき、音を鳴らさずにバイブレータでお知らせするように設定できます。バイブレータの設定は、公衆着信、Eメール着信、ライトメール着信、オフィス外線着信、オフィス内線着信、およびオフィス専用線着信のいずれの場合でも同じ手順で設定できます。以下は公衆着信時のバイブレータの設定方法を例にしています。

1 待ち受け画面で ◉ 5 1 1

2 1 3

バイブレータには6つのパターンがあります。◎ でパターンを選択すると、それぞれのバイブレータのパターンを確認できます。

3 1 ～ 7 のいずれか

バイブレータが設定され、「設定しました」と表示されます。

● **6（バイブ後サウンド鳴動）を押すと**

着信時にバイブレータが振動し、約10秒後に着信音も鳴り出します。この場合、着信音は現在設定されている着信メロディです。「着信メロディを設定する」(☞2-39ページ)

● **バイブレータを解除するには**

バイブレータ設定時に 7（OFF）を押します。

● **着信時の動作を確認するには**

（リハーサル）を押すと、現在の設定で着信時の動作をします。動作中は、で次のバイブレータ、で前のバイブレータのパターンが変更できます。◉ を押すと、その時点でのパターンが設定されます。再生を終了するには、（停止）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メール着信時の鳴動時間を設定する

Eメールとライトメールを受信したときの鳴動時間を、1秒～60秒までで設定できます。以下はEメール着信時の鳴動時間の設定方法を例にしています。

1 待ち受け画面で ◉ 5 1 1

2 2 4

3 0 ～ 9 で鳴動時間を入力 ◉

メール着信時の鳴動時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

● **鳴動時間の入力について**

1秒～60秒まで入力できます。
◎ で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「10秒」に設定されています。

Eメールのバックグランド受信通知を設定する（バックグランド受信通知）

Eメール以外の機能の使用時にEメールを受信したとき、Eメール着信音やメッセージで通知するかどうかを設定します。

1　待ち受け画面で ◉ 5 1 1

2　2 5 ► 1 または 2

バックグランド受信通知が設定され、「設定しました」と表示されます。

- **1（ON）を押すと**

  バックグランドでEメールを受信した場合に受信通知を行います。

- **2（OFF）を押すと**

  バックグランドでEメールを受信した場合に受信通知を行いません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

マナーモードを設定する

公共の場所などで音を鳴らしたくないときに、マナーモードを設定できます。また、マナーモードの内容はお好みで設定できます。

マナーモードにする

1　待ち受け画面で クリア/マナー を約1秒以上押す

本機能を設定すると、待ち受け画面に「 」「 」「 」が表示されます。

- **マナーモードを解除するには**

  マナーモード設定時に、待ち受け画面で クリア/マナー を約1秒以上押すと、マナーモードが解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- 「マナーモード」設定時、成功音は鳴りません。
- お買い上げ時の状態で「マナーモード」を設定すると、「バイブ」は「ON」に、「電話着信音量」「メール着信音量」「目覚まし音量」「スケジュール音量」「効果音」「留守録音」は「OFF」に設定されます。それぞれの機能設定画面で違う設定にしていても、「マナーモード」の設定が優先されます。
- 「オートサイレント」が設定されているときには、本機能を設定することはできません。「特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）」（☞2-44ページ）

マナーモードの設定内容を変更する

マナーモード時の「バイブレータ」、「電話着信音量」、「メール着信音量」、「目覚まし音量」、「スケジュール音量」、「効果音（キー確認音、成功／エラー音、圏外／充電警告音、送達確認音）」、および「留守録音」の設定内容を変更できます。

■「バイブ」「効果音」のマナーモードの設定内容を変更する

1　待ち受け画面で ◉ 5 5 1

2　1 ► 1 または 6

3　1 または 2 ► ［・］

設定が登録され、「登録しました」と表示されます。

- **1（ON）を押すと**

  「バイブレータ」または「効果音」を、「マナーモード」の設定対象とします。

- **2（OFF）を押すと**

  「バイブレータ」または「効果音」を、「マナーモード」の設定対象外とします。

お知らせ

- バイブレータの動作は、「電話着信」、「メール着信」、「目覚まし」、および「スケジュール」のそれぞれで動作パターンが異なります。

■「電話着信音量」「メール着信音量」「目覚まし音量」「スケジュール音量」のマナーモードの設定内容を変更する

マナーモードに設定したときでも、お好みの音量で音を鳴らすことができます。

1　待ち受け画面で ◉ 5 5 1

2　1 ► 2 〜 5 のいずれか

3　◎ で着信音量のレベルを選択 ◉ ► ［・］

設定が登録され、「登録しました」と表示されます。

◎：着信音量レベルが上がります。
◎：着信音量レベルが下がります。
STEP ▲：着信音量レベルが「VOL.1」から「VOL.5」の順で5秒ごとに1レベルずつ上がり、その後「VOL.5」の着信音量が継続されます。
STEP ▼：着信音量レベルが「VOL.5」から「VOL.1」の順で5秒ごとに1レベルずつ下がり、その後「VOL.1」の着信音量が継続されます。

基本機能　2　音を調整する

● **それぞれの音量を確認するには**
（再生）を押すと、現在選択している音量レベルが確認できます。確認を終了するには、（停止）を押します。

■「留守録音」のマナーモードの設定内容を変更する

マナーモード時の「留守録音」の動作を設定します。この機能が設定されている場合（「ON」の場合）は、待ち受け画面に「」が表示されます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 5 1

2 1 7

**3 1 または 2 ► **

設定が登録され、「設定しました」と表示されます。

● **1（ON）を押すと**
応答時間設定画面が表示されます。応答時間を 0 ～ 9 で入力し、◉ を押します。

● **2（OFF）を押すと**
「留守録音設定」をマナーモードの対象外とします。

● **留守録音の設定方法について**
「留守録音を設定する」（☞2-48ページ）

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）

指定した時間帯に、着信音を自動的に鳴らさないように設定できます。オートサイレントを設定するには、あらかじめ日付・時刻を設定しておく必要があります。「日時を設定する」（☞1-21ページ）

1 待ち受け画面で ◉ 5 5 1

2 2 ► 1 ～ 4 のいずれか

● **1（ON（毎日））を押すと**
毎日、同じ時間帯にオートサイレントを有効にします。

● **2（ON（一度きり））を押すと**
１度だけオートサイレントを有効にします。

● **3（ON（曜日指定））を押すと**
曜日の一覧が表示されるので、オートサイレントを有効にしたい曜日を で選択し、◉（選択）を押してチェックを付けます。曜日を選択したら、（完了）を押します。

● **4（OFF）を押すと**
オートサイレントが解除され、「解除しました」と表示されます。

3 0 ～ 9 で開始時刻を入力 ◉ ► 0 ～ 9 で終了時刻を入力 ◉

オートサイレントが設定され、「設定しました」と表示されます。本機能を設定すると、その時刻になるとオートサイレントが有効になり、待ち受け画面に「」が表示されます。

● **入力する箇所を選ぶには**
で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

● **「終日」に設定するには**
（終日）を押します。

お知らせ

- 「オートサイレント」設定時、成功音は鳴りません。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 23:00 ～ 04:00のように、日をまたがる設定もできます。
- 「ON（一度きり）」を設定していた場合、その設定時刻を過ぎたときは、自動的に「OFF」に設定されます。
- 本機能が設定されているときに、音や着信メロディの設定で再生をしようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して ◉ を押すと、再生を開始します。
- 音量調節などで音を鳴らしているときに本機能の設定時刻になっても、再生音は停止しません。

安全運転モードを設定する

車の運転中や電車の中で電話に出られないときに「安全運転モード」に設定しておくと便利です。電話がかかってきても、着信音やバイブレータ、バックライトなどは動作せず、応答メッセージが相手に流れます。
安全運転モードには、本電話機から電話に出られないことをお伝えする「電話機応答」と、ウィルコムのネットワークから電話に出られないことをお伝えする「ネットワーク応答留守電サービス」および「ネットワーク応答」の3つのモードがあります。「ネットワーク応答留守電サービス」や「ネットワーク応答」を利用するには、ウィルコムの留守番電話サービスにお申し込みいただく必要があります。「留守番電話サービスを利用する（有料）」（☞7-57ページ）

安全運転モードにする

1 待ち受け画面で # を約１秒以上押す

お買い上げ時の設定では、安全運転モードが設定され、「電話機応答に設定しました」と表示されます。

本機能を設定すると、待ち受け画面に「🚗」が表示されます。

● **安全運転モードを解除するには**
待ち受け画面で ＃ を約１秒以上押すと、安全運転モードが解除され、「解除しました」と表示されます。

安全運転モードの設定内容を変更する

1 待ち受け画面で ● 5 5 7

2 1 〜 3 のいずれか

● **1（ネットワーク応答留守電サービス）を押すと**
運転中のため電話に出ることができないという旨の応答メッセージを流し、ウィルコムの留守番電話センターに相手のメッセージを録音します。
相手のメッセージが録音されると、待ち受け画面に「センター留守電あり」と表示され、「 」が表示されます。この表示は、録音メッセージが再生されるまで表示されます。

● **2（ネットワーク応答）を押すと**
運転中のため電話に出ることができないという旨の応答メッセージを流します。この場合、相手のメッセージは録音されません。
待ち受け画面に着信件数が表示され、「 」が表示されます。この表示は、着信履歴を確認するまで表示されます。

● **3（電話機応答）を押すと**
「ただいま移動中のため、電話に出られません。ピーッとなりましたら、お名前とご用件をお話しください」という応答メッセージを流し、データフォルダに相手のメッセージを録音します。１件につき最大60秒間のメッセージが録音できます。メッセージの保存先は「留守録音を設定する」で設定した場所と同じです。「留守録音を設定／解除する」（☞2-48ページ）
相手のメッセージが録音されると、待ち受け画面に録音メッセージの件数と「留守録音」が表示されます。この表示は、録音メッセージが再生されるまで表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「電話機応答」に設定されています。
- 「電話機応答」設定時、相手がメッセージを録音している途中で、PWR を押すと録音は中止されます。この場合、途中までのメッセージが保存されます。
- 「ネットワーク応答留守電サービス」または「電話機応答」設定時、相手がメッセージを録音している途中で、最大録音可能時間が過ぎると「ピー」という音が鳴り、録音を終了します。

お知らせ

- 「電話機応答」設定時、応答メッセージを流しているときや録音中は、相手からの音声を受話口（レシーバ）で聞くことができます。
- 「電話機応答」設定時、データフォルダの容量が一杯の場合には、メッセージを流した後、通話が終了します。

キー確認音を設定する（効果音）

ボタンを押したときに、キー確認音を鳴らすかどうかを選択できます。

1 待ち受け画面で ● 5 1

2 2 1 ► 1 〜 5 のいずれか
キー確認音が設定され、「設定しました」と表示されます。

● **キー確認音を確認するには**
キー確認音には４つのパターンがあります。キー確認音画面で ◎ でパターンを選択すると、それぞれのキー確認音が確認できます。

● **キー確認音を解除するには**
キー確認音設定時に 5（OFF）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「パターンＡ」に設定されています。
- キー確認音の設定は「マナーモード」の「効果音」に従います。キー確認音を「OFF」にしても、「マナーモード」の「効果音」が「ON」になっていればキー確認音は鳴ります。
- キー確認音の設定は「オートサイレント」の設定に従います。キー確認音を「ON」にしても、「オートサイレント」起動中はキー確認音は鳴りません。
- キー確認音を「ON」にしても、イヤホン装着時は試聴時を含めキー確認音は鳴りません。

成功／エラー音を設定する（効果音）

各機能を設定したときに、成功音およびエラー音を鳴らすかどうかを選択できます。

1 待ち受け画面で ● 5 1

2 2 2 ► 1 または 2
成功／エラー音が設定され、「設定しました」と表示されます。

● **1（ON）を押すと**
成功／エラー音を設定します。

● 2（OFF）を押すと
成功／エラー音を解除します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 成功/エラー音の設定は「マナーモード」の「効果音」に従います。成功/エラー音を「OFF」にしても、「マナーモード」の「効果音」が「ON」になっていれば成功/エラー音は鳴ります。
- 成功/エラー音の設定は「オートサイレント」の設定に従います。成功/エラー音を「ON」にしても、「オートサイレント」起動中は成功/エラー音は鳴りません。

圏外／充電警告音を設定する（効果音）

通話中、電波が届かなくなり「圏外」が表示されるとき、または電池の充電が必要となり「 」が表示されるときに、圏外警告音および充電警告音を鳴らすかどうかを選択できます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 1

2 2 3 ► 1 または 2

圏外／充電警告音が設定され、「設定しました」と表示されます。

● 1（ON）を押すと
圏外／充電警告音を設定します。

● 2（OFF）を押すと
圏外／充電警告音を解除します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 圏外/充電警告音の設定は「マナーモード」の「効果音」に従います。圏外/充電警告音を「OFF」にしても、「マナーモード」の「効果音」が「ON」になっていれば圏外/充電警告音は鳴ります。
- 圏外/充電警告音の設定は「オートサイレント」の設定に従います。圏外/充電警告音を「ON」にしても、「オートサイレント」起動中は圏外/充電警告音は鳴りません。

送達確認音を設定する（効果音）

ライトメールを送信したときに、送達確認音を鳴らすかどうかを選択できます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 1

2 2 4 ► 1 または 2

送信確認音が設定され、「設定しました」と表示されます。

● 1（ON）を押すと
送信確認音を設定します。

● 2（OFF）を押すと
送信確認音を解除します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 送達確認音の設定は「マナーモード」の「効果音設定」に従います。送達確認音を「OFF」にしても、「マナーモード」の「効果音設定」が「ON」になっていれば送達確認音は鳴ります。
- 送達確認音の設定は「オートサイレント」の設定に従います。送達確認音を「ON」にしても、「オートサイレント」起動中は送達確認音は鳴りません。

保留音を設定する

保留音の種類を選択できます。保留音は、固定サウンド、データフォルダに保存されているサウンドデータ、または「公式サイトから探す」から選択できます。
保留音として設定できる固定サウンドは、着信音と同じです。「固定サウンド一覧」（☞2-41ページ）

1 待ち受け画面で ◉ 5 1

2 3 ► 1 ～ 3 のいずれか

● 1（固定サウンド）を押すと
固定サウンドの中から保留音を選択します。

● 2（データフォルダ）を押すと
データフォルダの中に保存されている「全データ表示」「サウンド」「録音」から、保留音を選択します。データフォルダにこれらのデータが保存されていなければ、この項目は選択できません。

● 3（公式サイトから探す）を押すと
Webページからサウンドデータをダウンロードして保留音として設定できます。
「Webページからダウンロードしたサウンドデータを保留音に設定する」（☞2-47ページ）

● メロディを聞くには
でメロディを選択して （再生）を押すと、メロディが再生されます。この場合、 で次のメロディ、 で前のメロディを再生します。再生を終了するには、 （停止）または を押します。

● **音量を調節するには**
メロディ再生中に、◎で音量の調節ができます。

3 ◎で保留音を選択●

保留音が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「固定サウンド」の「グリーンスリーブス」に設定されています。
- イヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。

Webページからダウンロードしたサウンドデータを保留音に設定する

コンテンツダイレクトアクセス機能によって、Webページに直接アクセスしてサウンドデータをダウンロードし、保留音として設定できます。

1 待ち受け画面で●5 1

2 3 3

「ダウンロード後に設定変更を行ってください」と表示され、●（OK）を押すとWebページが表示されます。
Webページの画面に従って、サウンドデータをダウンロードしてください。
「ファイルをダウンロードする」（☞4-18ページ）
ダウンロードしたサウンドデータは、データフォルダに保存されます。

3 保留音を選択する

2（データフォルダ）を押し、◎でダウンロードしたサウンドデータを選択し、●を押します。
保留音が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 管理者ロックで「Web制限」がONに表示されている場合、3（公式サイトから探す）を選択すると「Web制限設定中です」と表示され、Webページを表示できません。
- 機能ロックで「メール/Web/Java™」がONに設定されている場合、3（公式サイトから探す）を選択すると、暗証番号による認証が必要になります。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）
- 機能ロックで「データフォルダ」がONに設定されている場合、3（公式サイトから探す）を選択すると、「データフォルダの機能ロックを一時的に解除します。よろしいですか？」と表示されます。◎で「Yes」を選択し、●を押します。次の画面で暗証番号による認証が必要になります。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）
- オフィスモードやグループモードで使用している場合、3（公式サイトから探す）を選択すると、「ネットワークが利用できません」と表示され、Webページを表示できません。
- オンラインサインアップが未設定の場合、3（公式サイトから探す）を選択すると、オンラインサインアップの画面が表示されます。先にオンラインサインアップを設定してから、操作をやり直してください。
- ダイヤルアップの接続が「CLUB AIR-EDGE」ではない場合、3（公式サイトから探す）を選択すると、「ネットワークが利用できません」と表示され、Webページを表示できません。
- コンテンツダイレクトアクセス機能は、待ち受け画面でWeb 8 4を押して表示モードを「ケータイモード」に設定してから使用してください。

相手が出たことを振動で通知する（発信先応答通知）

電話をかけた相手が応答したとき、バイブレータが約0.5秒振動してそのことをお知らせするかどうかを選択できます。

1 待ち受け画面で●5 7

2 4 ► 1 または 2

発信先応答通知が設定され、「設定しました」と表示されます。

● **1（ON）を押すと**
発信先応答通知を設定します。

● **2（OFF）を押すと**
発信先応答通知を解除します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

基本機能 2 音を調整する

留守録音を設定する

「留守録音」を使うと、電話に出られない場合など相手にメッセージを流したり、伝言を録音したりすることができます。
電話がかかってくると、「ただいま電話に出られません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください」という応答メッセージが流れ、相手のメッセージを録音できます。
相手のメッセージは、1件につき約3秒～60秒間録音できます。
相手のメッセージは、データ保存容量の範囲内で何件でも保存できます。

留守録音を設定／解除する

1 待ち受け画面で ◉ 5 5

2 4 ► 1 または 2

- **1（ON）を押すと**
  応答メッセージを流し、相手のメッセージをデータフォルダに保存します。
- **2（OFF）を押すと**
  留守録音設定を解除します。

3 0 ～ 9 で応答時間を入力 ◉

留守録音が設定され、「設定しました」と表示されます。本機能を設定すると、待ち受け画面に「 」が表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「留守録音設定」は「OFF」に設定されています。
- お買い上げ時には、「応答時間設定」は「10秒」に設定されています。
- 待ち受け画面で を約1秒以上押すことでも、留守録音を設定／解除できます。
- 応答メッセージを流しているときや留守録音中は、相手からの音声をレシーバで聞くことができます。
- 応答メッセージの再生中に または ◉（通話）を押すと、通話状態となり相手と話すことができます。
- 「留守録音設定」を設定していなくても、着信中に ◉（留守録）を押すと、留守録音に切り替わります。
- 通話中に相手の声を録音することもできます。「通話を録音する（通話録音）」（☞2-8ページ）
- 相手がメッセージを録音している途中で、最大録音可能時間が過ぎると「ピー」という音が鳴り、録音を終了します。
- 保存先の空き容量が足りなくなると、保存できなくなります。不要なデータは削除してください。「録音されたメッセージを削除する」（☞2-49ページ）、「データを削除する」（☞7-49ページ）
- 「留守録音設定」は、国際ローミングでも同様に動作します。

録音されたメッセージを再生／削除する

相手のメッセージが録音されると、待ち受け画面に録音メッセージの件数と「留守録音」が表示されます。この表示は、クリア/マナー を押すか、録音メッセージが再生されるまで表示されます。

留守録音から再生する

1 待ち受け画面で ◉ 5 5 5

：再生されていない録音メッセージ
：再生済みの録音メッセージ

- **待ち受け画面に「留守録音　○○件」と表示されているときは**
  まだ再生していない留守録音メッセージがあります。この場合は、◉ を押すと最新の留守録音メッセージが再生されます。

2 で再生したい録音メッセージを選択 ◉ ► ◉

選択された録音メッセージを再生します。再生が完了すると、再生完了音が鳴ります。◉ または クリア/マナー を押すまで、同じメッセージの再生を繰り返します。

- **スピーカから音を聞くには**
  再生中に （スピーカ）を押します。レシーバに切り替えるには （レシーバ）を押します。
- **再生を終了するには**
  再生中に クリア/マナー を押します。
  ◉ を押すと一時停止します。
- **再生中の録音メッセージを削除するには**
  再生中に （削除）を押すと、「削除しますか？」と表示されます。この場合、「Yes」を選択して ◉ を押すと、「削除しました」と表示されます。フォルダ内に録音メッセージがある場合は、次の録音メッセージを再生します。録音メッセージが1件もない場合には、元の画面に戻ります。

- **音量を調節するには**
  再生中に、◎で音量を調節します。
  ◎：再生音量レベルが上がります。
  ◎：再生音量レベルが下がります。

お知らせ

- 録音メッセージの一覧には、着信時間の新しい順に録音メッセージが表示されます。録音メッセージをソートして、表示順序を変えることができます。「データを並べ替える」(☞7-47ページ)
- 再生中に、保留で前の、留守録で次の録音メッセージを再生します。
- オートサイレントモードまたはマナーモードのときに、録音メッセージを再生しようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して◉を2回押すと、再生を開始します。
- 再生中にイヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。
- シークレットが「ON」で電話帳に登録されている発信者の場合は、留守録音のデータ名は「ユーザ非通知」になります。登録名を一時的に表示するには、メニューキー（メニュー）を押し、サブメニューで8（シークレット一時表示)を押します。暗証番号認証を行うと、登録名が表示されます。
- ウィルコムの留守番電話サービスにお申し込みいただくと、ネットワーク経由で留守番電話機能をご利用いただけます。「留守番電話サービスを利用する（有料)」(☞7-57ページ)

着信履歴から再生する

留守録音メッセージは、着信履歴から再生することもできます。

1　待ち受け画面で◎メニューキー6

2　◎で履歴を選択◉ ► ◉

留守録音メッセージが再生されます。

録音されたメッセージを削除する

1　待ち受け画面で◉555

2　◎で削除する録音メッセージを選択

3　メニューキーメニューキー ► 1～3のいずれか

- **1（一件削除）を押すと**
  選択した録音メッセージ1件だけを削除します。
- **2（選択削除）を押すと**
  録音メッセージ選択画面が表示されるので、◎で削除する録音メッセージを選択して◉（チェック）を押します。録音メッセージの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度◉（チェック）を押します。全件選択する場合は、メニューキー1（全件選択）を押します。
  チェックをすべて外す場合は、メニューキー2（全件解除）を押します。
  削除するメッセージの選択を終えたら右ソフトキー（削除）を押します。
- **3（全件削除）を押すと**
  留守録音の全メッセージを削除します。暗証番号認証を行います。「暗証番号で認証を行う」(☞6-6ページ)

4　◎で「Yes」を選択◉

録音メッセージが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 録音メッセージの一覧には、着信時間の新しい順に録音メッセージが表示されます。録音メッセージをソートして、表示順序を変えることができます。「データを並べ替える」(☞7-47ページ)
- 「削除中」のメッセージが表示されているときにPWRを押すと、その時点までのデータを削除し、処理を中断します。
- 削除対象の録音メッセージの中に、他の機能で設定しているデータが含まれている場合、設定データを削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して◉を押すと、設定データも含め選択したすべての録音メッセージが削除されます。「No」を選択して◉を押すと、元の画面に戻ります。

マイメニューを利用する

よく利用するメニューやブックマークを「マイメニュー」に登録すると、操作が簡単に行えるようになります。

マイメニューに登録する

メニューやブックマークを最大12件までマイメニューに登録することができます。「マイメニューにブックマークを登録する」（☞4-10ページ）
以下は、機能ロックをマイメニューに登録する設定方法を例にしています。

1 待ち受け画面で ◎ ► 登録する番号を選択 ►

- **登録済みの番号を選択して を押すと**
  「上書きしますか？」と表示されます。上書きして良いときは、◎で「Yes」を選択して◉を押します。

2 登録する機能をメインメニューから選択する

ここでは機能ロックを登録するので、9（セキュリティ）を押し、6（機能ロック）を押します。
マイメニューに機能が登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「マイメニュー」には、「オンラインサインアップ」、「公式サイト」および「Java™アプリ」が登録されています。
- 同じ機能を複数登録することができます。
- 待ち受け画面から◉86でもマイメニューを表示することができます。

マイメニューから操作する

マイメニューに登録したメニューやブックマークを操作します。

1 待ち受け画面で ◎ を押す

2 呼び出す機能の番号をダイヤルボタンで押す

機能メニューを選択すると、選択したメニューの画面が表示されます。
ブックマークを選択すると、ブックマークのURLに接続を開始します。

マイメニューから削除する

登録されているメニューやブックマークを削除します。

1件だけ削除する

1 待ち受け画面で ◎ ► ◎ で削除するメニューを選択 ► 1

「削除しますか？」と表示されます。

2 ◎ で「Yes」を選択 ◉

マイメニューが1件削除され、「削除しました」とメッセージが表示されます。

選択して削除する

1 待ち受け画面で ◎ ► 2

2 削除するメニューを選択 ►

- **1件ずつ選択するには**
  ◎で削除するメニューを選択し、◉（チェック）を押します。メニューの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度◉（チェック）を押します。
- **全件選択するには**
  （メニュー）を押し、サブメニューで1（全件選択）を押します。すべてのメニューの先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、（メニュー）を押し、サブメニューで2（全件解除）を押します。

3 ◎ で「Yes」を選択 ◉

マイメニューが削除され、「削除しました」と表示されます。

全件削除する

1 待ち受け画面で ◎ ► 3

2 ◎ で「Yes」を選択 ◉

マイメニューが全件削除され、「削除しました」と表示されます。

3
メール

メールについて…………………………………… 3-2
E メールアドレスを作成する…………………… 3-5
E メールを作成送信する………………………… 3-7
受信したメールを読む………………………… 3-11
送信メールを読む……………………………… 3-16
メールを管理する……………………………… 3-17
E メールの環境を設定する…………………… 3-23
プロバイダのメールアカウントを利用する … 3-26
ライトメールを使用する……………………… 3-28

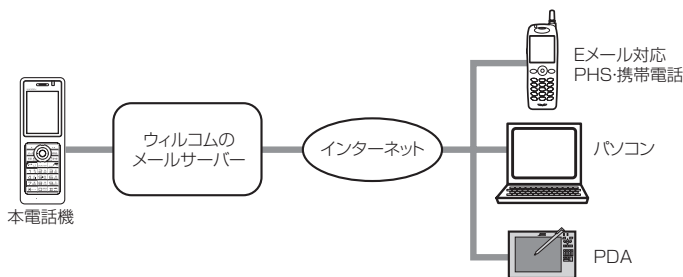
メールについて

本電話機で利用できるメールには、Eメールとライトメールがあります。

Eメール：　インターネットを経由するメールです。パソコンや他社のEメール対応携帯電話機ともやり取りが可能です。「Eメールについて」（☞同じページ内です。）

ライトメール：　相手の電話機と直接通信して送受信するメールで、送信時は相手の電話番号を宛先として指定します。ウィルコムのライトメール対応電話機どうしでやり取りが可能です。「ライトメールについて」（☞3-3ページ）

Eメールについて

Eメールは、ウィルコムのメールサーバーを経由してインターネットに接続し、パソコンやEメール対応電話機などとメッセージをやり取りするサービスです。パソコンなどで利用しているメールアカウントを本電話機で利用することもできます。「プロバイダのメールアカウントを利用する」（☞3-26ページ）

お知らせ

- Eメールを使用するには、オンラインサインアップを行う必要があります。「オンラインサインアップを行う」（☞3-6ページ）
- 新規ご契約時のメールBOXの容量は1Mバイトです。画像やメロディなどの添付ファイルがない場合で、約1000文字のメール約500通に相当します。センターの蓄積容量がいっぱいになるとそれ以上メールを受信することができなくなります。なお、オンラインサインアップから「メールBOXサイズ変更」を選択して容量を15Mバイトに変更することが可能です。（2009年9月現在）
- ウィルコムのメールサーバーでの保管期間はメールの到着日を含め31日です。
- ご契約の料金プランによっては、ウィルコムのメールサーバーに接続できず、Eメールをご利用いただけない場合があります。詳しくはウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。
- 本電話機に保存されているEメールやライトメールは、電池パックを交換する際にも保持されますが、故障、修理、その他取扱いの不注意によっても消失する場合があります。万一、保存されているメールが消失した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本電話機をパソコンと接続してパソコンでデータ通信を行っている最中は、電話機単体でのEメールの送受信はできません。
- 電話機単体でEメールの送受信を行っている最中は、本電話機をパソコンと接続してのパソコンでのデータ通信はできません。

通信料の節約について

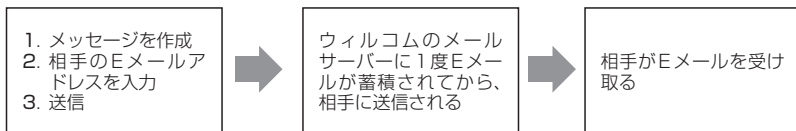
ご契約の料金プランによっては、Eメールの送受信の通信時間またはデータ量に応じた通信料がかかります。予期しない長文メールやサイズの大きい添付ファイルの受信によって通信料が多くかかることを避けるには、1件あたりの受信メールの行数を少なく制限するのが有効です。「Eメールの受信行数を設定する」（☞3-25ページ）
添付ファイルを自動的に削除することもできます。「オンラインサインアップを行う」（☞3-6ページ）

Eメール送信の流れ

Eメールを送信すると、いったんセンターに蓄積されます。

1. メッセージを作成
2. 相手のEメールアドレスを入力
3. 送信

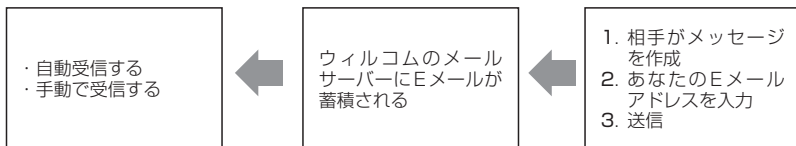
ウィルコムのメールサーバーに1度Eメールが蓄積されてから、相手に送信される

相手がEメールを受け取る

Eメール受信の流れ

受信の場合も、Eメールはセンターに蓄積されます。本電話機はセンターから受信メールを読み取ります。受信メールの読み取り方法には、自動受信と手動受信があります。

・自動受信する
・手動で受信する

ウィルコムのメールサーバーにEメールが蓄積される

1. 相手がメッセージを作成
2. あなたのEメールアドレスを入力
3. 送信

自動受信については「自動でEメールを受信する」（☞3-11ページ）を、手動受信については「手動でEメールを受信する」（☞3-12ページ）を参照してください。

ライトメールについて

ライトメールは、インターネット経由ではなく電話機どうしで直接やり取りするメールです。本電話機は、ライトメール対応機種との間でライトメールを送受信することができます。アニメーションに対応した機種には、アニメーションを付けてライトメールを送信することもできます。ライトメールについては、「ライトメールを作成して送信する」（☞3-28ページ）を参照してください。

ライトメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

	全角文字	半角文字
文字のみ	45 文字	90 文字
アニメーション付き	44 文字	88 文字

お知らせ

- ライトメールを送信するときは、相手がライトメール対応電話機であることを確認してください。
- 本電話機はライトメールのフレームには対応していません。フレーム付きのライトメールが送信されてきても正しく表示されません。
- 相手の電話機によっては、ライトメール対応機種であっても送信した文字や絵文字が完全に表示されないことがあります。
- ライトメールは、分計サービスを使って送信することはできません。

メールBOXについて

Eメールとライトメールは、メールBOXに保存されます。メールBOXには次の3種類があります。

メールBOXの種類	用途
受信BOX	受信したメールが保存されます。8つのサブフォルダがあり、受信メールをサブフォルダに分けて整理することができます。「受信したメールを読む」(☞3-11ページ)
未送信BOX	送信待ちのメールや下書きメールが保存されます。「Eメールを保存し、まとめて送信する」(☞3-9ページ)
送信BOX	送信済みのメールが保存されます。「送信メールを読む」(☞3-16ページ)

メールメニューを表示する

Eメールとライトメールの作成・送信、受信したメールの表示、メールアカウントを取得するためのオンラインサインアップや設定などは、メールメニューから操作を行います。

1 待ち受け画面で [メール] または ◉ [1]

メールメニューが表示されます。

2 [0] ～ [9] のいずれかを押し、メールの操作を行う

- **[1]（受信BOX）を押すと**
  「受信メールを表示する」(☞3-12ページ)
- **[2]（送信BOX）を押すと**
  「送信メールを表示する」(☞3-16ページ)
- **[3]（未送信BOX）を押すと**
  「未送信メールを編集する」(☞3-10ページ)
- **[4]（Eメール受信）を押すと**
  「Eメールを受信する」(☞3-11ページ)
- **[5]（Eメール作成）を押すと**
  「Eメールを新規に作成して送信する」(☞3-7ページ)
- **[6]（ライトメール作成）を押すと**
  「ライトメールを作成して送信する」(☞3-28ページ)
- **[7]（Eメールアカウント設定）を押すと**
  「Eメールアドレスを作成する」(☞3-5ページ)
  「プロバイダのメールアカウントを利用する」(☞3-26ページ)
- **[8]（オプション）を押すと**
  「本文の引用について設定する」(☞3-23ページ)
  「フォルダ表示を切り替える」(☞3-23ページ)
- **[9]（オンラインサインアップ）を押すと**
  「オンラインサインアップを行う」(☞3-6ページ)
- **[0]（インターネット設定）を押すと**
  「接続先を変更する（インターネット設定）」(☞4-26ページ)

Eメールアドレスを作成する

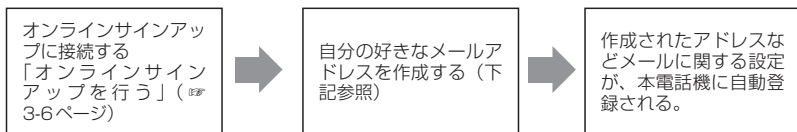
本電話機でEメールを送受信できるようにするため､Eメールアドレスを作成します。作成するには、メールやインターネットに関する設定を行う「オンラインサインアップ」の手続きが必要です。

Eメールアドレス設定の流れ

Eメールアドレスは、下記のような流れで設定します。

オンラインサインアップに接続する「オンラインサインアップを行う」（☞3-6ページ）

自分の好きなメールアドレスを作成する（下記参照）

作成されたアドレスなどメールに関する設定が、本電話機に自動登録される。

オンラインサインアップで作成するのはEメールアドレスの@（アットマーク）より前の部分で、自分で好きな文字列で作成できます。ただし、作成するにあたって次の注意点があります。

・使用可能文字数は、半角文字４文字～ 20文字です。
・半角英数字のほか、記号の「_」（アンダーバー)､「-」（ハイフン）が使用できます。
・「.」（ドット)､「スペース（空白)」は使用できません。
・英字に大文字小文字の区別はありません。すべて小文字で登録されます。
・先頭文字は英文字にしてください。
・@（アットマーク）より後ろは、あらかじめ決められたドメインが自動的に設定されます。

オンラインサインアップを行う

オンラインサインアップサーバに接続してEメールアドレスを登録します。

1 待ち受け画面で［メール］または◉［1］

2 ［9］［1］ ► 画面の指示に従って、操作を行う

◎で項目を選択し、◉を押し、必要な情報を入力してください。
オンラインサインアップが完了すると、Eメールアドレス、パスワードなどのメールアカウント設定、ダイヤルアップ設定が、本電話機に自動的に設定されます。

お知らせ

- 同じユーザネームがすでに登録されている場合、そのユーザネームはご利用いただけません。別のユーザネームを指定し直してください。
- 機種変更で本電話機をご購入になった場合は、オンラインサインアップにより、機種変更前のEメールアドレスを継続してご使用になれます。
- 待ち受けモードが「公衆＋オフィス」でオフィス優先に設定されている場合でも、オンラインサインアップを行うことができます。

オンラインサインアップ情報を削除する

オンラインサインアップで取得したEメールアカウントの使用を停止する場合は、オンラインサインアップ情報を削除します。

1 待ち受け画面で［メール］または◉［1］

2 ［9］［2］

3 ◎でYesを選択◉

オンラインサインアップ情報が削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 誤ってオンラインサインアップ情報を削除してしまったときは、オンラインサインアップサーバに接続することで再度設定することができます。
- オンラインサインアップ情報を削除しても、一般のプロバイダのメールアカウントは削除されません。「プロバイダのメールアカウントを利用する」(☞3-26ページ)

Eメールを作成送信する

新しいEメールを作成して送信します。すぐに送信せずに保存して、あとで送信することもできます。

Eメールを新規に作成して送信する

1　待ち受け画面で［メール］または●［1］

2　［5］ ► ◎で項目を選択し、入力・設定を行う

次の項目が入力・設定できます。

- **差出人（From）を設定する（☞同じページ内です。）**
- **宛先（To）を入力する（☞3-8ページ）**
- **件名（Sub）を入力する（☞3-8ページ）**
- **ファイルを添付する（☞3-8ページ）**
- **本文を入力する（☞3-9ページ）**

3　◎で「送信」を選択●

Eメールが送信されます。［送信］を押しても送信できます。送信中は、進行状況を表わすプログレスバー、メールアカウント名、送信件数が表示されます。
送信が成功すると、送信した件数が表示されます。送信したEメールは送信BOXに保存されます。

- **現在の接続先がEメールのダイヤルアップ接続先と異なるときは**
  「設定の異なる接続先で通信中です。継続しますか？」と表示されます。現在の接続先を経由してEメールを送信する場合は、◎で「Yes」を選択して●を押してください。「No」を選択した場合は、Eメールは送信されません。
- **送信に失敗したときは**
  Eメールは未送信メールとして未送信BOXに保存され、「送信失敗しました」と表示されます。「未送信メールを送信する」（☞3-10ページ）
- **電話帳からメールを作成するには**
  ①電話帳でEメールの送信先を検索し、詳細画面を表示します。「電話帳を使って電話をかける」（☞2-31ページ）
  ②電話帳詳細画面通常表示の場合は◎、電話帳詳細画面一覧表示の場合は◎で「＠」を選択し、●（Eメール）を押すか、［メニュー］（メニュー）を押して［3］（Eメール作成）を押します。メールアドレスが宛先に入力された状態でEメール作成画面が表示されます。
- **待ち受け画面から短縮番号でEメールを作成するには**
  待ち受け画面で1桁の数字を入力し、［・］（メール）を押して、サブメニューで［2］（Eメール作成）を押します。入力した1桁の数字に該当する短縮番号が電話帳に登録されていれば、その登録データのEメールアドレスが宛先にコピーされてEメール作成画面が表示されます。

お知らせ

- 作成中のEメールをライトメールに変更することができます。変更するには、手順2のEメール作成画面で［メニュー］（メニュー）を押し、［3］（メール種別切り替え）を押します。本文の文字数が90バイト以上の場合は、「本文の文字数90バイト目以降は削除されます。よろしいですか？」と表示されるので、◎で「Yes」を選択し、●を押します。本文の先頭から全角45文字（半角90文字）までがコピーされて、ライトメール作成画面が表示されます。ライトメールとして編集し直します。「ライトメールを作成して送信する」（☞3-28ページ）
- 未送信BOXと送信BOXのEメールの合計が120件ある場合や、新規作成に必要な容量が不足している場合にEメールを新規作成すると、保護されていないEメールのうち日付の古いものから削除されます。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」（☞3-19ページ）
- ダイヤルアップ設定でワンタイムパスワードを「ON」に設定している場合は、ダイヤルアップ接続開始の前にパスワードの入力画面が表示されます。「ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ）」（☞4-26ページ）

差出人（From）を設定する

メールの差出人を設定します。

1　Eメール作成画面で◎で「From」を選択● ► ◎でアカウントを選択●

「自動選択」を選択すると、現在の動作モードで設定されている送信メールアカウントが使用されます。「接続先を変更する（インターネット設定）」（☞4-26ページ）

宛先（To）を入力する

Eメールの送り先となるメールアドレスを入力します。

**1 Eメール作成画面で で「To」を選択 ► ► **

宛先入力画面が表示されます。To欄が選択された状態でダイヤルボタンを押しても表示できます。

- **電話帳から宛先を指定するには**

  アドレス編集画面で を押し、（電話帳を開く）を押します。電話帳が表示されるので、宛先のデータを検索し、登録されているメールアドレスを選択します。「電話帳を使って電話をかける」（☞2-31ページ）

**2 メールアドレスを入力 ► **

メールアドレスは半角64文字まで入力できます。「文字を入力する」（☞2-13ページ）
電話帳に登録されているメールアドレスの場合は、登録名が表示されます。

- **複数の宛先を入力するには**

  1つ目の宛先を入力すると、別の宛先（To）欄が追加されます。追加されたTo欄を で選択してメールアドレスを入力することで、複数の宛先を入力することができます。宛先を追加すると、さらにまた新しいTo欄が追加されます。

- **他の人に参考としてメールのコピーを送信するには**

  Cc/Bcc欄を追加します。Cc欄は、To欄とは別に参考として同じメールを送りたい宛先がある場合に使います。Bcc欄は、その人に送信したことをTo、Cc欄の人には知らせたくないときに使います。
  Cc/Bcc欄を追加するには、To欄で（メニュー）を押し、（Ccに変更）または（Bccに変更）を押します。また、Cc/Bcc欄をTo欄に戻すには、Cc/Bcc欄で（メニュー）を押し、（Toに変更）を押します。

- **宛先を削除するには**

  To/Cc/Bcc欄のいずれかで（メニュー）を押します。選択されている宛先1件だけを削除する場合は（削除）を、指定した宛先すべてを削除する場合は（全削除）を押します。確認の画面が表示されるので「Yes」を選択して を押すと、宛先が削除されます。

お知らせ

- 宛先は、To/Cc/Bccを合わせて最大20個まで入力できます。
- CcはCarbon Copy（カーボンコピー）の略で、BccはBlind Carbon Copy（ブラインドカーボンコピー）の略です。どちらも参考としてメールのコピーを送る宛先を指します。Ccの宛先は、Toや他のCcの相手にも公開されるのに対して、Bccの宛先はToやCcの相手には公開されないという違いがあります。

件名（Sub）を入力する

メールの件名を入力します。

**1 Eメール作成画面で で「Sub」を選択 **

件名入力画面が表示されます。「Sub」を選択した状態でダイヤルボタンを押しても表示できます。

**2 件名を入力 **

件名は全角40文字（半角80文字）まで入力できます。「文字を入力する」（☞2-13ページ）

ファイルを添付する

Eメールにデータフォルダのデータを添付して送信することができます。データフォルダに表示されるデータであれば、画像、サウンド、文書などの種類のデータでも添付することができます。

**1 Eメール作成画面で で「 」を選択 ► **

添付ファイル編集画面が表示されます。
データフォルダが表示されます。「データフォルダを表示する」（☞7-39ページ）

**2 添付するファイルを選択 **

添付ファイル編集画面に添付ファイル名が表示されます。

- **複数の添付ファイルを追加するには**

  で「添付ファイル追加」を選択し、 を押します。データフォルダが表示されるので、添付するファイルを選択して を押してください。

- **添付ファイルを削除するには**

  添付ファイルをメールから削除するには（データフォルダ上のデータ自体は削除されません）、 で添付ファイルを選択し、（メニュー）を押します。選択されている添付ファイル1件だけを削除する場合は（削除）を、添付ファイルすべてを削除する場合は（全削除）を押します。

確認の画面が表示されるので「Yes」を選択して ◉ を押すと、添付ファイルがメールから削除されます。

お知らせ

- コピーガードされている画像やサウンドはEメールに添付することができません。
- 添付できるデータのサイズは1件あたり最大350Kバイトです。ただし、データの添付によってメールの合計サイズ（本文やヘッダ情報を含む）が512Kバイトを超える場合は、350Kバイト未満のデータでも添付できません。

■画像データの添付について

JPEG形式の画像データのうちSXGA（1280×960）、VGA（640×480）、QVGA（320×240）のサイズのものは、サイズを縮小して添付することができます。

1 添付時に縮小サイズ指定メニューが表示される ► 1 ～ 4 のいずれか

● 1（サイズ変更無し）を押すと

画像データは縮小されません。ただし、データサイズが350Kバイトを超える場合は、1（サイズ変更なし）は選択できません。

● 2（VGAに縮小）を押すと

画像データがVGA（640×480）サイズに縮小されます。

● 3（QVGAに縮小）を押すと

画像データがQVGA（320×240）サイズに縮小されます。

● 4（QQVGAに縮小）を押すと

画像データがQQVGA（160×120）サイズに縮小されます。

お知らせ

- 縮小後のデータサイズが350Kバイトを超える場合は、さらに「サイズオーバーです縮小保存し添付しますか？」と表示されます。◎で「Yes」を選択して ◉ を押し、2 ～ 4 で縮小サイズを選択してください。再縮小によっても350Kバイト以下にならない場合は、画像データはメールに添付されません。

本文を入力する

メールの本文を入力します。

1 Eメール作成画面で ◎ で本文欄を選択 ◉

本文入力画面が表示されます。本文欄を選択した状態でダイヤルボタンを押しても表示できます。

2 本文を入力 ◉

全角5000文字（半角10000文字）まで入力できます（改行は全角1文字に相当します）。「文字を入力する」（☞2-13ページ）

お知らせ

- Fromで選択されているアカウントに署名が設定されている場合は、その署名が本文に自動的に挿入されます。署名の前に本文を入力してください。「署名を設定する」（☞3-24ページ）
- Eメールの作成では、半角のカタカナは入力できません。
- 本文が規定文字数を超える場合は、改行が自動的に挿入される場合があります。
- 携帯電話やパソコンに送信する場合、絵文字は受信者側で正しく表示されない場合があります。
- 本文中の文字列をコピーして流用することができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞2-23ページ）

Eメールを保存し、まとめて送信する

作成中のEメールを保存し、あとでまとめて送信することができます。

作成中のEメールを保存する

1 Eメールの宛先、件名、本文を入力する

「Eメールを新規に作成して送信する」（☞3-7ページ）

2 ⌒ 1

Eメールが未送信メールとして未送信BOXに保存されます。「未送信メールを送信する」（☞3-10ページ）

● 作成中のEメールを下書きとして保存するには

作成途中のEメールを下書きとして保存する場合は、2（下書き保存）を押します。Eメールは未送信BOXに保存されます。下書きとして保存したEメールは送信操作を行っても送信されません。「未送信メールを送信する」（☞3-10ページ）

お知らせ

- 宛先が未入力の場合は、1（送信待ち保存）は選択できません。
- Eメールは下書きを20件まで保存できます。ただし、未送信BOXと送信BOXの合計で120件を超える場合は保存できません。

未送信メールを編集する

未送信BOXに保存された送信待ちメールや下書きメールを編集します。

1 待ち受け画面で メール または ◉ 1

2 3 ► ◎ でメールを選択 ◉

メールの詳細画面が表示されます。詳細画面に表示される内容は次のとおりです（設定されていない項目は表示されません）。

・メールの保存日時
・To：宛先
・Cc：Ccの宛先
・Bcc：Bccの宛先
・Sub：メールの件名
・添付：添付ファイル名
・メールの本文

● **マークの意味について**

：送信待ちEメール
：下書きEメール
：下書きライトメール
：保護メール
：添付ファイルあり

● **前後のメールを表示するには**

◎で前のメール、◎で次のメールが表示されます。

● **メールアドレスをすべて表示するには**

差出人（From）やすべてのTo、Ccを表示する方法については「Eメールに指定されているアドレスをすべて表示する」（☞3-13ページ）を参照してください。

● **本文に電話番号、メールアドレス、URLが含まれているときは**

本文の電話番号、メールアドレス、URLは、◎で順に選択していくことができます。これらを利用した操作については「メール本文の電話番号、メールアドレス、URLを利用する」（☞3-17ページ）を参照してください。

3 メニュー 1 ► 必要に応じてメールの各項目を編集する

◎でTo欄～本文欄のいずれかを選択し、◉を押すと、その項目の内容を変更することができます。「Eメールを新規に作成して送信する」（☞3-7ページ）

お知らせ

- 未送信メール、下書きメールを編集した場合は、元のメールに上書きされます。
- 手順2の詳細画面の表示において、Toは1番目を表示し、Cc,Bccは1番目のCcまたはBccのいずれかを表示します。

未送信メールを送信する

送信待ち保存で保存したEメールを送信します。

1 待ち受け画面で メール または ◉ 1

2 3 ► ◎ で未送信メールを選択 ► メニュー 2

選択したEメールが送信されます。

● **未送信メールをまとめて送信するには**

3（全送信）を押します。

● **メール詳細画面からメールを送信するには**

「未送信メールを編集する」（☞同じページ内です。）の手順1～2の操作を行い、メニュー（メニュー）を押し、2（送信）を押します。

お知らせ

- 下書き保存したメールは送信されません。
- ダイヤルアップ設定でワンタイムパスワードを「ON」に設定している場合は、ダイヤルアップ接続開始の前にパスワードの入力画面が表示されます。「ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ）」（☞4-26ページ）

■下書き保存したメールを送信する

1 待ち受け画面で メール または ◉ 1

2 3 ► ◎ で下書きメールを選択 ► メニュー 1 ► ◎ で「送信」を選択 ◉

選択したEメールが送信されます。

受信したメールを読む

Eメールを受信する

受信したEメールは最大500件まで保存されます。受信できるEメールのサイズは1件あたり最大で約512Kバイト（ヘッダ、添付ファイルを含む）です。受信メール本文の最大文字数は、40000バイト（半角文字で40000文字、全角文字で20000文字）です。

自動でEメールを受信する

オンラインサインアップで取得したメールアカウントのメールは、自動で受信することができます。自動で受信するには、Eメール自動受信機能が「ON」に設定されている必要があります。「Eメール自動受信機能を設定する」（☞3-23ページ）

1　Eメールを自動的に受信する

ウィルコムのメールサーバーにEメールが届くと本電話機に通知され、本電話機は自動的にEメールを受信します。
受信中は画面上端に「 」が表示され、受信が完了すると最後に着信したメールのアドレスに対応した着信音が鳴ります。また、画面上端に「 」が表示されます。待ち受け画面には受信したメール件数が「新着メール　○○件」と表示されます。「受信メールを表示する」（☞3-12ページ）

お知らせ

- 受信するメールのサイズを制限したい場合は、受信行数制限を設定してください。「Eメールの受信行数を設定する」（☞3-25ページ）
- 受信によって受信BOXのEメールが500件を超える場合や、保存先の空き容量を超える場合は、保護されていない既読Eメールが日付の古い順に削除され、新しいEメールが受信されます。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」（☞3-19ページ）
- センターからEメールの受信通知を受け取った際、センターの電話番号などの情報が本電話機に登録されているセンターの電話番号と一致しない場合、「Eメール自動受信通知のセンタコードが一致しません」と表示されます。メールアカウントの内容をご確認になり、一度オンラインサインアップ情報を削除してからもう一度オンラインサインアップを行ってください。「オンラインサインアップを行う」（☞3-6ページ）
- [PWR]を押して受信を中断した場合や受信中に圏外になるなどの理由で受信に失敗した場合は、「センターにEメールがあります」というメッセージと「 」が表示されます。この場合は[クリア/マナー]または[PWR]を押すと待ち受け画面に戻ることができます。「手動でEメールを受信する」（☞3-12ページ）
- 待受モードが「オフィス」または「グループ」に設定されているときは、Eメールの自動受信を行うことはできません。「公衆＋オフィス」、「公衆＋グループ」に設定されているときは、優先発信切替の設定にかかわらずEメールの自動受信を行うことができます。

■バックグランドでの受信について

待ち受け画面以外を表示しているときにEメールを受信した場合は受信が終わると、「Eメール受信完了」と表示され、画面上端に「 」が表示されます。待ち受け画面に戻ると、「新着メール　○○件」と表示されます。「受信メールを表示する」（☞3-12ページ）

お知らせ

- 「バックグランド受信通知」が「OFF」の場合は、「Eメール受信完了」のメッセージは表示されません。「Eメールのバックグランド受信通知を設定する（バックグランド受信通知）」（☞2-43ページ）
- 本電話機の操作内容によっては、Eメールを受信できない場合があります。また、Eメール受信中にこれらの操作を行おうとすると、Eメール受信を中断するかどうか確認するメッセージが表示されます。「Yes」を選択すると、Eメールの受信は中断されます。「No」を選択すると、受信が続行されます。

手動でEメールを受信する

ウィルコムのメールサーバーにある未受信のEメールを手動で受信します。

1 待ち受け画面で [メール] または ◉ [1] ► [4]

センターにある未受信のEメールがすべて受信されます。受信中は、受信件数と未受信メールの合計件数、進行状況を表わすプログレスバー、メールアカウント名が表示されます。
受信が完了すると、受信したアカウント名ごとに受信件数が表示されたあと、受信BOXが表示されます。「受信メールを表示する」(☞同じページ内です。)

● **「センターにEメールがあります」と表示されているときは**

[クリア/マナー] または [PWR] を押すとメッセージが消え、「センターメールあり」というポップアップが表示されます。この状態で ◉ を押すと、Eメールの受信が開始されます。

お知らせ

- オンラインサインアップの設定によって、Eメールがウィルコムのメールサーバーに届いていることをライトメールで通知させることもできます。「オンラインサインアップを行う」(☞3-6ページ)

■複数アカウントが設定されている場合のメール受信

複数のメールアカウントを設定してある場合、手動でEメール受信を行ったときにどのメールアカウントで受信するかは、現在選択している接続モードの設定によります。「接続先を変更する(インターネット設定)」(☞4-26ページ)
接続モードの受信メールアカウントの「毎回選択」が「ON」のときは、手動での受信の手順は次のようになります。

1 待ち受け画面で [メール] または ◉ [1]

2 [4] ► ◎ で受信するアカウントを選択 ◉ ► ◎ で「受信開始」を選択 ◉

選択したアカウントのメールが受信されます。

お知らせ

- ダイヤルアップ設定でワンタイムパスワードを「ON」に設定している場合は、ダイヤルアップ接続開始の前にパスワードの入力画面が表示されます。「ダイヤルアップの接続先を設定する(ダイヤルアップ)」(☞4-26ページ)

受信メールを表示する

受信したメールは受信BOXに保存されます。受信BOXには、ユーザ受信BOX1 ~ユーザ受信BOX8の8つのサブフォルダもあり、設定により自動的に受信メールをサブフォルダに振り分けることもできます。「メールを自動的にフォルダに振り分ける」(☞3-14ページ)

1 待ち受け画面で [メール] または ◉ [1]

● **待ち受け画面に「新着メール　○○件」と表示されているときは**

まだ読んでいないメールが受信BOXにある場合は、待ち受け画面に「新着メール　○○件」と表示されます。この場合は、◉ を押すと受信BOXの新着メール一覧が表示されるので、手順3へ進んでください。

2 [1] ► ◎ でフォルダを選択 ◉

受信BOXのフォルダ一覧が表示されます。新着メールのあるフォルダの左側には「✉」が表示されます。また、各フォルダの右側にはフォルダ内の未読メール件数が表示されます。

新着メールのあるフォルダ
フォルダ中の未読メール件数
何件目のフォルダを選択しているか／全フォルダ数
フォルダ内のメール件数

受信BOX
受信BOX (3)
✉ユーザ受信BOX1 (2)
ユーザ受信BOX2 (6)
ユーザ受信BOX3 (0)
ユーザ受信BOX4 (0)
ユーザ受信BOX5 (0)
ユーザ受信BOX6 (0)
ユーザ受信BOX7 (0)
ユーザ受信BOX8 (0)
30件　1/9
戻る　決定　メニュー

● **フォルダ一覧を表示させないようにするには**

オプションの設定により、フォルダを表示せず受信BOXの各フォルダ全体のメール一覧を表示させることもできます。「フォルダ表示を切り替える」(☞3-23ページ)

● **フォルダ内のメール一覧に表示されるマークの意味について**

- ：新着メール
- ：未読Eメール
- ：既読Eメール
- ：未読ライトメール
- ：既読ライトメール
- ：保護メール
- ：不完全な新着メール※
- ：不完全な未読メール※
- ：不完全な既読メール※

※ 受信行数制限設定を「ON」にしている場合など、すべてのデータを受信しきれなかったときに表示されます。

画面下側には選択したメールの番号と全メール件数も表示されます。

3 ◎でメールを選択◉

メールの詳細画面が表示されます。詳細画面に表示される内容は次のとおりです。
・メールの送信日時（メールに送信日時の情報がない場合やライトメールの場合は受信日時）
・From：メールの差出人
・Reply：返信先（指定されていない場合は表示されません）
・Sub：メールの件名
・📎：添付ファイル名
・メールの本文

● **前後のメールを表示するには**
◎で前のメール、◎で次のメールが表示されます。

● **本文に電話番号、メールアドレス、URLが含まれているときは**
本文の電話番号、メールアドレス、URLは、◎で順に選択していくことができます。これらを利用した操作については「メール本文の電話番号、メールアドレス、URLを利用する」（☞3-17ページ）を参照してください。

4 ☐

メール一覧に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時には、あらかじめセットされたメール［1件］が保存されています。
- HTML形式のEメールは正しく表示することができません。
- 新着メール一覧画面には新着の未読メールだけが表示されます。手順3でメールの詳細画面を表示し、手順4でメール一覧に戻ると、そのメールは新着メール一覧には表示されません。新着メール一覧画面で☐（戻る）を押すと、待ち受け画面に戻ります。

Eメールに指定されているアドレスをすべて表示する

Eメールには、宛先（To）と差出人（From）のほか、Ccや返信先（Reply）が指定されている場合もあります。ToやCcが複数指定されている場合もあります。これらのメールアドレスをすべて表示することができます。

1 メール詳細画面で◎ ► ◎でTo/Cc/From/Replyのいずれかを選択◉

Eメールに指定されているTo/Cc/From/Replyのすべてが表示されます。

● **メールアドレスを電話帳に登録するには**
◎でいずれかのメールアドレスを選択し、◉を押すと、「電話帳に登録しますか？」と表示されます。◎で「Yes」を選択し、◉を押すと、電話帳が表示され、メールアドレスを電話帳に登録することができます。「電話帳に登録する」（☞2-28ページ）

添付されているファイルを開く

Eメールに添付されているファイルを開きます。

1 メール詳細画面で◎で添付ファイルを選択◉ ► ◎で添付ファイルを選択◉

画像データや文書データの場合は内容が表示されます。サウンドデータの場合は再生されます。その他の添付ファイルについては、下記の「添付ファイルを保存するには」の手順に従ってデータフォルダに保存してから表示／再生してください。表示／再生時の操作については下記を参照してください。
画像データ：「画像データを活用する」（☞7-39ページ）
サウンドデータ：「サウンドデータを活用する」（☞7-41ページ）
録音データ：「録音データを活用する」（☞7-42ページ）
テキストデータ：「テキストデータを開く」（☞7-43ページ）
圧縮データ：「圧縮データを開く」（☞7-44ページ）
Javaアプリケーション：「Javaアプリケーションを活用する」（☞7-44ページ）

● **添付ファイルを保存するには**
添付ファイル一覧で◎でファイルを選択して☐（保存）を押すと、添付ファイルが保存されます。添付ファイルの保存フォルダは、データの種類に応じて自動的に選択されます。「データフォルダについて」（☞7-38ページ）

返信する

受信したEメールに返信をします。

1 受信メール詳細画面で☐ 1

または、メール一覧でEメールを選択した状態で☐（メニュー）を押し、1（返信）を押します。
差出人のメールアドレスが宛先に入力された状態でEメール作成画面が表示されます。本文には受信メールの内容を引用することができます。

● **全員へ返信するには**
メール詳細画面で☐（メニュー）を押し、2（全員へ返信）を押します。差出人（From）、Ccの全員のメールアドレスが宛先に入力された状態でEメール作成画面が表示されます。

2 Eメールを作成して送信する

「Eメールを作成送信する」（☞3-7ページ）

お知らせ

- お買い上げ時には、「引用設定」は「引用しない」に設定されています。「本文の引用について設定する」（☞3-23ページ）

転送する

受信したEメールを差出人とは別の人に送信します。

1 受信メール詳細画面で ［メニュー］［3］

または、メール一覧でEメールを選択した状態で［メニュー］（メニュー）を押し、［3］（転送）を押します。
本文に受信メールの内容が引用された状態でEメール作成画面が表示されます。

2 Eメールを作成して送信する

「Eメールを作成送信する」（☞3-7ページ）

受信BOXのフォルダを活用する

受信BOXには、「受信BOX」フォルダと「ユーザ受信BOX1」～「ユーザ受信BOX8」の合計９つのサブフォルダがあります。お買い上げ時の設定では、受信メールはすべて「受信BOX」に保存されますが、設定により自動的にユーザ受信BOXに受信メールを振り分け、受信メールを整理することができます。ユーザ受信BOXはフォルダ名を変更することもできます。

フォルダ名を変更する

「ユーザ受信BOX1」～「ユーザ受信BOX8」のフォルダの名前を変更することができます。受信BOXにフォルダが表示されない場合は、フォルダ表示切替で「表示する」に設定してください。「フォルダ表示を切り替える」（☞3-23ページ）

1 待ち受け画面で ［メール］ または ◉［1］

2 ［1］ ► ◎ で名前を変更したいフォルダを選択 ► ［メニュー］［1］

3 フォルダ名を変更 ◉

フォルダ名は全角16文字（半角32文字）まで入力できます。「文字を入力する」（☞2-13ページ）

メールを自動的にフォルダに振り分ける

特定の差出人（メールアドレス）からのメールを自動的に受信BOXの指定フォルダに振り分けることができます。１つのフォルダに対して最大24件のメールアドレスを設定することができます。

1 待ち受け画面で ［メール］ または ◉［1］

2 ［1］ ► ◎ で振り分け先のフォルダを選択 ► ［メニュー］［2］

3 ◎ で「振り分け設定追加」を選択 ◉ ► ［1］～［4］のいずれか

- **［1］（電話帳引用）を押したときは**
  電話帳が表示されるので、振り分けるメールアドレスを電話帳から選択します。「電話帳を利用する」（☞2-26ページ）
- **［2］（送信履歴引用）を押したときは**
  ［1］（Eメール）または［2］（ライトメール）を押し、振り分けるメールアドレスを送信履歴から選択します。
- **［3］（グループ）を押したときは**
  電話帳のグループ一覧が表示されるので、振り分けるグループを選択します。この場合、グループに含まれる各メールアドレスが振り分けの対象になります。「グループ一覧で検索する」（☞2-32ページ）
- **［4］（直接入力）を押したときは**
  振り分けるメールアドレスを直接入力します。

4 必要に応じて設定を追加する

設定を追加すると、設定したメールアドレスやグループ名が振り分け設定画面に表示されます。設定を追加する場合は、◎で「振り分け設定追加」を選択し、◉を押します。

- **振り分け設定を変更するには**
  振り分け設定画面で変更したい設定を◎で選択し、◉を押します。振り分けるメールアドレスの指定方法を変更します。
- **振り分け設定を１件だけ削除するには**
  振り分け設定画面で削除したい設定を◎で選択し、［メニュー］（メニュー）を押して［1］（一件削除）を押します。確認のメッセージが表示されるので、◎で「Yes」を選択し、◉を押します。振り分け設定が削除され、「削除しました」と表示されます。
- **振り分け設定を全件削除するには**
  振り分け設定画面でいずれかの設定を◎で選択し、［メニュー］（メニュー）を押して［2］（全件削除）を押します。暗証番号認証を行い、確認のメッセージが表示されるので、◎で

「Yes」を選択し、◉を押します。振り分け設定が削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 複数のフォルダに同じ差出人を設定することはできません。ただし、あるフォルダに設定したグループ内のメールアドレスを他のフォルダに単独の差出人として設定することはできます。この場合、単独の差出人として設定したフォルダへの振り分けが優先されます。
- 受信メールを手動でフォルダに移動することもできます。「メールを移動する」(☞同じページ内です。)

■振り分け設定をリセットする

全フォルダの振り分け設定を一括して削除します。

1 待ち受け画面で［メール］または◉［1］

2 ［1］ ► ［メニュー］［3］ ► 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」(☞6-6ページ)

3 ◎で「Yes」を選択◉

振り分け設定がリセットされ、「リセットしました」と表示されます。

メールを移動する

受信BOX内のメールを他のフォルダに移動することができます。

1 待ち受け画面で［メール］または◉［1］

2 ［1］ ► ◎でフォルダを選択◉ ► ◎で移動するメールを選択 ► ［メニュー］［4］ ► ［1］～［3］のいずれか

- **［1］（一件）を押すと**
  選択したメール1件だけを移動します。
- **［2］（選択）を押すと**
  メール選択画面が表示されるので、◎で移動するメールを選択して◉を押します。メールの先頭に「✓」が付きます。チェックを外すときは、再度◉を押します。移動するメールの選択を終えたら［メニュー］（移動）を押します。
- **［3］（全件）を押すと**
  フォルダ内の全メールを移動します。

3 ◎で移動先のフォルダを選択◉

メールが移動し、「移動しました」と表示されます。

お知らせ

- メール詳細画面からメールを移動することもできます。メール詳細画面で［メニュー］（メニュー）を押し、［4］(移動)を押します。フォルダ選択画面が表示されるので、◎で移動先のフォルダを選択し、◉を押します。
- メールをフォルダに移動した場合でも、フォルダ表示を「表示しない」に設定すると、すべてのメールが受信BOX内に表示されるようになります。再度、「表示する」に設定したときは、それぞれのフォルダ内に表示されます。

送信メールを読む

送信メール（送信済みのメール）は送信BOXに保存されます。送信メールを編集して、別のメールとして送信することもできます。

送信メールを表示する

1　待ち受け画面で［メール］または◉［1］

2　［2］ ► ◎でメールを選択◉

メールの詳細画面が表示されます。表示される内容は未送信メールと同じです。「未送信メールを編集する」（☞3-10ページ）

● 送信メールの一覧に表示されるマークの意味について

- ：Eメール
- ：ライトメール
- ：保護メール
- ：添付ファイルあり

● 前後のメールを表示するには

◎で前のメール、◎で次のメールが表示されます。

● メールアドレスをすべて表示するには

差出人（From）やすべてのTo、Ccを表示する方法については「Eメールに指定されているアドレスをすべて表示する」（☞3-13ページ）を参照してください。

● 本文に電話番号、メールアドレス、URLが含まれているときは

本文の電話番号、メールアドレス、URLは、◎で順に選択していくことができます。これらを利用した操作については「メール本文の電話番号、メールアドレス、URLを利用する」（☞3-17ページ）を参照してください。

送信メールを編集して送信する

1　送信メールのメール詳細画面を表示する

「送信メールを表示する」（☞同じページ内です。）

2　［メニュー］［1］ ► 必要に応じてメールの各項目を編集する

◎でTo欄〜本文欄のいずれかを選択し、◉を押すと、その項目の内容を変更することができます。「Eメールを新規に作成して送信する」（☞3-7ページ）

3　◎で「送信」を選択◉

お知らせ

- 送信メールを編集した場合は、新規メールとして保存され、元のメールも残ります。
- 未送信BOXと送信BOXのEメールの合計が120件を超える場合や、編集に必要な容量が不足している場合、保護されていないEメールのうち日付の古いものから削除されます。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」（☞3-19ページ）
- 未送信BOXと送信BOXのライトメールの合計が30件を超えると、保護されていないライトメールのうち日付の古いものから削除されます。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」（☞3-19ページ）

メールを管理する

メールの管理方法について説明します。ここで説明する操作は、受信BOX、未送信BOX、送信BOXに共通するものです。

メール本文の電話番号、メールアドレス、URLを利用する

メール詳細画面の本文に含まれる電話番号、メールアドレス、URL（Webサイトのアドレス）の利用方法を説明します。

メール本文の電話番号を利用する

メール本文の電話番号を利用して、電話の発信、ライトメール作成、電話帳登録、文字列のコピーを行うことができます。

1　メール詳細画面を表示する

受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれのメールでもかまいません。

2　◎で電話番号を選択◉

「0」または「TEL:」で始まる10～32桁の半角の数字列が電話番号とみなされます。

3　1～4のいずれか

- **1（発信）を押すと**
  「この番号に発信しますか？」と表示されます。◉（発信）または発信キーを押すと、選択した電話番号に電話がかかります。
- **2（ライトメール作成）を押すと**
  選択している電話番号を宛先にしたライトメール作成画面が表示されます。「ライトメールを作成して送信する」（☞3-28ページ）
- **3（電話帳登録）を押すと**
  選択している電話番号を電話帳に登録することができます。「電話帳に登録する」（☞2-28ページ）
- **4（コピー）を押すと**
  選択している電話番号がコピーされます。コピーした電話番号は、メモ帳などで貼り付けることができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞2-23ページ）

お知らせ

- 手順2で発信キーを押して◉（発信）または発信キーを押しても電話をかけることができます。

メール本文のメールアドレスを利用する

メール本文のメールアドレスを利用して、Eメール作成、電話帳登録、文字列のコピーを行うことができます。

1　メール詳細画面を表示する

受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれのメールでもかまいません。

2　◎でメールアドレスを選択◉

「@」を含む半角の英数字列がメールアドレスとみなされます。

3　1～3のいずれか

- **1（Eメール作成）を押すと**
  選択しているメールアドレスを宛先にしたEメール作成画面が表示されます。
- **2（電話帳登録）を押すと**
  選択しているメールアドレスを電話帳に登録することができます。「電話帳に登録する」（☞2-28ページ）
- **3（コピー）を押すと**
  選択しているメールアドレスがコピーされます。コピーしたメールアドレスは、メモ帳などで貼り付けることができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞2-23ページ）

メール本文のURLを利用する

メール本文のURLを利用して、Webページの表示、ブックマーク登録、文字列のコピーを行うことができます。

1　メール詳細画面を表示する

受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれのメールでもかまいません。

2　◎でURLを選択◉

「http://」や「https://」で始まる半角の文字列がURLとみなされます。

3　1～3のいずれか

- **1（開く）を押すと**
  選択しているURLのWebページが表示されます。
- **2（ブックマーク登録）を押すと**
  選択しているURLをブックマークに登録することができます。「ブックマークを利用する」（☞4-9ページ）

● 3（コピー）を押すと
選択しているURLがコピーされます。コピーしたURLは、メモ帳などで貼り付けることができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞2-23ページ）

メール本文の文字をコピーする

メール本文の文字列をコピーします。コピーした文字列は他の場所で貼り付けることができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞2-23ページ）

1 メール詳細画面を表示する

受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれのメールでもかまいません。

2 [メニュー] ► ◎で「コピー」を選択◉

● **ダイヤルボタンで選択するには**
サブメニュー上の「コピー」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

3 ◎でコピーする文章の先頭にカーソルを移動◉ ► ◎でコピーする文章の最後にカーソルを移動◉

選択した範囲の文章が本電話機内に記録され、いつでも貼り付けられる状態になります。

お知らせ

- コピーできるのは約全角2000文字（半角4000文字）までです（改行は全角1文字に相当します）。

メールを削除する

■1件／選択／全件削除する

1 待ち受け画面で[メール]または◉1

2 1～3のいずれか ► ◎で削除するメールを選択

受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれかを表示させて、削除するメールを選択します。受信BOXをフォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してください。サブフォルダ表示状態ではフォルダ内を全件削除することができます。「フォルダ内で全件削除する（受信BOXのみ）」（☞同じページ内です。）

3 [メニュー] ► ◎で「削除」を選択◉

● **ダイヤルボタンで選択するには**
サブメニュー上の「削除」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

4 1～3のいずれか

● **1（一件）を押すと**
選択したメール1件だけを削除します。

● **2（選択）を押すと**
メール選択画面が表示されるので、◎で削除するメールを選択して◉（決定）を押します。メールの先頭に「✓」が付きます。チェックを外すときは、再度◉（決定）を押します。削除するデータの選択を終えたら[メニュー]（削除）を押します。

● **3（全件）を押すと**
BOX内の全データを削除します。削除条件を指定する画面が表示されるので、◎で削除条件を選択して◉を押し、暗証番号認証を行います。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

5 ◎で「Yes」を選択◉

メールが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 1件だけ削除する場合は、メール詳細画面から削除することもできます。メール詳細画面で[メニュー]（メニュー）を押し、「削除」を選択します。
- 「全件削除」では保護メールも削除されます。削除したくないメールがないか確認のうえ、実行してください。
- 「全件削除」では、フィルタにより表示されていないメールは削除されません。「メールを抽出する（フィルタ）」（☞3-21ページ）
- 受信BOXのフォルダ一覧から全件削除を行うには、4（メール全件削除）を押し、◎で削除条件を選択して◉を押した後、暗証番号認証を行います。

■フォルダ内で全件削除する（受信BOXのみ）

受信BOXの選択したサブフォルダ内の全メールを削除します。

1 待ち受け画面で[メール]または◉1

2 1 ► ◎でメールを削除するサブフォルダを選択 ► [メニュー]5

削除条件を指定する画面が表示されます。
既読のみ削除：既読メールだけが削除されます。
保護以外削除：保護メール以外が削除されます。
全件削除：フォルダ内の全メールが削除されます。

● **受信ボックスをフォルダ表示にしていないときは**
メール一覧から全件削除を行います。「1件／選択／全件削除する」（☞同じページ内です。）

3　◎で削除条件を選択◉ ► 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

4　◎で「Yes」を選択◉

> **お知らせ**
> - 「全件削除」では保護メールも削除されます。削除したくないメールがないか確認のうえ、実行してください。
> - サブフォルダのメール一覧からフォルダ内の全件削除を行うには、（メニュー）を押し、5（削除）を押し、3（全件）を押して手順3～4を行います。

■メールBOX内のメールをすべて削除する

1　待ち受け画面で◉ 9 3

2　2 ► 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

3　◎で「Yes」を選択◉

メールがすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

メールを保護する

大切なメールは保護することができます。保護されたメールは、全件削除以外の削除機能では削除することができません。また、保護された未送信メールは編集や送信もできません。

1　待ち受け画面で またはメール ◉ 1

2　1～3のいずれか ► ◎で保護するメールを選択

受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれかを表示させて、保護するメールを選択します。受信BOXをフォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してください。

3　 ► ◎で「保護／保護解除」を選択◉

メールが保護され、「保護しました」と表示されます。保護メールは、メール一覧やメール詳細画面で「 」が表示されます。

● **ダイヤルボタンで選択するには**

サブメニュー上の「保護／保護解除」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

> **お知らせ**
> - メール詳細画面からメールを保護することもできます。メール詳細画面で（メニュー）を押し、「保護／保護解除」を選択します。
> - 保護の設定は1件ずつ行います。複数のメールをまとめて保護することはできません。
> - 保護メールに同じ操作を行うと、保護が解除されます。
> - 保護できるメールの件数は、ライトメールの場合は受信BOXで50件まで、未送信BOX／送信BOXで15件までです。Eメールは保護できるメールの件数に制限はありません。

メールを並べ替える（ソート）

メール一覧のメールの並べかたを設定します。これは、メールの日付、差出人（宛先）、件名のいずれかの要素でメールの順序を決めるものです。

1 待ち受け画面で［メール］または◉［1］

2 ［1］～［3］のいずれか

受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれかを表示します。受信BOXをフォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してください。

3 ［メニュー］ ► ◎で「ソート」を選択◉

並べ替えの条件を選択する画面が表示されます。

● **ダイヤルボタンで選択するには**
サブメニュー上の「ソート」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

・受信BOXの場合

順序を決めるための要素	順序	画面上のマーク	説明
日付	古い順	↑	メールの日時の古い順に並べます。
	新しい順	↓	メールの日時の新しい順に並べます。
差出人	昇順（A～Z）	↓	差出人のメールアドレスの順に並べます。
	降順（Z～A）	↑	差出人のメールアドレスの順に逆から並べます。
件名	昇順（A～Z）	↓	メールの件名の順に並べます。
	降順（Z～A）	↑	メールの件名の順に逆から並べます。

・未送信BOX／送信BOXの場合

順序を決めるための要素	順序	画面上のマーク	説明
日付	古い順	↑	メールの日時の古い順に並べます。
	新しい順	↓	メールの日時の新しい順に並べます。
宛先	昇順（A～Z）	↓	宛先のメールアドレスの順に並べます。
	降順（Z～A）	↑	宛先のメールアドレスの順に逆から並べます。
件名	昇順（A～Z）	↓	メールの件名の順に並べます。
	降順（Z～A）	↑	メールの件名の順に逆から並べます。

4 ◎で条件を選択◉

指定した条件に合わせてメールの順番が並べ替えられます。

お知らせ

- メールを終了した場合には、設定は保持されません。

メールを抽出する（フィルタ）

メール一覧に表示するメールの条件を設定します。これにより、新着メールのみ、保護メールのみ、添付ファイルありのメールのみ、といったように特定の条件に合うメールだけを抽出して表示することができます。フィルタの設定は、いったん他のメールBOXやメールメニューを表示すると解除され、すべてのメールが表示される状態に戻ります。

1　待ち受け画面で [メール] または ◉ [1]

2　[1] ～ [3] のいずれか

受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれかを表示します。受信BOXをフォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してください。

3　[・・] ► ◎ で「フィルタ」を選択 ◉

表示するメールの条件を選択する画面が表示されます。BOXにより選択できる条件が異なります。「解除」を選択すると、すべてのメールが表示されます。

- **ダイヤルボタンで選択するには**
  サブメニュー上の「フィルタ」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

4　◎ で条件を選択 ◉

指定した条件に合わせてメールが抽出されます。
フィルタ機能が設定されているときは、画面下側に [Filter] が表示されます。

メールのヘッダ情報を表示する

Eメールには本文以外に「ヘッダ情報」と呼ばれるさまざまな情報が付加されています。このヘッダ情報を表示することができます。この機能が使用できるのは、受信BOXと送信BOXです。ライトメールではヘッダ情報を表示することはできません。

1　待ち受け画面で [メール] または ◉ [1]

2　[1] または [2] ► ◎ でメールを選択 ◉

受信BOXまたは送信BOXを表示させて、メール詳細画面を表示します。受信BOXをフォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してメールを選択してください。

3　[・・] ► ◎ で「メールヘッダ表示」を選択 ◉

ヘッダ情報が表示されます。

- **ダイヤルボタンで選択するには**
  サブメニュー上の「メールヘッダ表示」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

4　[・・]

- **ヘッダ情報をコピーするには**
  [・・]（コピー）を押すとヘッダ情報をコピーすることができます。
  ① [・・]（コピー）を押すと、コピーの始点を選択する画面になります。
  ② ◎ でコピーの始点にカーソルを移動し、◉ を押します。
  ③ ◎ でコピーの終点にカーソルを移動し、◉ を押します。選択した範囲がコピーされます。
  コピーしたヘッダ情報は、メールの本文などに貼り付けることができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞2-23ページ）

文字サイズを切り替える

メール詳細画面では、文字のサイズを大きくしたり小さくしたりできます。

1　待ち受け画面で [メール] または ◉ [1]

2　[1] ～ [3] のいずれか ► ◎ でメールを選択 ◉

受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれかを表示させて、メール詳細画面を表示します。受信BOXをフォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してメールを選択してください。

3　[・・] ► ◎ で「文字サイズ変更」を選択 ◉

文字サイズ変更画面が表示されます。

- **ダイヤルボタンで選択するには**
  サブメニュー上の「文字サイズ変更」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

4　◎ でサイズを選択 ◉

お知らせ

- お買い上げ時には、「20dot」に設定されています。
- 次に表示したときも、ここで設定した文字サイズで表示されます。設定は電源を切っても保持されます。

メールBOXの使用状況を見る

メールBOXの使用状況を帯グラフで表示します。

1　待ち受け画面で ◉ 9 3 ► 2

メールBOX使用状況画面が表示されます。
受信BOX：受信BOXで使用している容量です。
送信BOX：送信BOXで使用している容量です。
未送信BOX：未送信BOXで使用している容量です。
空き容量：使用されていない容量です。

お知らせ

- （全削除）を押すと、メールBOX内のデータをすべて削除することができます。「メールBOX内のメールをすべて削除する」（☞3-19ページ）

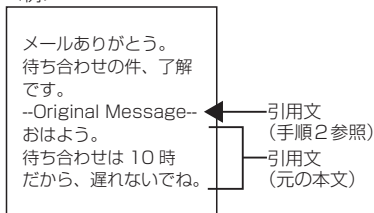
Eメールの環境を設定する

本文の引用について設定する

Eメールを返信する場合に、元の本文を引用するかどうかについて設定することができます。「引用する」に設定した場合は、引用の先頭に入れる文字列（引用文）も指定することができます。

＜例＞

メールありがとう。
待ち合わせの件、了解です。
--Original Message-- ← 引用文（手順2参照）
おはよう。
待ち合わせは 10 時だから、遅れないでね。 ← 引用文（元の本文）

1　待ち受け画面で メールキー または ◉ 1

2　8 1 ► ◎で「引用する」または「引用しない」を選択 ► ◎で「OK」を選択 ◉

引用について設定され、「設定しました」と表示されます。

● **「引用する」を選択したとき**

◎で「引用文」を選択し、◉を押すと、引用文を入力することができます。「文字を入力する」（☞2-13ページ）

お知らせ

- お買い上げ時には、「引用しない」に設定されています。
- 半角カタカナの入力はできません。
- 転送の場合は設定にかかわらず元の本文が引用されます。

フォルダ表示を切り替える

受信BOXでフォルダを表示するかどうかについて設定することができます。「表示する」にした場合は、各フォルダに保存されたメールはそのフォルダを開かなければ表示されません。「表示しない」にした場合は、各フォルダに保存したメールも含め、すべてのメールが受信BOX直下に一覧表示されます。

1　待ち受け画面で メールキー または ◉ 1

2　8 2 ► ◎で「表示する」または「表示しない」を選択 ◉

フォルダ表示切替が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「表示する」に設定されています。
- 受信メールを表示する方法については、「受信メールを表示する」（☞3-12ページ）を参照してください。
- フォルダ名を変更したり受信メールを自動的にフォルダに振り分けたりすることができます。「受信BOXのフォルダを活用する」（☞3-14ページ）

Eメール自動受信機能を設定する

新しいEメールがウィルコムのメールサーバーに届いたときに、Eメールを自動で受信するよう設定します。
本機能は、オンラインサインアップで取得したメールアカウントでのみ利用できる機能です。また、あらかじめオンラインサインアップで「Eメール自動受信」を設定しておく必要があります。

1　待ち受け画面で メールキー または ◉ 1

2　7 1 7 ► 1

自動受信回数設定画面が表示されます。

● **Eメール自動受信を解除するには**

2（OFF）を押します。Eメール画面に戻ります。

3　1〜3の範囲で受信を試みる回数を入力 ◉ ► ソフトキー

Eメール受信機能が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 「OFF」の場合は、手動でEメールを受信してください。「手動でEメールを受信する」(☞3-12ページ)
- オンラインサインアップでは、「Eメール自動受信」「新着メール通知」「しない」のいずれかが選択できます。Eメールの自動受信が行われるのは、オンラインサインアップで「Eメール自動受信」を選択し、上記手順で「ON」に設定した場合のみです。「オンラインサインアップを行う」(☞3-6ページ)

送信するメールに表示する名前を設定する

送信する相手先に表示される差出人の名前を設定することができます。名前はメールアカウントごとに設定することができます。

1 待ち受け画面で [メール] または ◉ [1]

2 [7] ► [1] ～ [3] のいずれか

ここで設定対象のメールアカウントを選択します。

3 [8]（アカウント2、3では [7]）► 名前を入力 ◉ ► [・]

差出人名が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 名前は、全角16文字（半角32文字）まで入力できます。「文字を入力する」(☞2-13ページ)
- 半角カタカナの入力はできません。
- お買い上げ時には、名前は設定されていません。

署名を設定する

Eメールを新規作成、返信、転送するときに署名を付けるかどうかを設定します。署名は、メールアカウントごとに設定することができます。

1 待ち受け画面で [メール] または ◉ [1]

2 [7] ► [1] ～ [3] のいずれか

ここで設定対象のメールアカウントを選択します。

3 [9]（アカウント2、3では [8]）► [3] ► 署名を入力 ◉

4 [1] または [2] ► [・]

署名が設定され、「設定しました」と表示されます。

● **[1]（ON）を押したときは**
入力した署名を付けます。

● **[2]（OFF）を押したときは**
入力した署名を付けません。

お知らせ

- 署名は、全角128文字（半角256文字）まで入力できます。絵文字を使用することもできます。「文字を入力する」(☞2-13ページ)
- 半角カタカナの入力はできません。
- お買い上げ時には、署名は設定されていません。
- 署名を設定すると、Eメール作成時に、あらかじめメール作成画面に署名が入力された状態となります。
- ライトメールには署名は挿入されません。

返信メールアドレスを設定する

メールアカウントのメールアドレスとは別のメールアドレスを返信先として設定します。例えば、オンラインサインアップのメールアカウントから送信したメールの返信を、パソコンで使用しているメールアドレスにもらいたい場合などにこの設定を行います。返信メールアドレスは、メールアカウントごとに設定することができます。

1 待ち受け画面で [メール] または ◉ [1]

2 [7] ► [1] ～ [3] のいずれか

ここで設定対象のメールアカウントを選択します。

3 [0]（アカウント2、3では [9]）► [1] ► 返信メールアドレスを入力 ◉ ► [・]

返信メールアドレスが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 返信メールアドレスは、半角64文字まで入力できます。「文字を入力する」(☞2-13ページ)
- 返信メールアドレスは正確に入力してください。1文字でも間違いがあると、相手からの返信のメールは届きません。
- お買い上げ時には、返信メールアドレスは設定されていません。
- 返信メールアドレスが設定されていないときは、メールを送信したときのメールアカウントに返信されます。
- 相手のメールソフトによっては、返信メールアドレスに返信されない場合もあります。

Eメールをサーバに保存する

お買い上げ時の設定では、受信したEメールはサーバやセンターから削除されますが、削除せずに残しておくよう設定することもできます。Eメールを本電話機で受信した後、パソコンからも受信したいという場合などにこの設定を行います。これはメールアカウントごとに設定することができます。

1　待ち受け画面で［メール］または◉［1］

2　［7］►［1］～［3］のいずれか

ここで設定対象のメールアカウントを選択します。

3　［0］［2］（アカウント2、3では［9］［2］）►［1］または［2］►［・］

Eメールの保存について設定され、「設定しました」と表示されます。

● **［1］（保存）を押したときは**

メールサーバ上にEメールを保存します。

● **［2］（削除）を押したときは**

受信したEメールはメールサーバ上から削除します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「削除」に設定されています。
- 「削除」に設定した場合、本電話機がメールを受信すると、これまで保存されていたメールサーバ上のメールは、すべて削除され、受信し直すことができません。
- 「保存」の場合、本電話機で受信を行ったあともメールサーバ上にメールが残るので、必要に応じてメールサーバ上のメールを削除してください。

Eメールの受信行数を設定する

Eメールを受信する際の1通あたりのメールのデータ量を行数で指定して制限することができます。受信行数制限は、メールアカウントごとに設定することができます。

1　待ち受け画面で［メール］または◉［1］

2　［7］►［1］～［3］のいずれか

ここで設定対象のメールアカウントを選択します。

3　［0］［9］（アカウント2、3では［9］［9］）►［1］►受信行数を入力◉►［・］

Eメールの受信行数が設定され、「設定しました」と表示されます。

● **受信行数を制限しないとき**

受信行数制限設定画面で［2］（OFF）を押します。詳細設定画面に戻ります。

お知らせ

- 受信行数は、0～999の範囲で半角数字で入力します。「文字を入力する」(☞2-13ページ)
- お買い上げ時には、受信行数制限設定は「OFF」で、受信行数は「600」に設定されています。
- 受信行数を少なく制限することで通信料を低く抑えることができます。ただし、設定した行数を超える長いメールやサイズの大きいファイルが添付されたメールは、途中までしか受信できないことになります。その結果、添付された画像データやサウンドデータが表示再生できなかったり、添付ファイルの一部が文字化けした状態で本文に表示されたりすることがあります。
- サーバによっては受信行数制限が有効にならない場合があります。

プロバイダのメールアカウントを利用する

オンラインサインアップによって取得したメールアカウントのほかに、一般のプロバイダなどのメールアカウントを利用してEメールを送受信することができます。
プロバイダにより、メールアカウントの設定変更のみで利用可能なプロバイダと、ダイヤルアップの接続先も変更する必要があるプロバイダがあります。
また、ご利用のプロバイダでのメールの送受信に、本電話機で設定できない内容が必要な場合、本電話機でのメールの送受信はできません。あらかじめご了承ください。

メールアカウントを設定する

ご利用になるプロバイダからの通知内容をもとに設定を行います。設定内容については、各プロバイダにお問い合わせください。
メールアカウントの設定は、オンラインサインアップで取得するアカウントと合わせて3件まで登録できます。
設定したメールアカウントを使用してメールを送受信するには、そのメールアカウントを「送信メールアカウント」、「受信メールアカウント」で選択します。「接続先を変更する（インターネット設定）」（☞4-26ページ）

1　待ち受け画面で［メール］または◉［1］

2　［7］ ► ［2］または［3］

Eメールアカウント設定画面が表示されます。
ここに現在設定されているメールアカウント名が表示されます。未設定のアカウントは「アカウントn」（nは数字）と表示されます。
メールアカウント設定画面が表示されます。
［1］（Eメール）は、オンラインサインアップで取得したメールアカウントなので、下記の［1］（センター名称設定）～［6］（メールアドレス）は変更できないため、プロバイダのメールアカウントは登録できません。

3　［1］～［8］のいずれかを押し、各項目を入力・設定する

各項目の設定後、手順4に進み詳細設定を行います。

● **［1］（センター名称設定）を押したときは**
この設定の名前としてご自分でわかりやすい名前を入力し、◉を押します。
全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

● **［2］（受信メール（POP））を押したときは**
プロバイダからの通知をもとに受信メールサーバ（POPサーバやPOP3サーバともいいます）のアドレスを半角で入力し、◉を押します。

● **［3］（送信メール（SMTP））を押したときは**
プロバイダからの通知をもとに送信メールサーバ（SMTPサーバともいいます）のアドレスを半角で入力し、◉を押します。

● **［4］（アカウント）を押したときは**
プロバイダからの通知をもとにメールアカウント（ユーザ名ともいいます）を半角で入力し、◉を押します。

● **［5］（パスワード）を押したときは**
プロバイダからの通知をもとにメールのパスワードを半角で入力し、◉を押します。
入力したパスワードは、文字数にかかわらず「******」で表示されます。

● **［6］（メールアドレス）を押したときは**
プロバイダからの通知をもとに自分のEメールアドレスを半角で入力し、◉を押します。

● **［7］（名前）を押したときは**
メールの差出人名として使用する名前を入力し、◉を押します。
全角16文字（半角32文字）まで入力できます。「送信するメールに表示する名前を設定する」（☞3-24ページ）

● **［8］（署名）を押したときは**
Eメールを新規作成、返信、転送するときにメールに付ける署名を設定します。
署名を付ける場合は「ON」に設定し、［3］（署名入力）を押して署名の入力も行ってください。全角128文字（半角256文字）まで入力できます。署名を付けない場合は「OFF」に設定します。「署名を設定する」（☞3-24ページ）

4　［9］ ► ［0］～［9］のいずれかを押し、各項目を入力・設定する

必要に応じて項目を設定し、手順5に進みます。

● **詳細設定を行わないときは**
手順5に進んでください。

● **［1］（返信メールアドレス）を押したときは**
送信した相手が返信してくるときのメールアドレスを半角で入力し、◉を押します。
メールアカウントのメールアドレスとは別のメールアドレスを返信先として設定したいとき、この項目を入力します。「返信メールアドレスを設定する」（☞3-24ページ）

● 2（Eメール削除設定）を押したときは
Eメールを受信するときに、メールサーバにメールを残すかどうかの設定です。残す場合は「保存」に設定します。残さない場合は「削除」に設定します。お買い上げ時には、「削除」に設定されています。
「保存」の場合、本電話機で受信を行ったあともメールサーバ上にメールが残るので、必要に応じてメールサーバ上のメールを削除してください。「Eメールをサーバに保存する」（☞3-25ページ）

● 3（POPポート番号）を押したときは
POPサーバのポート番号を半角で入力し、◉を押します。
半角数字5桁まで入力できます。お買い上げ時には、「110」に設定されています。

● 4（SMTPポート番号）を押したときは
SMTPサーバのポート番号を半角で入力し、◉を押します。
半角数字5桁まで入力できます。お買い上げ時には、「25」に設定されています。

● 5（SMTP認証）を押したときは
メール送信時の認証方式であるSMTP認証を行う場合は「ON」、行わない場合は「OFF」を選択し、◉を押します。お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
POPbeforeSMTPが「ON」の場合は、SMTP認証は設定できません。

● 6（POPbeforeSMTP）を押したときは
メール送信時にPOP before SMTPと呼ばれる認証システムを使用するプロバイダの場合は、「ON」に設定します。お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
「ON」に設定した場合は、POPサーバとの接続からSMTPサーバに接続するまでの待ち時間（秒）を0～999の範囲で半角で入力できます。お買い上げ時には、「0」に設定されています。SMTP認証が「ON」の場合は、POPbeforeSMTPは設定できません。

● 7（SMTPユーザ名）を押したときは
メール送信用のアカウント名を半角で入力し、◉を押します。この項目は、メール送信用のアカウントの設定が必要なプロバイダの場合に設定します。

● 8（SMTPパスワード）を押したときは
メール送信用のパスワードを半角で入力し、◉を押します。入力したパスワードは、文字数にかかわらず「******」で表示されます。この項目は、メール送信用のアカウントの設定が必要なプロバイダの場合に設定します。

● 9（受信行数制限設定）を押したときは
受信するメールの行数を制限する場合は「ON」に設定します。本電話機で受信可能な最大データ量（約512Kバイト）まで受信したい場合は「OFF」に設定します。お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
「ON」に設定した場合は、受信行数を0～999の範囲で半角で入力できます。お買い上げ時には、「600」に設定されています。「Eメールの受信行数を設定する」（☞3-25ページ）

● 0（認証方式設定）を押したときは
プロバイダのメール受信時のパスワード認証方式がPOPの場合は「POP」に設定します。APOPの場合は「APOP」に設定します。お買い上げ時には、「POP」に設定されています。

5 ［完了］ ► ［完了］
メールアカウント設定画面の設定が登録され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ
- 設定を完了させ、登録するには、必ず手順5に従い、「完了」を行ってください。［完了］（完了）を1回押しただけでは設定が登録されません。

メールアカウント設定をリセットする

メールアカウント設定を初期値に戻します。（リセット）

1 **待ち受け画面で［メール］または◉ 1**

2 **7 ► 2または3を選択［メニュー］**

3 **◎で「Yes」を選択◉**
メールアカウントの設定がリセットされ、「リセットしました」と表示されます。

お知らせ
- オンラインサインアップで取得したEメールアドレスのアカウントは、リセットできません。

ライトメールを使用する

ライトメールを作成して送信する

新しいライトメールを作成して送信します。

1 待ち受け画面で [メール] または ◉ [1]

2 [6] ► ◎ で宛先（To）欄を選択 ◉ ► [4] ► 宛先の電話番号を入力 ◉

To欄が選択された状態で [0] ～ [9]、[*]、[#] のいずれかを押しても表示できます。

● **発信履歴／着信履歴から宛先を指定するには**

To欄で ◉ を押し、[1]（発信履歴）または [2]（着信履歴）を押します。発信履歴または着信履歴の一覧が表示されるので、◎ で宛先を選択し、◉ を押します。

● **電話帳から宛先を指定するには**

To欄で ◉ を押し、[3]（電話帳を開く）を押します。電話帳が表示されるので、宛先のデータを検索し、登録されている電話番号を選択します。「電話帳を使って電話をかける」（☞2-31ページ）

● **宛先を削除するには**

To欄で ◉ を押し、[5]（削除）を押すと、宛先が削除されます。

3 ◎ で本文欄を選択 ◉ ► 本文を入力 ◉

本文入力画面が表示されます。本文欄を選択した状態で [0] ～ [9]、[*]、[#] のいずれかを押しても表示できます。
本文は、全角45文字（半角90文字）まで入力できます。「文字を入力する」（☞2-13ページ）

● **作成したメールの内容を送信前に確認するには**

◎ で「プレビュー」を選択し、◉ を押すと、ライトメールの内容が確認できます。

4 ◎ で「送信」を選択 ◉

ライトメールが送信されます。[送信] を押しても送信できます。送信したライトメールは送信BOXに保存されます。

● **送信に失敗したときは**

送信相手の電話機の電源が入っていないなどの理由でライトメールが送信できなかったときは「送信に失敗しました　再送信しますか？」とメッセージが表示され「Yes」、「No」選択画面になります。

● **電話帳からメールを作成するには**

①電話帳でライトメールの送信先を選択し、詳細画面を表示します。「電話帳を使って電話をかける」（☞2-31ページ）

② ◎ で [PHS] などのPHSの電話番号を選択し、[メニュー]（メニュー）を押し、[2]（ライトメール作成）を押します。この電話番号が宛先に入力された状態でライトメール作成画面が表示されます。

● **待ち受け画面から短縮番号でライトメールを作成するには**

待ち受け画面で1桁の数字を入力し、[メール]（メール）を押して、サブメニューで [1]（ライトメール）を押します。入力した1桁の数字に該当する短縮番号が電話帳に登録されていれば、その登録データの1番目の電話番号が宛先にコピーされてライトメール作成画面が表示されます。

お知らせ

- 絵文字を使用した場合、送信できる本文の文字数が少なくなることがあります。
- 作成中のライトメールをEメールに変更することができます。変更するには、ライトメール作成画面で [メニュー]（メニュー）を押し、[2]（メール種別切り替え）を押します。Eメール作成画面が表示されます。「Eメールを新規に作成して送信する」（☞3-7ページ）
- 未送信BOXと送信BOXのライトメールの合計が30件ある場合にライトメールを新規作成すると、保護されていないライトメールのうち日付の古いものから削除されます。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」（☞3-19ページ）
- 送信済みのライトメールを読む方法については、「送信メールを読む」（☞3-16ページ）を参照してください。

アニメーション絵文字を添付する

ライトメールにアニメーションを付けて送信することができます。ただし、相手側がライトメールのアニメーションに対応している必要があります。

1 ライトメール作成画面で ◎ で「アニメ絵文字」を選択 ◉ ► ◎ でアニメーションを選択 ◉

選択したアニメーションが付加されます。

- **アニメーションを解除するには**
  ライトメール作成画面で ◎ で「 アニメ絵文字 □」(□は付加されたアニメーション)を選択し、◉ を押します。アニメーションが解除され、「 アニメ絵文字 ー」の表示に戻ります。

お知らせ

- 送信する相手の電話機によっては、送信したアニメーションが正しく表示されないことがあります。

■アニメーション一覧

作成中のライトメールを下書きとして保存する

作成中のライトメールを下書きとして保存し、あとで続きの操作をすることができます。保存したライトメールは下書きメールとして未送信BOXに保存されます。

1　ライトメール作成画面で [メニュー] [1]

ライトメールが下書きとして保存され、「保存しました」と表示されます。

お知らせ

- ライトメールは下書きを10件まで保存できます。
- 下書きメールを送信する方法については「下書き保存したメールを送信する」（☞3-10ページ）を参照してください。

受信したライトメールを読む

ライトメールを受信する

ライトメールは自動的に受信されます。受信したライトメールは最大100件まで保存されます。

1　ライトメールを自動的に受信する

受信中は画面上端に「[受信中アイコン]」が表示されます。
受信が完了すると、画面上端に「[新着アイコン]」が表示されます。待ち受け画面には「新着メール　1件」と表示されます。

お知らせ

- 受信したライトメールが100件を超える場合は、新しいライトメールを受信したときに、保護されていない受信ライトメールのうち日付の古いものから削除されます。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」（☞3-19ページ）
- ライトメールを100件受信すると、待ち受け画面に「新着メール**件」と表示されます。

受信したライトメールを表示する

ライトメールも、Eメールと同じく受信BOXに保存されます。受信BOXの詳細は「受信したメールを読む」（☞3-11ページ）を参照してください。

1　待ち受け画面で [メール] または ◉ [1]

- **待ち受け画面に「新着メール　○○件」と表示されているときは**
  ◉ を押すと、新着メール一覧が表示されます。
- **「ライトメール受信完了」と表示されているときは**
  ◉ または [クリア/マナー] を押すと、新着メール一覧が表示されます。

2　[1] ► [上下] でフォルダを選択 ◉ ► [上下] でメールを選択 ◉

メールの詳細画面が表示されます。

- **前後のメールを表示するには**
  [左] で前のメール、[右] で次のメールが表示されます。
- **本文に電話番号、メールアドレス、URLが含まれているときは**
  本文の電話番号、メールアドレス、URLは、[上下] で順に選択していくことができます。これらを利用した操作については「メール本文の電話番号、メールアドレス、URLを利用する」（☞3-17ページ）を参照してください。

ライトメールに返信する

ライトメールの送信者に返信します。差出人の電話番号は自動的に入力されます。

1　受信メール詳細画面で [メニュー] [1]

または、メール一覧でライトメールを選択した状態で [メニュー]（メニュー）を押し、[1]（返信）を押します。
差出人の電話番号が宛先に入力された状態でライトメール作成画面が表示されます。

2　ライトメールを作成して送信する

本文を入力して送信します。「ライトメールを作成して送信する」（☞3-28ページ）

ライトメールを転送する

受信したライトメールを差出人とは別の人に送信します。

1　受信メール詳細画面で [メニュー] [3]

または、メール一覧でライトメールを選択した状態で [メニュー]（メニュー）を押し、[3]（転送）を押します。
本文に受信メールの内容が引用された状態でライトメール作成画面が表示されます。

2　ライトメールを作成して送信する

宛先、本文を入力して送信します。「ライトメールを作成して送信する」（☞3-28ページ）

4 インターネット

Webの基本操作 …………………………………… 4-2
ホームページを利用する………………………… 4-5
アドレスを使ってWebページに接続する …… 4-6
Webページの表示履歴を利用する …………… 4-7
タブを利用して複数のWebページを開く …… 4-8
ブックマークを利用する………………………… 4-9
Webページを検索する ……………………… 4-12
ページメモを利用する………………………… 4-13
Webページに関する機能を活用する ……… 4-15
ブラウザの各種機能を設定する……………… 4-20
接続先を変更する（インターネット設定）…… 4-26

Webの基本操作

Webの利用を開始する／終了する

Webの利用を開始する

1　待ち受け画面で Web または ◉ 3

Webメニューが表示されます。このメニューから、インターネット上のWebページへの接続や、ブラウザに関する設定を行います。

お知らせ

- Webページ表示中にデータの送受信がないと、10分タイムアウトで通信が切断し、通信が切断されている状態のときに、無操作タイムアウト10分で待受画面に戻ります。キー操作中､すでに通信が切断されていると、最後のキー操作から10分後に待受画面に戻ります。

Webの利用を終了する

1　Webページの表示中に ⌐⋯ 0

2　◎で「Yes」を選択 ◉

公式サイトを表示する

ウィルコムの提供するポータルサイト「CLUB AIR-EDGE」に接続します。

1　待ち受け画面で Web または ◉ 3 ► 1

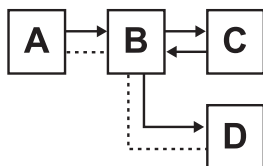
お知らせ

- インターネットに接続して公式サイトを表示するには、オンラインサインアップを行う必要があります。「オンラインサインアップを行う」（☞3-6ページ）

前のページに戻る／次のページに進む

Webページをどのような順序で表示したかは、最新の50件分が自動的に記録されています。この記録を利用して、前後のページに移動することができます。

● **記録順序**

図のように、A→B→Cの順番にWebページを表示させ、⌐⋅⁄（戻る）を押してBに戻ったあとDを表示させたときは、Cは消去されてA→B→Dの経路が記録されます。

記録される順序

──→ 表示の順番
‥‥‥ 記録される順序

ひとつ前のページに戻る

1　Webページの表示中に ⌐⋅⁄

次のページに進む

1　Webページの表示中に ⌐⋯ 2

お知らせ

- 履歴の一覧を利用して、以前表示したページに接続することもできます。「Webページの表示履歴を利用する」（☞4-7ページ）
- 表示モードが「ケータイモード」の場合は、◎でひとつ前のページに、◎で次のページに移動することもできます。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞4-21ページ）

表示範囲を移動する

Webページが縦に長く、1画面に収まらないときは、画面を上下に移動（スクロール）させて続きを表示させることができます。

1 Webページ表示中に

表示画面が上下に移動（スクロール）します。

リンク先のWebページを表示する

Webページ内に表示されている他のWebページへのリンクがあるとき、このリンクを選択して他のWebページを表示することができます。Webページ内で選択されているリンクは、反転して表示されています。

1 Webページ表示中に で目的のリンクに反転部分を移動 ►

リンク先のWebページが表示されます。

Webページ上の電話番号に電話をかける

Webページの画面では、電話番号が記載されている箇所は他と違う色で表示されています。この電話番号を選択して、電話をかけることができます。

1 で目的の電話番号にフォーカスを移動

フォーカスされた電話番号は反転表示されます。

2 ► またはダイヤル

表示された番号に電話がかかります。
通話終了後は、元のWebページの表示に戻ります。

お知らせ

- 手順2の電話番号の確認画面で （メニュー）を押すと、番号非通知や料金分計での発信を選択することができます。「発信者番号通知を設定する（番号通知）」（☞6-2ページ）、「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞7-57ページ）
- オフィスモードでWebを利用している場合は、手順2の電話番号の確認画面で を押すと、あらかじめ登録しておいた外線発信番号を付加することができます。また、 を押すと発信するモードを一時的に切り替えることができます。「外線発信番号を登録する（外線発信番号）」（☞8-4ページ）、「発信するモードを一時的に切り替える」（☞8-5ページ）
- 表示モードが「Smart-Fitモード」または「デスクトップモード」のときは、 でもフォーカスを移動できます。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞4-21ページ）

Webページの電話番号にライトメールを送信する

Webページの画面では、電話番号が記載されている箇所は他と違う色で表示されています。この電話番号を選択して、ライトメールを送信することができます。

1 で目的の電話番号にフォーカスを移動

フォーカスされた電話番号は反転表示されます。

2 ► ライトメールを作成し、送信

「ライトメールを作成して送信する」（☞3-28ページ）

WebページのEメールアドレスにメールを送信する

Webページの画面では、Eメールのアドレスが記載されている箇所は他と違う色で表示されています。このEメールアドレスを選択して、Eメールを送信することができます。

1 で目的のEメールアドレスにフォーカスを移動

フォーカスされたEメールアドレスは反転表示されます。

2 ► Eメールを作成し、送信する

「Eメールを新規に作成して送信する」（☞3-7ページ）

お知らせ

- 表示モードが「Smart-Fitモード」または「デスクトップモード」のときは、 でもフォーカスを移動できます。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞4-21ページ）

端末情報を通知する

Webページによっては、お客様の位置情報、電話番号、メールアドレスを利用するサービスを提供しています。Webページの表示中に、位置情報、電話番号、メールアドレスの要求があった場合、本電話機では情報を送信するかどうか確認する画面を表示します。端末情報を通知する場合は次のように操作します。

1　で「Yes」を選択

端末情報が送信されます。

お知らせ

- 端末情報は、送出される前に必ず確認画面が表示されます。
- 送出する端末情報は、インターネットを経由してコンテンツプロバイダに送られるため、場合によっては第三者に知られてしまう可能性があります。あらかじめご了承ください。

フレームを選択する

Webページにフレームが設定されているときは、で画面がスクロールしなくなった状態で、さらにによる移動を行うと、最も近いフレームへ移動します。

お知らせ

- ブラウザの表示モードが「デスクトップモード」の場合は、で画面を左右にスクロールさせることもできます。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞4-21ページ）

選択したフレームのみを表示する

Webページにフレームが設定されている場合、あるフレームを選択して画面に表示させることができます。

1　Webページのフレームを選択

2

手順1で選択したフレームのみが表示されます。（戻る）を押すと、ページ全体の表示に戻ります。

ホームページを利用する

最も頻繁に閲覧するWebページは、ホームページとして設定しておくと便利です。ホームページは、待ち受け画面から簡単な操作ですぐに表示させることができます。

ホームページを設定する

ホームページを設定するには、アドレスを入力して指定する方法と、表示中のWebページをホームページに設定する方法があります。

アドレスを入力して指定する

1 待ち受け画面で [Web] または ◉ [3]

2 [8][1][1] ► ホームページに指定するWebページのアドレスを入力 ◉

ホームページが設定され、「ホームに設定しました」と表示されます。

表示中のWebページをホームページに設定する

1 ホームページとして設定したいWebページを表示

2 [メニュー][9][1][2]

ホームページが設定され、「ホームに設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 表示中のWebページのアドレスが「http://」を含めて200文字を超えるときは、「アドレスが長すぎます。省略して登録しますか？」と表示されます。◎で「Yes」を選択して◉を押し、200文字以内に編集してから登録してください。

ホームページを表示する

1 待ち受け画面で [Web] または ◉ [3] ► [2]

● **Webページを表示中に、ホームページを表示するには**

[メニュー]（メニュー）を押し、[5]（Webページを開く）を押して、[1]（ホーム）を押します。

お知らせ

- [Web]を約1秒以上押してホームページを表示することもできます。

アドレスを使ってWebページに接続する

アドレスを入力して、インターネット上のWebページに接続することができます。
また、入力したアドレスの履歴は自動的に20件まで保存されます。入力履歴を利用すると、以前接続したWebページに簡単に再接続できます。

アドレスを入力してWebページに接続する

アドレスを入力して、インターネット上のWebページに接続します。

1 待ち受け画面で Web または ◉ 3 ► 7

● Webページの表示中に、Webページを開くメニューを表示するには

（メニュー）を押し、5（Webページを開く）を押して、2（Webページを開く）を押します。

2 1 ► アドレスを入力 ◉

「http://」はあらかじめ入力されているので、それ以降のアドレスを入力します。
URLは「http://」を含めて全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。

お知らせ

- URL編集画面で、最初の文字が「http://」「https://」以外の文字で始まるとエラーとなり、編集のやり直しになります。

最後に表示していたWebページに接続する

最後に表示していたWebページに接続します。

1 待ち受け画面で Web または ◉ 3 ► 7

● Webページの表示中に、Webページを開くメニューを表示するには

（メニュー）を押し、5（Webページを開く）を押して、2（Webページを開く）を押します。

2 2 ► ◉

最後に表示していたWebページのアドレスが表示されます。表示されたアドレスを編集することもできます。

アドレスの入力履歴からWebページに接続する（入力履歴）

過去に入力したアドレスの履歴から、インターネット上のWebページに接続することができます。履歴は20件まで保存されています。

1 待ち受け画面で Web または ◉ 3 ► 7

● Webページの表示中に、Webページを開くメニューを表示するには

（メニュー）を押し、5（Webページを開く）を押して、2（Webページを開く）を押します。

2 3 ► ◎ で表示したい入力履歴を選択 ◉

● 入力履歴のアドレスを編集するには

◎で入力履歴を選択して（メニュー）を押し、1（アドレス編集）を押します。アドレスの入力画面に、選択した入力履歴のアドレスが表示されるので、必要に応じて編集します。◉を押すと、編集後のアドレスへの接続が開始されます。

● 入力履歴のアドレスを削除するには

◎で入力履歴を選択して（メニュー）を押し、2（削除）を押します。「入力履歴を削除しますか？」と表示されるので、◎で「Yes」を選択し、◉を押します。

お知らせ

- 入力履歴は、以前Webページに接続した際に入力したアドレスの履歴が20件まで表示されます。（お買い上げ時にはURLの履歴がないため表示されません。）
- 入力履歴は、新しいものが一番上に表示されます。20件を超える履歴は古い順から上書きされます。

Webページの表示履歴を利用する

接続したWebページのアドレスは、履歴として自動的に50件まで保存されます。履歴を利用すると、以前接続したWebページに簡単に再接続できます。

履歴からWebページに接続する（履歴）

1　待ち受け画面で Web または ◉ 3 ► 5

● **Webページの表示中に履歴一覧を表示するには**

（メニュー）を押して 5（Webページを開く）を押し、3（履歴）を押します。

2　で表示したい履歴を選択 ◉

お知らせ

- 履歴一覧では、最後に保存された履歴が一番上に表示されます。

履歴のアドレスを確認する

履歴のアドレスを表示して確認することができます。

1　履歴一覧を表示

「履歴からWebページに接続する（履歴）」（☞同じページ内です。）

2　で確認したい履歴を選択 ► 1

履歴のアドレスが表示されます。（戻る）を押すと、履歴一覧に戻ります。

お知らせ

- 接続したWebページのアドレスが200文字を超えていたときは、正しく表示されません。

Webページの表示履歴を削除する

Webページの表示履歴は1件ずつ個別に、または一括で削除できます。

履歴を個別に削除する

1　履歴一覧を表示

「履歴からWebページに接続する（履歴）」（☞同じページ内です。）

2　で削除したい履歴を選択 ► 2

3　で「Yes」を選択 ◉

履歴が削除され、「削除しました」と表示されます。

履歴をすべて削除する

1　履歴一覧を表示

「履歴からWebページに接続する（履歴）」（☞同じページ内です。）

2　3 ► 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

3　で「Yes」を選択 ◉

履歴が削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 履歴をすべて削除すると、アドレスの入力履歴もすべて削除されます。「アドレスの入力履歴からWebページに接続する（入力履歴）」（☞4-6ページ）

タブを利用して複数のWebページを開く

本電話機では、3ページまでのWebページを切り替えて表示することができます。Webページの切り替えには、画面上部に表示される「タブ」を使います。
タブを使うと、複数のWebページを重ねたように表示できます。それぞれのWebページに表示されるタブを選択することで、一番上に表示することができます。

リンクを新しいタブで開く

タブは、表示しているWebページが1ページだけのときは表示されません。Webページ上のリンクを新しいタブで開くと、今まで表示していたWebページと、新しく開いたリンク先のWebページのそれぞれにタブが設定されます。

1　Webページの表示中に、◎で目的のリンクにフォーカスを移動

2　◉を約1秒以上 ► 2

リンク先のWebページが開き、タブが2つ設定されます。
すでにタブが2つ設定されている場合は、3つ目のタブが設定されます。

- **タブを使わずリンクを開くときは**
  1（開く）を押すと、タブが設定されずにリンク先のWebページに切り替わります。

お知らせ

- リンクにフォーカスを移動して ⌒（メニュー）を押し、1（ウィンドウメニュー）を押して 2（新規に開く）を押しても、リンク先のWebページが新しいタブで開きます。

表示するタブを切り替える

1　タブが表示されているときに Web

または ⌒ 1 1 を押してください。タブが選択できる状態になります。

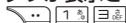
2　◎で表示するタブを切り替える

◎でひとつ右のタブに、◎でひとつ左のタブに表示が切り替わります。

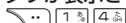
3　◉

表示中のタブを閉じる

現在表示中のタブのみを閉じます。

1　タブが表示されているときに ⌒ 1 3

表示していないタブを閉じる

現在表示していないタブをすべて閉じます。

1　タブが表示されているときに ⌒ 1 4

ブックマークを利用する

よく見るWebページは、ブックマークに登録することで簡単に接続することができます。
ブックマークは、10件のフォルダに各20件、合計200件まで登録することができます。

お知らせ

- フォルダ一覧画面では、右下にフォーカス位置／フォルダ件数が表示されます。
- フォルダ内のブックマーク一覧画面では、左下に登録された月／日、右下にフォーカス位置／フォルダ内のブックマーク件数が表示されます。

ブックマークを登録する

表示中のWebページをブックマークに登録する

1 Webページの表示中に [メニュー] [4] [1]

2 [◎] で登録先のフォルダを選択 [●]

Webページがブックマークに登録され、「ブックマークに登録しました」と表示されます。

● 選択したフォルダにすでに20件登録されているとき

「これ以上ブックマークに登録できません」と表示されます。[●] を押すと、手順2のフォルダを選択する画面に戻ります。もう一度登録先のフォルダを選択します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「おすすめ」「フォルダ2」にあらかじめブックマークが登録されています。
- 登録したWebページにタイトルがないときは、アドレスをタイトルとしてブックマークに登録します。
- 登録したブックマークはフォルダの一番下に追加されます。
- 登録するWebページのアドレスが「http://」を含めて200文字を超えるときは、「アドレスが長すぎます。省略して登録しますか？」と表示されます。[◎] で「Yes」を選択して [●] を押し、200文字以内に編集してから登録してください。

リンク先をブックマークに登録する

Webページ上のリンクを、ブックマークとして登録することができます。

1 Webページの表示中に、[◎] で目的のリンクにフォーカスを移動

2 [●] を約1秒以上 ► [3]

3 [◎] で登録先のフォルダを選択 [●]

Webページがブックマークに登録され、「ブックマークに登録しました」と表示されます。

ブックマークに登録したWebページに接続する

1 待ち受け画面で [Web] または [●] [3] ► [3]

● Webページの表示中にブックマークフォルダ一覧を表示するには

[メニュー]（メニュー）を押し、[4]（ブックマーク）を押して、[2]（ブックマークフォルダ）を押します。

2 [◎] でブックマークが登録されているフォルダを選択 [●] ► [◎] でブックマークを選択 [●]

ブックマークフォルダ名を変更する

1 ブックマークフォルダ一覧から、フォルダ名を変更したいフォルダを選択

「ブックマークに登録したWebページに接続する」（☞同じページ内です。）で、手順1～2の [◎] でブックマークが登録されているフォルダを選択するまでの操作を行います。

2 [メニュー] [1] ► フォルダ名を変更 [●]

お知らせ

- フォルダ名は全角16文字（半角32文字）まで入力できます。

ブックマークのタイトルやアドレスを編集する

ブックマークのタイトルをわかりやすく編集したり、アドレスを変更することができます。

1 ブックマーク一覧から、タイトルやアドレスを編集するブックマークを選択

「ブックマークに登録したWebページに接続する」(☞4-9ページ)で、手順1～2の◎でブックマークを選択するまでの操作を行います。

2 ▶ ◎で「タイトル」欄または「アドレス」欄を選択◉

● **ブックマークのアドレスを確認するには**

サブメニューで1(アドレス表示)を押します。この画面でアドレスを編集することはできません。(戻る)を押すと、ブックマーク一覧に戻ります。

3 タイトルまたはアドレスを編集◉ ▶

タイトルを変更した場合は、ブックマーク一覧に変更後のタイトルが表示されます。

お知らせ

- タイトルは全角16文字(半角32文字)まで、アドレスは最大で半角200文字まで入力できます。

ブックマークを移動する

ブックマークを他のフォルダに移動する

1 ブックマーク一覧から、移動するブックマークを選択

「ブックマークに登録したWebページに接続する」(☞4-9ページ)で、手順1～2の◎でブックマークを選択するまでの操作を行います。

2

3 ◎で移動先フォルダを選択◉

ブックマークが移動し、「移動しました」と表示されます。

ブックマークを1つ上／1つ下に移動する

1 ブックマーク一覧から、移動するブックマークを選択

「ブックマークに登録したWebページに接続する」(☞4-9ページ)で、手順1～2の◎でブックマークを選択するまでの操作を行います。

2 ▶ 6 または 7

● **6(1つ上に移動)を押すと**

ブックマークの位置がひとつ上に移動します。

● **7(1つ下に移動)を押すと**

ブックマークの位置がひとつ下に移動します。

マイメニューにブックマークを登録する

ブックマークをマイメニューに登録して、簡単にブックマークのアドレスに接続することができます。

1 待ち受け画面で◎

2 ◎で登録先を選択 ▶ 3 3

3 マイメニューに登録するブックマークを選択

「ブックマークに登録したWebページに接続する」(☞4-9ページ)で、手順1～2の◎でブックマークを選択するまでの操作を行います。

4 ◉

ブックマークがマイメニューに登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- マイメニューからブックマークを消去しても、元のブックマークは消去されません。
- 元のブックマークを消去しても、マイメニューのブックマークは消去されません。
- 元のブックマークのタイトルやアドレスを変更しても、マイメニューのブックマークは変更されません。

ブックマークを削除する

ブックマークを個別に削除する

選択したブックマークをフォルダから削除します。

1 ブックマーク一覧から、削除するブックマークを選択

「ブックマークに登録したWebページに接続する」(☞4-9ページ)で、手順1～2の◎でブックマークを選択するまでの操作を行います。

2 [メニュー] [3]

3 [↕] で「Yes」を選択 [●]

ブックマークが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 手順2で [4]（全削除）を押すと、表示されているフォルダ内のブックマークをまとめて削除することができます。

フォルダ内のブックマークをすべて消去する

選択したフォルダ内のブックマークをすべて消去します。

1 **ブックマークフォルダ一覧から、ブックマークを削除するフォルダを選択**

「ブックマークに登録したWebページに接続する」（☞4-9ページ）で、手順1～2の [↕] でブックマークが登録されているフォルダを選択するまでの操作を行います。

2 [メニュー] [2] ► **暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

3 [↕] で「Yes」を選択 [●]

ブックマークが削除され、「削除しました」と表示されます。

すべてのブックマークを削除する

全ブックマークフォルダ内の、すべてのブックマークをまとめて削除します。

1 **ブックマークフォルダ一覧を表示**

「ブックマークに登録したWebページに接続する」（☞4-9ページ）で、手順1の操作を行います。

2 [メニュー] [3] ► **暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

3 [↕] で「Yes」を選択 [●]

ブックマークが削除され、「削除しました」と表示されます。

Webページを検索する

インターネット上のWebページを検索したり、表示中のWebページから特定の文字列を検索することができます。

インターネット上のWebページを検索する(インターネット検索)

探している情報に関連したキーワードを指定して、インターネット上のWebページを検索することができます。

1 待ち受け画面で［Web］または◉［3］►［4］

● **Webページの表示中にインターネット検索画面を表示するには**

［メニュー］(メニュー)を押して［6］(ページ内操作)を押し、［2］(インターネット検索)を押します。

2 ◎で「キーワード」欄を選択◉ ► 検索キーワードを入力◉

3 ◎で「検索エンジン」欄を選択◉ ► ◎で利用する検索エンジンを選択◉ ►［メニュー］

検索エンジンは、Google、Infoseek、Yahoo!から選択できます。

4 ◎で表示する検索結果を選択◉

選択した検索結果への接続が開始されます。

お知らせ

- キーワードは全角128文字(半角256文字)まで入力できます。

Webページ内の文字列を検索する(文字列検索)

表示中のWebページ内にある、特定の文字列を検索することができます。

1 Webページの表示中に［メニュー］［6］［1］

2 検索キーワードを入力◉

3 ◎で検索方向を選択◉

検索方向は、「上方向に検索」と「下方向に検索」のいずれか一方を選択できます。

4 ◎で設定する検索オプションを選択◉

その検索オプションにチェックがつき、有効となります。チェックを外すには、もう一度そのオプションを選択して◉を押します。
検索オプションの機能は次のとおりです。

● **大文字と小文字を区別**

大文字と小文字を区別して検索します。

● **ページの先頭から検索**

ページの先頭から検索します。チェックなしのときはページの末尾から検索します。

● **単語検索**

キーワードの文字列と完全に一致する文字列のみを検索します。

● **ラウンド検索**

検索方向に応じ、ページの末尾まで検索を終えるとページの先頭へ、ページの先頭まで検索を終えるとページの末尾へそれぞれ戻って検索します。

5 ［メニュー］► 次の文字列を検索する場合◉

Webページ内で最初に検索された文字列が反転表示されます。
検索条件に一致する文字列が存在しない場合は、「文字列が見つかりませんでした」と表示されます。
文字列の検索を終了する場合は、［クリア］(中止)を押します。

お知らせ

- キーワードは全角128文字(半角256文字)まで入力できます。
- Webページ表示中に［メニュー］［6］［1］を押すと、前回文字列検索を行ったときの検索条件が表示されます。

インターネット 4 Webページを検索する

ページメモを利用する

気に入ったWebページがあったら、Webページの内容をページメモとしてまるごと本電話機に保存できます。保存したWebページは、インターネットに接続せずに、待ち受け状態でいつでも何度でも見ることができます。ページメモは最大で10件まで保存することができます。

ページメモを保存する

1 Webページの表示中に [メニュー] [7] [1]

ページメモが保存され、「保存しました」と表示されます。

- **保存件数がいっぱいのときは**

  「これ以上ページメモを保存できません」と表示され、保存することができません。

お知らせ

- 作成者の意図などにより、ページメモとして保存できないWebページがあります。
- 保存したWebページにタイトルがないときは、アドレスをタイトルとして保存します。

ページメモを表示する

保存したページメモを表示します。

1 待ち受け画面で [Web] または ◉ [3] ► [6]

- **Webページの表示中にページメモリストを表示するには**

  [メニュー]（メニュー）を押して [7]（ページメモ）を押し、[2]（ページメモリスト）を押します。

2 ◎ で表示したいページメモを選択 ◉

お知らせ

- ページメモリストでは、最後に保存されたページメモが一番下に表示されます。

ページメモのタイトルを編集する

ページメモのタイトルをわかりやすく編集できます。

1 ページメモリストから、タイトルを編集するページメモを選択

「ページメモを表示する」（☞同じページ内です。）

2 [メニュー] [2] ► タイトルを編集 ◉

お知らせ

- タイトルは全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

ページメモのアドレスを確認する

ページメモのアドレスを表示して確認することができます。

1 ページメモリストから、アドレスを確認するページメモを選択

「ページメモを表示する」（☞同じページ内です。）

2 [メニュー] [1]

手順1のページメモのアドレスが表示されます。[戻る]（戻る）を押すと、ページメモリストに戻ります。

ページメモを保護／保護解除する

ページメモを、誤って削除してしまわないように保護設定することができます。
保護されたページメモに対して削除の操作を行っても、「保護のため削除できません」と表示され、削除が実行されません。

ページメモを保護する

1 ページメモリストから、保護するページメモを選択

「ページメモを表示する」（☞同じページ内です。）

2 [メニュー] [5]

3 ◎ で「Yes」を選択 ◉

選択したページメモに保護が設定されます。保護が設定されたページメモには、ページメモリストのタイトルに「[保護アイコン]」が表示されます。

ページメモの保護を個別に解除する

1　ページメモリストから、保護解除するページメモを選択

「ページメモを表示する」（☞4-13ページ）

2

3　◎で「Yes」を選択◉

選択したページメモの保護が解除されます。保護が解除されたページメモは、ページメモリストの「　」が消えます。

ページメモの保護をすべて解除する

1　ページメモリストを表示

「ページメモを表示する」（☞4-13ページ）

2

3　◎で「Yes」を選択◉

ページメモを削除する

ページメモを個別に削除する

保存されているページメモを1件ごとに削除できます。

1　ページメモリストから、削除するページメモを選択

「ページメモを表示する」（☞4-13ページ）

2

3　◎で「Yes」を選択◉

ページメモが削除され、「削除しました」と表示されます。

ページメモをすべて削除する

保存されているページメモをすべて削除します。ただし、保護されているページメモは削除されません。「ページメモを保護／保護解除する」（☞4-13ページ）

1　ページメモリストを表示

「ページメモを表示する」（☞4-13ページ）

2　　► 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

3　◎で「Yes」を選択◉

ページメモが削除され、「削除しました」と表示されます。

Webページに関する機能を活用する

Webページを再読み込みする（再読込み）

表示しているWebページの情報を再取得し、内容を更新します。Webページの情報が正常に受信できなかったときなどに行います。

1　Webページの表示中に ［メニュー］［3］

Webページを翻訳する（翻訳）

表示しているWebページを、Infoseekの翻訳エンジンを使用して他国語に翻訳することができます。
英語→日本語、日本語→英語、韓国語→日本語、中国語→日本語の4種類の翻訳が選択できます。

1　Webページの表示中に ［メニュー］［6］［3］

2　［方向キー］で「翻訳方向」欄を選択 ［決定］ ► ［方向キー］で何語から何語に翻訳するのかを選択 ［決定］ ► ［メニュー］

Webページの画像を保存する

本電話機で保存して表示できる画像データの形式はGIF、JPEG、BMP、PNG、およびMNGの一部です。
これらの画像データの形式はインターネット上で一般的に使われている形式です。

画像を選択して保存する（画像保存）

Webページ内にある画像を選択して、保存することができます。

1　Webページの表示中に ［メニュー］［6］［4］

2　［方向キー］で保存する画像にフォーカスを移動 ［決定］

画像が「画像データ」フォルダに保存され、「保存しました」と表示されます。「データフォルダを活用する」（☞7-38ページ）

お知らせ

- 作成者の意図などにより、画像を保存できないWebページがあります。
- 画像はWebページ内で使用されている名前で保存されます。

背景の画像を保存する（背景画像保存）

Webページの背景となっている画像を保存することができます。

1　Webページの表示中に ［メニュー］［6］［7］

背景画像が「画像データ」フォルダに保存され、「保存しました」と表示されます。「データフォルダを活用する」（☞7-38ページ）

お知らせ

- 作成者の意図などにより、背景画像を保存できないWebページがあります。
- Webページがフレーム表示されているときは、選択中のフレームの背景画像が保存されます。

Webページ内の文字列をコピーする

Webページ内のテキストから､テキストの一部､電話番号、メールアドレスなどの文字列を選択してコピーすることができます。コピーした文字列は、メモ帳やメール本文などにペーストすることができます。

テキストを選択してコピーする

Webページ内のテキストの一部を選択してコピーすることができます。

1　Webページの表示中に ［メニュー］［6］［5］

2　［方向キー］でコピー範囲の始点を選択 ［決定］ ► ［方向キー］でコピー範囲の終点を選択 ［決定］

始点から終点までの範囲が反転し、クリップボード上にコピーされます。

電話番号、Webページのアドレス、Eメールアドレスをコピーする

Webページの画面では、電話番号、Webページのアドレス、Eメールアドレスが記載されている箇所は他と違う色で表示されています。これらを選択してコピーすることができます。

1 ◎で目的の電話番号、Webページのアドレス、Eメールアドレスにフォーカスを移動

フォーカスされた電話番号、Webページのアドレス、Eメールアドレスは反転表示されます。

2 ◉（Webページのアドレスの場合は約1秒以上）► ◎で「コピー」を選択◉

● **ダイヤルボタンで選択するには**
サブメニュー上の「コピー」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

お知らせ

- 表示モードが「Smart-Fitモード」または「デスクトップモード」のときは、◎でもフォーカスを移動できます。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞4-21ページ）

Webページの電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

Webページの画面では、電話番号やメールアドレスが記載されている箇所は他と違う色で表示されています。この電話番号やメールアドレスを選択して、電話帳に登録することができます。

1 ◎で目的の電話番号やメールアドレスにフォーカスを移動

フォーカスされた電話番号やメールアドレスは反転表示されます。

2 ◉ ► ◎で「電話帳登録」を選択◉

● **ダイヤルボタンで選択するには**
サブメニュー上の「電話帳登録」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

3 1または2

● **1（新規登録）を押すと**
「新規登録する」（☞2-30ページ）に進みます。

● **2（追加登録）を押すと**
「追加登録する」（☞2-31ページ）に進みます。

BGMの音量を調整する（音量調節）

Webページの表示中に再生されるBGMの音量を調整することができます。
音量はOFFおよび1～5の範囲で調整できます。

1 Webページの表示中に 6 6

現在の設定音量が表示されます。
オートサイレントやマナーモードが設定されているときは、「再生しますか？」と表示されます。◎で「Yes」を選択して◉を押すと、現在の設定音量が表示されます。

2 ◎で音量を変更◉

お知らせ

- お買い上げ時には、「VOL.3」に設定されています。
- 設定した音量は、表示中のWebページでのみ有効です。
- Webページの表示中にBGMを再生しないよう設定することもできます。「BGMの再生を設定する（BGM）」（☞4-21ページ）

BGMのサウンドデータを保存する（BGサウンドリスト）

Webページに設定されているBGMのサウンドデータを選択して、保存することができます。

1 Webページの表示中に 6 8

2 ◎で保存するサウンドデータを選択

サウンドデータを選択して◉（再生）を押すと、サウンドが再生されます。
サウンドデータが「サウンドデータ」フォルダに保存され、「サウンドを保存しました」と表示されます。「データフォルダを活用する」（☞7-38ページ）

お知らせ

- 作成者の意図などにより、サウンドを保存できないWebページがあります。

Webページの先頭／末尾にジャンプする

Webページの閲覧中に、そのページの先頭や末尾にジャンプすることができます。

1 Webページの表示中に [メニュー] [6]

2 [9] または [0]

- **[9]（先頭へジャンプ）を押すと**
  Webページの先頭が表示されます。
- **[0]（末尾へジャンプ）を押すと**
  Webページの末尾が表示されます。

お知らせ

- フレームを選択しているときは、選択中のフレームの先頭／末尾にジャンプします。

文字サイズを変更する（文字サイズ）

Webページに表示される文字のサイズを、「12dot」「16dot」「20dot」の3段階で設定することができます。dot数の数値が大きいほど、表示される文字が大きくなります。

1 Webページの表示中に [メニュー] [8] [1]

2 [カーソル] で文字サイズを選択 [決定]

お知らせ

- お買い上げ時には、「16dot」に設定されています。
- 複数のタブが表示されている場合、文字サイズの変更は表示中のタブでのみ有効となります。「タブを利用して複数のWebページを開く」(☞4-8ページ)
- 本機能は文字サイズのみの変更となります。画像などを含んだページ全体の拡大／縮小を行うときは、「画面の表示倍率を変更する（ズーム）」(☞4-22ページ）の操作を行ってください。

文字コードを変更する（エンコード）

Webページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを切り替えて表示し直してください。

- **文字コードとは？**
  コンピュータで文字を扱うために文字に割り当てられたコードです。コンピュータは、このコードを文字に変換して、ディスプレイに表示しています。コードの割り当ての規格にはいくつかの種類があります。
  本電話機は、シフトJIS、EUC、JISコード（ISO-2022-JP)、Unicode（UTF-8)、ISO 8859、ASCIIコードに対応しています。本電話機でWebページを表示するときは、Webページがどの規格の文字コードで作成されているかを自動的に判断して、規格に従って文字を変換します。文字コードの自動判断がうまく働かなかったときには、文字コードを切り替えて、Webページの文字を変換し直してください。

1 Webページの表示中に [メニュー] [8] [2]

2 [カーソル] で文字コードを選択 [決定]

変更後の文字コードで、Webページの文字が変換し直されます。

Webページの情報（プロパティ）を表示する

ページのプロパティを表示する（ページプロパティ）

表示中のWebページのタイトル、アドレス、MIMEタイプ（データタイプ)、更新日、データサイズを表示します。

1 Webページの表示中に [メニュー] [8] [3] [1]

表示中のWebページの情報が表示されます。
1画面に表示しきれないときは、[カーソル] で続きを表示させることができます。
[クリア]（戻る）を押すと、プロパティ画面に戻ります。

お知らせ

- この画面でアドレスを編集することはできません。

画像のプロパティを表示する（画像プロパティ）

選択した画像のアドレス、MIMEタイプ（データタイプ)、更新日、データサイズを表示します。

1 Webページの表示中に [メニュー] [8] [3] [2]

2 ◎でプロパティを表示する画像を選択◉

選択した画像の情報が表示されます。
1画面に表示しきれないときは、◎で続きを表示させることができます。
（戻る）を押すと、Webページの表示に戻ります。

お知らせ

- この画面でアドレスを編集することはできません。

SSL証明書の内容を確認する（SSL証明書）

SSLで保護されたWebページを表示しているとき、使用されているSSL証明書の内容を表示します。

● **SSL（Secure Sockets Layer）とは**

Netscape Communications社の提唱するセキュリティ機能の付加されたHTTPプロトコル(通信のための規約)です。インターネット上でプライバシーやクレジットカード番号などに関する情報を、盗用を防ぎ安全にやりとりするために考案されたものです。
SSLで保護されているWebページにアクセスしようとしたときには、まずWebページの持っている証明書や、本電話機が持っている証明書が有効かどうかの確認が行われます。証明書が有効なときには、お客様の個人情報などを、そのWebページに安全に送ることができます。

1 SSL対応Webページの表示中に 8 3 3

2 ◎で内容を表示するSSL証明書を選択◉

SSL証明書の内容が表示されます。（戻る）を押すと、SSL証明書の一覧に戻ります。

■SSLで保護されたWebページを表示する

SSL証明書の期限の切れているWebページや、本電話機のSSL証明書と異なる証明書を使用しているWebページを表示しようとしたときは、「接続の安全性を確認できません。接続しますか？」と表示されます。
◎で「Yes」を選択して◉を押すと接続はできますが、この場合、お客様の個人情報を安全に送信することができません。ご注意ください。

お知らせ

- 本電話機には、SSL証明書が30件登録されています。

ファイルをダウンロードする

Webサーバから画像、サウンド、アプリケーションなどのファイルをダウンロードして本電話機に保存することができます。
ダウンロードできるファイルの名称などは、他と違う色で表示されています。
ダウンロードしたファイルは、開いてから保存することも、保存してから開くこともできます。

1 ◎でダウンロードするファイルにフォーカスを移動する

フォーカスされたファイルは反転表示されます。

2 ◉

「ダウンロードしますか？それとも開きますか？」と表示されます。

● **ファイルを開いてから保存するときは**

◎で「開く」を選択して◉を押すと、すぐにファイルのダウンロードが開始され、完了するとファイルが開きます。音声データの場合は◉（再生）、◉（停止）で音を確認できます。
（保存）を押すと、ファイルが保存されます。保存先フォルダは、ファイルの種類によって決まっています。「データフォルダを活用する」（☞7-38ページ）

● **ファイルを保存してから開くときは**

◎で「保存」を選択して◉を押すと、ファイルが保存されます。保存先フォルダは、ファイルの種類によって決まっています。「データフォルダを活用する」（☞7-38ページ）
ファイルのダウンロードと保存が完了すると、「ダウンロード終了しました。開きますか？」と表示されます。◎で「Yes」を選択して◉を押すと、ファイルが開きます。音声データの場合は◉（再生）、◉（停止）で音を確認できます。

お知らせ

- 作成者の意図などにより、ダウンロードして開くことはできても保存はできないファイルがあります。
- ファイルの種類によっては、一度ファイルを開かないと保存できない場合があります。

Javaアプリケーションをダウンロードする

Javaアプリケーションをダウンロードし、本電話機にインストールすることができます。

1 ◎でダウンロードするJavaアプリケーションにフォーカスを移動

フォーカスされたJavaアプリケーションは反転表示されます。

2 ◉ ► ◎で「Yes」を選択◉

「インストールしますか？」と表示されます。
Javaアプリケーションのダウンロード、保存、インストールが行われます。
「情報」を選択して◉（実行）を押すと、アプリケーションのファイル名などの情報が表示されます。□（戻る）を押すと、インストールの確認画面に戻ります。

ファイルをアップロードする

本電話機に保存されているファイルを、Webサーバへアップロードすることができます。

1 Webページで、◎でファイル選択用ボタン（「参照」など）にフォーカスを移動

2 ◉ ►アップロードするフォルダを選択◉

「データフォルダを活用する」（☞7-38ページ）

3 アップロードするファイルを選択◉

4 ◎で送信用ボタン（「送信」など）にフォーカスを移動◉

ブラウザの各種機能を設定する

画面の表示やBGMの再生など、ブラウザに関する各種設定を行います。ブラウザに関する設定は、表示するすべてのWebページに対して適応されます。

JavaScriptの有効／無効を設定する（JavaScript）

JavaScriptとは、Webページに動きをつけたり、閲覧者の操作に対して何らかの反応を返すためのプログラムの一種です。JavaScriptを無効にすると、Webページの動きや反応などは正しく表示されなくなりますが、複雑なJavaScript が組み込まれているWebページを表示するときに、読み込みが速くなります。

1 待ち受け画面で Web または ◉ 3 ► 8 2

● **Webページの表示中に表示設定メニューを表示するには**

(メニュー)を押して 9 (オプション)を押し、2（表示設定）を押します。

2 1 ► ◎ で有効／無効を選択 ◉

お知らせ

- お買い上げ時には、「有効」に設定されています。

アニメーションの表示／非表示を設定する（アニメーション）

Webページを表示する際に、アニメーションを表示するかどうかを設定します。表示しないように設定すると、アニメーションをダウンロードしません。アニメーションデータの大きいWebページを表示するときに、読み込みが速くなります。

1 待ち受け画面で Web または ◉ 3 ► 8 2

● **Webページの表示中に表示設定メニューを表示するには**

(メニュー)を押して 9 (オプション)を押し、2（表示設定）を押します。

2 2 ► ◎ で表示する／表示しないを選択 ◉

お知らせ

- お買い上げ時には、「表示する」に設定されています。

画像の表示方法を設定する（画像）

Webページを表示する際に、画像を表示するかどうかを設定します。表示しないように設定すると,画像をダウンロードしません。画像データの大きいWebページを表示するときに、読み込みが速くなります。

1 待ち受け画面で Web または ◉ 3 ► 8 2

● **Webページの表示中に表示設定メニューを表示するには**

(メニュー)を押して 9 (オプション)を押し、2（表示設定）を押します。

2 3 ► ◎ で画像の表示方法を選択 ◉

● **「表示する」を選択すると**

Webページを表示する際、すぐに画像を読み込んで表示します。

● **「オンデマンド表示」を選択すると**

Webページに接続した際、すぐに画像を読み込むのではなく、スクロール操作などによって表示領域に画像が入ったときに読み込みを行って表示します。

● **「表示しない」を選択すると**

Webページに接続しても、画像を読み込まず表示しません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「オンデマンド表示」に設定されています。
- 画像を表示しない場合、画像の位置には「 」が表示されます。

テーブル機能の有効／無効を設定する（テーブル）

Webページを表示する際に、表形式として定義されたデータ（テーブル）を表示させるかどうかを設定します。設定を「無効」にすると、ページによっては表示が速くなりますが、レイアウトがくずれてしまうことがあります。

1 待ち受け画面で [Web] または ◉ [3] ► [8] [2]

● **Webページの表示中に表示設定メニューを表示するには**

[メニュー]（メニュー）を押して [9]（オプション）を押し、[2]（表示設定）を押します。

2 [4] ► ◎ で有効／無効を選択 ◉

お知らせ

- お買い上げ時には、「有効」に設定されています。

自動判別する言語を設定する（自動判別言語）

コンテンツの自動判別に使用する言語を設定します。

1 待ち受け画面で [Web] または ◉ [3] ► [8] [2]

● **Webページの表示中に表示設定メニューを表示するには**

[メニュー]（メニュー）を押して [9]（オプション）を押し、[2]（表示設定）を押します。

2 [5] ► ◎ で言語を選択 ◉

お知らせ

- お買い上げ時には、「日本語」に設定されています。

BGMの再生を設定する（BGM）

WebページにBGMのサウンドデータが埋め込まれているときに、そのBGMを再生するかどうかを設定します。

1 待ち受け画面で [Web] または ◉ [3] ► [8]

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

[メニュー]（メニュー）を押して、[9]（オプション）を押します。

2 [3] ► ◎ で再生する／しないを選択 ◉

お知らせ

- お買い上げ時には、「再生する」に設定されています。
- BGMの再生中に音量を調整することもできます。「BGMの音量を調整する（音量調節）」（☞4-16ページ）

画面の表示幅を設定する（表示モード）

Webページの横幅が1画面に収まるように調整して表示するか、調整せずに表示して横スクロールを使って閲覧するかを設定します。また、Webページ表示中の ◎ の動作を設定します。

1 待ち受け画面で [Web] または ◉ [3] ► [8]

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

[メニュー]（メニュー）を押して、[9]（オプション）を押します。

2 [4] ► ◎ で表示モードを選択 ◉

● **「ケータイモード」を選択すると**

- Webページの横幅が1画面に収まるように表示します。画面の横スクロールには対応しません。
- ◎ でひとつ前の履歴に戻り、◎ で次の履歴に進みます。
- ◎ でフォーカスが移動します。
- リフレッシュ動作は行われません。
- ユーザエージェントが「WILLCOM」に固定されます。「ユーザエージェントを選択する（ユーザエージェント）」（☞4-24ページ）

● **「Smart-Fitモード」を選択すると**

- Webページの横幅が1画面に収まるように表示します。画面の横スクロールには対応しません。
- ◎ でフォーカスが移動します。
- ◎ による履歴の移動は行えません。

● **「デスクトップモード」を選択すると**

- Webページの横幅が広い場合は、◎ で画面を横にスクロールすることができます。
- ◎ でフォーカスが移動します。
- ◎ による履歴の移動は行えません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ケータイモード」に設定されています。
- Webページの表示中は、[キー]を押すと表示モード切り替えの選択ができます。

画面のスクロール量を設定する（スクロール）

Webページの画面を上下にスクロールするときの移動量を設定します。

1 待ち受け画面で[Web]または◉[3] ► [8]

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**
[メニュー]（メニュー）を押して、[9]（オプション）を押します。

2 [5] ► ◎でスクロール量を選択◉

● **「1行」「3行」「5行」を選択すると**
◎によって、Webページが選択した行数だけ上下にスクロールします。

● **「全画面」を選択すると**
◎によって、Webページが1画面分上下にスクロールします。

お知らせ

- お買い上げ時には、「3行」に設定されています。
- スクロール量が「全画面」に設定されていても、表示されている画面内に、選択可能なリンクや文字列（Webページのアドレス、電話番号、Eメールアドレスなど）がある場合は、そのリンクや文字列へのフォーカス移動が優先されます。

画面の表示倍率を変更する（ズーム）

Webページの画面表示倍率を変更します。25～200%の間で、9段階に変更できます。

1 待ち受け画面で[Web]または◉[3] ► [8]

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**
[メニュー]（メニュー）を押して、[9]（オプション）を押します。

2 [6] ► ◎で「ズーム」欄を選択◉

3 ◎で表示倍率を選択◉ ► ◎で「決定」を選択◉

画面の表示倍率が変更され、オプションメニューに戻ります。Webページ表示中の場合は、ズーム設定画面が消えます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「100%」に設定されています。
- Webページ表示中に[保留]または[留守録]を約1秒以上押しても、画面の表示倍率を変更できます。

キャッシュに関する設定を行う（キャッシュ）

ブラウザは、Webページを構成する一連のWebページ、画像ファイル、音楽ファイルなどを、キャッシュと呼ばれるメモリに読み込んで表示しています。
キャッシュを利用すると、他のページに移動したあと直前のページに戻りたいときなどに、あらためてWebページを読み込む必要がないので、画面の表示が速くなります。

キャッシュメニューを表示する

1 待ち受け画面で[Web]または◉[3] ► [8]

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**
[メニュー]（メニュー）を押して、[9]（オプション）を押します。

2 [7][1]

キャッシュメニューが表示されます。

キャッシュモードを設定する

Webページを表示する際、キャッシュに保持されているデータと、ネットワークから取得するデータのどちらを優先させるかを設定します。

1 キャッシュメニューを表示

「キャッシュメニューを表示する」（☞同じページ内です。）

2 [1] ► ◎でキャッシュモードを選択◉

インターネット 4 ブラウザの各種機能を設定する

● 「ネットワークのみ」を選択すると
キャッシュを使用せず、必ずネットワーク上からデータを取得して表示します。

● 「ネットワーク優先」を選択すると
Webページにアクセスするたびにコンテンツの日時情報などをチェックし、コンテンツが更新されている場合はネットワークから、更新されていない場合はキャッシュからデータを取得して表示します。

● 「キャッシュ優先」を選択すると
キャッシュにデータが保持されている場合はキャッシュから、データが保持されていない場合はネットワークからデータを取得して表示します。

● 「キャッシュのみ」を選択すると
キャッシュに保持されているデータのみ表示します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ネットワーク優先」に設定されています。

Diskキャッシュの使用を設定する

1 キャッシュメニューを表示

「キャッシュメニューを表示する」(☞4-22ページ)

2 [2] ► ◎で使用する／しないを選択◉

お知らせ

- お買い上げ時には、「使用しない」に設定されています。

■Diskキャッシュを削除する

キャッシュメニューで[3]（Diskキャッシュ削除）を押すと、「全件削除しますか？」と表示されます。
◎で「Yes」を選択して◉を押すと、Diskキャッシュがすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

Cookieに関する設定を行う（Cookie）

Webサーバが「Cookie（クッキー）」と呼ばれる情報を送ってきたときの受信方法を設定することができます。

1 待ち受け画面で[Web]または◉[3] ► [8]

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**
[メニュー]（メニュー）を押して、[9]（オプション）を押します。

2 [7][2][1] ► ◎でCookieモードを選択◉

● 「受信する」を選択すると
すべてのCookieを受信し、保存します。

● 「受信しない」を選択すると
すべてのCookieを受信しません。

● 「確認する」を選択すると
「Cookieを受信しますか？」と表示されます。◎で「Yes」を選択して◉を押すと、Cookieが受信されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「受信する」に設定されています。

■Cookieを削除する

「Cookie」設定画面で[2]（Cookie削除）を押すと、「全件削除しますか？」と表示されます。◎で「Yes」を選択して◉を押すと、Cookieがすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

最大リフレッシュ回数を設定する（最大リフレッシュ回数）

リフレッシュによるアドレス移動の回数を制限することができます。

1 待ち受け画面で[Web]または◉[3] ► [8]

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**
[メニュー]（メニュー）を押して、[9]（オプション）を押します。

2 [7][3] ► ◎で最大リフレッシュ回数を選択◉

● 「0回」を選択すると
リフレッシュを禁止にします。

● 「1回」「5回」を選択すると
最大リフレッシュ回数を1回、5回に設定します。

● 「無制限」を選択すると
リフレッシュ回数に制限を設けません。

お知らせ
- お買い上げ時には、「無制限」に設定されています。
- 表示モードが「ケータイモード」に設定されている場合は、最大リフレッシュ回数を設定することができません。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞4-21ページ）

最大リダイレクト回数を設定する（最大リダイレクト回数）

リダイレクトによるアドレス移動の回数を制限することができます。

1 待ち受け画面で Web または ◉ 3 ► 8

● Webページの表示中にオプションメニューを表示するには
（メニュー）を押して、9（オプション）を押します。

2 7 4 ► ◎ で最大リダイレクト回数を選択 ◉

● 「0回」を選択すると
リダイレクトを禁止にします。

● 「1回」「5回」を選択すると
最大リダイレクト回数を1回、5回に設定します。

● 「無制限」を選択すると
リダイレクト回数に制限を設けません。

お知らせ
- お買い上げ時には、「無制限」に設定されています。

ポップアップブロックを設定する（ポップアップブロック）

広告などのポップアップウィンドウの自動表示をブロックするかどうか、設定することができます。

1 待ち受け画面で Web または ◉ 3 ► 8

● Webページの表示中にオプションメニューを表示するには
（メニュー）を押して、9（オプション）を押します。

2 7 5 ► ◎ で使用する／しないを選択 ◉

● 「使用する」を選択すると
ポップアップウィンドウを自動的に表示しないようブロックします。

● 「使用しない」を選択すると
ポップアップウィンドウを自動的に表示します。

お知らせ
- お買い上げ時には、「使用する」に設定されています。

認証データの有効／無効を設定する（認証データ）

認証データの有効／無効を設定することができます。
「有効」にすると、認証時に入力したアカウントとパスワードが保存されます。「無効」にすると、入力したアカウントとパスワードが毎回削除されます。

1 待ち受け画面で Web または ◉ 3 ► 8

● Webページの表示中にオプションメニューを表示するには
（メニュー）を押して、9（オプション）を押します。

2 7 6 ► ◎ で有効／無効を選択 ◉

お知らせ
- お買い上げ時には、「有効」に設定されています。

ユーザエージェントを選択する（ユーザエージェント）

ユーザエージェントを選択することができます。

1 待ち受け画面で Web または ◉ 3 ► 8

● Webページの表示中にオプションメニューを表示するには
（メニュー）を押して、9（オプション）を押します。

2 7 7 ► ◎でユーザエージェントを選択●

お知らせ

- 表示モードがケータイモードの場合は、WILLCOMのユーザエージェント以外は選択できません。

証明書の有効／無効を設定する（証明書）

SSLのルート証明書およびCA証明書の有効／無効を設定することができます。

1 **待ち受け画面でWebまたは●3 ► 8**

● Webページの表示中にオプションメニューを表示するには

（メニュー）を押して、9（オプション）を押します。

2 8 ► 1 または 2

3 ◎で証明書を選択●

4 ► ◎で有効／無効を選択●

証明書の有効／無効が設定され、手順3の証明書の内容表示に戻ります。（戻る）を押すと、手順2の証明書の一覧に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時には、すべての証明書が「有効」に設定されています。

ブラウザに関する各種設定を確認する（設定確認）

ブラウザに関する各種設定の内容を確認することができます。

1 **待ち受け画面でWebまたは●3 ► 8**

● Webページの表示中にオプションメニューを表示するには

（メニュー）を押して、9（オプション）を押します。

2 9

ブラウザに関する各種設定が一覧表示されます。表示項目は◎でスクロールできます。

接続先を変更する（インターネット設定）

本電話機はインターネット標準のプロトコルを採用しているので、自分がパソコンで使っている一般のプロバイダなどにダイヤルアップで接続したり、会社のネットワークに接続することができます。
また、一般のプロバイダなどのメールアカウントを利用してEメールを送受信することができます。「プロバイダのメールアカウントを利用する」（☞3-26ページ）
- 一般のプロバイダをご利用になるときは、別途プロバイダとの契約が必要です。
- プロバイダによっては、サーバの設定や接続条件により接続できない場合があります。

ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ）

ダイヤルアップの接続先は3件まで設定できます。1件は「CLUB AIR-EDGE」に固定されていますが、あとの2件については接続先を任意に設定できます。ご利用になるプロバイダからの通知内容をもとに以下の設定を行ってください。詳しい設定内容については、各プロバイダにお問い合わせください。
オフィスモードで事業所内のネットワークなどに接続する場合の設定内容については、社内のLAN管理者などにお問い合わせください。また、オフィスモードで利用するには、事業所等に設置されている事業所用PHSシステムに本電話機が登録されている必要があります。「オフィスモードで使う」（☞8-3ページ）

1　待ち受け画面で Web 9

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で ◉ 5 6 4 または メール 0 を押して表示することもできます。

2　1 ► 2 または 3

接続先の設定画面が表示されます。
1（CLUB AIR-EDGE）を押した場合は、料金分計の設定のみ変更できます。接続先などは変更できません。「5（料金分計）」（☞4-27ページ）

3　1 ～ 9 のいずれかを押し、表示された設定画面で入力・設定を行う

次の項目が入力・設定できます。

- 1（接続先名称）（☞4-27ページ）
- 2（接続先電話番号）（☞4-27ページ）
- 3（ユーザID）（☞4-27ページ）
- 4（パスワード）（☞4-27ページ）
- 5（料金分計）（☞4-27ページ）
- 6（ワンタイムパスワード）（☞4-27ページ）
- 7（Proxy利用）（☞4-27ページ）
- 8（Proxyサーバ名）（☞4-27ページ）
- 9（Proxyポート番号）（☞4-27ページ）

4　必要に応じて手順3を繰り返し、各項目を入力・設定

5　さらに詳細な設定を行う場合は 0 を押し、各項目を入力・設定

次の項目が入力・設定できます。ただしCLUB AIR-EDGEの場合、9（詳細設定）は設定できません。

- 1（IPアドレス自動取得）（☞4-28ページ）
- 2（IPアドレス）（☞4-28ページ）
- 3（DNS自動取得）（☞4-28ページ）
- 4（プライマリDNS）（☞4-28ページ）
- 5（セカンダリDNS）（☞4-28ページ）
- 6（Proxy認証）（☞4-28ページ）
- 7（Proxyユーザ名）（☞4-28ページ）
- 8（Proxyパスワード）（☞4-28ページ）

各項目の設定が完了したら、 ⌐ （完了）を押してください。「設定しました」と表示され、手順2の接続先の設定画面に戻ります。

6　設定が完了したら ⌐

接続先が設定され、「ダイヤルアップ設定しました」と表示されます。

7　次の接続先を設定するときは、手順2～6を繰り返す

お知らせ
- 接続先名称、接続先電話番号、ユーザIDの3つの項目を入力しないと「完了」は表示されません。
- 「編集を中止しますか？」が表示された状態で操作を中止すると、入力した内容は反映されません。

ダイヤルアップの各項目を設定する

■ 1（接続先名称）
お好みの名称をつけることができます。接続先名称を、全角8文字（半角16文字）以内で入力し、◉を押します。

■ 2（接続先電話番号）
プロバイダから通知された、ダイヤルアップの接続先電話番号（アクセスポイント）を、32桁以内で入力し、◉を押します。「利用できる通信方式」（☞5-3ページ）
また、アクセスポイントの対応通信方式に合わせて、電話番号に続けて下表の番号を入力してください。

アクセスポイント	電話番号に続けて
4x パケット方式※、2x パケット方式※	##64
1x パケット方式※	##61
64kPIAFS（ベストエフォート）	##4
64kPIAFS（ギャランティー）	##41
32kPIAFS	##3
フレックスチェンジ方式※	##7

「発信者番号通知を設定する（番号通知）」（☞6-2ページ）の設定に関係なく、本電話機の電話番号がアクセスポイントに通知されます。あらかじめご了承ください。

※4xパケット方式、2xパケット方式、1xパケット方式、フレックスチェンジ方式対応の料金コースをご利用のお客様は、32kPIAFS、64kPIAFSで通信を行う場合、パケットごとの課金ではなく時間で課金されるため、別途料金が発生しますのでご注意ください。

お知らせ
- 64kPIAFS方式をご利用になる場合は、「通信方式を設定する」（☞5-14ページ）もご覧ください。

■ 3（ユーザID）
プロバイダから通知されたユーザIDを、半角64文字以内で入力し、◉を押します。

■ 4（パスワード）
プロバイダから通知されたパスワードを、半角128文字以内で入力し、◉を押します。

■ 5（料金分計）
料金分計サービスを利用する場合は 1（ON）、利用しない場合は 2（OFF）を押します。
料金分計サービスを利用すると、メール送信の料金の請求先を主計先と分計先の2箇所に分けることができます。料金分計を「OFF」に設定すると料金は主計先に、「ON」に設定すると分計先に請求されます。料金分計は、お申し込みが必要な有料のサービスです。「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞7-57ページ）
料金分計サービスは、待受モードが「公衆」のとき、または「公衆/オフィス」「公衆/グループ」で公衆優先に設定されているときにご利用になれます。

お知らせ
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

■ 6（ワンタイムパスワード）
接続のたびにワンタイムパスワードを入力する場合は 1（ON）、入力しない場合は 2（OFF）を押します。

お知らせ
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

■ 7（Proxy利用）
接続にProxyサーバを利用する場合は 1（ON）、利用しない場合は 2（OFF）を押します。プロバイダからの通知をもとに選択してください。

お知らせ
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

■ 8（Proxyサーバ名）
7（Proxy利用）を「ON」に設定した場合、Proxyサーバの名称を半角64文字以内で入力し、◉を押します。7（Proxy利用）が「OFF」の場合は設定できません。

■ 9（Proxyポート番号）
7（Proxy利用）を「ON」に設定した場合、Proxyサーバのポート番号を半角5文字以内で入力し、◉を押します。7（Proxy利用）が「OFF」の場合は設定できません。

お知らせ
- お買い上げ時には、「8080」に設定されています。

ダイヤルアップの詳細情報を設定する

■ 1（IPアドレス自動取得）

IPアドレスを自動で取得する場合は 1（ON）、取得しない場合は 2（OFF）を押します。プロバイダからの通知をもとに選択してください。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

■ 2（IPアドレス）

1（IPアドレス自動取得）を「OFF」に設定した場合、プロバイダから通知されているIPアドレスを入力し、◉を押します。◎で「.」の右に移動できます。1（IPアドレス自動取得）が「ON」の場合は設定できません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「0.0.0.0」に設定されています。

■ 3（DNS自動取得）

DNSサーバのIPアドレスを自動で取得する場合は 1（ON）、取得しない場合は 2（OFF）を押します。プロバイダからの通知をもとに選択してください。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

■ 4（プライマリDNS）

3（DNS自動取得）を「OFF」に設定した場合、プライマリDNSサーバのIPアドレスを入力し、◉を押します。◎で「.」の右に移動できます。3（DNS自動取得）が「ON」の場合は設定できません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「0.0.0.0」に設定されています。

■ 5（セカンダリDNS）

3（DNS自動取得）を「OFF」に設定した場合、セカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力し、◉を押します。◎で「.」の右に移動できます。3（DNS自動取得）が「ON」の場合は設定できません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「0.0.0.0」に設定されています。

■ 6（Proxy認証）

Proxyサーバを利用した認証を行う場合は 1（ON）、行わない場合は 2（OFF）を押します。プロバイダからの通知をもとに選択してください。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

■ 7（Proxyユーザ名）

6（Proxy認証）を「ON」に設定した場合、Proxyサーバを利用する際のユーザ名を半角64文字以内で入力し、◉を押します。6（Proxy認証）が「OFF」の場合は設定できません。

■ 8（Proxyパスワード）

6（Proxy認証）を「ON」に設定した場合、Proxyサーバを利用する際のパスワードを半角128文字以内で入力し、◉を押します。6（Proxy認証）が「OFF」の場合は設定できません。

ダイヤルアップ設定を初期化する

1　待ち受け画面で Web 9

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で ◉ 5 6 4 または メール 0 を押して表示することもできます。

2　1 ► ◎で初期化する設定を選択

1（CLUB AIR-EDGE）の設定は初期化できません。

3　⌒ ► 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

4　◎で「Yes」を選択 ◉

ダイヤルアップ設定が初期化され、「初期化しました」と表示されます。

接続モードを設定する（接続モード）

ダイヤルアップの接続先（Web用／メール用）、送信メールアカウント、受信メールアカウントの組み合わせを決める「接続モード」は、3件まで設定できます。お買い上げ時には、各モードの接続先やアカウントは以下のように設定されています。

接続モード	ダイヤルアップ接続先（Web 用／メール用）	送信メールアカウント	受信メールアカウント
接続モード 1	接続先 1（CLUB AIR-EDGE）	E メール	E メールのみ ON
接続モード 2	接続先 2	アカウント 2	アカウント 2 のみ ON
接続モード 3	接続先 3	アカウント 3	アカウント 3 のみ ON

1　待ち受け画面で [Web] [9]

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で ◉ [5] [6] [4] または [メール] [0] を押して表示することもできます。

2　[2] ► [1] ～ [3] のいずれか

3　[1] ► 接続モードの名称を入力 ◉

お好みの名称をつけることができます。全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

4　[2] ► [1] ～ [3] のいずれか

ダイヤルアップの接続先は、1件は「CLUB AIR-EDGE」に固定されており、あとの2件は任意に設定できます。「ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ）」（☞4-26ページ）

5　[3] ► [1] ～ [3] のいずれか

ダイヤルアップの接続先は、1件は「CLUB AIR-EDGE」に固定されており、あとの2件は任意に設定できます。「ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ）」（☞4-26ページ）

6　[4] ► [1] ～ [3] のいずれか

メールアカウントは3件まで設定できます。「Eメールアドレスを作成する」（☞3-5ページ）

7　[5] ► [1] または [2]

- **[1]（受信アカウント選択）を押したときは**

  受信アカウントの一覧が表示されます。[1] ～ [3] のいずれかを押すと、受信アカウントのON/OFFを設定する画面が表示されます。[1]（ON）または [2]（OFF）を押すと、受信アカウント選択画面に戻ります。さらに [完了]（完了）を押すと、受信メールアカウント画面に戻ります。
  メールアカウントは3件まで設定できます。「Eメールアドレスを作成する」（☞3-5ページ）

- **[2]（毎回選択）を押したときは**

  受信アカウントを毎回選択するかどうかを設定します。[1]（ON）または [2]（OFF）を押すと、受信メールアカウント画面に戻ります。

8　受信メールアカウント画面で [完了] ► [完了]

接続モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

接続モードを選択する

公衆モードで接続する場合と、オフィスモードで接続する場合のそれぞれについて、あらかじめ接続モード（ダイヤルアップ接続先、送信メールアカウント、受信メールアカウントの組み合わせ）を設定しておくことができます。

公衆モード時の接続モードを選択する（公衆接続モード選択）

1　待ち受け画面で Web 9

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で ● 5 6 4 または メール 0 を押して表示することもできます。

2　3 ► 1 ～ 3 のいずれか

公衆接続モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

- **接続モードの詳細を確認するには**
  ◎ で接続モードを選択して ✓（詳細）を押すと、Web用／メール用ダイヤルアップ接続先、送信／受信メールアカウントなどの詳細情報が表示されます。クリア/マナー を押すと、公衆接続モード選択画面に戻ります。
- **オフィス接続モードで選択されている接続モードを選択したときは**
  「オフィス接続モードで選択されています　設定しますか？」と表示されます。◎ で「Yes」を選択して ● を押すと、選択したモードが公衆接続時の接続モードとして設定されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、公衆接続モードは「接続モード1」（接続先はCLUB AIR-EDGE）に設定されています。

オフィスモード時の接続モードを選択する（オフィス接続モード選択）

1　待ち受け画面で Web 9

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で ● 5 6 4 または メール 0 を押して表示することもできます。

2　4 ► 1 ～ 3 のいずれか

オフィス接続モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

- **接続モードの詳細を確認するには**
  ◎ で接続モードを選択して ✓（詳細）を押すと、接続モードの名称、ダイヤルアップ接続先、送信／受信メールアカウントなどの詳細情報が表示されます。クリア/マナー を押すと、オフィス接続モード選択画面に戻ります。
- **公衆接続モードで選択されている接続モードを選択したときは**
  「公衆接続モードで選択されています　設定しますか？」と表示されます。◎ で「Yes」を選択して ● を押すと、選択したモードがオフィス接続時の接続モードとして設定されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、オフィス接続モードは「接続モード3」に設定されています。

接続モードを初期化する

1　待ち受け画面で Web 9

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で ● 5 6 4 または メール 0 を押して表示することもできます。

2　5 ► 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

3　◎ で「Yes」を選択 ●

接続モードの設定がお買い上げ時の状態に戻り、「初期化しました」と表示されます。

5
パソコンとの連携

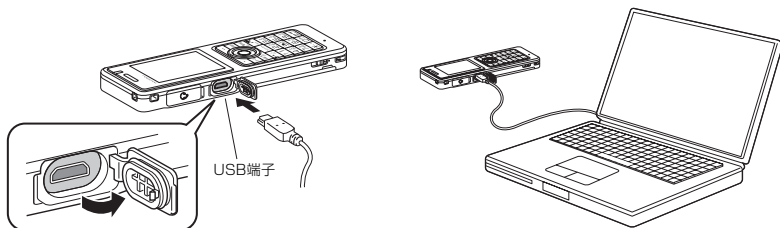
パソコンと接続する………………………………… 5-2
データ通信を行う…………………………………… 5-3

パソコンと接続する

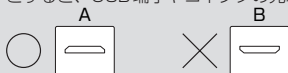
パソコンと接続する

USBケーブル（Micro USB対応）で、パソコンと本電話機を接続します。接続する前にUSBドライバをインストールしてください。「USBドライバのインストール」（☞5-4ページ）

1　パソコンを起動し、パソコンのUSBポートにUSBケーブルのコネクタを接続する

2　本電話機のUSB端子のカバーを外し、USBケーブルのコネクタ（Micro USB）をUSB端子にまっすぐ差し込む

確認音が鳴り、本電話機の画面に「 」が点灯し、「データ通信ON」と表示されます。
データ通信が終わったら、USB端子のキャップを閉じてください。

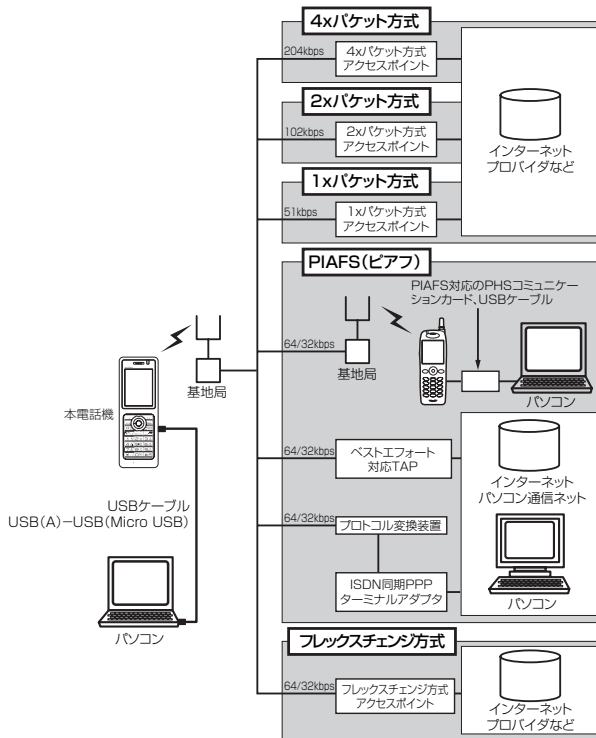
お知らせ

- 電池パックを外した状態で、本電話機をUSBケーブルに接続しないでください。
- USBケーブルを外すときは、接続と逆の順序で行ってください。
- 本電話機からUSBケーブルを抜くときは、差し込むときと同じようにUSB端子のカバーを押さえて、まっすぐに抜いてください。
- 本電話機よりUSBケーブルを外すと、「 」が消灯し、「データ通信OFF」と表示されます。
- USBケーブルでパソコンと接続中に、パソコンから充電することもできます。ただし、パソコンの種類によっては、USBケーブル経由での充電ができないことがあります。「USBで充電する」（☞7-6ページ）
- USB充電を「OFF」に設定してパソコンと接続した場合でも、本電話機の電池を消費します。この場合、データ通信を行わなくても待受時間が短くなることがあります。本電話機の電源を切っていても同様に本電話機の電池を消費する場合があります。
- ご利用になるOSによっては、最初に接続してドライバのインストールを行ったUSBポート以外のUSBポートに接続した場合、再度ドライバのインストールや設定が必要となる場合があります。
- 本電話機にUSBケーブルを接続する時には、パソコンが完全に起動していることを確認してから行ってください。完全に起動する前に接続すると、「USBで充電する」（☞7-6ページ）の設定に関係なく「高速」で充電されることがあります。
- USBケーブルのコネクタをUSB端子に接続する際には、下図Aのようにコネクタの先端部分の幅が狭い方を上側にして接続してください。下図Bのようにコネクタの向きが逆の状態で接続しようとすると、USB端子やコネクタの先端部分を破損する恐れがあります。

（ACアダプタのコネクタを正面から見た断面図）

データ通信を行う

データ通信について

利用できる通信方式

本電話機で利用できるデータ通信には、4xパケット方式、2xパケット方式、1xパケット方式、64kPIAFS（ベストエフォート）、32kPIAFS、フレックスチェンジ方式があります。

■4xパケット方式

ウィルコムが提供している最大通信速度204kbpsの通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。
4xパケット方式は、1xパケット通信を4つ束ねることにより、さらにデータ通信速度を向上させています。
数分間程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。
ご利用になるには、ウィルコムの4xパケット方式対応の料金コースにお申し込みいただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

■2xパケット方式

ウィルコムが提供している最大通信速度102kbpsの通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。
2xパケット方式は、1xパケット通信を2つに束ねることにより、さらにデータ通信速度を向上させています。
数分間程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。
ご利用になるには、ウィルコムの2xパケット方式対応の料金コースにお申し込みいただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

■1xパケット方式

ウィルコムが提供している最大通信速度51kbpsの通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。
数分間程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。
ご利用になるには、ウィルコムの1xパケット方式対応の料金コースにお申し込みいただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

■64kPIAFS方式（ベストエフォート）

ウィルコムが採用している最大通信速度64kbpsの通信方式です。
基地局の利用状況や電波の状況により、64kbpsと32kbpsの2つの通信速度をフレキシブルに選択し、つながりやすく切れにくい通信環境を実現します。

■32kPIAFS方式

PHSの通信標準規格で最大速度32kbpsの通信方式です。
PIAFS対応のターミナルアダプタ（TAP）やPHSを用いたアクセスポイントに接続することにより、32kbpsの高速データ通信が可能です。

■フレックスチェンジ方式

ウィルコムが提供している最大通信速度64kbpsの通信方式です。通信中のデータ量に従い、「1xパケット方式」と「64kPIAFS（ベストエフォート方式）」を、自動的に切り替え、スムーズな通信環境を実現する通信方式です。
回線使用状況などにより64kPIAFS方式での通信を維持できない場合でも、パケット方式で通信を継続するので、再接続する必要はありません。
ご利用になるには、ウィルコムのフレックスチェンジ方式専用の料金コースにお申し込みいただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

お知らせ

- パケット方式の速度表記は、PHS高度化通信規格（W-OAM）対応基地局利用時の最大通信速度となります。
- データ通信に関するお問い合わせ　［受付時間］10:00 ～ 18:00（土・日・祝日を除く）

ウィルコムの電話から［局番なしの］157　一般加入電話・携帯電話などから 0120-921-157

データ通信用ソフトをインストールする

USBドライバのインストール

本電話機とパソコンをUSBケーブルで接続してデータ通信を行うには、あらかじめ、本電話機をモデムとして動かすためのドライバをパソコンにインストールする必要があります。

■本電話機の対応OSについて

本電話機と接続可能なパソコンの対応OSは以下のとおりです。ただし、すべてのパソコンについての動作を保障するものではありませんのであらかじめご了承ください。

● Windows

Windows Vista Ultimate
Windows Vista Business
Windows Vista Home Premium
Windows Vista Home Basic
Windows XP Professional
Windows XP Home Edition
Windows 2000 Professional

● Macintosh

Mac OS X v10.1.5 ～ v10.4.1, v10.4.3 ～ v10.5.5
Mac OS 9 v9.2 ～ v9.2.2

ご注意

- 以下の場合はサポート対象外となりますのであらかじめご了承ください。
  - ・自作したパソコンをご使用の場合
  - ・対応OSがプレインストールされていないパソコンをご使用の場合
  - ・OSをアップグレードしたり、OSを入れ替えたパソコンをご使用の場合
  - ・パソコンのハードウェアとOSとの相性により正常に動作しない場合
  - ・パソコンの設定や環境によって正常に動作しない場合
  - ・増設したUSB端子をお使いの場合
  - ・USBハブなどを経由して接続している場合
  - ・パソコンに本電話機以外のUSB機器が接続されている場合

ドライバのインストール方法は、お使いのパソコンのOSによって異なります。

- ・Windows Vistaの場合（☞同じページ内です。）
- ・Windows XPの場合（☞5-7ページ）
- ・Windows 2000の場合（☞5-8ページ）
- ・Mac OS X v10.5以降の場合（☞5-9ページ）
- ・Mac OS X v10.3.x ～ 10.4.xの場合（☞5-10ページ）
- ・Mac OS X v10.2以前の場合（☞5-11ページ）
- ・Mac OS 9の場合（☞5-12ページ）

WindowsはMicrosoft Corporationの、Macintosh、Mac OSはApple Inc.の登録商標です。

■Windows Vistaの場合

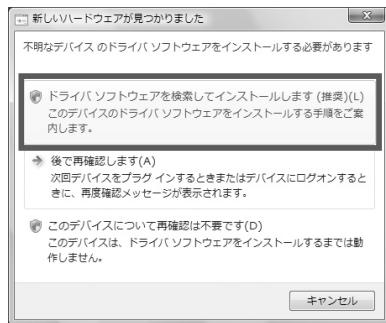
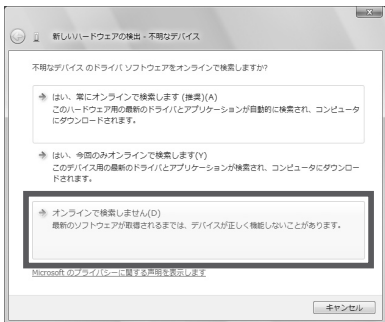
1 パソコンと本電話機の電源を入れる

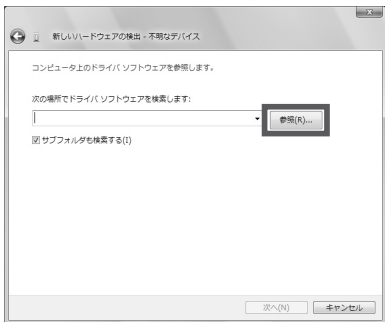
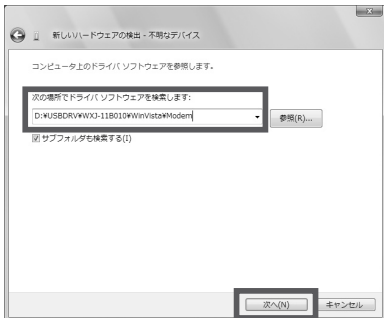
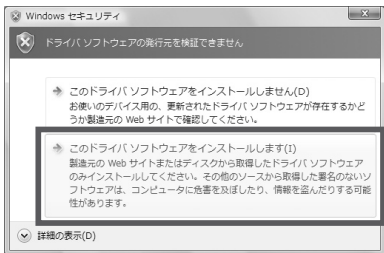
2 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

3 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」（☞5-2ページ）

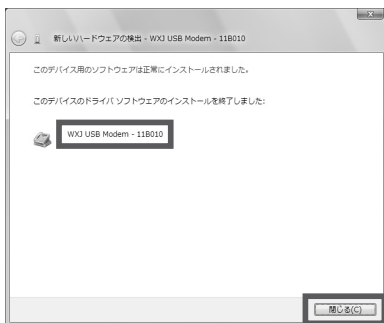
接続を行うと、パソコンのディスプレイに「新しいハードウェアが見つかりました」の画面が表示され、インストールが開始されます。

4 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」をクリックする

5 「オンラインで検索しません」をクリックする

6 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）」をクリックする

7 ［参照］をクリックし、「CD-ROMドライブ¥USBDRV¥WXJ-11B010¥WinVista¥Modem」を指定する

8 「次の場所でドライバソフトウェアを検索します」が表示されたことを確認し、［次へ］をクリックする

9 「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックする

ドライバのインストールが開始されます。

10 インストールされたドライバが「WXJ USB Modem - 11B010」であることを確認し、［閉じる］をクリックする

ドライバのインストールが終了します。

ご注意

- ドライバ名称の下6桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更されます。

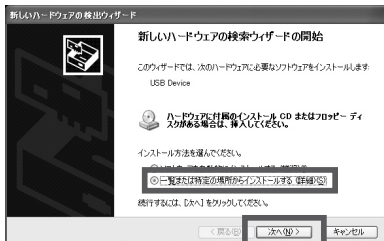
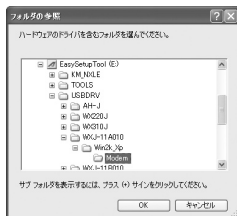
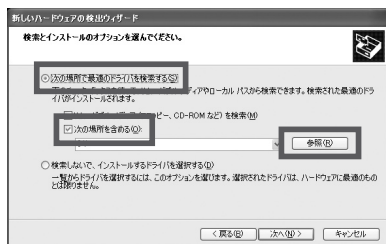
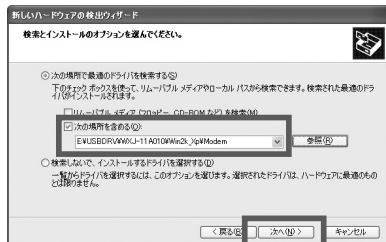
■Windows XPの場合

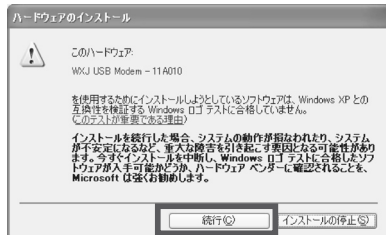
1 パソコンと本電話機の電源を入れる

2 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

3 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」（☞5-2ページ）
接続を行うと、パソコンのディスプレイに「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示され、インストールが開始されます。

4 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、[次へ]をクリックする

5 「次の場所で最適のドライバを検索する」および「次の場所を含める」を選択して[参照]をクリックし、「CD-ROMドライブ¥USBDRV¥WXJ-11A010¥Win2k_Xp¥Modem」を指定する

6 「次の場所を含める」が表示されたことを確認し、[次へ]をクリックする

● **以下の画面が表示されたとき**

インストール中に、以下の警告画面が表示されることがあります。この場合、[続行]をクリックしてインストールを続けてください。

7 インストールされたドライバが「WXJ USB Modem - 11A010」であることを確認し、[完了] をクリックする

ドライバのインストールが終了します。

ご注意

- ドライバ名称の下6桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更されます。

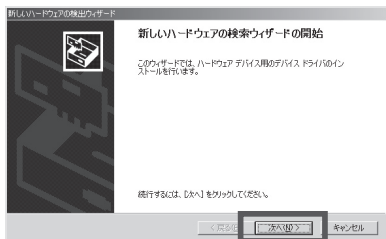
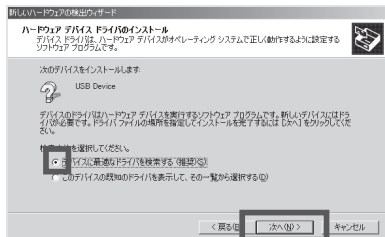
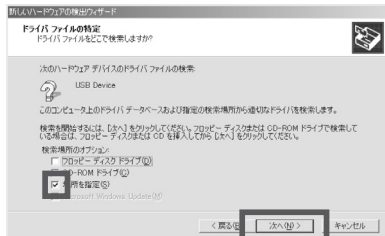
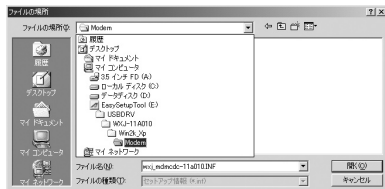
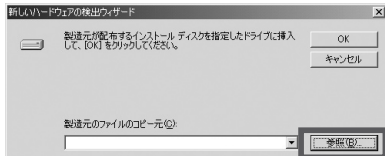
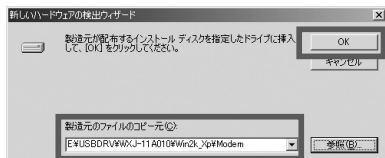
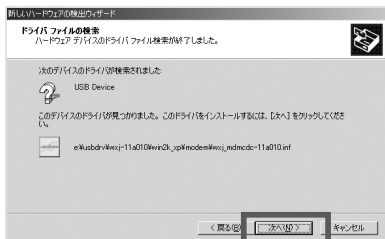
■Windows 2000の場合

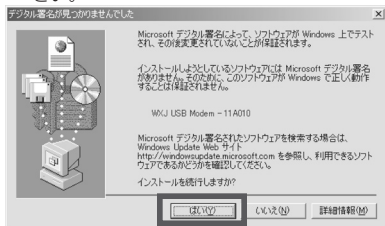
1 パソコンと本電話機の電源を入れる

2 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

3 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」(☞5-2ページ)接続を行うと、パソコンのディスプレイに「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示され、インストールが開始されます。

4 [次へ] をクリックする

5 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、[次へ] をクリックする

6 「場所を指定」を選択して [次へ] をクリックする

7 [参照] をクリックし、「CD-ROMドライブ¥USBDRV¥WXJ-11A010¥Win2k_Xp¥Modem」を指定する

8 「製造元のファイルのコピー元」が表示されたことを確認し、[OK] をクリックする

9 「ドライバファイルの検索」画面で、[次へ] をクリックする

● **以下の画面が表示されたとき**

インストール中に、以下の警告画面が表示されることがあります。この場合、[はい] をクリックしてインストールを続けてください。

10 インストールされたドライバが「WXJ USB Modem - 11A010」であることを確認し、[完了] をクリックする

ドライバのインストールが終了します。

ご注意

- ドライバ名称の下6桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更されます。

■Mac OS X v10.5以降の場合

ドライバはインストールする必要はありません。以下の手順で設定を行うと、本電話機をモデムとして動かすための準備ができます。

1 パソコンと本電話機の電源を入れる

2 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」(☞5-2ページ)

3 「システム環境設定」から「ネットワーク」を選択し、ネットワーク接続サービスのリストから「USBモデム」を選択して [詳細] をクリックする

4 [モデム] タブをクリックし、「製造元」プルダウンメニューから「WILLCOM」、「機種」プルダウンメニューから「WXxxxJ (USB)」を選択し、[OK] をクリックする

5 ネットワーク設定画面で [適用] をクリックする

以上で本電話機をモデムとして動かすための準備が終了します。

パソコンとの連携

5

データ通信を行う

● ドライバをインストールする場合は

1 **パソコンと本電話機の電源を入れ、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる**

2 **USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する**

「パソコンと接続する」（☞5-2ページ）

3 **付属のCD-ROMの中にある「WXJ USB MODEM - 11A010」を、デスクトップ上の「MacintoshHD※」をダブルクリックし、「ライブラリ」フォルダ内の「Modem Scripts」フォルダにコピーする**

※ご使用のパソコンによっては、名前が異なる場合があります。

以上でドライバのインストールは終了です。

4 **「システム環境設定」から「ネットワーク」を選択し、ネットワーク接続サービスのリストから「USBモデム」を選択して［詳細］をクリックする**

5 **［モデム］タブをクリックし、「製造元」プルダウンメニューから「その他」、「機種」プルダウンメニューから「WXJ USB MODEM - 11A010」を選択し、［OK］をクリックする**

6 **ネットワーク設定画面で［適用］をクリックする**

以上で本電話機をモデムとして動かすための準備が終了します。

■Mac OS X v10.3.x ～ 10.4.xの場合

1 **パソコンと本電話機の電源を入れ、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる**

2 **USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する**

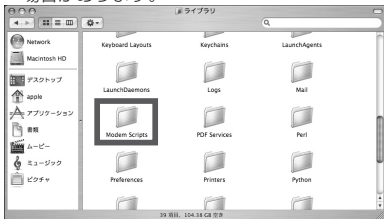
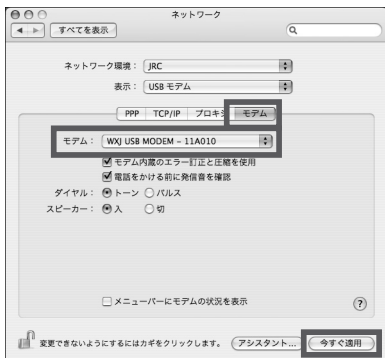
「パソコンと接続する」（☞5-2ページ）

3 **付属のCD-ROMの中にある「WXJ USB MODEM - 11A010」を、デスクトップ上の「MacintoshHD※」をダブルクリックし、「ライブラリ」フォルダ内の「Modem Scripts」フォルダにコピーする**

※ご使用のパソコンによっては、名前が異なる場合があります。

4 **「システム環境設定」から「ネットワーク」を選択し、「表示」プルダウンメニューから「USBモデム」を選択する**

5 「モデム」タブをクリックし、「モデム」のプルダウンメニューから「WXJ USB MODEM - 11A010」を選択し、［今すぐ適用］をクリックする

ご注意

- ドライバ名称の下６桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更されます。

以上で本電話機をモデムとして動かすための準備が終了します。

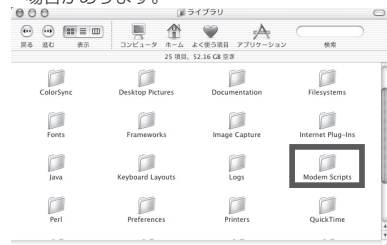
■Mac OS X v10.2以前の場合

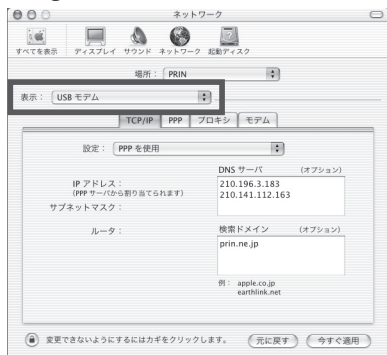
1 パソコンと本電話機の電源を入れ、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

2 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」（☞5-2ページ）

3 付属のCD-ROMの中にある「WXJ USB MODEM - 11A010」を、デスクトップ上の「MacintoshHD※」をダブルクリックし、「ライブラリ」フォルダ内の「Modem Scripts」フォルダにコピーする

※ご使用のパソコンによっては、名前が異なる場合があります。

ご使用のシステムのバージョンによっては、「ライブラリ」は「Library」と表示されています。

4 「システム環境設定」から「ネットワーク」を選択し、「表示」プルダウンメニューから「USBモデム」を選択する

5 ［モデム］タブをクリックし、「モデム」のプルダウンメニューから「WXJ USB MODEM - 11A010」を選択し、［今すぐ適用］をクリックする

ご注意

- ドライバ名称の下6桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更されます。

以上で本電話機をモデムとして動かすための準備が終了します。

■Mac OS 9の場合

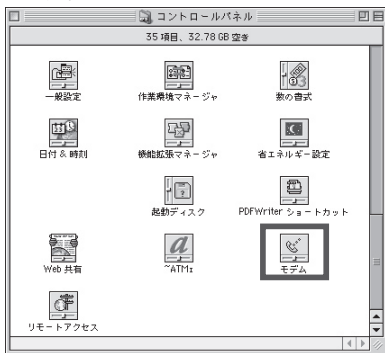
1 **パソコンと本電話機の電源を入れ、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる**

2 **USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する**

「パソコンと接続する」（☞5-2ページ）

3 **付属のCD-ROMの中にある「WXJ USB MODEM - 11A010」を、デスクトップ上の「MacintoshHD※」をダブルクリックし、「ライブラリ」フォルダ内の「機能拡張」フォルダ内の「Modem Scripts」フォルダにコピーする**

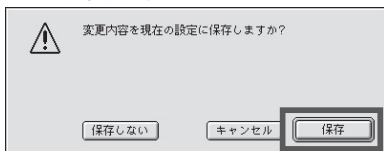
※ご使用のパソコンによっては、名前が異なる場合があります。

4 **「システムフォルダ」内の「コントロールパネル」の「モデム」をダブルクリックする**

5 **「経由先」のプルダウンメニューから「USB Modem 1」を、「モデム」のプルダウンメニューから「WXJ USB MODEM - 11A010」を選択する**

「経由先」プルダウンメニューに「USB Modem X」（Xは任意の数字）と表示されることもあります。

ご注意

- ドライバ名称の下6桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更されます。

6 「モデム」ウィンドウを閉じ、［保存］をクリックする

以上で本電話機をモデムとして動かすための準備が終了します。

■Windowsでご利用になる場合のご注意

- インストール時に割り当てられるCOMポート番号が、パソコンによっては内蔵モデムや赤外線ポート（IrDA）のCOMポート番号と重なってしまう場合があります。重なった場合、正常に動作しなくなりますので、内蔵ポート、赤外線ポート（IrDA）をデバイスマネージャ上で「使用不可」にするか、モデムポート先を変更してからお使いください。
- WXJ USB Modem - 11A010はモデムとしてインストールされますが、すでに複数のモデムがインストール済みのパソコンにインストールした場合、正常に動作しなくなることがあります。このような場合は、すでにインストール済みの各種モデムを、「モデムのプロパティ」から削除してください。
- Windows XP搭載のパソコンを本電話機と接続するとき、パソコンがモデムとして認識するのにしばらく時間がかかります。そのため、本電話機との接続の直後に通信を開始しようとすると正常に動作しませんのでご注意ください。本電話機と接続後、10秒ほど時間をおいてから使用してください。
- Windows XP、Windows 2000でお使いの場合、ダイヤルアップ接続やターミナルソフトなどによりCOMポートをオープンした状態でUSBケーブルを抜くと、パソコンの動作が不安定になることがあります。USBケーブルを抜いたあとは、10秒ほど時間をおいてから再度USBケーブルを差し込むようにしてください。

■Macintoshでご利用になる場合のご注意

- Mac OSでお使いの場合、リモートアクセスやターミナルソフトなどによりCOMポートをオープンした状態でUSBケーブルを抜くと、システムの状態が不安定になります。USBケーブルは、必ずMacintosh側でCOMポートをクローズ（接続断）したあとに抜いてください。また、このような操作を行った場合には、Macintoshを再起動してください。

■サポートWebサイトのお知らせ

- インストールがうまくいかない場合には、サポートWebサイトのQ&Aもご覧ください。サポートWebサイト http://www.jrcphs.jp/
このサイトへはパソコンからアクセスしてください。

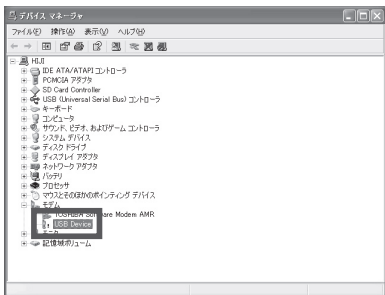
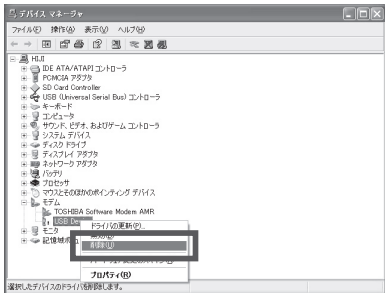
■USBドライバが誤認識された場合の対処法（Windows XPおよびWindows 2000）

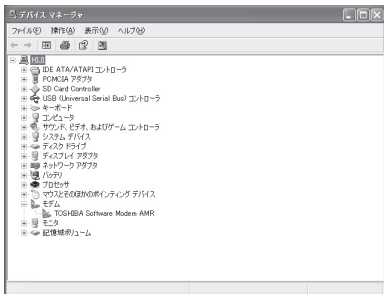
- インストールを中断し、USBドライバが誤認識されてしまった場合は、デバイスマネージャから誤認識された「USB Device」を削除し、再度USBドライバのインストールを行います。（下記の画面はWindows XPの場合の例ですが、操作はWindows 2000の場合も同様です。）

1 パソコンと本電話機の電源を入れ、USBケーブルで接続する

2 デバイスマネージャを表示させる

3 「モデム」アイコンの先頭の「+」をクリックする

先頭に「！」の付いた「USB Device」が表示されています。

4 「USB Device」を右クリックし、［削除］を選択する

5 ［OK］をクリックする

6 「USB Device」が消えていることを確認する

以上の操作のあと、再度USBドライバのインストールを行ってください。

通信方式を設定する

64kPIAFSの選択

64kPIAFS通信の方式を、ベストエフォート型とギャランティー型から選択します。

1 待ち受け画面で ◉ [5] [6]

2 [6] ► [1] または [2]

- **[1]（ベストエフォート型）を押すと**
  基地局の利用状況や電波の状況により、64kbpsと32kbpsの2つの通信速度がフレキシブルに選択されます。ウィルコムと公衆サービスの契約をされている場合は、「ベストエフォート型」を選択してください。
- **[2]（ギャランティー型）を押すと**
  通信速度を64kbps固定とします。64kbpsの通信速度が確保できないときには通信を切断します。

お知らせ

- お買い上げ時には、データ通信方式は「ベストエフォート型」に設定されています。ウィルコムと契約されている場合は「ギャランティー型」はご利用になれません。他の事業者と公衆サービスの契約をされている場合は、各事業者にご確認のうえ、必要に応じて「ギャランティー型」に設定してください。
- オフィスモードで使用する場合は、オフィスシステム（PBX）が対応している方式を設定してください。「オフィスモードで使う」（☞8-3ページ）
- 本機能を「ベストエフォート型」に設定している場合でも、アクセスポイントの電話番号の末尾に「##41」が入力されているときは、ギャランティー型で発信します。また「ギャランティー型」に設定している場合、アクセスポイントの電話番号の末尾に「##4」が入力されているときは発信できません。「通信方式の設定」（☞同じページ内です。）
- 64kギャランティー型での発信の際、フォールバック機能（64kbpsで通信ができない場合に自動的に32kbpsに通信速度を落としてリダイヤルする機能）には対応していません。

通信方式の設定

本電話機での通信方式の設定とは別にパソコン側で、どのアクセスポイントに接続するかによって、通信ソフトの設定を変える必要があります。

● パソコンの通信ソフトの設定を変えるには

パソコンなどでアクセスポイントの電話番号を入力するとき、続けて下表の番号を入力します。

アクセスポイント	電話番号に続けて
4x パケット方式※、2x パケット方式※	##64
1x パケット方式※	##61
64kPIAFS（ベストエフォート）	##4
64kPIAFS（ギャランティー）	##41
32kPIAFS	##3
フレックスチェンジ方式※	##7

発信者番号通知の設定に関係なく本電話機の電話番号がアクセスポイントに通知されますので、あらかじめご了承ください。「発信者番号通知を設定する（番号通知）」（☞6-2ページ）

※4xパケット方式、2xパケット方式、1xパケット方式、フレックスチェンジ方式対応の料金コースをご利用のお客様は、32kPIAFS、64kPIAFSで通信を行う場合、パケットごとの課金ではなく時間で課金されるため、別途料金が発生しますのでご注意ください。

お知らせ

- データ通信を行うための詳しい設定や操作は、お買い求めのパソコン、PDA、通信ソフトの取扱説明書をご覧ください。
- 64kPIAFS方式をご利用になる場合は、「64kPIAFSの選択」（☞5-14ページ）もご覧ください。

データ通信で発信する

1 USBケーブルで接続したパソコンでデータ通信の発信操作をする

通信方式の種別がアイコンと文字で表示され、発信先の電話番号が点滅します。

●画面に表示される文字とアイコン

通信方式	表示文字	アイコン
4x パケット方式、2x パケット方式	データ通信 パケット	Pt
1x パケット方式	データ通信 パケット	Pt
64kPIAFS（ベストエフォート）	データ通信 64kPIAFS BE	64k BE
64kPIAFS（ギャランティー）	データ通信 64kPIAFS GR	64k GR
32kPIAFS	データ通信 32kPIAFS	32k PIAFS
フレックスチェンジ方式	データ通信 フレックスチェンジ	64k FC

アクセスポイントに接続すると、画面に通信時間が表示されます。

2 パソコンから切断操作をする

ご注意

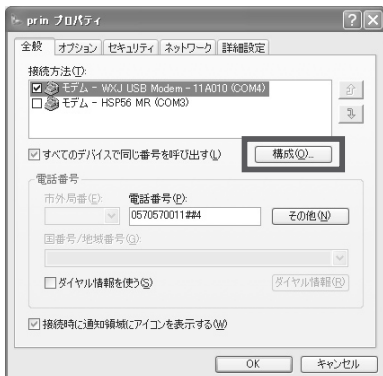
- 本電話機をパソコンと接続してパソコンでデータ通信を行っているときに、電話機単体でのインターネット接続はできません。
- 電話機単体でインターネット接続やEメールの送受信を行っているときは、本電話機をパソコンと接続してのパソコンでのデータ通信はできません。
- データ通信で発信するときに、料金分計サービスを利用することもできます。「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞7-57ページ）

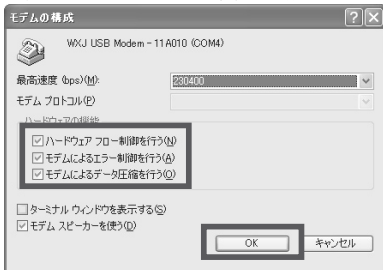
「エラー692:」が表示される場合（Windows XP）

ダイヤルアップ接続時に「エラー692:」のメッセージが表示され、接続できない場合は、インストールされたUSBドライバの、モデムに対するハードウェア設定を変更します。

1　パソコンと本電話機の電源を入れ、USBケーブルで接続する

2　［スタート］メニューから［接続］→［すべての接続の表示］を選択し、利用するダイヤルアップ接続のアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択する

3　［構成］をクリックする

4　「ハードウェアの機能」の項目にチェックが入っているかどうかを確認し、［OK］をクリックする

チェックが入っていない場合は、以下の画面のようにすべてにチェックを入れてください。

5　［OK］をクリックする

ATコマンドで音声発信する

本電話機をパソコンと接続しているときに、パソコン側の通信ソフトでATコマンドを使用して音声発信を行うことができます。

1 待ち受け画面で、パソコン側の通信ソフトから「ATD○○○○○○○○##0」と入力する

例えば03-1234-5678に発信する場合は「ATD0312345678##0」と入力します。
本電話機に「発信中」と表示され、電話がかかります。

2 通話する

相手が電話に出ると、通信ソフトには「CONNECT」と表示されます。USBケーブルを接続したままでもUSBケーブルを抜いても、通話することができます。

3 通話を終了するときは [PWR] を押す

通話が終了し、「通話終了」と表示されます。

お知らせ

- パソコンと接続しているときに音声着信があっても、ATコマンドで応答することはできません。電話を受けるには [通話] を押してください。
- 通信ソフトは別途ご用意ください。

パソコン接続中に着信する

本電話機をパソコンと接続しているときに、データ着信があった場合、着信操作はパソコン側で行います。

1 着信音が鳴る

発信元の電話番号が表示されます。「データ通信で発信する」(☞5-15ページ)
公衆モードで設定した着信音が鳴ります。「着信音を設定する」(☞2-39ページ)
着信ランプが点滅します。

2 パソコン側でデータ着信の操作を行う

通信が開始されると、画面に通信方式の種別がアイコンと文字で表示され、通信時間が表示されます。

お知らせ

- 本電話機が「ダイヤルロック」・「リモートロック」されているとき、パソコン側からの発信および通信モードの切り替えはできません。ただし、「ダイヤルロック」されているときは、データ着信は受けられます。「ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）」(☞6-8ページ)
- USBケーブル未接続のときにデータ着信があった場合、不在着信となり待ち受け画面に [DATA] が表示され、リマインダーが点灯します。
- 「安全運転モード」が設定されているときにデータ着信があった場合、不在着信となり待ち受け画面に [DATA] が表示され、リマインダーが点灯します。

データ通信中の着信を設定する

データ通信時に、電話がかかってきたときに、それを受けるかどうかを設定します。PIAFS通信（音声通話も含む）とパケット通信のそれぞれについて設定することができます。

PIAFS通信中の着信を設定する（音声、PIAFS通信中着信）

PIAFS方式での通信中に電話がかかってきた場合についての設定です。設定方法は、「通信中の着信を設定する」(☞2-7ページ)と同じです。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています（通信中の着信を受ける）。
- 「音声, PIAFS通信中着信」が「ON」の場合、画面には着信の種類に応じて次のメッセージが表示されます。
  音声着信（通常の電話）の場合→「着信がありました」
  Eメール自動受信着信の場合→「センターにEメールがあります」
  データ着信の場合→「データ着信がありました」
  位置情報通知着信の場合→「位置情報通知着信がありました」
  なお、ライトメールは受信不可となります。

パケット通信中の着信を設定する（パケット通信中着信）

パケット方式での通信中に電話がかかってきた場合についての設定です。

1 待ち受け画面で ◉ 5 6

2 5 2 ► 1 または 2

パケット通信中の着信が設定され、「設定しました」と表示されます。

- **1（ON）を押すと**
  パケット通信時の着信を受け付けます。
- **2（OFF）を押すと**
  パケット通信時の着信を受け付けません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています（通信中の着信を受ける）。
- 「パケット通信中着信」が「ON」の場合、本電話機をパソコンと接続してパケット通信を行っているときに音声着信、ライトメール受信、E メールのバックグランド受信、データ通信着信が可能です。ただし、本電話機での通信が優先されるため、パソコン通信中に本電話機側で着信動作があるとパソコン通信は切断されます。通信のタイミングによっては着信できない場合もあります。

6
セキュリティ（安全）

発信者番号通知を設定する
（番号通知）…………………………………… 6-2
番号非通知の電話を受けない
（非通知ガード）……………………………… 6-3
特定の番号からの電話を受けない
（着信拒否）…………………………………… 6-4
暗証番号による認証を行う
（暗証番号変更）……………………………… 6-6
ボタン操作をロックする（キーロック）……… 6-7
ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）…… 6-8
紛失／盗難時に電話機をロックする
（リモートロック）………………………… 6-10
ユーザの情報をロックする
（機能ロック）……………………………… 6-14
管理者による制限を行う
（管理者ロック）…………………………… 6-16
設定をリセットする（リセット）…………… 6-23

発信者番号通知を設定する（番号通知）

発信者の電話番号を表示する機能を持つ電話機にかけたとき、本電話機の電話番号を相手の電話機のディスプレイに表示するかどうかを設定できます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 7

2 3 1

発信者番号通知が設定され、「設定しました」と表示されます。

● **番号通知を解除するには**

番号通知設定時に 2（OFF）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

番号非通知の電話を受けない（非通知ガード）

発信者番号が通知されない電話がかかってきたときに、着信音を鳴らさずに相手にお断りガイダンスを流すことができます。番号非通知の理由ごとに設定します。

1　待ち受け画面で ◉ 5 7

2　1 ► 1 ～ 3 のいずれか

- **1（通知不可能）を押すと**
  相手が国際電話など通知サービスのない電話回線を使ってかけてきたときは、電話を受けません。
- **2（ユーザ非通知）を押すと**
  相手が発信者番号非通知を設定しているときは、電話を受けません。
- **3（公衆電話発信）を押すと**
  相手が公衆電話からかけてきたときは、電話を受けません。

3　1

非通知ガードが設定され、「設定しました」と表示されます。続けて他の項目を設定するときは、手順2、3を繰り返します。

- **非通知ガードを解除するには**
  非通知ガード設定時に 2（OFF）を押します。

非通知ガードを設定した場合の動作

- **番号非通知の電話がかかってくると**
  着信音を鳴らさずに、相手にお断りガイダンスを流します。
  ディスプレイには「お断りガイダンス再生中」と表示されます。メッセージの再生が終了すると切断します。お断りガイダンスの再生中は 通話キー を押して電話に出ることができます。
  着信のあったことは、不在着信として着信履歴に記録されます。
- **番号非通知でライトメールが送信されてくると**
  ライトメールを受信せず、相手の電話機には「送信に失敗しました　再送信しますか？」と表示されます。
  ライトメールがあった場合、着信履歴には「拒否」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、すべて「OFF」に設定されています。
- 本機能の設定にかかわらず、Eメール自動受信を設定している場合には、Eメールは受信されます。「Eメール自動受信機能を設定する」（☞3-23ページ）
- 本機能は、ウィルコムが提供する番号非通知ガードサービスとは異なります。

特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）

着信を拒否したい相手の電話番号を登録します。
電話番号を登録すると、登録した相手から電話がかかってきたときや、ライトメールやデータが送信されてきたときに、応答しないようにすることができます。着信音・バイブ・着信画面表示は動作せず、相手側には「ツーツーツー」という音が聞こえます。登録件数は10件までです。
着信拒否に登録した相手から着信した場合、着信履歴には「拒否」と表示されます。

着信拒否番号を登録する

1 待ち受け画面で ◉ 5 7

2 2 ► 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

認証されると、着信拒否番号の一覧画面が表示されます。電話帳に登録されている番号は名前が表示されます。

3 ／ ► 1 ～ 3 のいずれかを押し、着信拒否する番号を入力

- **1（直接入力）を押すと**
  文字入力画面が表示されるので、0 ～ 9、＊、# で相手の番号を入力します。
- **2（発着歴引用）を押すと**
  発信履歴／着信履歴／メモの画面が表示されるので、◎ で相手先を選択します。「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞2-3ページ）
- **3（電話帳引用）を押すと**
  電話帳が表示されるので、必要に応じて表示方法を切り替え、相手先を選択します。「電話帳を使って電話をかける」（☞2-31ページ）

4 ◉

着信拒否番号が登録され、「登録しました」と表示されます。
続けて他の番号を設定するときは、手順3、4を繰り返します。

- **登録されている番号を確認するには**
  着信拒否番号の一覧画面で、◎ で確認したい番号を選択し、◉ を押します。元の画面に戻るには クリア/マナー を押します。

お知らせ

- すでに着信拒否番号が10件登録されているときは、登録することができません。新しい番号を登録したい場合は、不要な番号を削除してください。「着信拒否番号を削除する」（☞同じページ内です。）
- 発信履歴／着信履歴／番号メモの画面で電話番号を選択し、（メニュー）を押して 5（着信拒否登録）を押しても、着信拒否を設定することができます。

特定の番号で始まる電話をすべて拒否する

手順3の「直接入力」で番号のあとに「＊」を付けると、先頭から「＊」までの番号で始まる電話番号からの着信はすべて拒否されます。例えば「0901＊」と入力すると、「0901」で始まる電話番号すべてが拒否対象になります。

お知らせ

- 以下の場合は登録できません。
  ・「＊」が電話番号の先頭に入力されている場合
  ・「＊」が2つ以上入力されている場合
  ・「＊」の後ろに番号が入力されている場合

着信拒否番号を削除する

着信拒否に登録した番号を削除します。

1 待ち受け画面で ◉ 5 7

2 2 ► 暗証番号認証を行う ► ◎ で削除する着信拒否番号を選択

- **登録されている番号を確認するには**
  番号を選択して、◉ を押します。元の画面に戻るには クリア/マナー を押します。

3 （メニュー） ► 1 ～ 3 のいずれか

- **1（一件削除）を押すと**
  選択した着信拒否番号1件だけを削除します。
- **2（選択削除）を押すと**
  着信拒否画面が表示されるので、◎ で削除する着信拒否番号を選択して ◉（チェック）を押します。着信拒否番号の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。

全件選択する場合は、[ソフトキー][1]（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、[ソフトキー][2]（全件解除）を押します。
削除する着信拒否番号の選択を終えたら[ソフトキー]（削除）を押します。

● **[3]（全件削除）を押すと**

すべての着信拒否番号を削除します。

4 [方向キー]で「Yes」を選択[決定キー]

着信拒否番号が削除され、「削除しました」と表示されます。

暗証番号による認証を行う（暗証番号変更）

電話帳ロック、ダイヤルロック、電話帳のシークレットデータの表示、リセット、機能ロックなどの操作を行う際には、暗証番号による認証が必要となります。
また、ここで説明する暗証番号のほかに、管理者の認証用にパスワードを登録することもできます。「管理者パスワードを設定する」（☞6-16ページ）

暗証番号を設定する

暗証番号は、４～８桁で設定します。暗証番号には、０～９の数字と「＊」、「＃」が使用できます。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 待ち受け画面で ◉ 9 2

2 0 ～ 9、＊、＃ で現在の暗証番号を入力 ◉

暗証番号が間違っているときは、「暗証番号が違います」と表示され、手順１の暗証番号変更画面に戻ります。

3 0 ～ 9、＊、＃ で新しい暗証番号を入力 ◉

4 確認のため、もう一度、0 ～ 9、＊、＃ で新しい暗証番号を入力 ◉

新しい暗証番号が設定され、「設定しました」と表示されます。

- **新しい暗証番号の入力が、１回目と２回目で異なっていたとき**
  エラー音が鳴り、「新しい暗証番号が正しくありません」と表示されます。もう一度、手順３、４を繰り返してください。
- **管理者パスワードがお買い上げ時の設定のままのとき**
  「管理者パスワードが初期値です　暗証番号と同じ番号にしますか？」と表示されます。管理者パスワードを暗証番号と同じ番号に変更する場合は ◎ で［Yes］を、管理者パスワードを変更しない場合は ◎ で［No］を選択し、◉ を押します。「管理者パスワードを設定する」（☞6-16ページ）

お知らせ

- 設定した暗証番号をお忘れになったときは、修理で対応させていただきます。電話機本体とウィルコム契約申込書の控え、または契約されたご本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をご準備のうえ、お問い合わせ窓口へお申し出ください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）

暗証番号で認証を行う

操作中に暗証番号による認証画面が表示された場合は、以下のように認証を行ってください。

1 0 ～ 9、＊、＃ で４～８桁の暗証番号を入力 ◉

暗証番号が正しいと、次の画面に進みます。

- **暗証番号が間違っているときは**
  「暗証番号が違います」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「暗証番号」は「0000」に設定されています。
- 入力した番号を修正する場合は、クリア/マナー を押します。入力した数字が右端から消えます。

セキュリティ（安全）
6
暗証番号による認証を行う（暗証番号変更）

ボタン操作をロックする（キーロック）

鞄に入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンが押されても動作しないようにロックできます。

キーロックを設定する

1　サイドロックスイッチを約１秒以上押す

キーロックが設定され、「キーロック」と表示されます。
サイドロックスイッチは本体右側の側面にあります。「各部の名前」（☞ 1-12ページ）

キーロックを解除する

1　サイドロックスイッチを約１秒以上押す

キーロックが解除され、「キーロック」の表示が消えます。

お知らせ

- キーロック中でもかかってきた電話は受けることができます。
- キーロック中でも、メール受信やアラームは動作します。Eメール受信時の着信音やバイブは、PWR を押すことで停止できます。
- キーロック中は、PWR を押して電源を切ることができません。
- キーロック中にサイドロックスイッチを約１秒押し、そのまま約２秒以上押すと、再びキーロックが設定されます。
- 待受画面以外でもキーロックは設定できますが、そのまま10分経つと待受画面に戻ります。

ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）

他の人に無断で利用されないようにダイヤルをロックして、電話をかけられないようにできます。

お知らせ

- ダイヤルロック中でも、以下の操作は可能です。
  - ・電源のON・OFF
  - ・着信電話への応答
  - ・通話の保留
  - ・留守録音
  - ・110番、118番、119番の緊急通報への発信
  - ・メールの受信など

キーロック時にダイヤルロックする（キーロック起動）

キーロック起動を設定すると、キーロックを設定した際、自動的にダイヤルをロックします。キーロック起動を設定するには、暗証番号の入力が必要になります。

1 待ち受け画面で ◉ 9 1

2 1 ► 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

3 1

キーロック起動が設定され、「設定しました」と表示されます。

4 サイドロックスイッチを約1秒以上押す

キーロックと同時に、ダイヤルロックが実行されます。待ち受け画面に「D」が表示されます。

● **キーロック起動を解除するには**

キーロック起動設定時に 2（OFF）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- キーロック起動が「ON」の場合、電源を入れ直すとダイヤルロックが実行されます。
- キーロック起動が「ON」でも、待ち受け画面以外でサイドロックスイッチを操作した場合はすぐにはダイヤルロックにならず、待ち受け画面に戻ったときにダイヤルロックが実行されます。

■ダイヤルロックを解除するには

1 画面上に「キーロック」表示されている場合は、サイドロックスイッチを約1秒以上押す

画面上に「キーロック」表示されていない場合は、手順2から操作します。

2 0 ～ 9 のいずれか

3 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

ダイヤルロックが解除され、「D」の表示が消えます。

お知らせ

- 手順2では、PWR 以外のいずれかのボタンを押しても手順3に進めます。

無操作が続いたときにダイヤルロックする（タイマ起動）

待ち受け画面表示のまま操作していない状態が続いたとき、自動的にダイヤルロックがかかるように設定することができます。
自動的にダイヤルロックがかかるまでの時間は、1～99分の間で設定できます。また、タイマ起動を設定／解除するには、暗証番号の入力が必要になります。

1 待ち受け画面で ◉ 9 1

2 2 ► 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

3 1 ► 0 ～ 9 で時間を入力 ◉

タイマ起動が設定され、「設定しました」と表示されます。

● **タイマ起動設定中の動作**

待ち受け画面表示のまま操作していない状態が、手順3で入力した時間だけ続くと、自動的にダイヤルロックが実行されます。待ち受け画面には「D」が表示されます。

● **タイマ起動を解除するには**

タイマ起動設定時に 2（OFF）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」、「5分」に設定されています。
- タイマ起動が「ON」の場合、電源を入れ直すとダイヤルロックが実行されます。

■ダイヤルロックを解除するには

1 [0] ～ [9] のいずれか ► 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」(☞6-6ページ)

ダイヤルロックが解除され、「解除しました」と表示された後「[D]」の表示が消えます。
この場合、待ち受け画面表示のまま操作していない状態が設定した時間だけ続くと、再度タイマ起動が実行されます。

お知らせ

- [PWR] 以外のいずれかのボタンを押しても、暗証番号認証を行えます。

紛失／盗難時に電話機をロックする（リモートロック）

リモートロック機能の概要

本電話機をどこかに置き忘れたり紛失したりした場合、個人情報の漏洩や電話機の悪用などを防ぐために、「リモートロック」機能を利用できます。
他の電話機から本電話機にコマンド（命令）を送信することで、電話機をロックして使用できなくしたり、登録されているデータを消去したりできます。

■リモートロック機能でできる処理

①リモートロック

電話機をロックして、ほとんどの操作ができないようにします。
着信を受けて通話することや、電源のON・OFFは可能ですが、発信、メール作成・送信はできなくなります。電話帳や発信履歴／着信履歴などを見ることもできません。
また、エニーキーアンサーの設定も無効になります。「エニーキーアンサーを設定する」（☞7-12ページ）

②リモートロック＋データ消去

①に加え、電話機に登録されているデータ・設定情報を、一括して消去・初期化します。
消去・初期化される項目は、「完全消去＋初期化」で消去・初期化される項目とほぼ同じです。「設定をリセットする（リセット）」（☞6-23ページ）
ただし、以下の項目は初期化されません。
- 暗証番号「暗証番号を設定する」（☞6-6ページ）
- リモートロック設定「リモートロック機能の設定をする」（☞同じページ内です。）
- ダイヤルロック「ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）」（☞6-8ページ）
- 機能ロック「ユーザの情報をロックする（機能ロック）」（☞6-14ページ）
- 管理者ロック「管理者による制限を行う（管理者ロック）」（☞6-16ページ）
- 管理者パスワード「管理者パスワードを設定する」（☞6-16ページ）
- 位置情報通知「位置情報を利用する」（☞7-32ページ）

③リモートロック解除

リモートロックを解除し、通常の操作ができる状態に戻します。

■リモートロックの実行

上記①～③の各処理は、以下のいずれかの方法でコマンドを送信することにより実行します。
- サブアドレス付き発信（サブアドレス通知可能なPHS電話機や、ISDN公衆電話機などのISDN対応電話機から）
- ライトメール送信（ライトメール対応のPHS電話機から）

コマンドを送信すると、本電話機はコマンド実行待ちの状態になります。その後、本電話機に対しキー入力・USBケーブル抜き差しなどの操作がされた時点で、コマンドが実行され、上記①②の場合は待ち受け画面の下部に「☆☆☆☆☆☆☆」と表示されます。

お知らせ

- リモートロックを実行すると、着信者表示機能、画像表示機能、指定着信音機能、留守録は無効になります。「電話帳を利用する」（☞2-26ページ）「電話の着信時に表示される画像を設定する」（☞2-29ページ）「電話やメールの着信音を選択する」（☞2-30ページ）「留守録音を設定する」（☞2-48ページ）
- リモートロックを実行すると、目覚まし音、スケジュールのアラーム音は鳴らなくなります。
- リモートロックを実行すると、設定していた壁紙は非表示になります。ロックを解除すると再表示されます。
- 「リモートロック」、「リモートロック＋データ消去」のコマンドを送信した場合も、キー入力などの操作がされないうちに「リモートロック解除」のコマンドを送信すれば、前のコマンドは無効となり、ロックやデータ消去は実行されません。
- 悪意のあるいたずらや操作の誤りなどにより、リモートロック機能でデータが消去された場合でも、当社としては責任を負いかねます。第三者にリモートロック機能を使用されたくない場合は、設定をOFFにしてください。
- リモートロックは、ウィルコムのオンラインサポート（My WILLCOM）からも実行することができます。ただし、My WILLCOMからは、「リモートロック＋データ消去」は実行できません。

リモートロック機能の設定をする

リモートロック機能を利用する準備として、許可パスワードを設定します。また、サブアドレス付き発信による操作、ライトメールによる操作について、それぞれ設定を行います。

許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）

最初に、リモートロック機能用の許可パスワードを登録します。
許可パスワードは、4〜8桁の数字で設定します。
実際にリモートロック機能を使う際には、ここで登録した許可パスワードを入力して命令（コマンド）を送信することになります。

1 待ち受け画面で ◉ 9 4 ► 暗証番号認証を行う

2 1 ► 0 〜 9 でパスワードを入力

入力したパスワードを修正する場合は、クリア/マナー を押します。入力した数字が右端から消えます。

3 ◉

許可パスワードが登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- 設定したパスワードを忘れないようご注意ください。忘れると、本電話機を紛失などした場合にリモートロック機能が使用できません。

サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする（サブアドレス起動）

サブアドレス付き発信によってリモートロックなどの操作ができるように設定します。
特定の電話番号からの操作だけを許可するよう制限することもできます。この許可電話番号は2件まで登録できます。
許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでも操作が実行できます。

1 待ち受け画面で ◉ 9 4 ► 暗証番号認証を行う

2 2

- **許可パスワードが未設定のとき**
  リモートロック機能用の許可パスワードが未設定の場合、2（サブアドレス起動）は選択できません。先にパスワードを設定してください。「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（☞同じページ内です。）

3 1 〜 3 のいずれか

- **1（ON（番号制限あり））を押すと**
  許可電話番号の登録先を選択する画面が表示されるので、手順4に進みます。
- **2（ON（番号制限なし））を押すと**
  「ON（番号制限なし）」に設定され、「設定しました」と表示されます。どの電話番号からでも、サブアドレス付き発信でのリモートロック操作ができます。
- **3（OFF）を押すと**
  「OFF」に設定され、「設定しました」と表示されます。サブアドレス付き発信でのリモートロック操作は実行できません。

4 1 または 2 ► 0 〜 9 で許可電話番号を入力

電話番号は32桁まで入力できます。

- **電話番号を修正するには**
  ◎ で修正したい箇所にカーソルを移動します。番号を削除するときは、クリア/マナー を押します。

5 ◉

次の許可電話番号を登録するときは、手順4、5を繰り返します。

6 ✓

許可電話番号が登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

ライトメールでのリモートロックの設定をする（ライトメール起動）

ライトメールでリモートロックなどの操作ができるように設定します。
特定の電話番号からの操作だけを許可するよう制限することもできます。この許可電話番号は2件まで登録できます。
許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでもライトメールで操作が実行できます。

1 待ち受け画面で ◉ 9 4 ► 暗証番号認証を行う

2 3

- **許可パスワードが未設定のとき**
  リモートロック機能用の許可パスワードが未設定の場合、3（ライトメール起動）は選択できません。先にパスワードを設定してください。「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（☞同じページ内です。）

3 1 〜 3 のいずれか

- **1（ON（番号制限あり））を押すと**
  許可電話番号の登録先を選択する画面が表示されるので、手順4に進みます。

- **[2]（ON（番号制限なし））を押すと**
  「ON（番号制限なし）」に設定され、「設定しました」と表示されます。どの電話番号からでもライトメールによるリモートロック操作ができます。
- **[3]（OFF）を押すと**
  「OFF」に設定され、「設定しました」と表示されます。ライトメールでのリモートロック操作は実行できません。

4 [1]または[2] ► [0]～[9]で許可電話番号を入力

電話番号は32桁まで入力できます。

- **電話番号を修正するには**
  ◎で修正したい箇所にカーソルを移動します。番号を削除するときは、[クリア/マナー]を押します。

5 ◉

次の許可電話番号を登録するときは、手順4、5を繰り返します。

6 [／]

許可電話番号が登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

リモートロックを実行する

本電話機を紛失などした場合に、他の電話機からのサブアドレス付き発信またはライトメールにより、リモートロックやデータ消去を実行します。

サブアドレス付き発信で実行する

サブアドレス通知可能なPHS電話機や、ISDN公衆電話機などのISDN対応電話機から発信することにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。
本電話機の電話番号のあとに、サブアドレスとしてコマンド文字列を入力し、発信します。

■許可電話番号が設定されている場合

本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機から発信する必要があります。「サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする（サブアドレス起動）」（☞6-11ページ）

この場合、許可電話番号から発信しても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

■コマンド文字列

操作の種類	コマンド文字列
①リモートロック	01xxxxxxxx
②リモートロック＋データ消去	03xxxxxxxx
③リモートロック解除	00xxxxxxxx

xxxxxxxxは、リモートロック機能用の許可パスワードを示します。「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（☞6-11ページ）

■入力例

電話番号「070-1234-XXXX」、許可パスワード「1234567」の電話機に対してリモートロックを実行する場合は、下記のように入力し、発信します。

0701234XXXX＊011234567

電話番号とサブアドレスの間の区切り記号（上記の例の「＊」）は、電話機によって異なります。発信に使用する電話機の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
- 受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」または「電話帳転送モード」になっている場合、この機能は使用できません。
- コマンド文字列は正しく入力してください。間違いがあると、リモートロックなどの操作は実行されません。
- この機能でコマンドを送信した場合、受信側の電話機（本電話機）に着信履歴は残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信イルミネーション、リマインダーも点灯しません。
- 正しいコマンドが送信されると、送信側の電話機には「ピポ」という確認音が聞こえます。
- オフィスモードの場合、使用しているオフィスシステム（PBX）によっては、確認音が鳴らないことがあります。

ライトメールで実行する

他の電話機からライトメールでコマンド（命令）を送信することにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。
ライトメールの宛先に本電話機の電話番号を、本文にコマンド文字列を入力して送信します。

■許可電話番号が設定されている場合

本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機からライトメールを送信する必要があります。「ライトメールでのリモートロックの設定をする（ライトメール起動）」（☞6-11ページ）
この場合、許可電話番号からライトメールを送信しても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

■コマンド文字列

操作の種類	コマンド文字列
①リモートロック	ソウサ 1xxxxxxxx
②リモートロック＋ データ消去	ソウサ 3xxxxxxxx
③リモートロック解除	ソウサ 0xxxxxxxx

コマンド文字列は、全角・半角のどちらでも有効です。
xxxxxxxxは、リモートロック機能用の許可パスワードを示します。「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（☞6-11ページ）

■入力例

電話番号「070-1234-XXXX」、許可パスワード「1234567」の電話機に対してリモートロックを実行する場合は、ライトメールの画面でTo欄に「0701234XXXX」、本文欄に「ソウサ11234567」と入力し、送信します。

お知らせ

- 受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
- 受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」または「電話帳転送モード」になっている場合、この機能は使用できません。
- コマンド文字列は正しく入力してください。間違いがあると、リモートロックなどの操作は実行されません。
- コマンド文字列に他の文字（空白、改行を含む）を入力したり、アニメーションを付けて送信したりすると、正しいコマンドとして認識されません。
- コマンド送信用のライトメールおよびその着信履歴は、受信側の電話機（本電話機）には残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信イルミネーション、リマインダーも点灯しません。
- ライトメールが正常に送信されると、送信側の電話機にはライトメール送信完了画面が表示されますが、これは必ずしも受信側の電話機（本電話機）がコマンドを正しく受信したことを示すものではありません。

ユーザの情報をロックする（機能ロック）

本電話機内に保存されているユーザの情報を保護するために、一部の機能をロックすることができます。機能ロックを設定すると、機能を使うときやデータを閲覧するときに暗証番号による認証が必要になります。

ロックする項目を設定する

1　待ち受け画面で ◉ 9

2　6 ► 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

3　ロックする機能を選択

◉（変更）を押し、ロックする機能にチェックを付け、ロックを解除する機能はチェックを外します。

● 1件ずつ選択するには

◎で設定する機能を選択し、◉（チェック）を押します。機能の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度◉（チェック）を押します。

● 全件選択するには

（メニュー）を押し、サブメニューで 1（全て選択）を押します。すべての番号の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、（メニュー）を押し、サブメニューで 2（全て解除）を押します。

4

ロックが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、すべて「解除」に設定されています。
- 手順3で「スケジュール」を選択して「スケジュール」を機能ロックした場合は、◉ 5 3 を押して 4（カレンダー表示）を押したときに、9（スケジュールカレンダー）を選択できなくなります。また、壁紙をスケジュールカレンダーに設定しているときに「スケジュール」を機能ロックすると、自動的に壁紙が1ヶ月カレンダーに変更されます。
- ロックした機能を呼び出そうとしたときは、認証画面が表示されます。暗証番号による認証を行うと、機能が一時的に解除され使用することができます。他の機能の画面を表示すると、自動的にロック状態に戻ります。
- ロックした情報を他の機能から参照する場合も認証が必要になります。例えば、データフォルダがロックされていると、留守録音の音声をデータフォルダから選択する場合にも認証が必要です。

機能ロック一覧

機能ロックによって認証が必要になる機能は以下のとおりです。

機能ロック	認証が必要になる機能
プロフィール	プロフィールの表示、編集、引用
メール／ Web ／ Java™	メール関連機能、Web 関連機能、Java ™関連機能
データフォルダ	データフォルダの表示、データの再生
スケジュール	スケジュールの表示、編集
グループ／転送	グループモードの使用、ブックマーク転送
インターネット設定	インターネット設定（ダイヤルアップ）
国際ローミング	国際ローミング設定
電話帳	電話帳の表示
ユーザ辞書	ユーザ辞書の表示、編集
自作定型文登録	自作定型文の登録、編集
発着履歴／メモ	発信履歴の表示、着信履歴の表示、番号メモの表示

お知らせ

- 電話帳ロック中は、電話帳の登録や編集は行えません。
- 電話帳ロック中は、電話着信やメール着信の際も名前は表示されません。ただし、「ロック中着信表示」を「ON」にした場合は、表示されます。「電話帳ロック中の着信表示を設定する」（☞ 2-35ページ）
- 電話帳ロック中は、データフォルダの通話録音データ・留守録音データも電話帳の名前は表示されません（電話番号のみの表示になります）。

管理者による制限を行う（管理者ロック）

管理者ロック機能の概要

「管理者ロック」の機能を利用して、本電話機で使用できる以下の機能を制限することができます。

・Eメール機能	・Web機能
・ダイヤルアップ機能	・USB接続機能
・Java™機能	・発信機能
・着信機能	・先頭一致発信許可
・赤外線送信	・位置情報通知設定
・機能ロック設定	・ダイヤルロック設定
・リモートロック設定	

■管理者ロック機能でできる処理

管理者ロックでは、Eメールの送受信、Web接続、USB接続、Java™などの機能を使用できないようにしたり、ダイヤルアップの接続先をウィルコムに限定したりできます。また、電話帳に登録されている番号に限定して発着信を許可したり、電話番号の先頭の数桁が、あらかじめ登録した番号と一致する場合のみ発信を許可したりするなど一部の機能を制限することができます。

お知らせ

- 管理者ロック機能を利用するには、管理者パスワードによる認証が必要です。「管理者パスワードを設定する」（☞同じページ内です。）
- 管理者パスワードと管理者ロックの各種設定は、完全消去＋初期化をすると初期値に戻ります。「設定をリセットする(リセット)」（☞6-23ページ）
- 管理者ロック機能をご利用になる場合は、目的とする制限がかかることを実際に動作確認いただいた後に、ご利用いただきますようお願い致します。設定の誤りや、動作確認を行っていなかったことにより、目的とする制限がかからなくても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

管理者パスワードを設定する

管理者ロックの設定や完全消去＋初期化を実行するには、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードは、４～８桁で設定します。管理者パスワードには、０～９の数字と「＊」、「#」が使用できます。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 待ち受け画面で◉[9]

2 [7]▶[0]～[9]、[*]、[#]で現在の管理者パスワードを入力◉

3 [0]～[9]、[*]、[#]で新しい管理者パスワードを入力◉

4 確認のため、もう一度、[0]～[9]、[*]、[#]で新しい管理者パスワードを入力◉

新しい管理者パスワードが設定され、「設定しました」と表示されます。

● **新しい管理者パスワードの入力が、1回目と2回目で異なっていたとき**

エラー音が鳴り、「新しい管理者パスワードが正しくありません」と表示されます。もう一度、手順3、4を繰り返してください。

お知らせ

- 設定した管理者パスワードをお忘れになったときは、修理で対応させていただきます。電話機本体とウィルコム契約申込書の控え、または契約されたご本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をご準備のうえ、お問い合わせ窓口へお申し出ください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）
- 完全消去＋初期化をすると、管理者パスワードは、お買い上げ時の設定「0000」に戻ります。
- 管理者パスワードが初期値（「0000」）の場合、暗証番号の設定時に管理者パスワードを暗証番号と同じ番号に設定することもできます。「暗証番号を設定する」（☞6-6ページ）

管理者パスワードで認証を行う

操作中に管理者パスワードによる認証画面が表示された場合は、以下のように認証を行ってください。

1 [0]～[9]、[*]、[#]で4～8桁の管理者パスワードを入力◉

管理者パスワードが正しいと、次の画面に進みます。

● **管理者パスワードが間違っているときは**

「管理者パスワードが違います」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「管理者パスワード」は「0000」に設定されています。
- 入力した番号を修正する場合は、[クリア/マナー]を押します。入力した数字が右端から消えます。

管理者ロック機能の設定をする

管理者ロック機能の設定には、Eメール制限、Web制限、ダイヤルアップ制限、USB制限、Java™制限、発信制限、着信制限、先頭一致発信許可、赤外線制限、位置情報通知設定制限、機能ロック設定制限、ダイヤルロック設定制限、リモートロック設定制限があります。

Eメールを制限する

Eメールの送受信とオンラインサインアップができないようにします。「Eメールアドレスを作成する」(☞ 3-5ページ)

1 待ち受け画面で ◉ [9] [8] ► 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」(☞6-16ページ)

2 [1] [1]

Eメール制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- Eメール制限を「ON」に設定した後、ウィルコムのメールサーバーからEメール自動受信の通知を受けた場合は、「センターにEメールがあります」と表示され、Eメールの受信は行いません。また、待ち受け画面に「[アイコン]」が点灯します。「センターメールあり」を選択し、◉ を押すと「Eメール制限設定中です」と表示されます。「Eメールを受信する」(☞3-11ページ)
- Eメール制限を「ON」に設定しても、オフィスモードでのEメール送受信は制限されません。
- Eメール制限を「ON」に設定しても、パソコンからのEメール送受信は制限されません。パソコンからのEメールの送受信も制限する場合は、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」(☞6-18ページ)

Webを制限する

Web接続ができないようにします。ただし、許可ドメインに登録したドメインのサイトについてはWeb制限中でも接続できます。ドメインは、Webの場所を表す住所のようなものです。たとえば「http://www.○○○.jp」なら「○○○.jp」の部分がドメインです。許可ドメインは、10件まで登録できます。

1 待ち受け画面で ◉ [9] [8] ► 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」(☞6-16ページ)

2 [2] [1]

Web制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- Web制限を「ON」に設定した場合、Web接続やオンラインサインアップをすると、「Web制限設定中です」と表示されます。
- Web制限を「ON」に設定しても、オフィスモードでのWeb接続は制限されません。
- Web制限を「ON」に設定しても、パソコンからのWeb接続は制限されません。パソコンからのWeb接続も制限する場合は、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」(☞6-18ページ)

■許可ドメインを登録する

許可ドメインに登録すると、Web制限中でもそのWebに接続することができます。

1 待ち受け画面で ◉ [9] [8] ► 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」(☞6-16ページ)

2 [2] [3] ► [0] ～ [9] のいずれか

3 ダイヤルボタンでドメインを入力

例えば、「JRC PHSサポートサイト」(http://www.jrcphs.jp/)を許可する場合には、「jrcphs.jp」と入力します。

4 ◉

許可ドメインが登録され、「登録しました」と表示されます。

- **登録した許可ドメインを削除するには**

  手順2の許可ドメインの一覧画面で ◎ を押し、削除したいドメインを選択し、[メニュー] (メニュー)を押します。サブメニューで [1] (一件削除)、[2] (選択削除)、[3] (全件削除)のいずれかを押して ◎ で「Yes」を選択し、◉ を押します。

ダイヤルアップを制限する

ウィルコムへのダイヤルアップ接続のみを許可し、ウィルコム以外のプロバイダにダイヤルアップ接続することができないようにします。ダイヤルアップの接続先の電話番号が、ウィルコムのダイヤルアップ接続の電話番号の先頭9桁と一致した場合のみ、ダイヤルアップ接続が可能になります。

1　待ち受け画面で ◉ 9 8 ► 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」(☞6-16ページ)

2　3 1

ダイヤルアップ制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- ダイヤルアップ制限を「WILLCOMのみ」に設定した場合、ウィルコムへのダイヤルアップ番号以外で、Eメール送受信やWeb接続をすると、「ダイヤルアップ制限設定中です」と表示された後、待ち受け画面に戻ります。
- ダイヤルアップ制限を「WILLCOMのみ」に設定しても、オフィスモードでのダイヤルアップ接続は制限されません。
- ダイヤルアップ制限を「WILLCOMのみ」に設定しても、パソコンからのダイヤルアップ接続は制限されません。パソコンからのダイヤルアップ接続も制限する場合は、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」(☞同じページ内です。)

USB接続を制限する

USB接続をして使用する機能（ATコマンド、データ着信、Java™）への接続ができないようにします。

1　待ち受け画面で ◉ 9 8 ► 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」(☞6-16ページ)

2　4 1

USB制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- USB制限を「ON」に設定した場合、USB接続をして使用する機能を実行しようとすると、パソコン上でエラーとなります。
- USB制限を「ON」に設定した場合でも、USB充電は可能です。

Java™を制限する

Javaアプリケーションからのダイヤルアップと USB通信ができないようにします。

1　待ち受け画面で ◉ 9 8 ► 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」(☞6-16ページ)

2　5 1

Java™制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- Java™制限を「ON」に設定した場合、Javaアプリケーションからダイヤルアップや USB通信を実行しようとすると、エラーとなります。

発信を制限する

電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）のみ、発信とライトメールの送信ができるようにし、それ以外の電話番号への発信ができないようにします。

1　待ち受け画面で ◉ 9 8 ► 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」(☞6-16ページ)

2　6 1

発信制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 発信制限を「ON」に設定しても、オフィスモード、グループモードでの発信は制限されません。
- 発信制限を「ON」に設定した場合、電話帳の登録、修正、削除、および電話帳の転送はできなくなります。
- 発信制限を「ON」に設定した場合、位置情報通知機能（発信型）の発信も制限されます。発信を許可したい場合は、電話帳に発信先の電話番号を登録してください。「発信型機能を利用する」（☞7-34ページ）
- 発信制限を「ON」に設定した場合でも、先頭に184または186を付けて発信することは可能です。
- 発信制限を「ON」に設定した場合でも、以下の発信は可能です。
  110（警察）、116（ウィルコムサービスセンター）、117（時報）、118（海上保安庁）、119（消防等）、141（留守番電話サービスメッセージあり確認）、143（留守番電話のカスタマーコントロール）、157（データ通信専用窓口）、171（災害時伝言ダイヤル）、177（天気予報）、＊931（留守番電話サービス再生）
- 発信制限を「ON」に設定し、同時に先頭一致発信許可も設定している場合は、電話帳に登録されている電話番号に加えて、先頭一致発信許可で設定した電話番号への発信も可能です。
- 発信制限を「ON」に設定していても、パソコンと本電話機をUSB接続することによって、電話帳を書き換えることができます。発信制限をより確実に行うためには、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」（☞6-18ページ）

着信を制限する

電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）のみ、着信とライトメールの着信ができるようにし、それ以外の電話番号から着信ができないようにします。

1 待ち受け画面で ◉ [9] [8] ► 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞6-16ページ）

2 [7] [1]

着信制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 着信制限を「ON」に設定しても、オフィスモード、グループモードでの着信は制限されません。
- 着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）以外からの着信があったときは、着信音やバイブレータは動作せず、相手側には“ツーツーツー”という音が聞こえます。着信を制限された相手からの着信は、着信履歴に残りません。
- 着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳の登録、修正、削除、および電話帳の転送ができなくなります。
- 着信制限を「ON」に設定した場合でも、110（警察）、118（海上保安庁）、119（消防等）からの着信は可能です。また、ウィルコムからのメール通知は着信できます。
- 電話帳に登録されている電話番号からの着信でも、着信拒否が設定されている相手から電話がかかってきたりライトメールが送られてきたりしたときには、着信を拒否します。「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）」（☞6-4ページ）
- 着信制限を「ON」に設定していても、パソコンと本電話機をUSB接続することによって、電話帳を書き換えることができます。着信制限をより確実に行うためには、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」（☞6-18ページ）

先頭一致発信を許可する

先頭一致発信とは、あらかじめ登録した電話番号の先頭数桁と、ダイヤルした電話番号とが一致した場合に発信を許可する機能です。
ダイヤルした電話番号が、登録した番号と一致すれば発信することができます。
先頭一致発信許可番号は、10件まで登録できます。
先頭一致発信許可番号の10件すべてが、「未登録」の場合には、先頭一致発信許可機能は動作せず、すべての電話番号が発信可能となります。

1 待ち受け画面で ◉ [9] [8] ► 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞6-16ページ）

2 [8] ► [0] ～ [9] のいずれか

3 ダイヤルボタンで先頭一致発信許可番号を入力

先頭一致発信許可番号は11桁まで入力できます。
184または186から始まる番号は登録できません。

● **先頭一致発信許可番号を修正するには**

最後の1桁を消す：クリア/マナー を押す
すべての桁を消す：クリア/マナー を約1秒以上押す

● **設定済みの先頭一致発信許可番号を未登録に戻すには**

設定されている先頭一致発信許可番号を消し、未入力の状態にしてから、手順4に進みます。

4 ◉

先頭一致発信許可が設定され、「登録しました」と表示されます。

5 **必要であれば、手順2～4の要領で他の番号を同様に設定する**

● **登録した番号を削除するには**

先頭一致発信許可の一覧画面で ◎ を押して削除したい番号を選択し、メニュー（メニュー）を押します。サブメニューで 1（一件削除）、2（選択削除）、3（全件削除）のいずれかを押して ◎ で「Yes」を選択し、◉ を押します。
2（選択削除）を押した場合は、チェックを付けた番号を一括して削除できます。

お知らせ

- お買い上げ時は「未登録」です。
- 先頭一致発信許可を設定しても、オフィスモード、グループモードでの発信は制限されません。
- 位置情報通知機能（発信型）の発信も先頭一致発信許可の設定に従って、発信が許可されます。「発信型機能を利用する」(☞7-34ページ)
- 先頭一致発信許可を設定した場合でも、先頭に184 または186 を付けて発信することは可能です。
- 先頭一致発信許可に関係なく、以下の発信は可能です。
  110（警察）、116（ウィルコムサービスセンター）、117（時報）、118（海上保安庁）、119（消防等）、141（留守番電話サービスメッセージあり確認）、143（留守番電話のカスタマーコントロール）、157（データ通信専用窓口）、171（災害時伝言ダイヤル）、177（天気予報）、＊931（留守番電話サービス再生）
- 発信制限を「ON」に設定し、同時に先頭一致発信許可も設定している場合は、電話帳に登録されている電話番号に加えて、先頭一致発信許可で設定した電話番号への発信も可能です。

赤外線通信を制限する

赤外線での送受信をできないようにします。「赤外線通信を行う」（☞2-36ページ）

1 **待ち受け画面で ◉ 9 8 ► 管理者パスワード認証を行う**

「管理者パスワードで認証を行う」(☞6-16ページ)

2 9 1

赤外線制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

位置情報通知設定を制限する

位置情報通知の設定を変更できないようにします。「位置情報を利用する」（☞7-32ページ）

1 **待ち受け画面で ◉ 9 8 ► 管理者パスワード認証を行う**

「管理者パスワードで認証を行う」(☞6-16ページ)

2 0 1 1

位置情報通知設定制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

機能ロック設定を制限する

機能ロックの設定を変更できないようにします。設定の変更を制限するだけなので、すでに設定されている機能ロックについては、そのまま継続されます。「ユーザの情報をロックする（機能ロック）」（☞6-14ページ）

1 **待ち受け画面で ◉ 9 8 ► 管理者パスワード認証を行う**

「管理者パスワードで認証を行う」(☞6-16ページ)

2 0 2 1

機能ロック設定制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

ダイヤルロック設定を制限する

ダイヤルロックの設定を変更できないようにします。「ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）」（☞6-8ページ）

1 待ち受け画面で ◉ 9 8 ► 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞6-16ページ）

2 0 3 1

ダイヤルロック設定制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

リモートロック設定を制限する

リモートロックの設定を変更できないようにします。「紛失／盗難時に電話機をロックする（リモートロック）」（☞6-10ページ）

1 待ち受け画面で ◉ 9 8 ► 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞6-16ページ）

2 0 4 1

リモートロック設定制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

機能制限一覧

管理者ロックによって制限される機能は以下のとおりです。なお、「赤外線制限」、「位置情報通知設定制限」、「機能ロック設定制限」、「ダイヤルロック制限」、「リモートロック制限」については、それぞれ赤外線通信、位置情報通知設定、機能ロック設定、ダイヤルロック設定、リモートロック設定のみを制限します。

管理者ロック設定 / 制限される機能	E メール制限	Web 制限	ダイヤルアップ制限	USB 制限	Java ™ 制限	発信制限	着信制限	先頭一致発信許可
音声発信	－	－	－	－	－	○ ※2	－	○ ※3
音声着信	－	－	－	－	－	－	○ ※2	－
ライトメール送信	－	－	－	－	－	○ ※2	－	○ ※3
ライトメール着信	－	－	－	－	－	－	○ ※2	－
E メール送受信（電話機単体）	○	－	○ ※1	－	－	－	－	－
Web 接続（電話機単体）	－	○	○ ※1	－	－	－	－	－
E メール送受信（パソコン接続）	－	－	－	○	－	－	－	－
Web 接続（パソコン接続）	－	－	－	○	－	－	－	－
データ通信の発信（パソコン接続）	－	－	－	○	－	－	－	－
データ通信の着信（パソコン接続）	－	－	－	○	－	－	○ ※2	－
リモートロック	－	－	－	－	－	－	－	－
ローミング登録用ライトメール	－	－	－	－	－	－	－	－
位置情報通知機能（発信型）	－	－	－	－	－	○ ※2	－	○ ※3
位置情報通知機能（着信型）	－	－	－	－	－	－	－	－
Java ™ダイヤルアップ接続	－	－	○ ※1	－	○	－	－	－
Java ™ USB 通信	－	－	－	○	○	－	－	－
H" 問屋	－	－	－	○	－	－	－	－

○　：制限あり
―　：制限なし
※１：ウィルコムのダイヤルアップのみ許可
※２：電話帳に登録されている電話番号のみ許可
※３：先頭一致発信で許可されている番号のみ許可

設定をリセットする（リセット）

設定した各機能や登録内容を、お買い上げ時の状態（ディスプレイ「明るさ」「点灯時間」「キーライト点灯」は除く）に戻すことができます。
設定だけをリセットしてお客様が登録した内容を残す「オール設定リセット」と、設定も登録内容もすべてお買い上げ時の状態（ディスプレイ「明るさ」「点灯時間」「キーライト点灯」は除く）に戻す「完全消去＋初期化」の2つがあります。「完全消去＋初期化」の場合は、管理者パスワードの入力が必要になります。

1　待ち受け画面で ◉ [9] [5]

2　[1] または [2]

● [1]（オール設定リセット）を押したときは
暗証番号認証を行います。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

● [2]（完全消去＋初期化）を押したときは
管理者パスワードの入力が必要になります。「管理者パスワードで認証を行う」（☞6-16ページ）

3　Ⓞ で「Yes」を選択 ◉

4　Ⓞ で「Yes」を選択 ◉
設定がリセットされ、「リセットしました」と表示されます。

●：お買い上げ時の状態（ディスプレイ「明るさ」「点灯時間」「キーライト点灯」は除く）になります。お買い上げ時の設定内容は「メニュー一覧表」（☞7-2ページ）をご覧ください。
―：お客様が登録または設定した内容が保存されたままになります。

機　能			オール設定リセット	完全消去＋初期化
発信履歴／着信履歴／番号メモ			●	●
文字入力	コピー／カットデータ		―	●
	文字サイズ		●	●
	予測変換		●	●
	入力方法		●	●
	学習文字		―	●
メインメニュー			●	●
プロフィール			― （オンラインサインアップで取得したメールアドレスは消えます）	●
メール			― （メールBOXの内容、受信BOX名、振り分け設定などはすべて残ります）	● （お買い上げ時にあらかじめセットされているメール[1件]も消去されます）
	Eメールアカウント設定		●	●
	オプション	引用設定	●	●
		フォルダ表示切替	●	●
	オンラインサインアップ		●	●
	インターネット設定		●	●
データフォルダ			― （保存されているデータ、変更したフォルダ名はすべて残ります）	●
	ソート		●	●
	表示方法		●	●
Web	ブックマーク		―	●
	履歴		●	●

機　能			オール設定リセット	完全消去＋初期化
Web	ページメモ		—	●
	オプション		●	●
	インターネット設定		●	●
	Web 中サブメニュー	文字サイズ	●	●
		エンコード	●	●
スケジュール	登録したスケジュール		—	●
		通知設定	—	●
	スケジュール音設定		●	●
	休日設定		—	●
機能設定	音		●	●
	日付／時刻	時計設定	—	●
		自動補正	●	●
	画面		● （ただし、明るさ：レベル3、点灯時間：10 秒、キーライト点灯：ON になります）	● （ただし、明るさ：レベル3、点灯時間：10 秒、キーライト点灯：ON になります）
	文字入力	ユーザ辞書	—	●
		自作定型文	—	●
		学習文字クリア	— （クリアされません）	●
	マナー／留守電		●	●
	通信	待受モード	—	— （グループ、公衆＋グループ、転送時は公衆。公衆登録がなくオフィス登録がある場合はオフィス）
		グループ / 転送	—	●
		位置情報通知	—	●
		インターネット設定	●	●
		通信中着信	●	●
		データ通信方式	●	●
		国際ローミング	—	●
		オフィス番号切替	●	●
	発着信		● （ただし、着信拒否を除く）	●
	カスタムボタン		●	●
	その他	USB 充電	●	●
		電源 OFF メニュー	●	●
電話帳			— （電話帳登録した内容はそのまま残ります）	●
	電話帳一覧（検索方法）		●	●
	グループ設定	グループ名	●	●
		グループ着信設定	—	●
	ロック中着信表示		●	●
アクセサリ			● （IC レコーダ録音データ、メモ帳の登録内容、Java™アプリは残ります）	● (お買い上げ時の Java™プリセットアプリも消去されます）
セキュリティ			—	●

7
便利な使いかた

メニュー一覧表…………………………………… 7-2
いろいろな機能を設定する……………………… 7-5
メインメニュー画面を変更する……………… 7-13
カスタムボタンを設定する…………………… 7-15
スケジュール機能を利用する………………… 7-18
目覚ましを利用する…………………………… 7-24
電卓を利用する………………………………… 7-26
IC レコーダを利用する……………………… 7-27
メモ帳を利用する……………………………… 7-30
位置情報を利用する…………………………… 7-32
イヤホンマイクを利用する…………………… 7-36
データフォルダを活用する…………………… 7-38
国際ローミングを利用する
（国際ローミング）……………………… 7-53
国際電話をかける
（ウィルコム国際電話サービス）………… 7-56
ウィルコムのサービスを利用する…………… 7-57
ソフトウェアを更新する……………………… 7-62

メニュー一覧表

		メニュー			機能が使えるモード 公衆	オフィス	グループ	お買い上げ時の設定	参照ページ
メール	11	受信 BOX			○	○	×	あらかじめセットされたメール 1 件	3-12
	12	送信 BOX			○	○	×	−	3-16
	13	未送信 BOX			○	○	×	−	3-10
	14	E メール受信			○	○	×	−	3-11
	15	E メール作成			○	○	×	−	3-7
	16	ライトメール作成			○	○	×	−	3-28
	17	E メールアカウント設定			○	○	×	−	3-26
	18	オプション			○	○	×	−	3-23
	19	オンラインサインアップ			○	×	×	−	3-6
	10	インターネット設定			○	○	×	−	4-26
データフォルダ	2				○	○	○	−	7-38
Web	31	公式サイト			○	×	×	−	4-2
	32	ホーム			○	○	×	公式サイト	4-5
	33	ブックマーク			○	○	×	21 件	4-9
	34	インターネット検索			○	○	×	−	4-12
	35	履歴			○	○	×	−	4-7
	36	ページメモ			○	○	×	−	4-13
	37	Web ページを開く			○	○	×	−	4-6
	38	オプション			○	○	×	−	4-5、20
	39	インターネット設定			○	○	×	−	4-26
スケジュール	4				○	○	○	通知設定：通知しない スケジュール音：アラーム 1、音量：3 バイブ：OFF、鳴動時間：30 秒	7-18
機能設定	51	音	着信	公衆着信	○	×	○	着信メロディ：パターン 1、音量：3 バイブ：OFF	2-39
				E メール着信		○	×	着信メロディ：ジングル 1、音量：3 バイブ：OFF、鳴動時間：10 秒 バックグランド受信通知：ON	
				ライトメール着信				着信メロディ：ジングル 2、音量：3 バイブ：OFF、鳴動時間：10 秒	
				オフィス外線着信	×			着信メロディ：パターン 4、音量：3 バイブ：OFF	
				オフィス内線着信				着信メロディ：パターン 6、音量：3 バイブ：OFF	
				オフィス専用線着信				着信メロディ：パターン 10、音量：3 バイブ：OFF	
			効果音		○	○	○	キー確認音：パターン A	2-45
								成功 / エラー音：ON	2-45
								圏外 / 充電警告音：ON	2-46
							×	送達確認音：ON	2-46
			保留音		○	○	×	グリーンスリーブス	2-46
			イヤホン装着時鳴動先		○	○	○	本体	7-36
	52	日付 / 時刻	時計設定		○	○	○	2008 年 1 月 1 日 00:00	1-21
			自動補正		○	○	×	ON	7-8

メニュー					機能が使えるモード			お買い上げ時の設定	参照ページ
					公衆	オフィス	グループ		
機能設定	53	画面	壁紙		○	○	○	Tile（Black）	7-40
			画面配色		○	○	○	白（透過あり）	7-8
			時計表示		○	○	○	画面パターン：大（日本語）、 表示位置：画面中央、色：白	7-7
			カレンダー表示		○	○	○	OFF	7-8
			ディスプレイ		○	○	○	明るさ：レベル 2、点灯時間：8 秒 消灯時間：30 秒後 通話中点灯：OFF、キーライト点灯：OFF 卓上充電器充電中点灯：OFF キーロック中点灯：電源キーのみ	7-9
			着信ランプ	イルミネーション	○	○	○	電話着信：パターン 1、アジュール	7-10
					○	○	×	メール着信：パターン 2、ミント	
					○	○	○	スケジュール：パターン 3、シャンパン	
					○	○	○	目覚まし：パターン 3、カナリア	
					○	○	×	通話中：OFF	
				リマインダー	○	○	×	パターン 1、カラフル	
			省電力		○	○	○	OFF	7-11
			言語選択		○	○	○	日本語− Japanese	7-12
			シンプルメニュー		○	○	×	OFF	7-14
	54	文字入力	ユーザ辞書		○	○	○	−	2-17
			自作定型文登録		○	○	○	−	2-22
			学習文字クリア		○	○	○	−	2-17
	55	マナー / 留守電	マナー登録	マナーモード	○	○	○	バイブ：ON 電話着信音量・メール着信音量・ 目覚まし音量・スケジュール音量・ 効果音・留守録音設定：OFF	2-43
				オートサイレント	○	○	○	OFF	
			受話音量		○	○	○	Vol.4	2-39
			ひそひそ設定		○	○	○	OFF	2-39
			留守録音設定		○	○	×	OFF、応答時間設定：10 秒	2-48
			留守録音再生		○	○	×	−	2-48
			留守番電話 (NW)		○	×	×	−	7-57
			安全運転モード		○	○	×	OFF	2-44
	56	通信	待受モード		○	○	○	公衆	8-2
			グループ / 転送		×	×	○	−	8-7
			位置情報通知		○	×	×	位置情報通知 LI：OFF、 自動位置情報送出設定：OFF	7-34
			インターネット設定		○	○	×	−	4-26
			通信中着信		○	○	×	音声 , PIAFS 通信中着信：ON パケット通信中着信：ON	5-17
			データ通信方式		○	○	×	ベストエフォート型	5-14
			国際ローミング		○	×	×	国・地域／事業者選択：日本 / ウィルコム	7-53
			オフィス番号切替		×	○	×	手動切替	8-6
	57	発着信	非通知ガード		○	○	×	通知不可能・ユーザ非通知 ・公衆電話発信：OFF	6-3
			着信拒否		○	○	×	未登録	6-4
			番号通知		○	○	×	ON	6-2
			発信先応答通知		○	○	○	OFF	2-47
			エニーキーアンサー		○	○	×	OFF	7-12
			イヤホン自動応答		○	○	×	OFF	7-36
			サブアドレス		○	○	×	ON	7-12
			優先発信切替		○	○	○	オフィス、グループ優先	8-5
			外線発信番号		×	○	×	未登録	8-4
			自動外線発信番号付加		×	○	×	OFF	8-4

メニュー				機能が使えるモード			お買い上げ時の設定	参照ページ
				公衆	オフィス	グループ		
機能設定	58	カスタムボタン	公衆待受画面	○	×	×	–	7-15
			公衆通話中画面	○	×	×	:H-Free、: 電話帳	
			オフィス待受画面	×	○	×	–	
			オフィス通話中画面	×	○	×	:H-Free、: 電話帳	
	59	その他	USB 充電	○	○	○	高速	7-6
			ソフトウェア更新	○	×	×	–	7-62
			電源 OFF メニュー	○	○	○	ON	1-11
電話帳	61	電話帳一覧		○	○	○	表示方法：あかさたな一覧	2-32
	62	新規登録		○	○	○	–	2-28
	63	グループ設定		○	○	○	–	2-34
	64	ロック中着信表示		○	○	×	OFF	2-35
	65	シークレット一時表示		○	○	○	–	2-35
	66	登録件数表示		○	○	○	–	2-35
	67	全件削除		○	○	○	–	2-34
赤外線受信	7			○	○	○	–	2-37
アクセサリ	81	電卓		○	○	○	–	7-26
	82	目覚まし		○	○	○	時刻：0:00、曜日設定：一度きり、目覚まし音：アラーム 2、音量：音量 3 バイブ：パターン 3、鳴動時間：30 秒 スヌーズ：OFF	7-24
	83	IC レコーダ		○	○	○	録音優先モード設定：ON	7-27
	84	メモ帳		○	○	○	–	7-30
	85	Java™ アプリ		○	○	×	プリセットアプリ　3 件	7-44
	86	マイメニュー		○	○	○	オンラインサインアップ、公式サイト、Java ™アプリ	2-50
セキュリティ	91	ダイヤルロック		○	○	○	キーロック起動 :OFF タイマ起動 :OFF、5 分	6-8
	92	暗証番号変更		○	○	○	0000	6-6
	93	メモリ使用状況 / 全削除		○	○	○	–	7-51
	94	リモートロック		○	○	×	許可パスワード登録：－ サブアドレス起動：OFF ライトメール起動：OFF	6-10
	95	リセット		○	○	○	–	6-23
	96	機能ロック		○	○	○	すべて OFF	6-14
	97	管理者パスワード変更		○	○	○	0000	6-16
	98	管理者ロック※		○	×	×	OFF（先頭一致発信許可：未登録 許可ドメイン登録：未登録）	6-16

○：機能を使うことができます。
×：機能を使うことができません。

※ USB 制限、赤外線制限、設定制限については、公衆、オフィスおよびグループモードで機能を使うことができます。

お知らせ

- メニュー名の左の数字は、画面上のメニュー番号を表します。待ち受け画面で ◉ に続けてその番号を押すことで、そのメニューを実行することができます。例えば「受信BOX」の数字は「11」なので、◉ 1 1 を押すことで表示することができます。

いろいろな機能を設定する

プロフィールを表示する

プロフィールとして、本電話機の公衆の電話番号、オフィスモードのときのオフィス番号、自分の名前、フリガナ、Eメールアドレス、および住所などを記録するメモを表示できます。このうち公衆の電話番号、オフィス番号、オンラインサインアップで取得したEメールアドレス以外はユーザが登録します。

プロフィールを登録する

1 待ち受け画面で ◉ [わもん]

2 [✓] ► ◎ で入力する項目を選択 ◉

名：名前を入力します。
カナ：フリガナを入力します。
@：メールアドレスを入力します。
✎：住所などのメモを入力します。

次の項目が入力・設定できます。

- **名 カナ 名前とフリガナを入力する（☞同じページ内です。）**
- **@ メールアドレスを入力する（☞同じページ内です。）**
- **✎ メモを入力する（☞同じページ内です。）**

3 必要に応じて ◎ で入力する項目を選択 ► 各項目を入力・設定 ► [✓]

プロフィールが登録され、「登録しました」と表示されます。

> **お知らせ**
> - 「☎」には、本電話機の公衆の電話番号が表示されます。
> - 「OFFICE」には、「オフィス番号切替」で選択したオフィス番号が表示されます。
> - 「@」には、オンラインサインアップで取得したEメールアドレスが表示されます。
> - 公衆の電話番号、オフィス番号、オンラインサインアップで取得したEメールアドレスは、グレー表示されており編集できません。

■名前とフリガナを入力する

1 名前を入力 ◉

入力した名前の読み（フリガナ）が表示されます。

- **フリガナを修正するには**

  ◎ で修正したい箇所にカーソルを移動し、[クリア/マナー] で消去してから、ダイヤルボタンで正しい読みを入力します。「文字を入力する」（☞2-13ページ）

2 ◉

名前とフリガナが入力されます。

> **お知らせ**
> - 名前は全角16文字（半角32文字）まで、フリガナは半角32文字まで入力できます。「文字を入力する」（☞2-13ページ）

■メールアドレスを入力する

メールアドレスを最大3件まで入力できます。また、半角64文字まで入力できます。「文字を入力する」（☞2-13ページ）

1 アドレスを入力 ◉ ► [1] ～ [5] のいずれかを押してアドレス種別を選択

1件登録されると2件目のアドレス入力項目にカーソルが移動します。最大3件まで続けて登録できます。

■メモを入力する

住所などをメモとしてプロフィールに入力できます。

1 メモを入力 ◉

全角50文字（半角100文字）まで入力できます。「文字を入力する」（☞2-13ページ）

プロフィールを表示する

登録してある「プロフィール」を表示します。

1 待ち受け画面で ◉ [わもん]

2 ◎ で表示したいアイコンを選択

アイコンを選択すると、登録された情報が表示されます。

☎：本電話機の公衆の電話番号が表示されます。
OFFICE：オフィス面の名称とオフィス番号が表示されます。未登録の場合は「未登録」と表示されます。

：オンラインサインアップで取得したEメールアドレスが表示されます。オンラインサインアップをしていない場合はアイコンは表示されません。

：メールアドレスが表示されます。メールアドレスが未登録の場合はアイコンは表示されません。

：メモが表示されます。◉（確認）を押すと、メモの全文が表示されます。メモが未登録の場合はアイコンは表示されません。

：ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

● **プロフィールを一覧表示するには**

［1］を押すと、プロフィールが一覧表示されます。

お知らせ

- 「国際ローミング」が設定されている場合、「電話番号」は「国際ローミング情報」の設定番号が表示され、アイコンとアイコンの間に「RM」（登録日時）が表示されます。「国際ローミング情報」の設定番号が未登録の場合、「RM」は表示されません。「国際ローミングを利用する（国際ローミング）」（☞7-53ページ）
- 国際ローミングの電話番号を表示しているとき、◉（国内）を押すと、国内の電話番号が表示されます。◉（RM）を押すと、国際ローミングの電話番号の表示に戻ります。

プロフィールを赤外線通信で送信するには

プロフィール画面でプロフィールのデータを赤外線通信で他の電話機に送信することができます。赤外線通信を行うには、受信側の操作も必要です。「赤外線通信を行う」（☞2-36ページ）

1 待ち受け画面で◉［0］

2 ［2］ ► ［1］または［2］

選択した送信速度でデータを送信します。

3 赤外線ポートを相手の赤外線ポートに向け◉

通常送信の場合は、相手が認識されるとデータが送信され、送信完了後に「プロフィール送信完了」と表示されます。高速送信の場合は、相手を認識しなくてもデータが送信され、送信完了後に「プロフィール送信完了」と表示されます。

お知らせ

- 国際ローミング中にプロフィールを赤外線で送信すると、国際ローミング番号と国内の電話番号の2つが送信されます。
- 送信後は相手にデータが送られたことを確認してください。

USBで充電する

USBケーブルでパソコンと接続中に充電できます。

USBで充電を行う場合、本機能を「高速」または「低速」に設定します。「高速」に設定すると「低速」のときと比べて短時間で充電できますが、パソコンの消費電流が多くなります。

USB充電を設定する

1 待ち受け画面で◉［5］［9］［1］

2 ［1］～［3］のいずれか

● **［1］（高速）を押すと**

USB充電が高速に設定され、「設定しました」と表示されます。

● **［2］（低速）を押すと**

USB充電が低速に設定され、「設定しました」と表示されます。

● **［3］（OFF）を押すと**

USB充電が「OFF」に設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「高速」に設定されています。
- 充電時間は、「高速」の場合約2.5時間、「低速」の場合約15時間です。本電話機の電源を切り、電池パックを空の状態から充電した場合の目安です。
- 本電話機をUSBケーブルに接続するときには、パソコンが完全に起動していることを確認してから行ってください。完全に起動する前に接続するとUSB充電の設定に関係なく「高速」で充電されることがあります。
- 接続するパソコンによっては、「高速」に設定していても充電に時間がかかったり、充電できないこともあります。本電話機の電源を切った状態でも同様です。
- 本機能を「OFF」に設定してパソコンと接続した場合でも、本電話機の電池を消費します。この場合、データ通信を行わなくても待受時間が短くなることがあります。本電話機の電源を切っていても同様に本電話機の電池を消費します。
- バッテリー内蔵のノートパソコンをコンセントに接続しない状態で使用する場合、ノートパソコンの動作時間は、「低速」に設定したときのほうが「高速」に設定したときと比べて長くなります。

USBケーブルを接続して充電する

USBケーブルで、本電話機とパソコンを接続して充電します。「パソコンと接続する」(☞5-2ページ)
パソコンと接続して充電するには、パソコンにUSBドライバをインストールする必要があります。「データ通信用ソフトをインストールする」(☞5-4ページ)

1 本電話機とパソコンをUSBケーブルで接続する

「USB充電」が「高速」の場合は「」が、「低速」の場合は「」が表示され、充電が開始されます。充電が完了すると「」「」は消えます。

お知らせ

- USB接続後、本電話機とパソコンが相互に認識されると「」が表示され、「データ通信ON　USB充電は　高速（低速/OFF）です」と表示されます。「」が表示されない場合でも「」または「」が表示されていれば充電は行われています。
- 電池パックを外した状態で本電話機をUSBケーブルに接続しないでください。
- USBハブを使用しての充電には対応しておりません。必ずパソコンのUSBポートに直接接続してご使用ください。また、動作保証もしかねますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンの機種によっては、本電話機をUSBケーブルで接続したとき、画面に「」または「」が点灯した後「」が点灯し、再度「」または「」が点灯することがありますが、故障ではありません。
- 充電中は、本電話機が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- パソコンの種類によっては、USBケーブル経由での充電ができないことがあります。

日時表示を設定する

待ち受け画面に表示する日時表示を設定します。日時表示のパターンは6種類あり、表示位置や色を任意に設定できます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 3

2 3 ► 1 ～ 7 のいずれか

- **1（大（日本語））を押すと**
  日付が日本語表示になり、時刻が大きく表示されます。
- **2（大（英語））を押すと**
  日付が英語表示になり、時刻が大きく表示されます。
- **3（中（日本語））を押すと**
  日付が日本語表示になり、時刻が小さく表示されます。
- **4（中（英語））を押すと**
  日付が英語表示になり、時刻が小さく表示されます。
- **5（小（日本語））を押すと**
  日付が日本語で表示されます。
- **6（小（英語））を押すと**
  日付が英語で表示されます。
- **7（OFF）を押すと**
  日時は表示されません。

選択した画面パターンがプレビュー表示されます。

● プレビュー表示された画面パターンを変更するには
[保留/文字キー] で前のパターン、[A/a/留守録キー] で次のパターンが表示されます。

3 [方向キー] で画面パターンの表示位置を指定
表示可能な領域内であれば日時表示位置を移動できます。日時表示位置を画面の最下部に移動すると、ガイダンス表示の後ろに表示されます。
[方向キー] 短く押す：2dotずつ移動
[方向キー] 約1秒以上押す：10dotずつ移動

4 [メールキー] で表示色を選択
表示色は10色用意されています。[メールキー]（色）を押すごとに表示色が変化しますので、お好みの色が選択できます。

● 表示位置と色を元に戻すには
[クリアキー]（リセット）を押します。表示位置は画面中央、色は「白」に戻ります。

5 ◉
日時表示が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ
- お買い上げ時には、画面パターンは「大（日本語）」、表示位置は画面中央、色は「白」に設定されています。
- 壁紙にカレンダーを表示しているときは、日時は表示されません。
- 表示位置を決定する前に着信などの割り込みが入ると、割り込み終了後、待ち受け画面に戻ります。最初から設定してください。

日時の自動補正を設定する

自動補正を「ON」に設定すると、パケット通信開始時にネットワーク側から受信した時刻情報をもとに本電話機の日時を自動的に補正します。正しい時刻より進めたり遅らせたりして使用する場合、本機能を「OFF」に設定します。

1 待ち受け画面で ◉ [5] [2]

2 [2] [1]
自動補正が設定され、「設定しました」と表示されます。

● 自動補正を解除するには
自動補正設定時に [2]（OFF）を押します。自動補正が解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ
- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- ネットワーク側と本電話機の時刻に約30秒以上のずれがあると自動補正されます。
- 音声通話やPIAFSによる通信時には自動補正されません。

画面の配色を設定する

ディスプレイの背景色などのパターンを選択できます。

1 待ち受け画面で ◉ [5] [3]

2 [2] ► [1] ～ [4] のいずれか
画面配色には4つのパターンがあります。[1] 白（透過あり）または [3] 黒（透過あり）を選択すると、待ち受け画面の壁紙が透過表示されます。[方向キー] でパターンを選択すると、それぞれの画面配色のパターンを確認できます。
[1] ～ [4] のいずれかを押すと画面配色が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ
- お買い上げ時には、「白（透過あり）」に設定されています。

カレンダーを設定する

待ち受け画面にカレンダーやスケジュールを表示できます。「スケジュール機能を利用する」（☞7-18ページ）

1 待ち受け画面で ◉ [5] [3]

2 [4] ► [方向キー] でパターンを選択 ◉
カレンダーが設定され、「設定しました」と表示されます。

● パターンを選択するには
カレンダーには10パターンがあり、[方向キー] または [保留/文字キー]、[A/a/留守録キー] でパターンを切り替えることができます。

● パターンを一覧表示するには
[メールキー]（一覧）を押すと、パターンの一覧が表示されます。[0] ～ [9] のいずれかを押すと選択したカレンダーのパターンが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 待ち受け画面に壁紙が設定されているときは、壁紙の上にカレンダーが表示されます。「画像データを壁紙に設定する」(☞7-40ページ)

バックライトを設定する

ボタンを押したときに、ボタンと画面のバックライトを点灯するかどうか設定できます。

明るさを設定する

本電話機が動作中のときの、画面の明るさを設定できます。動作が終了してから、「点灯時間」で設定されている時間が経過すると、自動的に「レベル1」の明るさになります。

1 待ち受け画面で ◉ 5 3 5

2 1 ► 1 ～ 4 のいずれか

明るさには4つのパターンがあります。◎でパターンを選択すると、それぞれの明るさのパターンを確認できます。
1 ～ 4 のいずれかを押すと明るさが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「レベル2」に設定されています。

点灯時間を設定する

本電話機の動作が終了してから、「明るさ」で設定されている、画面の明るさのレベルを保持する時間を設定できます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 3 5

2 2 ► 0 ～ 9 で点灯時間を入力 ◉

5秒～59秒までで入力できます。◎で入力したい箇所にカーソルを移動できます。
点灯時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「8秒」に設定されています。
- 発信中または着信中に、設定した点灯時間が経過しても応答するまでは消灯しません。

消灯時間を設定する

本電話機の動作が終了してから、画面が消灯するまでの時間を設定できます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 3 5

2 3 ► 1 ～ 4 のいずれか

選択した消灯時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「30秒後」に設定されています。
- 省電力モードを「ON」にしたときのお買い上げ時の設定は、「30秒後」に設定されています。
- ◉ 5 3 5 2 で設定したディスプレイの点灯時間の設定よりも、消灯時間の設定の方が優先されます。
- 消灯時間の設定よりも ◉ 5 3 7 で設定した省電力設定の方が優先されます。
- 画面が消灯しても、ボタンを何か押すと再点灯します。
- 発信中または着信中に、設定した消灯時間が経過しても応答するまでは消灯しません。

通話中点灯を設定する

通話中のバックライトの設定ができます。「ON」に設定すると、通話開始から「点灯時間」が経過したあとも、電話を切るまで「レベル1」の明るさで点灯し続けます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 3 5

2 4 ► 1

通話中点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

- **通話中点灯を解除するには**
  通話中点灯設定時に 2 (OFF)を押します。
  通話中点灯が解除され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

キーライト点灯を設定する

キーライト（ボタンのバックライト）点灯の設定ができます。「ON」に設定すると、本電話機の動作時にキーライトが点灯します。本電話機の動作が終了してから、キーライトが消灯するまでの時間は、「点灯時間」で設定されている時間と同じです。

1 待ち受け画面で ◉ 5 3 5

2 5 ► 1

キーライト点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

● **キーライト点灯を解除するには**

キーライト点灯設定時に 2（OFF）を押します。キーライト点灯が解除され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 画面が消灯しても、ボタンを何か押すと再点灯します。

卓上ホルダでの充電中の点灯を設定する

卓上ホルダで充電しているときのバックライトの点灯を設定することができます。「ON」に設定すると、本電話機を卓上ホルダに置いてもバックライトはレベル１の明るさで点灯を続けます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 3 5

2 6 ► 1 **または** 2

卓上ホルダでの充電中の点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 設定が「ON」のとき、バックライトが消灯した状態で卓上ホルダに置くと、設定したバックライトの「明るさ」で約３秒点灯した後、レベル１の明るさで点灯します。

キーロック中の点灯を設定する

キーロック中のバックライトの点灯を設定することができます。「ボタン操作をロックする（キーロック）」（☞6-7ページ）

1 待ち受け画面で ◉ 5 3 5

2 7 ► 1 **または** 2

キーロック中の点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

● 1 **（全てのキー）を押すと**

キーロック中、消灯しているときに何かキーを押すとレベル１の明るさで点灯します。

● 2 **（電源キーのみ）を押すと**

キーロック中、消灯しているときに PWR を押すとレベル１の明るさで点灯します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「電源キーのみ」に設定されています。

着信ランプを設定する

イルミネーションを設定する

電話着信、メール着信、スケジュールの通知、目覚まし、および通話中のときの着信ランプのイルミネーション（点滅パターン）を設定できます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 3 6

2 1 ► 1 ～ 5 **のいずれか**

● 1 **（電話着信）を押すと**

電話着信時のイルミネーションが設定できます。

● 2 **（メール着信）を押すと**

メール着信時のイルミネーションが設定できます。

● 3 **（スケジュール）を押すと**

スケジュールの通知時のイルミネーションが設定できます。

● 4 **（目覚まし）を押すと**

目覚まし鳴動時のイルミネーションが設定できます。

● 5 **（通話中）を押すと**

通話時のイルミネーションが設定できます。

3 1 ～ 4 **のいずれか**

点滅周期には３つのパターンがあります。◎でパターンを選択すると、それぞれの点滅周期のパターンを確認できます。

4 1 ～ 8 **のいずれか**

色には８つのパターンがあります。◎でパターンを選択すると、それぞれの色のパターンを確認できます。

1 ～ 8 のいずれかを押すとイルミネーションが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、パターンと色は次のように設定されています。

電話着信　：パターン１、アジュール
メール着信　：パターン２、ミント
スケジュール：パターン３、シャンパン
目覚まし　：パターン３、カナリア
通話中　：OFF

リマインダーを設定する

不在着信やメール受信があったときなどに、着信ランプの点滅でお知らせします。

1 待ち受け画面で ◉ 5 3 6

2 2 ► 1 ～ 4 のいずれか

点滅周期には3つのパターンがあります。◎でパターンを選択すると、それぞれの点滅周期のパターンを確認できます。

3 1 ～ 8 のいずれか

色には8つのパターンがあります。◎でパターンを選択すると、それぞれの色のパターンを確認できます。

1 ～ 8 のいずれかを押すとリマインダーが設定され、「設定しました」と表示されます。

● **点滅中の着信ランプを消すには**

ボタンを何か1つ押すと、着信ランプが消えます。ただし、待ち受け画面にオフィスのショートメッセージが表示されているときは、着信ランプが消えません。この場合、クリア/マナー を押すと、ショートメッセージの表示が消え、同時に着信ランプも消えます。また、キーロック中、ダイヤルロック中も着信ランプが消えません。

「ボタン操作をロックする（キーロック）」（☞6-7ページ）
「ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）」（☞6-8ページ）

お知らせ

- お買い上げ時には、「パターン1」で「カラフル」に設定されています。

省電力モードを設定する

電池パックの消費を抑えるために画面の消費電力等を節約するように設定できます。

省電力モードを設定する

省電力モードを「ON」に設定すると、消費電力が節約されます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 3

2 7 ► 1 または 2

● **1（ON）を押すと**

省電力モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

● **2（OFF）を押すと**

省電力モードが解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 省電力モードの設定内容は変更できます。「省電力モードの内容を変更する」（☞同じページ内です。）
- 省電力モードを「ON」にしたときは、ディスプレイの設定よりも優先されます。「バックライトを設定する」（☞7-9ページ）
- 省電力モードを「ON」にしたときは、画面が消灯時、一度、ボタンを何か押すと、画面が点灯します。

省電力モードの内容を変更する

省電力モードが「ON」のときの、日時表示、バックライトの明るさ、点灯時間、消灯時間、通話中点灯、キーライト点灯、リマインダーを設定します。

1 待ち受け画面で ◉ 5 3 7

2 ◎で「ON」を選択 ［・］ ► 1 ～ 7 のいずれかを押し、設定を行う

次の項目が設定できます。

● **1（日時表示設定）**

「日時表示を設定する」（☞7-7ページ）

● **2（明るさ）**

「明るさを設定する」（☞7-9ページ）

● **3（点灯時間）**

「点灯時間を設定する」（☞7-9ページ）

● **4（消灯時間）**

「消灯時間を設定する」（☞7-9ページ）

● **5（通話中点灯）**

「通話中点灯を設定する」（☞7-9ページ）

● **6（キーライト点灯）**

「キーライト点灯を設定する」（☞7-9ページ）

● **7（リマインダー）**

「リマインダーを設定する」（☞同じページ内です。）

3 必要に応じて各項目を設定 ► ［・］

省電力モードの内容が設定され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- 省電力モードを「ON」にしたときのお買い上げ時の設定は、「日時表示設定」は「OFF」、「明るさ」は「レベル1」、「点灯時間」は「5秒」、「消灯時間」は「30秒後」、「通話中点灯」は「OFF」、「キーライト点灯」は「OFF」、「リマインダー」は「OFF」に設定されています。

サブアドレスを設定する

ISDN回線は、1本の回線に複数の端末を接続できるため、端末には通常の電話番号に加えて端末独自の番号を設定できます。この番号を「サブアドレス」といいます。電話番号をダイヤルした後、[*]を押してサブアドレスをダイヤルすると、希望する端末だけを呼び出せます。
ISDN端末のサブアドレスにダイヤルする場合、本機能を「ON」に設定しておく必要があります。

1　待ち受け画面で [●] [5] [7]

2　[7] ► [1]

サブアドレスが設定され、「設定しました」と表示されます。

● **サブアドレス設定を解除するには**

サブアドレス設定時に [2]（OFF）を押します。サブアドレス設定が解除され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 本機能を「ON」に設定すると、電話番号＋[*]に続く番号をサブアドレス情報として発信します。「OFF」に設定すると、電話番号＋[*]＋番号を電話番号情報として発信します。
- サブアドレスは、「公衆モード」および「オフィスモード」で有効です。「グループモード」および「転送モード」では利用できません。
- 「オフィスモード」時、[通話]のあとに電話番号をダイヤルして電話をかけると、[*]＋サブアドレスを電話番号として発信します。この場合、ご希望の端末に直接電話をかけることはできません。
- 「オフィスモード」時、オフィスシステム（PBX）によってはサブアドレスによる呼び出しができないことがあります。

エニーキーアンサーを設定する

電話がかかってきたときに、[通話]以外のボタンを押しても電話に出られるように設定できます。
本機能を設定すると、[メール]、[Web]、[保留/文字]、[クリア/マナー]、[0]～[9]、[*]、[#]、[▲]、[▼]、[◀]、[▶]を押しても電話に出られるようになります。

1　待ち受け画面で [●] [5] [7]

2　[5] ► [1]

エニーキーアンサーが設定され、「設定しました」と表示されます。

● **エニーキーアンサー設定を解除するには**

エニーキーアンサー設定時に [2]（OFF）を押します。エニーキーアンサー設定が解除され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 本機能を「ON」に設定しても、[左ソフト]、[右ソフト]、[●]、[PWR/終話]では電話に出られません。

英語表示にする

各機能の表示を英語表示に設定できます。

1　待ち受け画面で [●] [5] [3]

2　[8] ► [2]

英語表示に設定され、「Set」と表示されます。

● **日本語表示に設定するには**

言語選択設定時に [1]（日本語－Japanese）を押します。日本語表示に設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

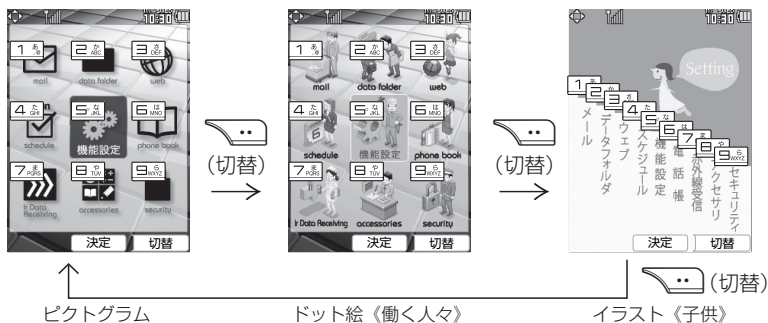
- お買い上げ時には、「日本語－Japanese」に設定されています。

メインメニュー画面を変更する

メインメニュー画面を切り替える

メインメニュー画面の３パターンのデザインを切り替えることができます。

1 待ち受け画面で ◉ ► [ソフトキー]

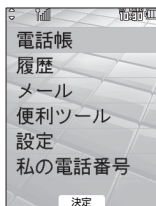
[ソフトキー]（切替）を押すごとに、メインメニュー画面のデザインが切り替わります。

図で示した [1] ～ [9] の番号に対応する項目は、下記のとおりです。

番号	項目
1	メール
2	データフォルダ
3	Web
4	スケジュール
5	機能設定
6	電話帳
7	赤外線受信
8	アクセサリ
9	セキュリティ

お知らせ

- お買い上げ時には、ピクトグラムに設定されています。

シンプルメニュー画面に切り替える

シンプルメニューに切り替えると、メニューの文字サイズが大きく表示されます。

シンプルメニューを設定する

1　待ち受け画面で ◉ 5 3

2　9 1

シンプルメニューが設定され、「設定しました」と表示されます。

シンプルメニューを解除する

1　待ち受け画面から ◉

2　◎ で「設定」を選択 ► ◉

3　◎ で「画面」を選択 ► ◉

4　9 2

シンプルメニューが解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

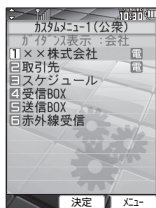
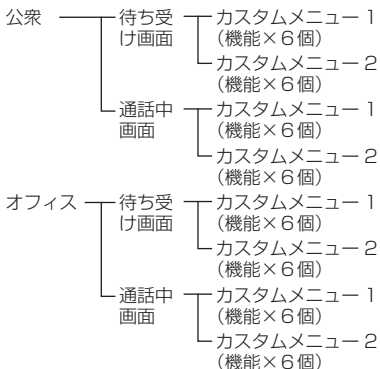
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- シンプルメニューの設定は、公衆モード、オフィスモード、公衆／オフィスモードでのみ行えます。
- シンプルメニューで項目を選択する場合は、◎ でカーソルを移動し、◉ を押してください。ダイヤルボタンでメニューの番号を押して選択する操作はできません。ただし、メインメニューで 0 を押して私の電話番号を表示することはできます。
- シンプルメニューで文字サイズが大きくなるのは、メインメニューとその下の階層のメニュー、電話帳、発着信履歴、メール詳細画面（文字サイズが30dotに）、ブラウザ（表示倍率が125%に）などです。

カスタムボタンを設定する

カスタムボタン ／ に、電話発信やライトメール／Ｅメールの起動など各種機能を設定し、機能を簡単に実行できるようにします。

カスタムメニューと短押し／長押しでの呼び出しについて

カスタムメニューについて

待ち受け画面や通話中画面で または を押すと、自由に機能の設定できる「カスタムメニュー」が表示されます。 で表示されるメニューをカスタムメニュー１、 で表示されるメニューをカスタムメニュー２といいます。各カスタムメニューには６つまで機能を登録することができます。

カスタムメニューは待ち受け画面と通話中画面で異なるほか、公衆モードとオフィスモードでも異なるので、下図のように場面に応じた８種類のカスタムメニューが利用できます。

お知らせ

- カスタムメニュー表示中に自動切替によりオフィス番号が切り替わった場合、カスタムメニューに登録されているオフィス番号への発信はできません。「オフィス番号を切り替える（オフィス番号切替）」（☞8-6ページ）

カスタムボタンの短押し／長押しについて

カスタムメニューに登録した機能に「長押し」または「短押し」というショートカット（近道）を設定することができます。「長押し」は約１秒以上押す操作で、「短押し」は押してすぐ離す操作です。たとえば、カスタムメニュー１の３番目に「短押し」を設定すると、 の短押しでカスタムメニュー１の３番目の機能が実行されます。「長押し」を設定すると、長押しでその機能が実行されます。

短押し、長押しが設定されていない場合は、どちらの操作でもカスタムメニューが表示されますが、短押しや長押し両方が設定されている場合は、該当の機能が実行されるのでカスタムメニューは表示されません。

／ の操作	操作の結果		
	短押し設定あり	長押し設定あり	短押しも長押しも設定なし
短押しすると	短押しを設定した機能が実行される	カスタムメニューが表示される	カスタムメニューが表示される
長押しすると	カスタムメニューが表示される	長押しを設定した機能が実行される	カスタムメニューが表示される

カスタムメニューを呼び出す

カスタムメニューに登録された機能を呼び出します。

1 待ち受け画面または通話中画面で または

カスタムメニューが表示されます。(ただし、お買い上げ時には、待ち受け画面にはカスタムメニューは登録されていないため、ガイダンスは表示されません。また、通話中画面は、短押しが設定されているため、カスタムメニューを表示するには長押しする必要があります。)

2 ◎で実行したい機能を選択●、または1～6のいずれか

選択した機能が実行されます。
<例>

- **電話番号を選択すると**
  選択した電話番号に発信します。
- **ブックマークを選択すると(待ち受け画面のみ)**
  ブックマークのURLに接続します。
- **ライトメールを選択すると(待ち受け画面のみ)**
  選択した電話番号を宛先にしたライトメール作成画面が表示されます。「ライトメールを作成して送信する」(☞3-28ページ)
- **Eメールを選択すると(待ち受け画面のみ)**
  選択したメールアドレスを宛先にしたEメール作成画面が表示されます。「Eメールを新規に作成して送信する」(☞3-7ページ)

お知らせ

- 手順2で機能の登録されていないカスタムメニューを選択して●を押すと、「カスタムメニューに登録する」(☞同じページ内です。)の手順5の画面になり、メニューへの登録が行えます(待ち受け画面のみ)。
- 短押し、長押しが設定されている場合の動作については「カスタムボタンの短押し/長押しについて」(☞7-15ページ)を参照してください。
- 短押し、長押しが両方とも設定されている場合は、カスタムボタンからはカスタムメニューを表示できません。カスタムメニューを表示するには、「カスタムメニューに登録する」(☞同じページ内です。)の手順1～3を行ってください。

カスタムメニューに登録する

1 待ち受け画面で●58

2 1～4のいずれか

3(オフィス待受画面)、4(オフィス通話中画面)を押した場合は、オフィス番号選択画面が表示されるので、登録を行うオフィス番号をさらに選択してください。

3 1または2

カスタムメニューが表示されます。

4 ◎で登録する番号を選択 [⋯] 3

5 1～4のいずれか(通話中画面の場合は1、2のみ)

- **1(機能)を押すと**
  メインメニューが表示されるので、登録する機能を選択します。
- **2(電話番号)を押すと**
  入力方法を、1(電話帳引用)、2(発着歴引用)、3(直接入力)から選択し、電話番号を入力します。
- **3(ライトメール)を押すと**
  入力方法を、1(電話帳引用)、2(発着歴引用)、3(直接入力)から選択し、電話番号を入力します。
- **4(Eメール)を押すと**
  入力方法を、1(電話帳引用)、2(直接入力)から選択し、メールアドレスを入力します。

6 ●

カスタムメニューに電話番号または機能が登録され、「登録しました」と表示されます。

- **登録した機能を削除するには**
  手順4で[⋯]を押して表示されるメニューで、5(一件削除)、6(選択削除)、7(全件削除)のいずれかを押し、◎で「Yes」を選択し、●を押します。6(選択削除)を押した場合は、チェックを付けた番号を一括して削除できます。

お知らせ

- お買い上げ時には、待ち受け画面と通話中画面のカスタムメニューには以下の機能が登録されています。通話中画面のカスタムメニュー1の1に「ハンズフリー」、カスタムメニュー2の1に「電話帳」がそれぞれ短押しで登録されています。

メニュー	待ち受け画面	通話中画面
カスタムメニュー1	登録なし	ハンズフリー 短 保留 ひそひそ通話 スピーカ受話 番号メモ メモ帳
カスタムメニュー2	登録なし	電話帳 短 通話録音 パワーサーチ スケジュール プロフィール

- 短押しや長押しが設定されていない場合は、待ち受け画面や通話中画面で[key]または[key]を短押しや長押ししてカスタムメニューを表示することができます。
- 公衆／オフィスモード（デュアルモード）の場合は、カスタムメニュー1の7番目に「優先発信切替」が自動的に表示されます。これを選択するごとに発信先が公衆とオフィスとで切り替わります。「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（☞8-5ページ）
- カスタムメニューの空欄の番号を押して手順5の登録画面を表示することもできます。
- すでに機能が登録されている番号に新たに機能を登録した場合は、元の機能に新しい機能が上書きされます。
- 電話番号、ライトメール、Eメールを登録すると、カスタムメニューでその項目の右端にはそれぞれ電、L、Eのアイコンが表示されます。
- 「パワーサーチ」は、公衆モードでの通話中に入力できます。オフィスモードでは入力できません。
- 電話番号入力時には、0～9、＊、＃、「ポーズ」、「フック」（オフィス通話中画面のみ）が入力できます。「フック」は保留と同じ信号を送出する機能で、[key]で入力します。
- 「ポーズ」と「フック」は同じ番号の中に入力できません。
- 「フック」の入力は1番号につき1回だけです。

カスタムメニューに短押し／長押しを設定する

カスタムメニューに登録されている機能に短押しや長押しを設定し、カスタムボタンのワンタッチで機能を呼び出せるようにします。電話番号を登録してある場合は、ワンタッチでその番号に発信できます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 8

2 1 ～ 4 のいずれか

3（オフィス待受画面）、4（オフィス通話中画面）を押した場合は、オフィス番号選択画面が表示されるので、登録を行うオフィス番号をさらに選択してください。

3 1 または 2

4 ◎で登録する番号を選択 [key]

5 1 または 2

6 ガイダンスを入力 ◉

短押しまたは長押しが設定され、「登録しました」と表示されます。

ここで入力した文字列が、待ち受け画面や通話中画面の下部にカスタムボタンの名称としてガイダンス表示されます。「ガイダンス表示について」（☞1-17ページ）

▼短押し／長押しを削除するには

短押し／長押しの設定された項目を手順4で選択し、手順5で 1（短押し削除）または 2（長押し削除）を押します。

お知らせ

- 短押し／長押しを登録すると、カスタムメニューでその項目の右端にはそれぞれ短、長のアイコンが表示されます。
- 手順6のガイダンス編集画面で入力できる文字数は、全角で3文字、半角で6文字までです。

ガイダンスを編集する

ガイダンス（画面に表示されるカスタムボタンの名称）は、変更することができます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 8

2 1 ～ 4 のいずれか

3（オフィス待受画面）、4（オフィス通話中画面）を押した場合は、オフィス番号選択画面が表示されるので、編集を行うオフィス番号をさらに選択してください。

3 1 または 2

4 [key] 4

5 ガイダンスを編集 ◉

ガイダンスが登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- 手順6のガイダンス編集画面で入力できる文字数は、全角で3文字、半角で6文字までです。
- カスタムボタンでカスタムメニューを表示した状態で上記の手順4、5を行い、ガイダンスを編集することもできます（待ち受け画面のみ）。

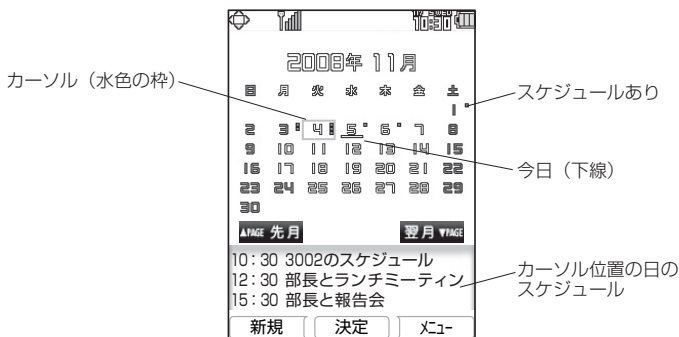
スケジュール機能を利用する

商談や会議などのスケジュールを登録しておくことができます。指定した時刻に画面にスケジュールが表示され、通知音やバイブレータでお知らせします。

カレンダーを表示する

カレンダーを表示し、スケジュールを確認することができます。

1 待ち受け画面で ◉ 4

当月のカレンダーが表示されます。その日の日付には下線が表示されます。スケジュールが登録されている日付の右横には、登録件数の数だけ赤い点が表示されます。ただし、3件を超える場合でも3個しか表示されません。
カレンダーの下には、カーソルがある日付のスケジュールの時刻と内容が表示されます。

2 スケジュールを確認したい日にカーソルを移動する

カーソルを合わせた日のスケジュールがカレンダーの下に表示されます。

- ◎：翌日に移動します。
- ◎：前日に移動します。
- ◎：前週に移動します。最上段にカーソルがあるときは、前月の最終の同曜日に移動します。
- ◎：翌週に移動します。最下段にカーソルがあるときは、翌月の最初の同曜日に移動します。
- 保留/文字：前月の同日に移動します。当該日付がないときはその月の最終日に移動します。
- A/a 留守録：翌月の同日に移動します。当該日付がないときはその月の最終日に移動します。

● **スケジュールの内容を表示するには**

「スケジュールの内容を表示する」（☞7-21ページ）

お知らせ

- カーソルを移動するボタンを約1秒以上押し続けると高速スクロールします。
- 未確認のスケジュールがある日には、緑色の枠が表示されます。
- カレンダーは2000年01月01日から2099年12月31日まで表示されます。
- 祝日データは2000年から2020年までの分を収録しています。カレンダー上で祝日にカーソルを合わせると、祝日の名称がカレンダーの下に表示されます。
- 「カレンダー表示」で「スケジュールカレンダー」を選択すると、待ち受け画面にスケジュール入りのカレンダーを表示することができます。「カレンダーを設定する」（☞7-8ページ）

指定した日や今日にジャンプする

カレンダー画面から指定の年月日やその日にカーソルを移動することができます。

1 待ち受け画面で ◉ 4

2 ［メニュー］3 ► 0 ～ 9 で移動先の年月日を入力 ◉

指定した日を含む月のカレンダーが表示されます。カーソルは、指定した日に移動します。

- **今日にジャンプするときは**
  ［メニュー］（今日）を押します。

スケジュールを登録する

カレンダーを表示し、任意の日時に、最大1000件までスケジュールを登録できます。カレンダーの日付は2000年01月01日から2099年12月31日まで選択できます。

スケジュールを登録する

1 待ち受け画面で ◉ 4

2 登録したい日にカーソルを移動 ► ［ソフトキー］ ► ◎ で入力する項目を選択 ◉

次の項目が入力・設定できます。

- **日時を入力する（☞同じページ内です。）**
- **内容を入力する（☞同じページ内です。）**
- **場所を入力する（☞同じページ内です。）**
- **通知設定を入力する（☞同じページ内です。）**

3 必要に応じて ◎ で入力する項目を選択 ◉ ► 各項目を入力・設定 ► ［ソフトキー］

スケジュールが登録され、「登録しました」と表示されます。

■日時を入力する

用件の日付、開始時刻、終了時刻を入力することができます。

1 0 ～ 9 で「日付」を入力

「日付」には選択した日付がセットされています。必要に応じて変更します。◎ で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

2 ◎ でカーソルを「開始時刻」に移動 ► 0 ～ 9 で「開始時刻」を入力 ◉

00:00から23:59まで入力します。◎ で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

3 0 ～ 9 で「終了時刻」を入力 ◉

開始時刻と同じか、それ以降の時間を入力します。日をまたがる時刻設定はできません。

- **「終日」に設定するには**
  ［メニュー］（終日）を押します。

■内容を入力する

用件の内容を入力することができます。

1 内容を入力 ◉

全角45文字（半角90文字）まで入力できます。

「文字を入力する」（☞2-13ページ）

■場所を入力する

用件の場所を入力することができます。

1 場所を入力 ◉

全角27文字（半角54文字）まで入力できます。

「文字を入力する」（☞2-13ページ）

■通知設定を入力する

スケジュールを通知するように設定できます。通知するよう設定すると、スケジュールの一覧画面に「🔔」が表示されます。

1 1 ～ 3 のいずれか

- **1（通知する）を押すと**
  スケジュールの開始時刻になったら通知します。
- **2（事前通知する）を押すと**
  「事前通知」画面が表示されるので、事前に通知する時間を5分から99分までの間で1分単位で入力し、◉ を押します。◎ で入力したい箇所にカーソルを移動できます。
- **3（通知しない）を押すと**
  スケジュール通知は行いません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「通知設定」は「通知しない」に設定されています。
- お買い上げ時には、「事前通知」の時間は「5分前」に設定されています。
- 通知時刻になると、該当するスケジュールが画面に表示されます。スケジュール音やバイブレータを設定すると、音やバイブレータでも知ることができます。「スケジュール音を設定する」(☞同じページ内です。)
- スケジュールを登録するには、あらかじめ本電話機の日時を設定しておきます。「日時を設定する」(☞1-19ページ)
- スケジュールが1000件登録されていると、新規登録はできません。
- スケジュール登録中に、電話着信、目覚まし、およびスケジュールの割り込みがあったときは、各機能終了後、スケジュール登録中の画面に戻ります。引き続き文字入力が行えます。

スケジュール音を設定する

スケジュールを通知するときに、音を鳴らしたり、バイブレータを振動させたりすることができます。

1 待ち受け画面で ◉ [4]

2 [メニュー] [4] ► [1] ～ [4] で設定したい項目を選択し、入力・設定

次の項目が入力・設定できます。

- **[1]（スケジュール音）（☞同じページ内です。）**
- **[2]（音量）（☞同じページ内です。）**
- **[3]（バイブ）（☞同じページ内です。）**
- **[4]（鳴動時間）（☞同じページ内です。）**

■ [1]（スケジュール音）

スケジュールを通知するときのサウンドを設定できます。

1 [1] または [2]

- **[1]（固定サウンド）を押すと**
  固定サウンドの中からスケジュール音を選択します。
  ◎ でスケジュール音を選択し、◉ を押します。
  スケジュール音が設定され、「設定しました」と表示されます。

- **[2]（データフォルダ）を押すと**
  データフォルダの中に保存されているサウンドデータの中から、スケジュール音を選択します。データフォルダにサウンドデータが保存されていなければ、この項目は選択できません。
  「全データ表示」「サウンド」「録音」「ユーザデータ」または「その他」を選択します。
  ◎ でスケジュール音を選択し、◉ を押します。
  スケジュール音が設定され、「設定しました」と表示されます。

- **メロディを聞くには**
  ◎ でメロディを選択して [ソフトキー]（再生）を押すと、メロディが再生されます。この場合、[留守録] で次のメロディ、[保留] で前のメロディを再生します。再生を終了するには、[ソフトキー]（停止）または [クリア/マナー] を押します。

- **音量を調節するには**
  メロディ再生中に、◎ で音量の調節ができます。

■ [2]（音量）

スケジュールを通知するときの音量を設定できます。

1 [ソフトキー] ► ◎ で音量を選択 ◉

- **再生を停止するには**
  [ソフトキー] を押します。

音量が設定され、「設定しました」と表示されます。

■ [3]（バイブ）

スケジュールを通知するときのバイブレータのパターンを設定できます。
バイブレータには6つのパターンがあります。

1 [1] ～ [7] のいずれか

パターンが設定され、「設定しました」と表示されます。

- **バイブパターンを確認するには**
  ◎ でパターンを選択すると、そのバイブパターンを確認できます。

■ [4]（鳴動時間）

スケジュールを通知するときの音やバイブレータの鳴動時間を設定できます。
1秒～60秒までの間で1秒単位で入力できます。

1 [0] ～ [9] で鳴動時間を入力 ◉

鳴動時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

便利な使いかた 7 スケジュール機能を利用する

お知らせ

- お買い上げ時には、「通知設定」の「スケジュール音」は「アラーム1」、「音量」は「VOL.3」、「バイブ」は「OFF」、「鳴動時間」は「30秒」に設定されています。
- 「通知設定」で、「通知する」のときは開始時刻に、「事前通知する」のときは通知設定時刻になると、画面にスケジュールが表示されます。「通知されたスケジュールの内容を確認する」(☞7-22ページ)
- 通話中に設定時刻になった場合は、通話終了後にスケジュールが通知されます。
- 電源を切っているときに設定時刻になった場合は、スケジュール音は鳴りません。

休日を設定する

スケジュールのカレンダーで任意の日を選択し、休日として設定できます。土日も選択できます。上限はありません。

1 待ち受け画面で ◉ 4

2 休日を設定する日付にカーソルを合わせ メニュー ► 5

選択した日付が休日に設定され、「設定しました」と表示されます。
休日設定された日付は赤色で表示されます。

● **休日設定を解除するには**
休日設定された日付にカーソルを合わせて メニュー（メニュー）を押し、5（休日設定解除）を押します。休日設定が解除され、「解除しました」と表示されます。休日設定が解除されると、日付の色は元の色に戻ります。

スケジュールの内容を表示する

スケジュールは、1ヶ月のカレンダー上で表示するだけでなく、1日ごとや1週間ごとの一覧、全スケジュールの一覧を表示することができます。通知されたスケジュールを確認したり、登録件数を確認することもできます。

1日分のスケジュールを表示する

1 待ち受け画面で ◉ 4

2 スケジュールを表示する日付にカーソルを移動 ◉ ► ◎ でスケジュールを選択 ◉

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

● **一日に7件以上のスケジュールがあるときは**
保留 で前ページが、 留守録 で次ページが表示されます。

お知らせ

- スケジュールの一覧では、スケジュールは開始時刻が早い順に表示されます。
- スケジュールの一覧画面では、◎ で翌日の、◎ で前日のスケジュールが表示されます。

1週間分のスケジュールを表示する

1 待ち受け画面で ◉ 4

2 スケジュールを表示する週にカーソルを移動 メニュー 1 ► ◎ でスケジュールを選択 ◉

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

● **一週間に7件以上のスケジュールがあるときは**
保留 で前ページが、 留守録 で次ページが表示されます。

お知らせ

- スケジュール一覧では、スケジュールは開始時刻が早い順に表示されます。
- 週間スケジュール一覧では、◎ で次の週の、◎ で前の週のスケジュールが表示されます。

全スケジュールを表示する

登録されているスケジュールをすべて表示することができます。

1 待ち受け画面で ◉ 4

2 メニュー 2 ► ◎ でスケジュールを選択 ◉

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

● **7件以上のスケジュールがあるときは**
保留 で前ページが、 留守録 で次ページが表示されます。

通知されたスケジュールの内容を確認する

スケジュールの「通知設定」が「通知する」または「事前通知する」の場合、通知の時刻になるとバックライトが点灯し、スケジュールの詳細画面が表示され、設定に応じてスケジュール音やバイブレータが鳴動し、着信ランプのイルミネーションが点灯します。「イルミネーションを設定する」（☞7-10ページ）

1　スケジュールが通知される

音とバイブレータを途中で停止するには、ボタンを何か1つ押します。

2　スケジュールを確認したら、［クリア/マナー］または［PWR］

■未確認のスケジュールの内容を表示する

スケジュールが通知されたあと［クリア/マナー］または［PWR］を押さずに約30秒経過した場合などは、待ち受け画面に「スケジュール　○○件」と未確認のスケジュール件数が表示され、画面上部に「［アイコン］」が表示されます。
未確認のスケジュールは次の手順で内容を確認することができます。

1　待ち受け画面で◉

未確認のスケジュールのうち、一番日付の古いスケジュールの一覧画面が表示され、スケジュールの内容を確認できます。

2　［クリア/マナー］

カレンダーが表示されます。

3　［クリア/マナー］

待ち受け画面に戻ります。未確認スケジュールが残っている場合は、「スケジュール　○○件」と「［アイコン］」が表示されるので、手順1、2を繰り返して未確認スケジュールを確認してください。

お知らせ

- 通知設定の日時が同じで開始時刻が同じ場合、終了時刻の早いほうのみ通知され、通知されなかったスケジュールは未確認スケジュールとなります。
- 通知設定の日時が同じで開始・終了時刻が同じ場合、後で登録したほうのみ通知され、通知されなかったスケジュールは未確認スケジュールとなります。
- 機能ロックで「スケジュール」がONに設定されている場合、通知時刻になるとスケジュールの詳細画面ではなく、「スケジュール通知（ロック中です）」と表示されます。

登録件数を確認する

1　待ち受け画面で◉［4］

2　［メニュー］［6］

スケジュール登録件数が表示されます。［クリア/マナー］でカレンダー画面に戻ります。

スケジュールの内容を変更する

登録されたスケジュールの内容を変更できます。また、登録済みのスケジュールをもとにして、新たなスケジュールを作成することもできます。

1　待ち受け画面で◉［4］

2　変更するスケジュールの日付にカーソルを合わせ◉ ► ◎で変更するスケジュールを選択 ► ［メニュー］［1］

● **［2］（コピー&編集）を押すと**
コピーされたスケジュールが表示されるので、必要に応じて各項目を編集して［ソフトキー］（登録）で登録します。

3　◎で変更する項目を選択◉ ►内容を編集◉ ► ［ソフトキー］

スケジュールが変更され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- 手順2の代わりに、◎で変更するスケジュールを選択して◉を押し、［ソフトキー］（編集）を押して変更することもできます。

スケジュールを削除する

登録したスケジュールを削除できます。

1　待ち受け画面で◉［4］

2　削除するスケジュールの日付にカーソルを合わせ◉ ► ◎で削除するスケジュールを選択

3　［メニュー］ ► ［3］～［5］のいずれか

● **［3］（一件削除）を押すと**
選択したスケジュール1件だけを削除します。

● **［4］（選択削除）を押すと**
その日のスケジュールの画面が表示されるので、◎で削除するスケジュールを選択して◉（チェック）を押します。スケジュールの先頭に「☑」が付きます。チェックを

外すときは、再度◉（チェック）を押します。
全件選択する場合は、[メニュー][1]（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、[メニュー][2]（全件解除）を押します。
削除するスケジュールの選択を終えたら[削除]（削除）を押します。

● [5]（当日全件削除）を押すと
その日のすべてのスケジュールを削除します。

4 ◎で「Yes」を選択◉

スケジュールが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 週間スケジュール一覧の場合は、[メニュー]（メニュー）を押し、サブメニューで[5]（今週全件削除）を押すと、1週間分のスケジュールが全件削除されます。「1週間分のスケジュールを表示する」（☞7-21ページ）

前日までのスケジュールを全件削除する

前日までのスケジュールを全件削除できます。

1 待ち受け画面で◉[4]

2 削除するスケジュールの日付にカーソルを合わせ[メニュー][7]

3 ◎で「Yes」を選択◉

前日までのスケジュールが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 全スケジュールの一覧でも、前日までのスケジュールを削除することができます。全スケジュール一覧でスケジュールを選択し、[メニュー]（メニュー）を押してサブメニューで[5]（前日まで削除）を押します。
- 前日までのスケジュールを全件削除しても、休日の設定は削除されません。「休日を設定する」（☞7-21ページ）
- 前日とは、カレンダー表示でカーソルがある日付の前日を指します。

スケジュールを全件削除する

登録したスケジュールを全件削除することができます。

1 待ち受け画面で◉[4]

2 [メニュー][8] ► 暗証番号認証を行う

3 ◎で「Yes」を選択◉

すべてのスケジュールが削除され、「削除しました」と表示されます。
「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

お知らせ

- 全スケジュールの一覧でも、全件削除ができます。全スケジュール一覧で[メニュー]（メニュー）を押し、サブメニューで[6]（全件削除）を押します。
- スケジュールを全件削除しても、休日の設定は削除されません。「休日を設定する」（☞7-21ページ）

目覚ましを利用する

指定した日時に目覚ましを鳴らすことができます。目覚ましが鳴るときには着信ランプのイルミネーションも点灯します。「イルミネーションを設定する」（☞7-10ページ）　目覚ましを止めても約5分後に再び鳴らすスヌーズ機能もあります。目覚ましは3件登録できます。

1　待ち受け画面で◉ 8 2

2　◎で登録する場所を選択 ► で「ON」に切り換え◉ ► 1 ～ 7 のいずれかを押し、設定を行う

どの項目からでも設定できます。
次の項目が設定できます。

- **1（時刻）（☞同じページ内です。）**
- **2（曜日設定）（☞同じページ内です。）**
- **3（目覚まし音）（☞同じページ内です。）**
- **4（音量）（☞同じページ内です。）**
- **5（バイブ）（☞同じページ内です。）**
- **6（鳴動時間）（☞7-25ページ）**
- **7（スヌーズ）（☞7-25ページ）**

3　必要に応じて各項目を設定 ►

目覚ましが登録され、「登録しました」と表示されます。
本機能を設定すると、待ち受け画面に「 」が表示されます。

- **目覚ましが鳴ったときに音を止めるには**
  いずれかのボタンを何か1つ押します。目覚ましの音や振動が停止します。また、ボタンを何も押さなくても、設定した鳴動時間が経過すると停止します。

■ 1（時刻）

目覚ましを鳴らす時刻を設定できます。

1　0 ～ 9 で時刻を入力し◉

00:00～23:59までで入力できます。
◎で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

■ 2（曜日設定）

目覚ましを鳴らす曜日を設定できます。

1　2

- **一度だけ目覚ましを鳴らすには**
  1（一度きり）を押します。曜日には関係なく、一度だけ動作する設定になります。

2　◎で曜日を選択◉ ►

■ 3（目覚まし音）

目覚ましの音を設定できます。

1　1 または 2

- **1（固定サウンド）を押すと**
  固定サウンドの中から目覚まし音を選択します。◎で目覚まし音を選択し、◉を押します。
- **2（データフォルダ）を押すと**
  データフォルダの中に保存されているサウンドデータの中から、目覚まし音を選択します。データフォルダにサウンドデータが保存されていなければ、この項目は選択できません。「全データ表示」「サウンド」「録音」「ユーザデータ」または「その他」を選択します。◎で目覚まし音を選択し、◉を押します。
- **メロディを聞くには**
  ◎でメロディを選択して（再生）を押すと、メロディが再生されます。この場合、で次のメロディ、で前のメロディを再生します。再生を終了するには、（停止）または を押します。
- **音量を調節するには**
  メロディ再生中に、◎で音量の調節ができます。

■ 4（音量）

目覚ましの音量を設定できます。

1　◎で音量のレベルを選択◉

◎：音量レベルが上がります。
◎：音量レベルが下がります。
STEP ▲：音量レベルが「VOL.1」から「VOL.5」の順で5秒ごとに1レベルずつ上がり、その後「VOL.5」の音量が継続されます。
STEP ▼：音量レベルが「VOL.5」から「VOL.1」の順で5秒ごとに1レベルずつ下がり、その後「VOL.1」の音量が継続されます。

- **音量を確認するには**
  （再生）を押すと、設定したメロディが選択中の音量で再生されます。再生を停止するには、（停止）を押します。

■ 5（バイブ）

目覚ましのバイブレータのパターンを設定できます。バイブレータには6つのパターンがあります。

1　[1] ～ [7] のいずれか

◎でパターンを選択すると、それぞれのバイブレータのパターンを確認できます。

- **[6]（バイブ後サウンド鳴動）を押すと**
  目覚ましの設定時刻にバイブレータが動作し、約10秒後に目覚まし音も鳴ります。
- **バイブレータの設定を解除するには**
  バイブレータ設定時に、[7]（OFF）を押します。

■ [6]（鳴動時間）

目覚ましの音やバイブレータの鳴動時間を設定できます。

1　[0] ～ [9] で鳴動時間を入力◉

1秒～60秒までで入力できます。◎で入力したい箇所にカーソルを移動できます。鳴動時間が設定されます。

■ [7]（スヌーズ）

設定した時間に目覚ましが鳴ったあと、約5分間隔で5回まで目覚ましを鳴らすことができます。

1　[1]

- **スヌーズの設定を解除するには**
  スヌーズ設定時に、[2]（OFF）を押します。
- **目覚ましが鳴ったあとに音や振動を止めるには**
  スヌーズ中の目覚まし音や振動は、いずれかのボタンを何か1つ押すと一時的に止められます。[クリア/マナー] または [PWR] を押すと、「スヌーズを解除しますか？」と表示されます。この場合、「Yes」を選択して◉を押すと、スヌーズが解除され、目覚まし音の繰り返しが停止します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「時刻」は「0:00」、「曜日設定」は「一度きり」、「目覚まし音」は「アラーム2」、「音量」は「VOL.3」、「バイブ」は「パターン3」、「鳴動時間」は「30秒」、「スヌーズ」は「OFF」に設定されています。
- マナーモードやオートサイレントモードを設定しているときは、それらのモードが有効になります。
- 目覚ましを2件以上設定していて、設定時刻が重なるときは、設定時刻の遅いほうが優先されます。先に鳴っていた目覚ましは、次の目覚ましが鳴った時点で、スヌーズも含めて停止します。3件の目覚ましの設定時刻が同時のときは、「目覚まし1」が優先されます。
- 通話中に設定時刻になった場合は、通話終了後に目覚まし音が作動します。
- 電源を切っているときに設定時刻になった場合は、目覚ましは鳴りません。

電卓を利用する

10桁までの足し算、引き算、掛け算、割り算ができます。

1　待ち受け画面で ◉ 8 1

電卓画面が表示されます。

2　各ボタンで計算式を入力する

各ボタンの機能は次のとおりです。

0 ～ 9：0～9（数字）
：足し算
：引き算
：掛け算
：割り算
◉：合計
：電卓を終了して元の画面に戻ります。数字入力中はボタンは「AC」（オールクリア）になります。
：小数点
：逆数切り替え
：＋／−切り替え
：クリア

3　◉

計算結果が表示されます。

お知らせ

- （小数点）を押したあと、小数点以下を入力する前に、を操作したときは、小数点入力がキャンセルされます。
- 計算結果が11桁以上になったときは、「ERROR」と表示され、計算できません。
- 計算中に、メールを受信したときや、スケジュールのアラーム時刻になったときなどは、それぞれの動作が優先され、計算は中止されます。

ICレコーダを利用する

音声の録音や再生ができます。また、録音した音声データをEメールに添付できます。

音声を録音する

1　待ち受け画面で ◉ 8 3

2　1

「録音優先モード設定」が「ON」の場合は、手順2のあとに「録音機能に入ると圏外状態となります　開始しますか？」と表示されるので、◎で「Yes」を選択し、◉を押してください。

3　◉

録音開始音が鳴り、録音が開始されます。画面には、録音時間と録音可能時間が「時間:分:秒」の形式で表示されます。

● **録音を中止するには**

クリア/マナー または PWR を押すと、「録音を中止しますか？」と表示されます。この場合、「Yes」を選択して ◉ を押します。

4　◉

録音停止音が鳴り、録音が停止します。本体へ保存中と表示されたあとに、「保存しました」と表示され、音声データが保存されます。

お知らせ

- オートサイレントモードまたはマナーモードのときは、録音開始音、録音停止音は鳴りません。
- 音声データの名前は、録音時の年月日時分となります。例えば、2007年1月23日4時56分の録音であれば、データ名は「0701230456」になります。
- 合計1000件まで保存することができます。
- 音声が十分な音量で録音できるように、マイクから近距離でお使いください。

保存先の容量が足りない場合

留守録音を設定していると、録音可能容量が足りなくなった場合、待ち受け画面に「 FULL 」が表示されます。この状態で音声データを録音しようとすると「空き容量が足りません　整理しますか？」と表示されます。不要なデータを整理する場合、「Yes」を選択して ◉ を押します。データ保存先のフォルダが表示されるので、不要なデータを削除してください。「留守録音を設定する」（☞2-48ページ）

録音優先モードを設定する

録音を電話着信、目覚まし、スケジュールの通知より優先するかどうかを設定することができます。

1　待ち受け画面で ◉ 8 3

2　3 ► 1 または 2

● **1（ON）を押すと**

録音が優先されます。録音前や録音中は圏外状態となり電話を受けることができません。目覚ましやスケジュール通知は、録音が終了したあとに鳴動します。

● **2（OFF）を押すと**

録音前や録音中でも、電話の着信、目覚まし、スケジュール通知が可能です。録音中だった場合は、録音は中断され、その時点までの録音データが自動的に保存されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

音声を再生する

1　待ち受け画面で ◉ 8 3

2　2

プレイリスト画面が表示されます。

：未再生のデータです。

：再生済みのデータです。

● **音声データを編集、削除するには**

（メニュー）を押すと、サブメニューが表示されます。タイトル名編集、Eメール添付、詳細情報、ソート、一件削除、選択削除、および全件削除の設定ができます。「音声データを編集する」（☞7-28ページ）

3　◎ で音声データを選択 ◉

選択した音声データの録音日時、データ名、録音時間が表示されます。

4 ◉

再生が開始されます。

- **停止をするには**
  クリア/マナー（■）を押すと、停止します。もう一度クリア/マナー（■）を押すと、手順2のプレイリスト画面に戻ります。
- **一時停止をするには**
  ◉（⏸）を押すと、一時停止します。再度、◉（▶）を押すと、続きから再生します。
- **早送りをするには**
  ◎（⏩）で10倍のスピードで早送りをします。再度、◎（⏩）で30倍のスピードになります。再度、◎（⏩）で360倍のスピードになります。もう一度、◎（⏩）で10倍のスピードに戻ります。早送り中に◉（▶）を押すと、続きから再生します。
- **巻き戻しをするには**
  ◎（⏪）で10倍のスピードで巻き戻しをします。再度、◎（⏪）で30倍のスピードになります。再度、◎（⏪）で360倍のスピードになります。もう一度、◎（⏪）で10倍のスピードに戻ります。巻き戻し中に◉（▶）を押すと、続きから再生します。
- **レシーバから音を聞くには**
  再生中に ☐（🎧）を押します。スピーカに切り替えるには ☐（🔊）を押します。
- **音量を調節するには**
  再生中に、◎（＋）または◎（－）で音量を調節します。

お知らせ

- 手順3の画面（再生前画面）や手順4の画面（再生中画面）では、保留/文字 で前の音声データ、A/a 留守録 で次の音声データに切り替えることができます。
- オートサイレントモードまたはマナーモードのときに、録音内容を再生しようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して◉を押すと、再生前の確認画面が表示されます。
- 早送り中や巻き戻し中は、音声は聞こえません。
- 再生中にイヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。

音声データを編集する

タイトル名を編集する

音声データの名前は、録音時の日時をもとに自動的に設定されますが、変更することもできます。

1 待ち受け画面で ◉ 8 3

2 2 ► ◎ で編集する音声データを選択 ► ☐ 1 ► タイトルを編集 ◉

Eメールに音声データを添付する

1 待ち受け画面で ◉ 8 3

2 2 ► ◎ で添付する音声データを選択 ► ☐ 2 ► Eメールを作成 ◉

「Eメールを新規に作成して送信する」（☞3-7ページ）、「ファイルを添付する」（☞3-8ページ）

詳細情報を表示する

音声データのファイル名、データサイズ、作成日時など詳細情報を表示することができます。

1 待ち受け画面で ◉ 8 3

2 2 ► ◎ で詳細情報を表示させる音声データを選択 ► ☐ 3

詳細情報が表示されます。「データの詳細情報を表示する」（☞7-48ページ）

音声データを並べ替える

1 待ち受け画面で ◉ 8 3

2 2 ► ☐ 4 ► 1 ～ 9 のいずれか

選択した順で音声データが並べ替えられます。

音声データを削除する

1 待ち受け画面で 8 3

2 2 ► ◎ で削除する音声データを選択

3 ☐ ► 5 ～ 7 のいずれか

- **5（一件削除）を押すと**
  選択した音声データ1件だけを削除します。

● 6（選択削除）を押すと

プレイリスト画面が表示されるので、◎で削除する音声データを選択して◉（チェック）を押します。音声データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度◉（チェック）を押します。
全件選択する場合は、✉ 1（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、✉ 2（全件解除）を押します。
削除する音声データの選択を終えたら ✎（削除）を押します。

● 7（全件削除）を押すと

すべての音声データを削除します。暗証番号認証を行います。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

4 ◎で「Yes」を選択◉

音声データが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 「削除中」と表示されているときに ⌒ を押すと、その時点までのデータを削除し、処理を中断します。
- 削除対象の音声データの中に、他の機能で設定しているデータが含まれている場合、設定データを削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して◉を押すと、設定データも含め選択したすべての音声データが削除されます。

メモ帳を利用する

メモ帳には、1件あたり全角5000文字までのメモを登録することができます。

メモを入力する

1 待ち受け画面で ◉ 8 4

2 ✓ ► 文字を入力 ◉ ► ファイル名を編集 ◉

メモが登録され「登録しました」と表示されます。

● **ファイル名について**

ファイル名には、メモの内容の先頭部分が自動的に表示されます。先頭部分が空行の場合は年月日時分がファイル名として表示されます。必要に応じてファイル名を編集してください。全角30文字（半角60文字）まで入力できます。

お知らせ

- 全角5000文字（半角10000文字）まで入力できます。「文字を入力する」（☞2-13ページ）
- 保存時に「空き容量が足りません」と表示されたときは、不要なデータを削除した後、保存することができます。

メモを表示する

登録したメモの内容を表示します。

1 待ち受け画面で ◉ 8 4

2 ◎ でメモを選択 ◉

メモの内容が表示されます。

お知らせ

- データフォルダで、「その他」フォルダに保存されているメモを表示することもできます（編集することはできません）。「テキストデータを開く」（☞7-43ページ）

メモを編集する

メモの内容やファイル名を編集します。

メモの内容を編集する

1 待ち受け画面で ◉ 8 4

2 ◎ で編集するメモを選択 ► ⌒ 1 ► メモの内容を編集 ◉

メモのファイル名を編集する

1 待ち受け画面で ◉ 8 4

2 ◎ で編集するメモを選択 ► ⌒ 2 ► ファイル名を編集 ◉

ファイル名が変更されます

Eメールにメモを添付する

1 待ち受け画面で ◉ 8 4

2 ◎ でEメールに添付するメモを選択 ► ⌒ 3 ► Eメールを作成 ◉

「Eメールを新規に作成して送信する」（☞3-7ページ）、「ファイルを添付する」（☞3-8ページ）

お知らせ

- 通話中はEメール添付は行えません。

メモを並べ替える

1 待ち受け画面で ◉ 8 4

2 ⌒ 4 ► 1 ～ 9 のいずれか

選択した順でメモが並べ替えられます。

メモを削除する

登録されているメモの削除ができます。

1　待ち受け画面で 8 4

2　◎で削除するメモを選択

3　メニュー ► 5 ～ 7 のいずれか

- **5（一件削除）を押すと**
  選択したメモ1件だけを削除します。
- **6（選択削除）を押すと**
  メモ帳画面が表示されるので、◎で削除するメモを選択して●（チェック）を押します。メモの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度●（チェック）を押します。
  全件選択する場合は、メニュー 1（全件選択）を押します。
  チェックをすべて外す場合は、メニュー 2（全件解除）を押します。
  削除するメモの選択を終えたら ✓（削除）を押します。
- **7（全件削除）を押すと**
  すべてのメモを削除します。暗証番号認証を行います。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

4　◎で「Yes」を選択 ●

メモが削除され、「削除しました」と表示されます。

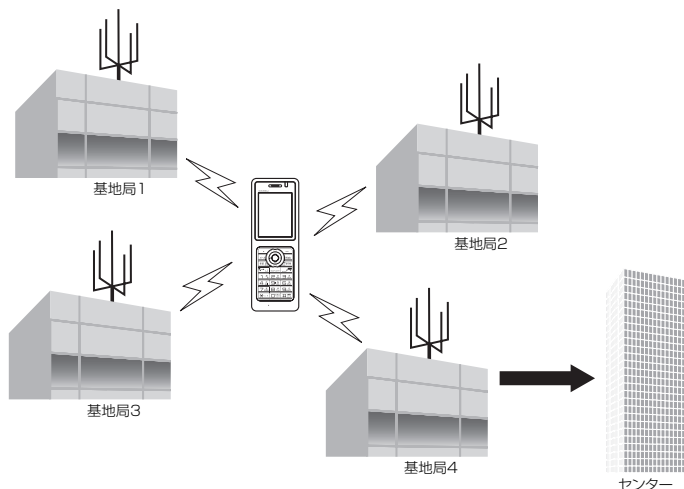
便利な使いかた

7

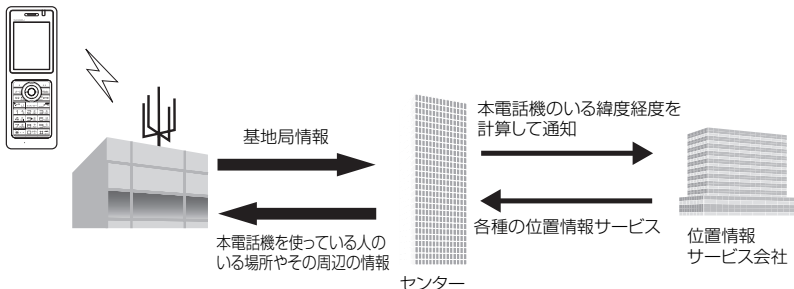
メモ帳を利用する

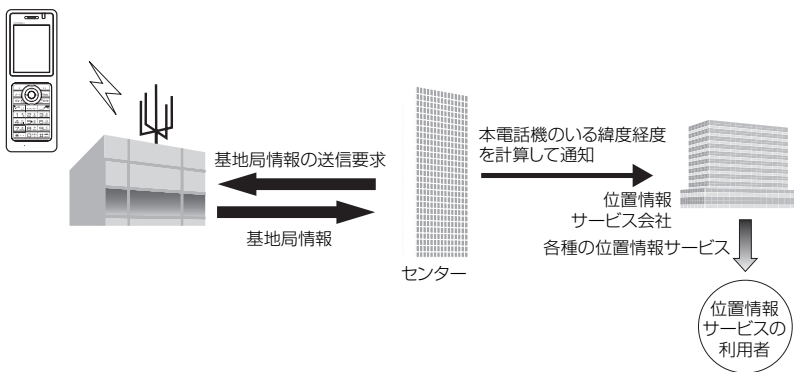
位置情報を利用する

位置情報通知機能の概要

位置情報通知機能とは、本電話機が受信している複数の基地局の基地局情報（識別番号と電波の強さ）をセンターに通知する機能です。位置情報通知機能には、発信型（自己位置通知機能）と着信型（位置検索機能）があります。

基地局の電波の強さで、基地局から本電話機までのおおよその距離がわかります。センターでは、それらをもとに本電話機の場所を計算します。
ウィルコムでは位置情報サービスを利用した「ウィルコム位置検索サービス」を提供しています。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）

■発信型機能（自己位置通知機能）

本電話機からセンターに基地局情報を通知し（発信）、自分のいる位置や周辺の情報などの各種位置情報サービスを得ることができます。
センターは受け取った基地局情報をもとに、本電話機のいる場所を算出し、位置情報サービス会社に通知します。この情報をもとに、位置情報サービス会社は各種情報サービスを提供します。

■着信型機能（位置検索機能）

センターからの問い合わせ（着信）に応じて、本電話機の基地局情報をセンターに通知し、第三者が本電話機の位置情報を知ることができる機能です。

発信型機能を利用する

発信型機能を利用するには、あらかじめ位置情報通知LIを「ON」に設定する必要があります。

位置情報通知LIを設定する

1 待ち受け画面で ◉ 5 6 3

2 1 ► 1 または 2

- **1（ON）を押すと**
  着信型機能をご利用になれます。「着信型機能を利用する」（☞同じページ内です。）の手順3以降へ進んでください。
- **2（OFF）を押すと**
  発信型機能のみをご利用になれます。位置情報を通知する準備は終了です。

お知らせ

- お買い上げ時には、「位置情報通知LI」は「OFF」、「自動位置情報送出設定」は「OFF」に設定されています。

位置情報を通知する

サブアドレス方式とユーザ・ユーザ方式の2種類の通知方法があります。

■サブアドレス方式で通知する

1 待ち受け画面で [発信] を約1秒以上押す

入力画面に「♥」が表示されます。

2 「ダイヤルボタン」でセンターの電話番号を入力 ► [発信] または ◉

センターに位置情報が通知され、位置情報通知機能を利用したサービスが利用できるようになります。

- **番号入力画面で ◎ を押すと**
  発信履歴、着信履歴、および番号メモを使用できます。また、[メニュー]（メニュー）を押すと、料金分計、電話帳引用、およびポーズを使用できます。
  「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞2-3ページ）
  「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞7-57ページ）
  「電話帳／ブックマーク／プロフィール／メモ帳から引用する」（☞2-23ページ）
  「ポーズを利用する」（☞2-5ページ）

■ユーザ・ユーザ方式で通知する

位置情報のみの登録と、ステータスコード付きの位置情報登録の2種類があります。

◆ 位置情報のみを登録するには

1 待ち受け画面で [*] を約1秒以上押す

[メニュー]（メニュー）を押すと、料金分計が使用できます。「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞7-57ページ）

2 [発信] または ◉

◆ ステータスコード付きの位置情報を登録するには

ステータスコードについては、ご利用の位置情報サービス提供会社にお問い合わせください。「位置情報通知機能の概要」（☞7-32ページ）
センターへ登録するステータスコードが「10」のときの設定方法を例にしています。

1 待ち受け画面で [*] 1 0 [*]

- **[メニュー]（メニュー）を押すと**
  ライトメール作成、184、186、料金分計、電話帳引用、およびポーズを使用できます。
  「ライトメールを作成して送信する」（☞3-28ページ）
  「発信者番号通知を設定する（番号通知）」（☞6-2ページ）
  「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞7-57ページ）
  「電話帳／ブックマーク／プロフィール／メモ帳から引用する」（☞2-23ページ）
  「ポーズを利用する」（☞2-5ページ）
- **[登録]（登録）を押すと**
  番号を電話帳へ登録できます。「電話帳に登録する」（☞2-28ページ）

2 [発信] または ◉

着信型機能を利用する

着信型機能を利用するには、あらかじめ位置情報通知LIを「ON」に設定し、自動位置情報送出設定を「ON」に設定する必要があります。

自動位置情報送出設定をする

通知許可番号、着信音設定、および自動送出機能の設定ができます。センターからの位置情報送出の問い合わせ（着信）に対して、自動的に位置情報を送出する設定です。

1 待ち受け画面で ◉ 5 6 3

2 1 1

3 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

便利な使いかた 7 位置情報を利用する

4 [1] ► [0]～[9]で通知許可番号を入力◉

20桁まで入力できます。
センターから位置情報送出の問い合わせ（着信）があったときに、センターへ自動的に位置情報を送出する際の番号設定です。自動的に送出しないようにするには、手順7を参照してください。通知許可番号が設定されていないときには、「自動送出機能」は選択できません。

● **通知許可番号を入力しなおすには**
手順5で通知許可パスワードを何も入力していない状態であれば、[クリア/マナー]を押すと手順3の自動位置情報送出設定画面に戻ります。
また、手順5で通知許可パスワードを入力しても◉を押す前であれば、[ソフトキー]（戻る）を押すと、手順3の自動位置情報送出設定画面に戻ります。手順4の操作から始めてください。

5 [0]～[9]で通知許可パスワードを入力◉

8桁まで入力できます。全桁0で設定することはできません。自動位置情報送出設定が「ON」になり、通知許可番号が設定され、「設定しました」と表示されます。本機能を設定すると、待ち受け画面に「[アイコン]」が表示されます。

引き続き「着信音設定」や「自動送出機能」の設定をするときは、手順6へ進んでください。
終了するときは、[PWR]を押します。

● **通知許可パスワードを修正するには**
許可パスワードを入力しても、◉を押す前に[クリア/マナー]を押すと、入力した数字が右端から消えます。

6 自動位置情報送出設定画面で[2][1]

「設定しました」と表示され、着信音が設定されます。

● **着信音を鳴らさなくするには**
[2]（OFF）を押します。着信音の設定が解除され、「解除しました」と表示されます。

7 自動位置情報送出設定画面で[3][1]

手順4で入力した通知許可番号で、センターより位置情報送出の問い合わせ（着信）があったときに、自動的に位置情報をセンターへ送出します。本機能を設定すると、待ち受け画面に「[アイコン]」が表示されます。

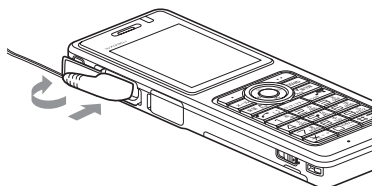
● **自動的に送出しないようにするには**
[2]（OFF）を押します。「解除しました」と表示され、待ち受け画面の「[アイコン]」が消えます。自動送出機能は一時的に解除されますが、通知許可番号や通知許可パスワードの設定は削除されません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「着信音設定」は「ON」、「自動送出機能」は「ON」に設定されています。

イヤホンマイクを利用する

イヤホンマイク端子の使いかた

イヤホンマイク端子には、市販のイヤホンマイク（平型プラグ）を接続してご利用いただけます。接続ケーブルは完全に装着してください。スイッチ付イヤホンマイクを使用すると、そのスイッチで電話を受けたり、切ったりすることができます。イヤホンはモノラル対応ですので、ステレオイヤホンを接続してもモノラルで再生されます。

ご注意（防水タイプWX330Jのみ）

- イヤホンマイクを装着していないときは、イヤホンマイク端子のキャップは完全に閉じてください。キャップを完全に閉じないと、十分な防水効果が得られず、本体内部への浸水の原因となります。

イヤホン装着時の鳴動先を設定する

イヤホンマイクを装着している状態で電話がかかってきたときに、鳴動先を電話機本体にするか、イヤホンマイクにするかを設定します。

1 待ち受け画面で ◉ 5 1

2 4 ► 1 または 2

イヤホン装着時の鳴動先が設定され、「設定しました」と表示されます。

- **1（本体）を押すと**

  電話がかかってきたときに、電話機本体が鳴動します。

- **2（イヤホン）を押すと**

  電話がかかってきたときに、イヤホンマイクが鳴動します。

お知らせ

- お買い上げ時には「本体」に設定されています。
- イヤホン装着時鳴動先の設定は、イヤホン装着時のときだけ有効です。

イヤホン自動応答を設定する

電話がかかってきたときに、イヤホンマイクで自動的に電話を受け取ることができるように設定できます。本機能を「ON」に設定すると、着信音が約５秒鳴った後に、イヤホンマイクで自動的に電話を受けることができます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 7

2 6 ► 1

イヤホン自動応答が設定され、「設定しました」と表示されます。

- **イヤホン自動応答を解除するには**

  イヤホン自動応答設定時に 2（OFF）を押します。イヤホン自動応答が解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 「留守録音設定」が０～５秒に設定されている場合は、「留守録音設定」が優先されます。
- 本機能を「ON」に設定していても、着信時にイヤホンマイクを装着した場合は、自動応答しません。
- 本機能を「ON」に設定していても、「安全運転モード」が設定されている場合、イヤホンマイクによる通話はできません。
- 本機能を「ON」に設定していると、着信時にイヤホンマイクを抜いても自動応答します。
- 着信音は鳴動先の設定に依存します。
- スイッチ付イヤホンマイクをご使用の場合は、イヤホンマイクのスイッチで電話を受けたり切ったりできます。

イヤホン装着時に電話を受ける

イヤホンマイクが完全に接続されているのを確認してください。

1　着信音が鳴る

- **着信時にイヤホンマイクを接続したときには**

  イヤホン自動応答が「ON」でも、イヤホンマイクで電話を受けることができません。本電話機のマイクとレシーバで通話してください。「イヤホン自動応答を設定する」(☞7-36ページ)

2　[通話]を押して通話

スイッチ付イヤホンマイクをご使用の場合は、イヤホンマイクのスイッチでも電話を受けることができます。

- **本電話機で通話中にイヤホンマイクを装着したときには**

  イヤホンマイクで通話を継続できます。

- **通話中にイヤホンマイクを抜いたときには**

  本電話機のマイクとレシーバで通話してください。
  イヤホンマイクを接続して通話中に、「ハンズフリー通話」または「スピーカ受話」を設定したときは、イヤホンマイクを抜いても設定した通話モードで通話を継続できます。「手に持たずに通話する（ハンズフリー通話／スピーカ受話）」(☞2-10ページ)

3　通話が終わったら[PWR]

スイッチ付イヤホンマイクをご使用の場合は、イヤホンマイクのスイッチでも電話を切ることができます。

お知らせ

- 着信時にイヤホンマイクを抜いたときは、イヤホン自動応答が「ON」であれば自動応答します。
- 着信時にイヤホンマイクが接続されていないときには、イヤホン自動応答が「ON」でもイヤホンマイクで電話を受けることができません。「イヤホン自動応答を設定する」(☞7-36ページ)
- 安全運転モードに設定されているときは、イヤホンマイクを接続していても通話できません。「安全運転モードを設定する」(☞2-44ページ)
- スイッチ付イヤホンマイク使用時に[保留]で通話を保留にしているときには、イヤホンマイクのスイッチを押すと通話が切れます。

データフォルダを活用する

データフォルダについて

インターネットやメールで入手した画像データ、録音した音声データなど、本電話機上のデータは「データフォルダ」と呼ばれる保管場所に置かれます。画像データを壁紙に設定したり録音データを再生したりといった、データに関する各種の操作はデータフォルダ上で行います。

フォルダ構成

データフォルダのフォルダ構成は次の表のとおりです。データの種類によりどのフォルダに保存されるかが決まっています。なお、一部のフォルダは、さらにサブフォルダに分かれています。

フォルダ名／ サブフォルダ名		内容
全データ表示		本体の全データを表示します。
画像		画像データ
サウンド		録音データ以外の音データ
録音	全データ表示	「録音」フォルダ内の全データを表示します。
	IC レコーダ	IC レコーダのデータ
	留守録音	留守録音のデータ
	通話録音	通話録音のデータ
その他		メモ帳のデータなど専用フォルダのないデータ
シークレット		データを暗号化し保存するフォルダ
ユーザ データ	全データ 表示	「ユーザデータ」フォルダ内の全データを表示します。
	フォルダ 1 ～フォルダ 10	自由に使用できるフォルダ。お買い上げ時は 10 個のサブフォルダが用意されています。「フォルダを管理する」(☞ 7-51 ページ)

お知らせ

- 本体（本電話機）にはデータとフォルダを合計 1000 件まで保存することができます。保存できる容量は、データフォルダ、Javaアプリケーションと Web 関連との合計で 8192K バイトまでです。

データのアイコン

データフォルダのデータのアイコンは、データの種類や状態を表します。画面上は表示されませんが、データ名の後ろには拡張子と呼ばれる3文字または4文字の文字列が付いており、これに基づいてデータの種類が判別され、表示するアイコンが決められます。

アイコン	データの種類（拡張子）
	ビットマップ画像データ（.bmp）
	JPEG 画像データ（.jpeg、.jpg）
	PNG 画像データ（.png）
	GIF 画像データ（.gif）
	フィールサウンドデータ（.dxm）
	MIDI データ（.midi、.mid）
	未再生のＩＣレコーダデータ（.3g2）
	再生済みのＩＣレコーダデータ（.3g2）
	未再生の留守録音データ（.3g2）
	再生済みの留守録音データ（.3g2）
	未再生の通話録音データ（.3g2）
	再生済みの通話録音データ（.3g2）
	その他の録音データ（.3g2）
	テキストデータ（.txt）
	LZH 形式圧縮データ（.lzh）
	ZIP 形式圧縮データ（.zip）
	Java アプリケーション（.jar）
	Java アプリケーション（.jad）
	Java アプリケーション（.url）
	HTML データ（.htm、.html）
	本電話機で使用できないデータ

データフォルダを表示する

1　待ち受け画面で◉ 2

データフォルダが表示されます。各フォルダの右側には、そのフォルダ内のデータ件数が表示されます。また、画面の下端には、現在表示しているデータフォルダの空き容量が表示されます。

2　でフォルダを選択 ◉

フォルダ内のデーター覧が表示されます。データはで選択することができ、選択しているデータのサイズが画面の上端に表示されます。

- **サブフォルダの中を表示するには**

  フォルダ内にサブフォルダがある場合は、手順2によりサブフォルダの一覧が表示されます。でサブフォルダを選択して◉を押すと、サブフォルダの内容が表示されます。

- **「シークレット」フォルダを表示するには**

  「シークレット」フォルダを表示するには、暗証番号認証が必要です。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

フォルダ内の表示形式について

データ一覧の表示形式には、データ名が表示される「一覧表示」と、データがタイル状に配置される「サムネイル表示」とがあります。サムネイル表示では、画像データは画像の内容が表示されるので、データを開かずに内容を確認することができます。

表示形式	一覧表示	サムネイル表示
カーソルの移動		
お買い上げ時のフォルダの表示形式	右記以外のフォルダ	「画像」フォルダ

表示を切り替えるには、サブメニューから「表示方法」を選択します。「表示方法」のメニュー番号は選択中のデータの種類によって異なります。画像データを選択している場合の手順は次のようになります。

1　データ一覧の画面で 8

画像データを活用する

画像データ（.bmp、.gif、.jpg、.jpeg、.png）の内容を確認したり画像データを壁紙に登録したりできます。
画像データはデータフォルダでは次のアイコンで表示されます。
：ビットマップ画像データ（.bmp）
：JPEG画像データ（.jpeg、jpg）
：PNG画像データ（.png）
：GIF画像データ（.gif）

画像データは、「画像」フォルダに保存されています。

画像データを表示する

1 待ち受け画面で ◉ 2

2 ◎ で「画像」フォルダを選択 ◉ ► ◎ で表示する画像データを選択 ◉

画像データが表示されます。幅が240dotを超えるか、高さが320dotを超える場合は、画面内に収まるよう画像データは縮小して表示されます。

- **前後の画像データを表示するには**
  ◎ を押すと前の画像データ、◎ を押すと次の画像データが表示されます。
- **表示を拡大/縮小するには**
  （ズーム）を押すとズームモードになり、表示倍率が を押すごとに拡大、 を押すごとに縮小されます。表示倍率の範囲は50%～200%です。（戻る）を押すと、通常の表示に戻ります。
- **等倍で表示するには**
  ◉（等倍）を押すと、倍率100%で画面中央に画像データが表示されます。ただし、高さまたは幅が640dotを超える画像データは、等倍では表示できません。
- **表示位置を移動するには（ズームモード、等倍表示時）**
  ◎ で画像データが上下左右に2dot移動します。そのまま約1秒以上押し続けると10dot移動します。さらに ◎ を押したままにしておくと、連続して画像データが移動します。

お知らせ

- 表示できる画像データのサイズは、縦1280dot、横960dotまでです。それを超えるサイズの画像データを表示しようとすると、エラーメッセージが表示されます。

画像データを壁紙に設定する

データフォルダにあるお好みの画像データを壁紙（画面の背景）として設定することができます。

1 待ち受け画面で ◉ 2

2 ◎ で「画像」フォルダを選択 ◉ ► ◎ で壁紙にする画像データを選択 ► 1

- **壁紙を解除するには**
  「壁紙を解除する」（☞7-41ページ）を参照してください。

お知らせ

- 画像データを表示した状態で （メニュー）を押し、1（壁紙設定）を押して壁紙に設定することもできます。
- 次の手順で壁紙を設定することもできます。
  ① ◉ 5 3 1 を押す
  ② 2（データフォルダ）を押す
  ③ ◎ で「画像」を選択し、◉ を押す
  ④ ◎ で画像データを選択し、◉ を押す

固定画像を壁紙に設定する

本電話機にあらかじめ用意されている固定画像を壁紙として設定します。

1 待ち受け画面で ◉ 5 3 1

2 1 ► ◎ で画像を選択 ◉

壁紙が設定され、「設定しました」と表示されます。

- **固定画像を名前の一覧に切り替えるには**
  （一覧）を押すと、名前の一覧に切り替わります。（サムネイル）を押すと、サムネイル表示に戻ります。
- **画像を画面いっぱいに表示して確認するには**
  （表示）を押すと、固定画像が画面いっぱいに表示されます。その状態から ◎ で前後の画像に切り替えることもできます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「Tile（Black）」に設定されています。
- 表示不可能な画像データを壁紙に設定すると、お買い上げ時の設定「Tile（Black）」となります。

Webページからダウンロードした画像を壁紙に設定する

コンテンツダイレクトアクセス機能によって、Webページに直接アクセスして画像データをダウンロードし、壁紙として設定できます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 3 1

2 4

「ダウンロード後に設定変更を行ってください」と表示され、◉（OK）を押すとWebページが表示されます。
Webページの画面に従って、画像データをダウンロードしてください。
「ファイルをダウンロードする」（☞4-18ページ）
ダウンロードした画像データは、データフォルダに保存されます。

3 画像を選択する

2(データフォルダ)を押し、◎で「画像」フォルダを選択し、◎でダウンロードした画像データを選択し、●を押します。
画像データが壁紙として設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 管理者ロックで「Web制限」がONに設定されている場合、4(公式サイトから探す)を選択すると「Web制限設定中です」と表示され、Webページを表示できません。
- 機能ロックで「メール/Web/Java™」がONに設定されている場合、4(公式サイトから探す)を選択すると、暗証番号による認証が必要になります。「暗証番号で認証を行う」(☞6-6ページ)
- 機能ロックで「データフォルダ」がONに設定されている場合、4(公式サイトから探す)を選択すると、「データフォルダの機能ロックを一時的に解除します　よろしいですか?」と表示されます。◎で「Yes」を選択し、●を押します。次の画面で暗証番号による認証が必要になります。「暗証番号で認証を行う」(☞6-6ページ)
- オフィスモードやグループモードで使用している場合、4(公式サイトから探す)を選択すると、「ネットワークが利用できません。」と表示され、Webページを表示できません。
- オンラインサインアップが未設定の場合、4(公式サイトから探す)を選択すると、オンラインサインアップの画面が表示されます。先にオンラインサインアップを設定してから、操作をやり直してください。
- ダイヤルアップの接続が「CLUB AIR-EDGE」ではない場合、4(公式サイトから探す)を選択すると、「ネットワークが利用できません。」と表示され、Webページを表示できません。
- コンテンツダイレクトアクセス機能は、Web 8 4を押して表示モードを「ケータイモード」に設定してから使用してください。

壁紙を解除する

設定されている壁紙を解除し、壁紙のない状態にします。

1 待ち受け画面で● 5 3 1

2 3

画像データを赤外線通信で送信する

画像データを赤外線通信で他の電話機に送信することができます。赤外線通信を行うには、受信側の操作も必要です。「赤外線通信を行う」(☞2-36ページ)

1 データフォルダで画像データを表示する

「画像データを表示する」(☞7-40ページ)

2 (メニュー) 4 ► 1 または 2

選択した送信速度でデータを送信します。

3 赤外線ポートを相手の赤外線ポートに向けて●

通常送信の場合は、相手が認識されるとデータが送信され、送信完了後に「画像データ送信完了」と表示されます。高速送信の場合は、相手を認識しなくてもデータが送信され、送信完了後に「画像データ送信完了」と表示されます。

お知らせ

- データ一覧から、画像データを選択して(メニュー) 5を押しても赤外線通信を行うことができます。
- 画像データでも、サイズが512Kバイトを超えるもの、コピーガードされているもの、「シークレット」フォルダ内のものは、赤外線送信を行うことはできません。
- 送信後は相手にデータが送られたことを確認してください。

サウンドデータを活用する

サウンドデータ(.dxm、.mid、.midi)を再生したり、着信音など各種機能に設定したりできます。
サウンドデータはデータフォルダでは次のアイコンで表示されます。
(feel):フィールサウンドデータ(.dxm)
(midi):MIDIデータ(.midi、.mid)

サウンドデータを聴く

データフォルダ内のサウンドデータを再生します。

1 待ち受け画面で● 2

2 ◎で「サウンド」フォルダを選択● ► ◎で再生するサウンドデータを選択● ► ●

サウンドデータが再生されます。再生は、停止または一時停止するまで繰り返されます。

● **停止するには**
クリア/マナー（■）を押します。

● **一時停止するには**
◉（⏸）を押します。再度、◉（▶）を押すと、続きから再生されます。

● **レシーバから音を聞くには**
再生中に［レシーバ］（レシーバ）を押します。スピーカに切り替えるには［スピーカ］（スピーカ）を押します。

● **音量を調節するには**
再生は音量３で開始されますが、再生中に◎で０～５の範囲で調節することができます。
◎：再生音量レベルが上がります。
◎：再生音量レベルが下がります。

お知らせ

- 再生中に、［保留/文字］で前の、［A/a/留守録］で次のサウンドデータを再生します。
- 再生画面の基本的な操作はICレコーダと共通です。ただし、早送り・巻き戻しはできません。また、データの年月日などの情報や再生の進行を表すインジケータも表示されません。「音声を再生する」（☞7-27ページ）
- オートサイレントモードまたはマナーモードのときに、サウンドデータを再生しようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して◉を２回押すと、再生を開始します。
- 再生中にイヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。
- .dxm形式のサウンドデータは64和音feelsoundのものだけが再生できます。他のfeelsoundは再生できません。
- 再生できるサウンドデータのサイズは350Kバイトまでです。

サウンドデータを各種機能に設定する

本電話機に内蔵されているデータフォルダ内のサウンドデータを、各種機能に設定できます。サウンドデータは、公衆着信音、Eメール着信音、ライトメール着信音、オフィス外線着信音、オフィス内線着信音、オフィス専用線着信音、保留音、目覚まし音、スケジュール音としても設定できます。いずれの場合も同じ手順で設定できます。

1　待ち受け画面で◉［2］

2　◎で「サウンド」フォルダを選択◉ ►◎で設定するサウンドデータを選択 ►［メニュー］［1］

3　［1］～［9］、［0］、［＊］のいずれか

選択した機能に対してサウンドデータが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- サウンドデータの再生画面で［メニュー］（メニュー）を押し、［1］（音設定）を選択して機能を設定することもできます。

録音データを活用する

録音データ（.3g2）を再生したり、着信音など各種機能に設定したりできます。「録音」フォルダは、「ICレコーダ」フォルダ、「留守録音」フォルダ、「通話録音」フォルダの３つに分かれていますが、保存されているデータの形式はどのフォルダも同じで、再生や着信音などへの設定も同じ操作で行うことができます。
録音データはデータフォルダでは次のアイコンで表示されます。
［IC］：未再生のＩＣレコーダデータ（.3g2）
［IC］：再生済みのＩＣレコーダデータ（.3g2）
［VOICE］：未再生の留守録音データ（.3g2）
［VOICE］：再生済みの留守録音データ（.3g2）
［TALK］：未再生の通話録音データ（.3g2）
［TALK］：再生済みの通話録音データ（.3g2）
［3g2］：その他の録音データ（.3g2）

お知らせ

- 「シークレット」フォルダ内にある未再生の録音データを再生した場合は、再生済みのファイル名およびアイコンにはなりません。
- 「その他の録音データ」として再生できるのは、出力サンプリングレートが8kHzで、モノラルでAACエンコーディングされた3GPデータ（拡張子.3g2）です。

録音データを聴く

「その他の録音データ」の再生方法を説明します。
「ICレコーダ」フォルダの録音データについては、「ICレコーダを利用する」（☞7-27ページ）を参照してください。
「留守録音」フォルダの録音データについては、「留守録音を設定する」（☞2-48ページ）を参照してください。
「通話録音」フォルダの録音データについては、「通話を録音する（通話録音）」（☞2-8ページ）を参照してください。

1　待ち受け画面で◉［2］

2　データフォルダで再生する録音データを選択◉ ►◉

録音データが再生されます。再生は、停止または一時停止するまで繰り返されます。

● **停止するには**
（■）を押します。

● **一時停止するには**
◉（⏸）を押します。再度、◉（▶）を押すと、続きから再生されます。

● **スピーカから音を聞くには**
再生中に（スピーカ）を押します。レシーバに切り替えるには（レシーバ）を押します。

● **再生中の録音データを削除するには**
・ICレコーダの場合：再生中に（メニュー）を押し、5（一件削除）を押します。
・留守録音、通話録音の場合：再生中に（削除）を押します。
「削除しますか？」と表示されるので◎で「Yes」を選択して◉を押します。

● **音量を調節するには**
再生は音量3で開始されますが、再生中に◎で0～5の範囲で調節することができます。
◎：再生音量レベルが上がります。
◎：再生音量レベルが下がります。

お知らせ

- 再生中に、で前の、で次の録音データを再生します。
- オートサイレントモードまたはマナーモードのときに、録音データを再生しようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して◉を押すと、再生を開始します。
- 再生中にイヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。

録音データを各種機能に設定する

本電話機に内蔵されているデータフォルダ内の録音データを、各種機能に設定できます。録音データは、公衆着信音、Eメール着信音、ライトメール着信音、オフィス外線着信音、オフィス内線着信音、オフィス専用線着信音、保留音、目覚まし音、スケジュール音としても設定できます。いずれの場合も同じ手順で設定できます。

1 待ち受け画面で◉2

2 ◎で「録音」フォルダを選択◉ ► ◎で「ICレコーダ」、「留守録音」、「通話録音」いずれかを選択◉ ► ◎で設定する録音データを選択 ► 1

3 1～9、0、＊のいずれか
選択した機能に対して録音データが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 録音データの再生画面で（メニュー）を押し、1（音設定）を選択して機能を設定することもできます。

テキストデータを開く

テキストデータ（.txt）の内容を表示することができます。テキストデータはデータフォルダでは次のアイコンで表示されます。
：テキストデータ（.txt）

1 待ち受け画面で◉2

2 開きたいテキストデータのあるフォルダを表示する
「データフォルダを表示する」（☞7-39ページ）

3 ◎でテキストデータを選択◉
テキストデータの内容が表示されます。

● **テキストに電話番号、メールアドレス、URLが含まれているときは**
テキストデータ中の電話番号、メールアドレス、URLは、◎で順に選択していくことができます。これらを選択した状態で◉を押すと、以下の機能を行うことができます。
電話番号：選択されている電話番号に電話をかけることができます。
メールアドレス：選択されているメールアドレスあてにEメールを作成して送信することができます。
URL：選択されているURLのWebページに接続します。

● **前後のページを表示するには**
で前のページ、で次のページが表示されます。

圧縮データを開く

LZH形式またはZIP形式で圧縮されたデータを展開し、圧縮前の状態に戻して別のデータとして保存します。圧縮されたデータも削除されずに残ります。
展開することができる圧縮データは、データフォルダでは次のアイコンで表示されます。
：LZH形式圧縮データ（.lzh）
：ZIP形式圧縮データ（.zip）

1 待ち受け画面で◉ 2

2 開きたい圧縮データのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞7-39ページ）

3 ◎で「圧縮データ」を選択◉

4 ◎で「Yes」を選択◉

展開が完了すると、「展開しました」と表示されます。展開されたデータは元データと同じフォルダに保存されます。

お知らせ

- 圧縮データの展開によって空き容量が不足する場合は、展開が中止されます。
- パスワードの設定された圧縮データは展開できません。
- コピーガードされた圧縮データは展開できません。

HTMLデータを開く

HTMLデータ（.htm、.html）の内容を表示することができます。HTMLデータは、データフォルダでは次のアイコンで表示されます。
：HTMLデータ（.htm、.html）

1 待ち受け画面で◉ 2

2 開きたいHTMLデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞7-39ページ）

3 ◎でHTMLデータを選択◉

ブラウザが起動し、HTMLデータの内容が表示されます。

お知らせ

- ブラウザの使用方法については、「ブラウザの各種機能を設定する」（☞4-20ページ）を参照してください。

Javaアプリケーションを活用する

Javaアプリケーションをインストールする

データフォルダにダウンロードしたJavaアプリケーションをインストールします。
Javaアプリケーションは、データフォルダでは次のアイコンで表示されます。インストールするときは を開いてください。
：Javaアプリケーション（.jar）
：Javaアプリケーション（.jad）
：Javaアプリケーション（.url）

1 待ち受け画面で◉ 2

2 開きたいJavaアプリケーションのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞7-39ページ）

3 ◎でJavaアプリケーション（ ）を選択◉

4 ◎で「Yes」を選択◉

インストールが終了すると、「インストールが完了しました」と表示されます。

お知らせ

- インストールしたJavaアプリケーションを実行する方法については、「Javaアプリケーションを実行する」（☞7-45ページ）を参照してください。
- インストールしたJavaアプリケーションは、本電話機の電源を切っても消えません。
- Javaアプリケーションのインストール時にはjvinstall.txtというファイルが生成され、インストール終了後に自動的に削除されます。インストールが失敗した場合にはjvinstall.txtが残ることがありますが、削除してもかまいません。
- ブラウザでWebサーバ上のJavaアプリケーション（.jad）をインストールすることもできます。Javaアプリケーションへのリンクを選択して◉を押すと、「インストールしますか？」と表示されるので、「Yes」を選択して◉を押します。これによりJavaアプリケーションがインストールされます。

WebページからJavaアプリケーションをダウンロードする

コンテンツダイレクトアクセス機能によって、Webページに直接アクセスしてJavaアプリケーションをダウンロードできます。

1 待ち受け画面で ◉ 8 5 2

2 Webページの画面に従って、Javaアプリケーションをダウンロードする

「Javaアプリケーションをダウンロードする」（☞4-19ページ）

Javaアプリケーションのダウンロード、保存、インストールが行われます。

お知らせ

- 管理者ロックで「Web制限」がONに設定されている場合、2（公式サイトから探す）を選択すると「Web制限設定中です」と表示され、Webページを表示できません。
- 機能ロックで「メール/Web/Java™」がONに設定されている場合、待ち受け画面で ◉ 8 5 を選択すると、暗証番号による認証が必要になります。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）
- 機能ロックで「データフォルダ」がONに設定されている場合、待ち受け画面で ◉ 8 5 を選択すると、「データフォルダの機能ロックを一時的に解除しますよろしいですか？」と表示されます。◎ で「Yes」を選択し、◉ を押します。次の画面で暗証番号による認証が必要になります。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）
- オフィスモードやグループモードで使用している場合、2（公式サイトから探す）を選択すると、「ネットワークが利用できません。」と表示され、Webページを表示できません。
- オンラインサインアップが未設定の場合、2（公式サイトから探す）を選択すると、オンラインサインアップの画面が表示されます。先にオンラインサインアップを設定してから、操作をやり直してください。
- ダイヤルアップの接続が「CLUB AIR-EDGE」ではない場合、2（公式サイトから探す）を選択すると、「ネットワークが利用できません。」と表示され、Webページを表示できません。
- コンテンツダイレクトアクセス機能は、Web 8 4 を押して表示モードを「ケータイモード」に設定してから使用してください。

Javaアプリケーションを実行する

インストールされているJavaアプリケーションを実行します。

1 待ち受け画面で ◉ 8 5 1

Java™管理画面に、インストールされているアプリケーションとフォルダが表示されます。

：フォルダ

：Javaアプリケーション（アプリケーション独自のアイコンで表示されるものもあります）

- **フォルダを開くには**
  ◎ でフォルダを選択し、◉ を押すと、フォルダが開いて内容が表示されます。

2 ◎ で実行するJavaアプリケーションを選択 ◉

お知らせ

- お買い上げ時には、プリセットアプリ3件があらかじめインストールされています。

Javaアプリケーションを管理する

■フォルダを作成する

新しくフォルダを作成します。

1 待ち受け画面で ◉ 8 5 1

2 ⌒ 1 ► フォルダ名を入力 ◉

フォルダが作成され、「作成しました」と表示されます。

お知らせ

- Java™管理画面に表示されるフォルダは、Java™の動作環境内だけで使用する仮想的なフォルダです。データフォルダに表示されるフォルダとは異なります。
- 作成したフォルダ内にさらにフォルダを作成することはできません。

■フォルダ名を変更する

Java™管理画面のフォルダ名を変更します。

1 待ち受け画面で ◉ 8 5 1

2 ◎ でフォルダを選択 ► ⌒ 3 ► フォルダ名を編集 ◉

フォルダ名が変更され、「変更しました」と表示されます。

■Javaアプリケーションを移動する

Javaアプリケーションを別のフォルダに移動します。

1 待ち受け画面で ◉ 8 5 1

2 ◎ で移動するJavaアプリケーションを選択 ► ⌒ 2 ► ◎ で移動先フォルダを選択 ◉

Javaアプリケーションが移動し、「移動しました」と表示されます。

■Javaアプリケーションを更新する

インストールされているJavaアプリケーションをインターネット上の最新のバージョンに更新します。

1 待ち受け画面で◉ 8 5 1

2 ◎で更新するJavaアプリケーションを選択 ► ⌒ 3

3 ◎で「Yes」を選択◉

インターネット上の最新バージョンが確認され、インストールを確認するメッセージが表示されます。

4 ◎で「Yes」を選択◉

更新が完了すると、「アップデートを完了しました。アプリケーションを起動しますか？」と表示されます。

■Javaアプリケーションを一件削除する

インストールされているJavaアプリケーションを削除します。

1 待ち受け画面で◉ 8 5 1

2 ◎で削除するJavaアプリケーションを選択 ► ⌒ 4

3 ◎で「Yes」を選択◉

Javaアプリケーションが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- Javaアプリケーションの種類により、手順3の後にさらに確認のメッセージが表示される場合もあります。削除してよければ◎で「Yes」を選択し、◉を押して処理を続行してください。

■フォルダを一件削除する

Java™管理画面に表示されるフォルダを一件削除します。フォルダ内にJavaアプリケーションがある場合は削除できないので、あらかじめそのフォルダ内のJavaアプリケーションを削除しておいてください。「Javaアプリケーションを一件削除する」（☞同じページ内です。）

1 待ち受け画面で◉ 8 5 1

2 ◎で削除するフォルダを選択 ► ⌒ 2

3 ◎で「Yes」を選択◉

フォルダが削除され、「削除しました」と表示されます。

■Javaアプリケーションとフォルダを全件削除する

本電話機にインストールされているJavaアプリケーションとJava™管理画面に表示されるフォルダをすべて削除します。

1 待ち受け画面で◉ 8 5 1

2 ⌒ ► Javaアプリケーションを選択しているときは 5、フォルダを選択しているときは 4 ► 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

3 ◎で「Yes」を選択◉

Javaアプリケーションが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- Javaアプリケーションの種類により、手順3の後にさらに確認のメッセージが表示される場合もあります。削除してよければ◎で「Yes」を選択し、◉を押して処理を続行してください。

■Javaアプリケーションを並べ替える

現在表示しているフォルダ内のJavaアプリケーションやフォルダの表示順序を変更します。

1 待ち受け画面で◉ 8 5 1

2 ◎でいずれかのJavaアプリケーションを選択 ► ⌒ 6

3 ◎で並べ替え方法を選択◉

お知らせ

- フォルダの順序が変わるのは、「名前-昇順」と「名前-降順」だけです。なお、フォルダは常にJavaアプリケーションよりも上に表示されます。

■Javaアプリケーションの詳細情報を表示する

Javaアプリケーションのバージョンやサイズなどの情報を表示します。

1 待ち受け画面で◉ 8 5 1

2 ◎でJavaアプリケーションを選択 ► ⌒ 7

詳細情報画面にJavaアプリケーションの情報が表示されます。

■Javaアプリケーションのネットワーク接続について設定する

Javaアプリケーションからのネットワーク接続に対する許可のしかたを設定します。

1 待ち受け画面で ◉ 8 5 1

2 ◎で設定するJavaアプリケーションを選択 ► ⌒ 8 ◉

ネットワーク接続画面が表示されます。Javaアプリケーションからのネットワーク接続の許可をいつ確認するかを選択します。

1度だけ確認：最初の起動時に一度だけ確認します。
起動ごとに確認：起動するごとに確認します。
使用ごとに確認：使用するごとに確認します。
許可しない：ネットワーク接続を許可しません。

3 ◎で許可方法を選択 ◉ ► ⌒

ネットワーク接続の許可が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- Javaアプリケーションの種類により、ネットワーク接続の設定ができない場合もあります。

■システム情報を表示する

Javaシステムの使用しているメモリ容量とメモリの空き容量を表示します。

1 待ち受け画面で ◉ 8 5 1

2 ⌒ ► Javaアプリケーションを選択しているときは 9、フォルダを選択しているときは 5

システム情報画面に、使用中のメモリ容量（XXXX Byte使用）とメモリの空き容量（XXXX Byteフリー）が表示されます。

■Javaアプリケーションをショートカット登録する

インストールされているJavaアプリケーションをマイメニューやカスタムボタンに登録し、簡単に実行できるようにすることができます。

1 待ち受け画面で ◉ 8 5 1

2 ◎で登録するJavaアプリケーションを選択 ► ⌒ 0

3 1 または 2

以降、それぞれの登録操作を行います。
登録されると、「登録しました」と表示されます。

- **1（マイメニュー）を押すと**
  選択したJavaアプリケーションをマイメニューに登録します。「マイメニューに登録する」（☞2-50ページ）

- **2（カスタムボタン）を押すと**
  選択したJavaアプリケーションをカスタムボタンに登録します。「カスタムメニューに登録する」（☞7-16ページ）

データを管理する

データを並べ替える

フォルダ内のデータの順序を、作成日時順、更新日時順、ファイルサイズ順、ファイル名順、ファイル種別順で並べ替えることができます。

1 待ち受け画面で ◉ 2

2 データを並べ替えるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞7-39ページ）

3 ⌒ ► ◎で「ソート」を選択 ◉ ► ◎で並び替える方法を選択 ◉

選択した順でデータが並べ替えられます。
この設定の結果は他のフォルダにも反映されます。
各設定の意味は次のとおりです。

作成日時順（新→古）：作成日時の新しい順
作成日時順（古→新）：作成日時の古い順
更新日時順（新→古）：更新日時の新しい順
更新日時順（古→新）：更新日時の古い順
ファイルサイズ順（小→大）：サイズの小さい順
ファイルサイズ順（大→小）：サイズの大きい順
ファイル名順（昇順）：ファイル名の文字コードの小さい順
ファイル名順（降順）：ファイル名の文字コードの大きい順
ファイル種別順：ファイルの種別順

- **ダイヤルボタンで選択するには**
  サブメニュー上の「ソート」やソート一覧画面では、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「作成日時順（新→古）」に設定されています。

データの詳細情報を表示する

データについての詳しい情報を表示します。
表示されるのは次の情報です。

情報	説明	データの種類		
		画像データ	サウンドデータ	その他のデータ
ファイル名	ファイル名（拡張子含む）	○	○	○
タイトル名	サウンドデータのタイトル	×	○	×
画像サイズ	画像の幅×画像の高さ	○	×	×
ファイルサイズ	データのサイズ（KB）	○	○	○
作成日時	データの作成された日時	○	○	○
更新日時	データに変更が加えられた日時	○	○	○
コピーガード	コピーガードの有無	○	○	○
設定	壁紙や着信音などの設定先。どの機能にも設定されていないときは「設定なし」と表示されます。	○	○	○
場所	データが実際にある場所	○	○	○

○：表示あり
×：表示なし

1 待ち受け画面で ◉ 2

2 詳細情報を表示するデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞7-39ページ）

3 ◎ で詳細情報を表示するデータを選択 ► メニュー ► ◎ で「詳細情報」を選択 ◉

● **ダイヤルボタンで選択するには**
サブメニュー上の「詳細情報」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

● **詳細情報の続きを表示するには**
◎ で詳細情報の続きが表示され、◎ で前に戻ります。

お知らせ

- ICレコーダ、留守録音、通話録音のデータには、ファイル名の前にも次の拡張子がつきます。

  ICレコーダのデータ　：`IU_ または `IA_
  留守録音のデータ　　：`MU_ または `MA_
  通話録音のデータ　　：`PU_ または `PA_

  「U」は未再生状態、「A」は再生済みであることを示します。

データを移動する

データをフォルダ間で移動します。

1 待ち受け画面で ◉ 2

2 移動元データのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞7-39ページ）

3 ◎ で移動するデータを選択 ► メニュー ► ◎ で「移動」を選択 ◉

● **ダイヤルボタンで選択するには**
サブメニュー上の「移動」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

4 1 ～ 3 のいずれか

● **1（1件移動）を押すと**
選択したデータ1件だけを移動します。

● **2（選択移動）を押すと**
データ選択画面が表示されるので、◎ で移動するデータを選択して ◉（チェック）を押します。データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。メニュー（メニュー）を押し、1（全件選択）や 2（全件解除）を押すと、全件まとめて選択したり、解除したりできます。
移動するデータの選択を終えたら ✓（移動）を押します。

● 3（全件移動）を押すと
フォルダ内の全データを移動します。

5 ◎で移動先のフォルダを選択 ◉

データが移動し、「移動しました」と表示されます。

お知らせ

- 移動先に同じ名前のデータがある場合は、移動するデータの名前の最後に自動的に番号が付加され、別のデータとして保存されます。
- データを移動する場合は、選択したすべてのデータが移動可能なフォルダしか選択できません。
- 移動先に「シークレットデータ」フォルダを選択した場合は、暗証番号による認証が必要になります。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

データを削除する

データフォルダ内のデータを削除します。

1 待ち受け画面で ◉ 2

2 削除するデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞7-39ページ）

3 ◎で削除するデータを選択 ► メニュー ► ◎で「一件削除」「選択削除」「全件削除」のいずれかを選択 ◉

● サブメニュー上に削除の項目がない場合
サブメニューが表示されている状態で、メニュー（次ページ）を押します。

● ダイヤルボタンで選択するには
サブメニュー上の削除の項目は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

●「1件削除」を選択すると
選択したデータ1件だけを削除します。

●「選択削除」を選択すると
データ選択画面が表示されるので、◎で削除するデータを選択して◉（チェック）を押します。データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度◉（チェック）を押します。メニュー（メニュー）を押し、1（全件選択）や2（全件解除）を押すと、全件まとめて選択したり、解除したりできます。
削除するデータの選択を終えたら ✓（削除）を押します。

●「全件削除」を選択すると
フォルダ内の全データを削除します。
暗証番号認証を行います。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

4 ◎で「Yes」を選択 ◉

データが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 壁紙や着信音など、各種機能に設定されているデータを削除する場合、削除確認メッセージが表示されます。「Yes」を選択して削除を実行すると、そのデータを使用した機能設定は解除され、お買い上げ時の設定に戻ります。

データ名を変更する

データの名前を変更します。データの名前は、録音データの場合は「タイトル名」で、他のデータの場合は「ファイル名」と呼びますが、変更の手順は同じです。

1 待ち受け画面で ◉ 2

2 名前を変更するデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞7-39ページ）

3 ◎で名前を変更するデータを選択 ► メニュー ► ◎で「ファイル名編集」（「タイトル名編集」）を選択 ◉ ► ファイル名（タイトル名）を編集 ◉

ファイル名が変更され、「変更しました」と表示されます。

● ダイヤルボタンで選択するには
サブメニュー上の「ファイル名編集」（「タイトル名編集」）は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

● 文字の入力方法について
「文字を入力する」（☞2-13ページ）

お知らせ

- ファイル名（タイトル名）の先頭に「`」と「$」を使用することはできません。
- ファイル名（タイトル名）の中に「；，￥ /：＊？" < > ｜」を使用することはできません。
- ファイル名の長さは半角60文字（全角30文字）までです。
- 留守録音データと通話録音データは、ファイル名を編集することはできません。

拡張子を変更する

データの拡張子を変更します。拡張子が変更できるのは、「その他」フォルダのデータだけです。

1 待ち受け画面で ◉ 2

2 「その他」フォルダを開く

「データフォルダを表示する」（☞7-39ページ）

3 ◎ で名前を変更するデータを選択 ► ⌐ ► ◎ で「拡張子編集」を選択 ◉ ► 拡張子を編集 ◉

「ファイルが開けなくなる可能性があります 拡張子を変更しますか？」と表示されます。

- **ダイヤルボタンで選択するには**
  サブメニュー上の「拡張子編集」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。
- **文字の入力方法について**
  「文字を入力する」（☞2-13ページ）

4 ◎ で「Yes」を選択 ◉

拡張子が変更され、「変更しました」と表示されます。

お知らせ

- 入力できる文字数は、半角1～4文字までです。
- 拡張子に使用できるのは、半角英字（小文字）、半角数字、半角記号です。
- 拡張子に「；，￥／：＊？"<>｜。「」、・゛゜」および半角スペースを使用することはできません。

データをEメールに添付する

データをEメールに添付して送信します。添付できるデータのサイズは最大350Kバイトです。JPEG画像データについては添付できるサイズに自動的に縮小することもできます。

1 待ち受け画面で ◉ 2

2 添付するデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞7-39ページ）

3 ◎ で添付するデータを選択 ► ⌐ ► ◎ で「Eメール添付」を選択 ◉

- **ダイヤルボタンで選択するには**
  サブメニュー上の「Eメール添付」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。
- **JPEG画像データの場合は**
  SXGA（1280 × 960）、VGA（640 × 480）、QVGA（320 × 240）のJPEG画像データの場合は、縮小サイズ指定のメニューが表示されます。
  1（サイズ変更なし）を押すと、データは縮小されません。ただし、データサイズが350Kバイトを超える場合は、1（サイズ変更なし）は選択できません。
  2（VGAに縮小）を押すと、データはVGA（640×480）サイズに縮小されます。
  3（QVGAに縮小）を押すと、データはQVGA(320×240)サイズに縮小されます。
  4（QQVGAに縮小）を押すと、データはQQVGA（160×120）サイズに縮小されます。
  縮小されるのは添付用のコピーで、元の画像データは縮小されません。

4 各項目を入力してEメールを送信する

「Eメールを新規に作成して送信する」（☞3-7ページ）

お知らせ

- 縮小後のデータサイズが350Kバイトを超える場合は、さらに「サイズオーバーです 縮小保存し添付しますか？」と表示されます。◎ で「Yes」を選択して ◉ を押し、3、4 で縮小サイズを選択してください。再縮小によっても350Kバイト以下にならない場合は、画像データはメールに添付されません。

データ保存時にデータを整理する

ダウンロードによる画像データを保存する際などに「空き容量が足りません 整理しますか？」と表示されることがあります。この場合は、不要なデータを削除して必要な空き容量を確保することによって操作を続けることができます。

1 「空き容量が足りません 整理しますか？」と表示される

2 ◎ で「Yes」を選択 ◉ ► ◎ でフォルダを選択 ◉ ► ◎ で削除するデータを選択 ◉

3 ◎ で「Yes」を選択 ◉

データが削除され、「削除しました」と表示されます。必要な空き容量が確保されれば、元の操作の続きに戻ります。まだ空き容量が不足している場合は、データ一覧の画面に戻るので、空き容量が確保できるまで続けます。

フォルダを管理する

フォルダを作成する

「ユーザデータ」フォルダの中に新しくフォルダを作成します。

1　待ち受け画面で◉2

2　「ユーザデータ」フォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞7-39ページ）

3　メニュー3 ► フォルダ名を入力◉

フォルダ一覧の最後に新しいフォルダが追加されます。

● 文字の入力方法について

「文字を入力する」（☞2-13ページ）

お知らせ

- フォルダ名の先頭に「.」と「`」と「$」を使用することはできません。
- フォルダ名の中に「；，￥／：＊？"<>｜」を使用することはできません。
- フォルダ名の長さは半角32文字（全角16文字）までです。
- 「ユーザデータ」フォルダの中に合計100個までフォルダを作成することができます。

フォルダを削除する

「ユーザデータ」フォルダに作成したフォルダを削除します。フォルダを削除すると、そのフォルダ内のフォルダやデータもすべて削除されます。

1　待ち受け画面で◉2

2　「ユーザデータ」フォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞7-39ページ）

3　◎で削除するフォルダを選択 ► メニュー4 ► 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

4　◎で「Yes」を選択◉

フォルダが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 「ユーザデータ」フォルダのフォルダ数が10件しか残っていない場合は、フォルダは削除されずフォルダ内のデータだけが削除されます。
- 「ユーザデータ」フォルダ以外のフォルダに上記の操作を行うと、フォルダは削除されずフォルダ内のデータだけが削除されます。

フォルダ名を変更する

「ユーザデータ」フォルダにあるフォルダの名前を変更します。それ以外のフォルダの名前は変更できません。

1　待ち受け画面で◉2

2　「ユーザデータ」フォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞7-39ページ）

3　◎で名前を変更するフォルダを選択 ► メニュー1 ► フォルダ名を編集◉

フォルダ名が変更され、「変更しました」と表示されます。

● 文字の入力方法について

「文字を入力する」（☞2-13ページ）

お知らせ

- フォルダ名の先頭に「`」と「$」を使用することはできません。
- フォルダ名の中に「；，￥／：＊？"<>｜」を使用することはできません。
- フォルダ名の長さは半角32文字（全角16文字）までです。

メモリの使用状況を見る

メモリの使用状況を帯グラフで表示します。

1　待ち受け画面で◉931

本体メモリの使用状況がKバイト単位で表示されます。

データフォルダ：データフォルダで使用している容量です。
Java™：Java™が使用している容量です。
Web：ブラウザのページメモで使用している容量です。
空き容量：使用されていない容量です。

お知らせ

- データフォルダを表示した状態でメニュー（メニュー）を押し、1（メモリ使用状況）を押してメモリ使用状況を表示することもできます。ただし、この場合は、「全削除」ボタンは表示されません。
- メールBOXの使用状況については、「メールBOXの使用状況を見る」（☞3-22ページ）を参照してください。

メモリの内容をすべて削除する（全削除）

メモリの全削除を行うと、データフォルダ内のデータはすべて削除され、フォルダ構成もお買い上げ時の状態に戻ります。Java™とページメモのデータも削除されます。

1 待ち受け画面で ◉ 9 3 1

メモリ使用状況が表示されます。

2 ⌒ ► 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

3 ◎で「Yes」を選択 ◉

データが削除され、「削除しました」と表示されます。

国際ローミングを利用する（国際ローミング）

ウィルコムに、別途国際ローミングサービスをお申し込みになると、本電話機を台湾やタイ、ベトナム、中国でも利用できるようになります。サービスの詳細については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）

台湾で使用するには

- 本電話機のローミングモードを「台湾」に切り替えます。「ローミングモードに切り替える」（☞同じページ内です。）
- ローミング用の電話番号を本電話機に登録しておくことができます。「台湾のローミング電話番号を登録する」（☞同じページ内です。）

タイまたはベトナム、中国で使用するには

- ローミング情報を登録します。「タイ／ベトナム／中国のローミング情報を登録する」（☞7-54ページ）
- 本電話機のローミングモードを「タイ」または「ベトナム」、「中国」に切り替えます。「ローミングモードに切り替える」（☞同じページ内です。）

ローミングモードに切り替える

台湾、タイ、ベトナムまたは中国で本電話機を使用するには、ローミングモードを各ローミング先に切り替えます。
タイ、ベトナムまたは中国に切り替えるには、あらかじめローミング情報を登録しておく必要があります。「タイ／ベトナム／中国のローミング情報を登録する」（☞7-54ページ）

1 待ち受け画面で ◉ 5 6

2 7 1 ► 1 ～ 5 のいずれか

1（日本/ウィルコム）を押すと
接続先を日本へ切り替えます。

2（台湾/大衆電信（FITEL））を押すと
接続先を台湾へ切り替えます。

3（タイ/true）を押すと
接続先をタイへ切り替えます。

4（ベトナム/VNPT）を押すと
接続先をベトナムへ切り替えます。

5（中国/中国 PHS）を押すと
接続先を中国へ切り替えます。

3 ◎ で「Yes」を選択 ◉

ローミングモードに切り替わり、「設定しました」と表示されます。
ローミングモードでは、待ち受け画面に「RM」が点灯します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「日本/ウィルコム」に設定されています。
- ローミングモードでは、次の機能はご利用になれません。
  - ・位置情報機能
  - ・安全運転モード（ネットワーク応答、ネットワーク応答＋留守電）
  - ・発信者番号付加機能（184、186）
  - ・非通知ガード
  - ・分計発信
  - ・ライトメール
  - ・完全消去＋初期化
- ローミングモードを切り替えると、本電話機の時刻は現地時間に合わせて自動的に調整されます。また、切り替えの際、60秒以内の時刻の誤差が生じます。ひんぱんに切り替えを行うと誤差が大きくなりますのでご注意ください。
- デュアルモードの場合はローミングモードの切り替えはできません。

台湾のローミング電話番号を登録する

台湾で使用する場合は、ローミング用の電話番号を忘れないように本電話機に登録します。登録したローミング用の電話番号は、待ち受け画面で ◉ 0 を押すと示されます。「プロフィールを表示する」（☞7-5ページ）
ローミング用の電話番号をお客様が確認するための機能です。本電話機にローミング用の番号を書き込む操作とは異なります。台湾、タイ、ベトナムまたは中国で本電話機を使用するには、ローミングモードを各ローミング先に切り替えます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 6

2 7 2 1 ► ローミング電話番号を入力 ◉

ローミング電話番号が登録され、「登録しました」と表示されます。

すでに登録済みのローミング電話番号を修正するには
クリア/マナー を押して登録されている電話番号を削除し、再度入力します。

お知らせ

- ローミング用の電話番号は、ウィルコムに国際ローミングサービスを申し込まれた際に、ウィルコムよりご案内いたします。

タイ／ベトナム／中国のローミング情報を登録する

タイ、ベトナムまたは中国で使用する場合は、以下のローミング情報を登録します。

●登録日時
●ローミング先PS-ID
●PS番号
●ローミング電話番号
●暗証番号

自動でローミング情報を登録する

ウィルコムにタイ、ベトナムまたは中国でのローミングサービスをお申し込みになると、ウィルコムからローミング登録用ライトメールが送信されます。ローミング登録用ライトメールを受信すると、ローミング情報は自動的に本電話機に登録されます。
ローミング登録用ライトメールは、自動的に保護設定になります。「メールを保護する」（☞3-19ページ）
海外にいてライトメールの受信ができないなど、ローミング情報を自動で登録できない場合は、手動でローミング情報を登録することもできます。

お知らせ

- ウィルコムからのローミング登録用ライトメールは、ローミング終了まで大切に保管してください。
- 受信したライトメールの保護件数は10件までです。すでにライトメールの保護件数が10件ある場合、ローミング登録用ライトメールは保護設定となりません。
- ローミング情報登録画面で、ローミング情報の内容を確認することもできます。

手動でローミング情報を登録する

海外にいてライトメールの受信ができないなど、ローミング情報を自動で登録できない場合は、以下の手順でローミング情報を登録します。

1　待ち受け画面で◉ 5 6

2　7 2 ► 2 ～ 4 のいずれか

3　2 ～ 5 を順に押して各情報を入力◉ ► ［メニュー］

ローミング情報が登録され、「登録しました」と表示されます。

- **2（ローミング先PS-ID）を押すと**
  ローミング先PS-IDを入力します。半角で9文字まで入力できます。
- **3（PS番号）を押すと**
  PS番号を入力します。半角で13文字まで入力できます。
- **4（ローミング電話番号）を押すと**
  ローミング電話番号を入力します。半角で32文字まで入力できます。
- **5（暗証番号）を押すと**
  暗証番号を入力します。半角で2文字まで入力できます。

お知らせ

- ローミング情報は、ウィルコムに国際ローミングサービスを申し込まれた際にウィルコムよりご案内いたします。
- ローミング電話番号は、待ち受け画面で◉ 0 を押して確認することができます。「プロフィールを表示する」（☞7-5ページ）
- ローミング情報を消去した場合は、タイ／ベトナム／中国でのご使用ができなくなりますのでご注意ください。

登録したローミング情報を削除する

登録した台湾、タイ、ベトナムまたは中国のローミング情報を削除します。

1　待ち受け画面で◉ 5 6

2　7 2 ► 1 ～ 4 のいずれかにフォーカスを合わわす

3　［メニュー］（削除）を押す

4　◎で「Yes」を選択◉

ローミング情報が削除され、「削除しました」と表示されます。

国際プリフィックス番号を簡単に付ける

ローミングモードでのご利用時に日本など、他の国や地域に電話をかけるときには、相手の国番号の前に「国際プリフィックス番号」を付ける必要があります。本電話機では、簡単な操作で国際プリフィックス番号を入力することができます。

ここでは日本に電話をかける場合の例で説明をします。

1 待ち受け画面で ✱ ✱ を押す

選択した国や地域で割り当てられた国際プリフィックス番号が表示されます。

2 相手の電話番号から先頭の「0」を除いた番号を入力

例えば、相手の番号が「070-1234 -XXXX」の場合、「701234XXXX」と入力します。

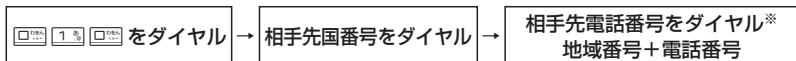
お知らせ

- 待ち受け画面で、相手の国番号と電話番号（先頭の0を除く）を入力してから、先頭に国際プリフィックス番号を付けることもできます。電話番号の入力後、（メニュー）を押して、1（国際プリフィックス）を押します。

国際電話をかける（ウィルコム国際電話サービス）

手続きなしで、本電話機から国際電話をかけることができます。
お申し込み手数料や月額料金は一切不要です。通話料だけでご利用いただけます。

相手先電話番号の前に、010と国番号を付けるだけで国際電話をかけることができます。相手先電話番号をダイヤルしたあとは、通常の電話のかけ方と同じです。

[0] [1] [0] をダイヤル	→	相手先国番号をダイヤル	→	相手先電話番号をダイヤル※ 地域番号＋電話番号

※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください。（一部の国と地域は除く）

例）ニューヨークの123-4567へかけるとき

010	→	1	→	212	→	123-4567
国際電話であることを示す番号		アメリカの国番号		ニューヨークの地域番号		相手の電話番号

お知らせ

- 国際電話の通話料は、30秒単位での課金となります。
- 国際電話料金（非課税）は、毎月ウィルコムご利用料金と合算してのご請求となります。
- 通話相手先の国や地域によっては、現地事業者の設備の都合により接続できない場合があります。
- 国際電話のご利用にあたっては、毎月のご利用限度額10,000円（非課税）が設定されています。超過した場合はライトメールでお知らせいたします。ご利用限度額の設定解除などを希望される場合は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

ウィルコムのサービスを利用する

料金分計サービスを利用する（有料）

料金分計サービスを使うと、通話料金の請求先を２箇所に分けられます。分計サービスを使わないときの通話料金は契約者の方（主計先）へ、分計サービスを使ったときの通話料金はあらかじめ登録された方（分計先）へ請求されます。
料金分計サービスを使うには、あらかじめお申し込みが必要です。
料金分計サービスを利用する場合は、公衆を含んだ待受モードに設定してください。「待受モードを切り替える（待受モード設定）」（☞8-2ページ）
なお、ライトメールや、フレックスチェンジ方式・パケット方式でのデータ通信、CLUB AIR-EDGEへの接続および国際ローミングモードでのご利用は、分計サービスの対象外です。
詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）

分計サービスを使って電話をかける

1　相手の電話番号を入力 ► [メール] [4]

画面上部に「 分計 」と表示されます。

2　◉ または [通話]

相手に電話がかかります。通話状態になると「 分計 」が消えます。

お知らせ

- 先に [通話] を押してから電話番号を入力する順で発信するときには、分計発信はできません。
- 分計発信は、「公衆」を含むモードに設定しているときに利用可能です。ただし、デュアルモード（公衆＋オフィス）に設定しているときに、オフィスモードで発信したときは、分計発信ではなく通常の発信になります。
- 一度分計発信を設定した後に、分計発信を取りやめたい場合は、もう一度 [メール] [4] を押してください。分計発信の設定が解除され、画面から「 分計 」という表示が消えます。
- 「184」または「186」を付けて、分計発信することもできます。「通話ごとに発信者番号の通知／非通知を設定する」（☞2-3ページ）

発信履歴／着信履歴／メモから料金分計サービスを使って電話をかける

1　待ち受け画面から、◎ で発信履歴画面または着信履歴画面を表示する

2　必要に応じて、◎ で発信履歴画面／着信履歴画面／メモ画面を切り替える

3　◎ でかけたい電話番号を選択 ◉

「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞2-3ページ）

4　[メール] [4]

画面上部に「 分計 」と表示されます。

5　◉ または [通話]

相手に電話がかかります。通話状態になると「 分計 」が消えます。

電話帳から分計サービスを使って電話をかける

1　待ち受け画面で ◉ [6] [1]

電話帳の一覧画面が表示されます。◎ でも、同じ操作ができます。

2　電話をかける相手を選択 ◉

「電話帳を使って電話をかける」（☞2-31ページ）

3　[メール] [6]

画面上部に「 分計 」と表示されます。

4　◉ または [通話]

相手に電話がかかります。通話状態になると「 分計 」が消えます。

留守番電話サービスを利用する（有料）

すぐに電話に出られないときや、電源を切っているとき、また、サービスエリア外にいるときや通話中のときなどに、留守番電話センターが電話をかけてきた相手からのメッセージを預かります。
留守番電話サービスのご利用にはあらかじめお申し込みが必要です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）

■留守番電話センターに新しいメッセージがあるとき

公衆モードで待ち受け状態のときに、留守番電話センターにメッセージがあると、待ち受け画面に「 」と留守録がある旨表示されます。
リマインダーを「ON」に設定しているときは、着信ランプが点滅します。いずれかのボタンを押すと点滅は停止します。「着信ランプを設定する」(☞7-10ページ)

お知らせ

- 留守番電話サービスはライトメールなどの文字メッセージを受けることはできません。
- 留守番電話サービスは、着信転送サービスと同時にはご利用になれません。「着信転送サービスを利用する」(☞同じページ内です。)

留守番電話センターに保存されたメッセージを聞く

1 待ち受け画面で◉[5][5]

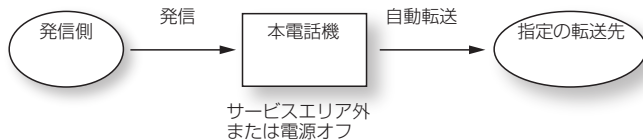
2 [6][1]

留守番電話センターにつながります。音声ガイダンスに従って操作してください。
メッセージがすべて再生、または消去されると、待ち受け画面の「 」の表示が消えます。

お知らせ

- 待受画面に「センター留守録あり」のポップアップが表示されているときに◉を押すか、または「＊9311」に電話をかけると、メッセージを再生する前に発信者番号をガイダンスでお知らせします。
- プッシュ音の出せる一般電話や公衆電話から「0077-780-931」に電話をかけてメッセージを聞くこともできます。この場合、留守番電話サービス契約時に指定した暗証番号が必要です。
- 留守番電話サービスについての詳細は、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(☞A-10ページ)

着信転送サービスを利用する

電源を切っているときやサービスエリア外にいるときや通話中にかかってきた電話を、あらかじめ指定した電話番号に転送できます。転送先の設定は、ウィルコムの電話機、一般電話、公衆電話などから行います。

着信転送サービスについては、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(☞A-10ページ)

お知らせ

- 日本国外の電話番号など、一部、転送先に指定できない電話番号があります。
- 転送先に発信側の番号、非通知理由などは表示されません。

高速化サービスを利用する（高速化サービス追加設定）（有料）

「高速化サービス」とは、ウィルコム経由のパケット通信時に、通信プロトコルや画像ファイルの最適化を行い、ブラウジングの体感通信速度を高速化させるサービスです。高速化サービスをお申し込みいただいている場合は、最適化後の画質と速度のバランスをお好みに応じて設定できます。
高速化サービスは、オンラインサインアップ画面から設定してください。「オンラインサインアップを行う」（☞3-6ページ）
高速化サービスについては、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）

1 待ち受け画面で Web または ◉ 3 ► 8

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

（メニュー）を押して、9（オプション）を押します。

2 7 8 ► ◎ で高速化のレベルを選択 ◉

次にデータをダウンロードするときから高速化サービスが有効になります。

● **「OFF」を選択すると**

ブラウザで高速化サービスを利用しない場合は、こちらを選択します。
なお、高速化サービスを利用している場合、設定を「OFF」にしても高速化サービスは解約されません。高速化サービスの解約は、オンラインサインアップ画面から設定してください。「オンラインサインアップを行う」（☞ 3-6ページ）

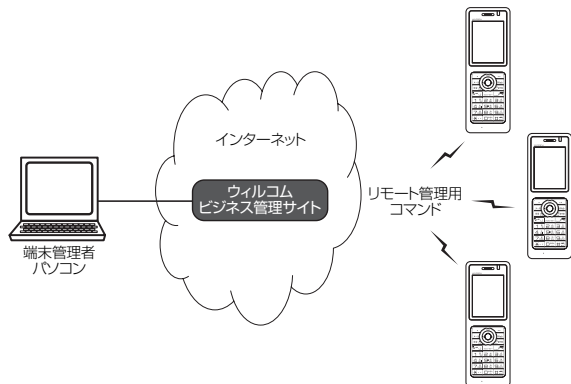
画質は選択した番号により、下記のようになります。

● **「1:画質重視」** ↑ **高画質**
● **「2」**
● **「3」**
● **「4:速度重視」**

お知らせ

- お買い上げ時には、「3」に設定されています。
- 高速化の効果は、Webページの内容や通信状況などにより異なることがあります。
- 「1:画質重視」～「4:速度重視」を選択した場合は、画像の表示設定が「オンデマンド表示」であっても表示領域外の画像も読み込まれます。「画像の表示方法を設定する（画像）」（☞4-20ページ）

ビジネス安心サービスを利用する（有料）

法人でまとめてWX330Jシリーズを利用するときなどの端末管理者は、本電話機の各種機能の設定、ソフトウェア更新、電話帳のダウンロードなどの操作をリモートで管理することができます。
端末管理者パソコンから、インターネットを経由してウィルコムビジネス管理サイトにアクセスし、リモート管理用のコマンドを送信することにより、本電話機をリモート管理することができます。
本電話機がリモート管理用のコマンドを受信すると、画面上に「設定更新中」と表示され、設定が終了すると「設定完了」と表示されます。
ビジネス安心サービスのご利用にはあらかじめお申し込みが必要です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）

端末管理者から出されるリモート管理用のコマンドは次のとおりです。

ソフトウェア更新　　　　：ソフトウェアを更新します。「ソフトウェアを更新する」（☞7-62ページ）
警告音鳴動　　　　　　　：最大音量の警告音を連続して鳴らします。停止させる場合は PWR を押します。
接続制限　　　　　　　　：電話の発信やメール、インターネットなどへの接続を制限します。
完全消去＋初期化　　　　：完全消去＋初期化を実行します。「設定をリセットする（リセット）」（☞6-23ページ）
オンラインサインアップ削除：オンラインサインアップ情報を削除します。「オンラインサインアップ情報を削除する」（☞3-6ページ）
オール設定リセット　　　：オール設定リセットを実行します。「設定をリセットする（リセット）」（☞6-23ページ）
電話帳ダウンロード　　　：端末管理者が許可した電話帳データをダウンロードします。

リモート管理項目一覧

管理項目	設定内容
ソフトウェア更新	ソフトウェア更新を起動して、本電話機のソフトウェアを更新します。
警告音鳴動	本電話機の警告音を最大音量で、連続して鳴らします。
音声発信制限	音声発信（公衆発信のみ）を許可または禁止します。 リモート管理用コマンドにより音声発信が禁止されると、音声発信（公衆発信）をしようとした際に「管理者ロック設定中です」と表示され、発信できなくなります。この場合、管理者ロック機能の「発信制限」の設定に関係なく、動作が制限されます。
ライトメール発信制限	ライトメール発信を許可または禁止します。 リモート管理用コマンドによりライトメール発信が禁止されると、ライトメールを送信しようとした際に「管理者ロック設定中です」と表示され、送信できなくなります。この場合、管理者ロック機能の「発信制限」の設定に関係なく、動作が制限されます。

管理項目	設定内容
E メール制限	E メール発信を許可または禁止します。 この設定により、管理者ロック機能の「E メール制限」が設定されます。リモート管理用コマンドにより「E メール制限」が設定されている場合、本電話機から管理者パスワードで認証し、設定を解除できます。
オンラインサインアップ制限	オンラインサインアップを許可または禁止します。 リモート管理用コマンドによりオンラインサインアップが禁止されると、オンラインサインアップを実行しようとした際に「許可されていません」と表示され、オンラインサインアップができなくなります。
Web 制限	Web 接続を許可または禁止します。 この設定により、管理者ロック機能の「Web 制限」が設定されます。リモート管理用コマンドにより「Web 制限」が設定されている場合、本電話機から管理者パスワードで認証し、設定を解除できます。
赤外線制限 USB 制限 IC レコーダ	赤外線通信、USB 接続、IC レコーダの機能を一括で許可または禁止します。
スケジュール 電話帳 プロフィール 発信履歴／着信履歴／番号メモ	スケジュール、電話帳、プロフィール、発信履歴／着信履歴／番号メモの機能を一括で許可または禁止します。
赤外線制限	赤外線通信を許可または禁止します。 この設定により、管理者ロック機能の「赤外線制限」が設定されます。リモート管理用コマンドにより「赤外線制限」が設定されている場合、本電話機から管理者パスワードで認証し、設定を解除できます。
USB 制限	USB 接続を許可または禁止します。 この設定により、管理者ロック機能の「USB 制限」が設定されます。リモート管理用コマンドにより「USB 制限」が設定されている場合、本電話機から管理者パスワードで認証し、設定を解除できます。
IC レコーダ	IC レコーダによる録音を許可または禁止します。 リモート管理用コマンドにより IC レコーダによる録音が禁止されると、IC レコーダで録音しようとした際に「許可されていません」と表示され、録音できなくなります。
スケジュール	スケジュールの使用を許可または禁止します。 リモート管理用コマンドによりスケジュールの使用が禁止されると、スケジュールを使用しようとした際に「許可されていません」と表示され、スケジュールが使用できなくなります。この場合、スケジュールの「通知設定」も動作しなくなり、アラームも鳴らなくなります。この場合、機能ロックの「スケジュール」の設定に関係なく、動作が制限されます。
電話帳	電話帳の使用を許可または禁止します。 リモート管理用コマンドにより電話帳の使用が禁止されると、電話帳を使用しようとした際に「許可されていません」と表示され、電話帳が使用できなくなります。この場合、機能ロックの「電話帳」の設定に関係なく、動作が制限されます。
プロフィール	プロフィールの表示を許可または禁止します。 リモート管理用コマンドによりプロフィールの表示が禁止されると、プロフィールを表示しようとした際に「許可されていません」と表示され、プロフィールが表示できなくなります。この場合、機能ロックの「プロフィール」の設定に関係なく、動作が制限されます。
発信履歴／着信履歴／番号メモ	発信履歴／着信履歴／番号メモの使用を許可または禁止します。 リモート管理用コマンドにより発信履歴／着信履歴／番号メモの使用が禁止されると、これらの機能を使用しようとした際に「許可されていません」と表示され、機能が使用できなくなります。この場合、機能ロックの「発着履歴／メモ」の設定に関係なく、動作が制限されます。
位置情報通知LI	「位置情報通知LI」の設定を、「ON」または「OFF」にします。
オートダイヤルロック設定	ダイヤルロック機能の「タイマ起動」の設定を、「ON」または「OFF」にします。
完全消去＋初期化	リセット機能の「完全消去＋初期化」を実行します。
オンラインサインアップ削除	「オンラインサインアップ」の「削除」を実行します。
設定リセット	リセット機能の「オール設定リセット」を実行します。

ソフトウェアを更新する

本電話機に内蔵されているソフトウェアがバージョンアップされた場合、インターネット経由で最新のソフトウェアに更新することができます。

ご注意

- ソフトウェア更新を安全に完了させるため、以下の点に注意してください。
  - ・ソフトウェア更新は、電池マーク表示が2本以上の状態で行ってください。電池マーク表示が1本以下の場合は、ソフトウェア更新は行われません。
  - ・ソフトウェア更新は電波の強い場所で行ってください。
  - ・ソフトウェア更新を実施している間は、手順に記載されている以外の操作を行わないでください。
- ソフトウェア更新は、ブラウザの表示モードをケータイモードに設定してから行ってください。
- ソフトウェア更新を行うときは、オンラインサインアップが必要です。オンラインサインアップは、ソフトウェア更新メニューから行うことができます。
- オンラインサインアップは、「管理者ロック」および「機能ロック」の設定による制限を受けます。そのため、オンラインサインアップができない場合には、必要に応じて「管理者ロック」および「機能ロック」の設定を解除してください。
- ソフトウェア更新は、無料で行えます。
- ソフトウェア更新中は、その他の操作は行えません。
- 「管理者ロック」の「Web制限」が設定されていても、ソフトウェア更新は行えます。
- 「機能ロック」が設定されていても、ソフトウェア更新は行えます。したがって、「メール/Web/Java™」制限中でもソフトウェアの更新は可能です。

1　公衆モードになっていることを確認する

モードの種別は、画面上部の表示によって区別できます。
オフィスモード、グループモードおよび転送モードではソフトウェア更新は行えません。デュアルモードの場合は、ソフトウェア更新時に自動的に公衆モードが選択されます。「利用するモードを選ぶ」(☞8-2ページ)

2　待ち受け画面で ◉ 5 9 2

更新サーバに接続されます。ソフトウェアのダウンロードが完了すると「バージョンアップを開始します　よろしいですか？」と表示されます。

3　◎ で「Yes」を選択 ◉

数回再起動後、ソフトウェア更新が完了し、待ち受け画面が表示されます。

お知らせ

- ソフトウェア更新中は、着信はできません。
- ソフトウェア更新はインターネット経由で行われますが、接続料金は課金されません。
- 機能ロックや管理者ロックでWeb機能をロックしていても、ソフトウェア更新は行えます。

8
モードの活用

利用するモードを選ぶ…………………………… 8-2
オフィスモードで使う…………………………… 8-3
グループモードで使う…………………………… 8-7

利用するモードを選ぶ

本電話機で利用する待受／通話モードを選択します。

待受モードについて

現在設定されている待受モードは、画面の左上端に表示されています。各モードと表示されるアイコンについて以下に説明します。

- **公衆モード**
  ウィルコムの公衆基地局（アンテナ）があるサービスエリアで、ウィルコムの電話機として使います。
- **オフィスモード**
  事業所用コードレスシステムの子機として使います。
- **グループモード**
  グループモード対応電話機どうしで、トランシーバとして使います。
- **転送モード**
  グループモード対応電話機どうしで、電話帳データやブックマークを送受信します。
- **公衆/オフィスモード(デュアルモード)**
  公衆モードとオフィスモードの２つのモードで同時に待ち受けます。
  は上側が公衆、下側がオフィスの状態を表示します。
- **公衆/グループモード(デュアルモード)**
  公衆モードとグループモードの２つのモードで同時に待ち受けます。

オフィスモード、および公衆/オフィスのデュアルモードで使うには、本電話機に対応した事業所用コードレスシステムが設置された環境で、本電話機が登録されている必要があります。グループモード、および公衆/グループのデュアルモードでグループ通話や電話帳/ブックマーク転送を行うには、本電話機１台に加えて、グループモードに対応した端末１台以上が必要です。

待受モードを切り替える（待受モード設定）

1　待ち受け画面で ◉ 5 6

2　1 ► 1 ～ 6 のいずれか

待受モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 以下のモードは、登録されているときのみ選択することができます。
  - ・オフィスモード､公衆/オフィスモード「オフィスモードで使う」(☞8-3ページ)
  - ・グループモード、公衆/グループモード、転送モード「グループモードで使う」(☞8-7ページ)
- 通話中は、待受モードの変更はできません。
- 待ち受け画面で ◉ を押しても､待受モード設定画面が表示されます。

オフィスモードで使う

オフィスシステム（PBX）に登録し、事業所用コードレスシステムの子機としてご利用いただけます。接続装置の電話回線を利用して電話をかけたり受けたりできます。
また、「ダイヤルアップ」で、接続先として事業所内オフィスシステムのリモートサーバや利用しているプロバイダのアクセスポイントなどを設定すると、オフィスモードでWeb機能やEメールの送受信などの機能を利用することができます。「ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ）」（☞4-26ページ）

・事業所用コードレスシステムの子機としてご使用になる場合、使用する事業所などに事業所用PHSシステムが設置されている必要があり、また、その事業所用システムの子機として本電話機が対応している必要があります。
・オフィスシステム（PBX）に登録してください。登録すると、内線番号が設定されます。
・オフィスシステム（PBX）は、各会社によって異なります。また、電話のかけかたなど操作方法は、本書の説明と異なる場合があります。
・対応するPBX、登録方法など詳細については、設置業者、PBXメーカーなどにお尋ねください。

■モードを切り替える

オフィスシステム（PBX）の子機として利用するときは、待受モードを「オフィス」または「公衆/オフィス」に切り替えます。「待受モードを切り替える（待受モード設定）」（☞8-2ページ）

電話をかける

オフィスシステム（PBX）の子機として電話をかけるときは、一般のオフィスの電話機と同じようにご利用いただけます。デュアルモードの場合、「優先発信切替」が「オフィス、グループ優先」になっていることをご確認ください。「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（☞8-5ページ）

・市内電話発信のとき、外線発信番号のあとに市外局番の入力は不要です。
・国際電話がご利用いただけます。

1 内線の場合、相手の電話番号を入力

外線の場合、外線発信番号を付けて相手の電話番号を入力

● 電話帳から電話番号を検索するには

「電話帳を使って電話をかける」（☞2-31ページ）

● 発信履歴などから電話番号を検索するには

「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞2-3ページ）

● 電話番号を修正するには

[◎]で修正したい箇所にカーソルを移動し、[クリア/マナー]で消去してから、[0]～[9]、[*]、[#]で正しい番号を入力します。

● あらかじめ外線発信番号を登録しておくと

外線発信番号なしで電話番号を入力したあとや、電話帳などからの発信時に[Web]を押すだけで、電話番号の先頭に外線発信番号が付けられます。「外線発信番号を登録する（外線発信番号）」（☞8-4ページ）
また、0から始まる10桁以上の番号に自動的に外線発信番号を付けることもできます。「自動的に外線発信番号を付ける（自動外線発信番号付加）」（☞8-4ページ）

2 [発信] または ◉

相手が出ると通話できます。画面には通話時間が表示されます。

3 通話が終わったら [PWR]

お知らせ

- 外線発信番号はオフィスシステム（PBX）の設定やご契約の内容によって異なります。
- 国際電話のご利用の可否についてはPBXの設定によりますのであらかじめご確認ください。
- 表示される通話時間は目安です。
- [発信]を押してからダイヤルしても電話をかけることができます。
- [発信]を2回押すと、前回かけた電話番号にリダイヤルされます。
- オフィスモードでは「分計発信」はご利用になれませんが、公衆/オフィスモード（デュアルモード）であれば「分計発信」がご利用になれます。「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞7-57ページ）

電話を受ける

1　着信音またはバイブレータが動作する

着信中の回線の種別（外線／内線／専用線）が表示されます。回線の種別ごとに着信音を設定することができます。「着信メロディを設定する」（☞2-39ページ）

2　[通話キー]

着信ランプが点灯し、相手と通話できます。画面には通話時間が表示されます。

3　通話が終わったら [PWR]

お知らせ

- 電話をかけてきた相手から発信者番号が通知されてきたときには、相手の電話番号が表示されます。また、電話帳に登録されている相手からかかってきたときは、名前が表示されます。「電話帳に登録する」（☞2-28ページ）
- エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、[通話キー]以外に[メール]、[Web]、[保留/文字]、[クリア/マナー]、[A/a/留守録]、[0]～[9]、[*]、[#]、[方向キー]を押しても電話に出ることができます。「エニーキーアンサーを設定する」（☞7-12ページ）
- 着信中の回線の種別は、一部のオフィスシステムでは表示されない場合があります。

電話を転送する

一度受けた電話を、他の電話機に転送することができます。

1　通話中に [保留/文字]

通話が保留になります。

2　転送先の電話番号を入力

3　転送先につながったら、取り次ぐことを伝えて [PWR]

転送先につながる前に [PWR] を押しても、電話は転送されます。転送先では、電話を受けるとすぐに相手とつながります。

外線発信番号を登録する（外線発信番号）

外線発信番号を登録することができます。登録しておくと、直接ダイヤルした番号、電話帳、発信履歴、着信履歴などで相手の電話番号を表示させて外線を発信するときに、外線発信番号をダイヤルするかわりに [Web] を押すだけで、電話番号の先頭に外線発信番号を自動的に付けることができます。もう一度 [Web] を押すと、外線発信番号は消えます。

1　待ち受け画面で ◉ [5] [7]

2　[9] ► [0] ～ [9] のいずれか

オフィスモードの番号が複数登録されている場合、外線発信番号を登録するオフィスモードの番号に対応したダイヤル番号を押します。

3　[0] ～ [9]、[*]、[#] で外線発信番号を入力 ◉

外線発信番号が登録され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 外線発信番号は6桁まで入力できます。
- 入力した番号を修正する場合は、[クリア/マナー] を押します。入力した数字が右端から消えます。

自動的に外線発信番号を付ける（自動外線発信番号付加）

オフィスモードで0から始まる10桁以上の番号に発信する場合に、先頭に自動的に「外線発信番号」で登録した番号を付加します。

1　待ち受け画面で ◉ [5] [7]

2　[0] [1]

自動外線発信番号付加が設定され、「設定しました」と表示されます。

● **自動外線発信番号付加を解除するには**

自動外線発信番号付加の設定時に [2]（OFF）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）

待受モードを「公衆/オフィス」または「公衆/グループ」に設定しているときに、どちらのモードで発信するかの優先順位を設定できます。

1　待ち受け画面で ◉ [5] [7]

2　[8] ► [1] または [2]

優先発信モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

- **[1]（公衆優先）を押すと**
  公衆モード優先に設定され、待ち受け画面に「PHS OFFICE」または「PHS Gr」が表示されます。
- **[2]（オフィス,グループ優先）を押すと**
  オフィスモードまたはグループモード優先に設定され、待ち受け画面に「PHS OFFICE」または「PHS Gr」が表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には､「オフィス,グループ優先」に設定されています。
- 待ち受け画面で ◎ を約1秒以上押すことでも、優先発信するモードを変更できます。
- 優先発信を設定しているモードが圏外のときは、優先発信に設定されていない方のモード（圏内時）に自動的に（一時的に）切り替わります。

発信するモードを一時的に切り替える

待受モードを「公衆/オフィス」に設定しているとき、一時的にモードを切り替えて発信することができます。どちらかのモードが圏外のときは、切り替えることはできますが、切替先が圏外のため発信できません。

1　相手の電話番号を入力 [メール]

2　[発信] または ◉

相手が出ると通話できます。

お知らせ

- 通話を終了し、待ち受け画面に戻ると、元の設定に戻ります。モードの切り替えを次回からも有効にするには、優先発信切替で設定を変更します。「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（☞同じページ内です。）

電話帳で発信方法の指定をする

電話帳に登録された電話番号に、発信方法を指定することができます。

1　電話帳登録画面で、◎ で入力済みの電話番号を選択

2　[･･] で登録された電話番号に対する発信方法を選択

[･･]（発信先）を押すごとに、電話番号の右端に表示される発信先アイコンが 内（オフィス発信）→ 公（公衆発信）→アイコンなし（指定なし）→ 内…と切り替わります。

お知らせ

- 電話帳の登録時にオフィス発信または公衆発信を指定すると、電話帳詳細画面で、電話番号の右端にはそれぞれ、内 公 のアイコンが表示されます。
- 電話帳の登録方法については、「電話帳を新規登録する」（☞2-28ページ）を参照してください。
- 電話帳の修正方法については、「電話帳の内容を編集する」（☞2-33ページ）を参照してください。
- 電話帳で発信方法の指定ができるのは、オフィスシステム（PBX）に登録されている場合のみです。

■電話帳で発信方法の指定をした場合の発信動作について

電話帳で発信方法の指定をした場合の発信動作は、待受モード、優先発信切替の設定により次の表のようになります。

<table>
<tr><th rowspan="2">待受モード</th><th colspan="2">電話帳での発信方法指定</th></tr>
<tr><th>公 公衆</th><th>内 内線</th></tr>
<tr><td>公衆モード</td><td>公衆発信</td><td>発信できません</td></tr>
<tr><td>オフィスモード</td><td>発信できません</td><td rowspan="4">オフィス発信</td></tr>
<tr><td>公衆+オフィス（公衆優先）</td><td rowspan="2">公衆発信</td></tr>
<tr><td>公衆+オフィス（オフィス優先）</td></tr>
<tr><td>公衆+オフィス（公衆圏外）</td><td>発信できません</td></tr>
<tr><td>公衆+オフィス（オフィス圏外）</td><td rowspan="3">公衆発信</td><td rowspan="4">発信できません</td></tr>
<tr><td>公衆+グループ（公衆優先）</td></tr>
<tr><td>公衆+グループ（グループ優先）</td></tr>
<tr><td>公衆+グループ（公衆圏外）</td><td>発信できません</td></tr>
</table>

お知らせ

- 以下の番号への発信は、オフィス発信にはならず、通常の公衆回線での発信になります。
  - ・110（警察）、116（ウィルコムサービスセンター）、117（時報）、118（海上保安庁）、119（消防等）など先頭が1で始まる3桁の番号
  - ・先頭が＊0～＊6、＊9で始まる番号
  - ・先頭が#で始まる番号
  - ・先頭が1841、1861で始まる6桁の番号
  - ・先頭が070、184070、186070で始まる番号
- 待受モードについては、「利用するモードを選ぶ」（☞8-2ページ）を参照してください。
- 優先発信切替については、「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（☞8-5ページ）および「発信するモードを一時的に切り替える」（☞8-5ページ）を参照してください。
- 電話番号の先頭に0000を付加して登録すると、先頭の0000を除いた公衆回線にかかります。

オフィス番号を切り替える（オフィス番号切替）

オフィスモードの番号が複数登録されているときに、使用するオフィス番号を自動または手動で切り替えます。

1 **待ち受け画面で ◉ [5] [6]**

2 **[8] ► [1] または [2]**

● **[1]（自動切替）を押すと**

「異なるオフィスシステムが近接しているエリアでは発信着信に失敗する場合があります」と表示され、オフィスモード用の電波が検知されます。数秒後、電波の強いオフィスの番号に自動的に切り替わり、「設定しました」と表示されます。

● **[2]（手動切替）を押すと**

オフィス番号の一覧が表示されるので、使用する番号を選択して ◉ を押します。オフィス番号が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「手動切替」に設定されています。
- オフィスモードの番号を登録すると「手動切替」に設定されます。

オフィスEメールを送受信する

公衆モードでのEメール送受信と同様に、オフィスモードでEメールを送受信することができます。「Eメールを作成送信する」（☞3-7ページ）

■オフィスモード時の接続モードを設定する

オフィスEメールを送受信するには、あらかじめオフィスモード時の接続モード（接続先、送信メールアカウント、受信メールアカウントなど）を設定しておく必要があります。「オフィスモード時の接続モードを選択する（オフィス接続モード選択）」（☞4-30ページ）

オフィスモードでのその他の機能

オフィスモードで使用する際、基本的に以下の機能を使用できます。実際に使うことのできる機能については登録されている事業所用コードレスシステムによって異なりますので、詳細については設置業者、PBXメーカーなどにお尋ねください。

● **プッシュ信号の送信**

通話中にダイヤルボタンを押して、プッシュ信号を送出します。

● **内線番号表示**

本電話機の内線番号を表示します。「プロフィールを表示する」（☞7-5ページ）

● **通話中保留**

通話中に [保留] を押して通話を保留します。保留を解除するときは、もう一度 [保留] を押します。

● **内線／外線への転送**

保留状態で転送先の電話番号をダイヤルし、転送先の相手が出たら [PWR] を押します。

● **キャッチホン**

通話中に「プップ‥プップ‥」という音（キャッチホン）が鳴ったときに、[通話] を押して通話相手を切り替えます。

● **外線／内線／専用線の着信音鳴り分け**

外線／内線／専用線からの着信を識別し、それぞれに着信音を設定できます。「着信メロディを設定する」（☞2-39ページ）

お知らせ

- 着信音の鳴り分けは、一部のオフィスシステム（PBX）では動作しない場合があります。「着信メロディを設定する」（☞2-39ページ）

グループモードで使う

本電話機およびグループモードに対応した電話機をグループ登録することにより、「相手を呼び出す〔トランシーバ通話〕」(☞8-9ページ)、「相手の呼び出しに応じる〔トランシーバ通話〕」(☞8-9ページ)、および「グループ内で電話帳やブックマークを転送する(電話帳／ブックマーク転送)」(☞8-10ページ)を行うことができます。

■グループ登録

電話機を送信側、受信側として登録します。グループは3つまで登録できます。
送信側1台と受信側1台以上の間で双方向に、または受信側どうしで、トランシーバ通話および電話帳／ブックマーク転送が可能です。

■モードの切り替え

トランシーバ通話をするには、待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替えます。待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替えるときは、あらかじめグループおよびトランシーバ番号を登録しておく必要があります。「待受モードを切り替える(待受モード設定)」(☞8-2ページ)
電話帳／ブックマーク転送をするには、待受モードを「転送」に切り替えます。

グループを登録する

電話機を送信側、受信側として登録します。登録を行うには、送信側1台と受信側1台以上の本電話機またはグループモードに対応した電話機が必要です。
グループは3つまで登録できます。グループごとに、あらかじめ同一の4桁の暗証番号を決めておく必要があります。

受信側の操作

登録するすべての電話機をお手元にご用意ください。まず、受信側の登録から始めます。

1 待ち受け画面で ◉ [5] [6] [2] [1]

2 [#] ► [1] ～ [3] のいずれか

● **登録済みのグループを選択したとき**
「グループリストは削除されます　上書きしますか?」と表示されます。◎で「Yes」または◎で「No」を選択して、◉を押します。

3 [0] ～ [9] でトランシーバ番号を入力 ► [#]

0001～8000の間で、任意の番号を入力します。0001は「1」、0123は「123」というように、上位桁の「0」は省略して入力することができます。

4 [0] ～ [9] で4桁のグループ暗証番号を入力

「送信側の操作」の手順3(☞同じページ内です。)で入力する暗証番号を入力します。

5 [#]

「待機中」と表示されます。この間に、送信側の操作を行います。「送信側の操作」の手順4(☞同じページ内です。)のときに、送受信が開始されます。
送信側の電波を受信すると完了音が鳴り、受信側が登録されます。

● **登録できなかったとき**
エラー音が鳴り、受信失敗となります。[PWR]を押すと、手順1のグループ登録画面に戻ります。

> **お知らせ**
> - 受信側は約30秒間待機中となりますので、その間に送信側の操作を行ってください。
> - トランシーバ番号やグループ暗証番号を修正する場合は、[クリア/マナー]を押します。入力した数字が右端から消えます。

送信側の操作

1 待ち受け画面で ◉ [5] [6] [2] [1]

2 [*] ► [1] ～ [3] のいずれか

3 [0] ～ [9] で4桁のグループ暗証番号を入力

「受信側の操作」の手順4(☞同じページ内です。)で入力した暗証番号を入力します。

4 受信側の電話機に「待機中」と表示されていることを確認 [#]

送信が成功すると「送信終了」と表示され、送信側が登録されます。

● **送信が失敗したときは**
エラー音が鳴り、「送信失敗」と表示されます。[PWR]を押すと、手順1のグループ登録画面に戻ります。

お知らせ

- 送信側のトランシーバ番号は、自動的に「0」に設定されます。
- グループ暗証番号を修正する場合は、[クリア/マナー]を押します。入力した数字が右端から消えます。

グループリストを登録する

グループごとに、通信する相手先の名前とトランシーバ番号をリストとして登録しておくことができます。通信相手は1グループにつき100件まで登録することができます。

1　待ち受け画面で◉[5][6][2][3]

2　[1]～[3]のいずれか

選択したグループのリストが表示されます。相手先が1件も登録されていないときは、手順4に進みます。

3　[メール]

4　◎で「名」を選択◉ ►「名前」と「フリガナ」を入力

「名前とフリガナを入力する」（☞2-28ページ）

5　◎で「☎」を選択◉ ►トランシーバ番号を入力◉

6　[メール]

相手先がグループリストに登録され、「登録しました」と表示されます。

グループリストを編集する

1　待ち受け画面で◉[5][6][2][3]

2　[1]～[3]のいずれか

3　グループリストの一覧で、編集する相手先を選択[アプリ] ►[1]

4　各項目を編集[メール]

編集結果が登録され、グループリストの一覧画面に戻ります。
続けて他の相手先を編集するときは、手順3～4を繰り返します。

グループリストを削除する

グループリストに登録されている相手先を削除します。

1　待ち受け画面で◉[5][6][2][3]

2　[1]～[3]のいずれか

3　グループリストの一覧で、削除する相手先を選択する

4　[アプリ] ►[2]～[4]のいずれか

- **[2]（一件削除）を押すと**
  選択した相手先を1件だけを削除します。
- **[3]（選択削除）を押すと**
  ◎で削除する相手先を選択して◉（チェック）を押します。相手先の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度◉（チェック）を押します。
  全件選択する場合は、[アプリ][1]（全件選択）を押します。
  チェックをすべて外す場合は、[アプリ][2]（全件解除）を押します。
  削除する相手先の選択を終えたら[メール]（削除）を押します。
- **[4]（全件削除）を押すと**
  すべての相手先を削除します。暗証番号認証を行います。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

5　◎で「Yes」を選択◉

グループリストの相手先が削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- グループリストから相手先の情報を削除しても、その相手先のグループ登録は削除されません。

グループ名を編集する

1　待ち受け画面で◉[5][6][2][1]

2　[＊] ►◎で名前を編集するグループを選択[メール]

3　新しいグループ名を入力◉

グループ名が変更され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- 登録されているグループ名を変更すると、グループリストのグループ名も変更されます。ただしリストの内容は変更されません。
- 親機側のグループ名を変更しても、子機側のグループ名は変更されません。

グループ登録を削除する

グループ登録の内容をすべて削除します。グループリストも削除されます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 6 2

2 2

● **グループが登録されていないとき**
2（グループ削除）は選択できません。

3 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

認証されると、グループの一覧が表示されます。

4 1 ～ 3 のいずれか

5 ◎ で「Yes」を選択 ◉

グループ登録が削除され、「グループ登録を削除しました」と表示されます。

相手を呼び出す〔トランシーバ通話〕

待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替える必要があります。「待受モードを切り替える（待受モード設定）」（☞8-2ページ）デュアルモードの場合、「優先発信切替」が「オフィス、グループ優先」になっていることをご確認ください。「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（☞8-5ページ）

1 待ち受け画面でグループ番号 1 ～ 3

グループ番号がわからない場合は、クリア/マナー を押してグループ一覧を表示させることもできます。自分の電話機のトランシーバ番号が表示されます。

2 相手のトランシーバ番号を入力

入力したトランシーバ番号が表示されます。
トランシーバ番号を修正する場合は、クリア/マナー を押します。入力した数字が右端から消えます。

● **グループリストからトランシーバ番号を入力するには**
（リスト）を押すと、グループリストが表示されます。◎ を押して相手先を選択します。

3 発信 または ◉

相手が応答すると通話ができます。

4 通話が終了したら 終話

お知らせ

- グループ登録を行った電話機間で、トランシーバ通話ができます。
- グループ登録時の受信側、送信側のどちらからでも発信できます。また、受信側どうしでも発着信ができます。
- 次のときには通話が終了することがあります。
  - ・距離が離れすぎたとき
  - ・電池パックの電圧が低下したとき
  - ・なんらかの原因で電波の受信ができなくなったとき
    （このときには「ツーツーツー」という切断音が聞こえます）
- 通話中、約3分ごとに自動的に通話が切れますが、自動的にもう一度つながります。
- 電話帳、リダイヤル、番号メモ、着信履歴からの発信はできません。
- 手順2で相手のトランシーバ番号を入力後、約5秒たつと自動的に発信します。

相手の呼び出しに応じる〔トランシーバ通話〕

グループの電話機からの着信を受けるには、待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替える必要があります。「待受モードを切り替える（待受モード設定）」（☞8-2ページ）

1 着信音またはバイブレータが動作する

2 発信

着信ランプが点灯し、相手と通話できます。画面には通話時間が表示されます。

3 通話が終わったら 終話

お知らせ

- 呼び出しを受けてから約30秒たっても 発信 を押さないときには、自動的に接続を中止します。
- 着信中に、すぐに電話にでられないとき、メモ または 終話 を押して着信音やバイブレータの動作を止めることができます。
- 着信したトランシーバ番号は着信履歴に残りません。

グループ内で電話帳やブックマークを転送する（電話帳/ブックマーク転送）

電話帳転送機能対応機どうしで、電話帳データやブックマークを転送することができます。次のデータが転送できます。

● 電話帳データ

名前	全角16文字(半角32文字)まで
読み	半角32文字まで
電話番号	3件、各32桁まで
番号種別	電話番号、携帯電話、PHS、自宅、会社、FAX、ショップ、レストラン、病院、その他
メールアドレス	3件、各半角64文字まで
グループ	10種類まで
メモ	全角50文字（半角100文字）まで

● ブックマーク

タイトル	全角16文字(半角32文字)まで
URL	半角200文字まで

転送モードに設定する（待受モード）

電話帳やブックマークを転送するには、転送先の電話機がグループ登録されており、待受モードを「転送」モードに切り替えておく必要があります。「グループを登録する」（☞8-7ページ）

1 待ち受け画面で ◉ 5 6

2 1 6

待ち受けモードが設定され、「設定しました」と表示されます。

> **お知らせ**
> ▪「転送」モードでは音声通話はできません。

電話帳を転送する

1 待ち受け画面で ◉ 5 6 2

2 4 1 ► 1 または 2

電話帳の一覧画面が、前回使用したときと同じ形式で表示されます。「電話帳を使って電話をかける」（☞2-31ページ）

● **1（指定転送）を押すと**

電話帳データを指定して転送できます。◎で転送する電話帳データを選択して ◉（チェック）を押します。電話帳データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
全件選択する場合は、メニュー 1（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、メニュー 2（全件解除）を押します。
転送する電話帳データの選択を終えたら ✓（完了）を押します。

● **2（全件転送）を押すと**

手順3へ進みます。電話帳をまとめて転送できます。

3 1 ～ 3 のいずれか

4 転送先のトランシーバ番号を入力

● **グループリストからトランシーバ番号を入力するには**

メニュー（リスト）を押すと、グループリストが表示されます。◎で転送先を選択します。

5 ◉ または 発信

転送が開始されます。

● **転送が成功すると**

完了音が鳴り、「転送終了」と表示されます。

● **転送に失敗すると**

エラー音が鳴り、「転送失敗」と表示されます。

● **転送が中断したときは**

転送途中にエラーが発生し、転送が中断すると、サブメニューが表示されます。1（再接続）を押すと、転送が再開されます。2（転送中止）を押すと、エラーの発生前に転送された電話帳データは受信側に登録されますが、残りは登録されません。

■受信側の表示

転送された電話帳の登録内容が、電話帳に登録されます。すでに受信側にある登録内容と同じものが転送された場合でも新規に登録されます。

> **お知らせ**
> ▪ 電話帳ロックを設定しているときは、手順2で 1（電話帳）を押したあと、認証画面が表示されます。認証を行ったあと、1（指定転送）または 2（全件転送）を押します。

ブックマークを転送する

1 待ち受け画面で ◉ 5 6 2

2 4 2 ► 1 または 2

- **1（指定転送）を押すと**
  ブックマークを指定して転送できます。◎でブックマークフォルダを選択して◉（決定）を押し、◎でブックマークを選択して◉（チェック）を押します。ブックマークの先頭に「☑」が付きます。
  チェックを外すときは、再度◉（チェック）を押します。
  転送するブックマークの選択を終えたら（完了）を押します。
- **2（全件転送）を押すと**
  手順3へ進みます。ブックマークをまとめて転送できます。

3 1 ～ 3 のいずれか

4 転送先のトランシーバ番号を入力

- **グループリストからトランシーバ番号を入力するには**
  （リスト）を押すと、グループリストが表示されます。◎で転送先を選択します。

5 ◉ または

転送が開始されます。

- **転送が成功すると**
  完了音が鳴り、「転送終了」と表示されます。
- **転送に失敗すると**
  エラー音が鳴り、「転送失敗」と表示されます。
- **転送が中断したときは**
  転送途中にエラーが発生し、転送が中断すると、サブメニューが表示されます。1（再接続）を押すと、転送が再開されます。2（転送中止）を押すと、エラーの発生前に転送されたブックマークは受信側に登録されますが、残りは登録されません。

■受信側の表示

転送されたブックマークの登録内容が、ブックマークに登録されます。すでに受信側にある登録内容と同じものが転送された場合でも新規に登録されます。

9 困ったときは

故障かな？
ちょっと確認してください …………………… 9-2
エラーメッセージ一覧……………………………… 9-5

故障かな？ちょっと確認してください

症状	確認点	対処方法
電源が入らない	を約 2 秒以上押しましたか？	を約 2 秒以上押してください。「電源を入れる」（☞ 1-11 ページ）
	電池パックが正しく取り付けられていますか？	電池パックを正しく取り付けてください。「電池パックを取り付ける」（☞ 1-2 ページ）
	電池の残量は十分ですか？	卓上ホルダで充電してください。 「卓上ホルダで充電する」（☞ 1-6 ページ）
電話が利用できない	圏外 が点灯していませんか？	圏外 が消灯し、 や が点灯する場所に移動してください。 「電話をかける」（☞ 2-2 ページ）
	待受モードが正しく設定されていますか？	利用したいモードが表示されていない場合は、利用したい待受モードに設定してください。 「利用するモードを選ぶ」（☞ 8-2 ページ）
	＜グループモード＞ グループ登録をしましたか？	グループ登録を行ってください。 「グループモードで使う」（☞ 8-7 ページ）
電話がかけられない	が点灯していませんか？	ダイヤルロックを解除してください。 「ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）」（☞ 6-8 ページ） 「無操作が続いたときにダイヤルロックする（タイマ起動）」（☞ 6-8 ページ）
	「キーロック」と表示されていませんか？	サイドロックスイッチを約 1 秒以上長押しして、キーロックを解除してください。 「ボタン操作をロックする（キーロック）」（☞ 6-7 ページ）
	＜公衆モード＞ 市外局番なしでダイヤルしていませんか？	市外局番からダイヤルしてかけ直してください。 「電話をかける」（☞ 2-2 ページ）
	＜オフィスモード＞ PBX に登録していますか？	PBX に登録してください。 「オフィスモードで使う」（☞ 8-3 ページ）
	＜グループモード＞ かけたトランシーバ番号は合っていますか？	番号を確認してかけ直してください。 「グループモードで使う」（☞ 8-7 ページ）

症状	確認点	対処方法
電話がかかってこない	圏外 が点灯していませんか？	圏外 が消灯し、 や が点灯する場所に移動してください。 「電話をかける」（☞ 2-2 ページ）
	が点灯していませんか？	「オートサイレント」を解除してください。 「特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）」（☞ 2-44 ページ）
	待受モードが正しく設定されていますか？	利用したいモードが表示されていない場合は、利用したい待受モードに設定してください。 「利用するモードを選ぶ」（☞ 8-2 ページ）
	着信音量を「OFF」に設定していませんか？	着信音量を「OFF」以外に設定してください。 「着信音量を設定する」（☞ 2-42 ページ）
	相手の電話番号を着信拒否に登録していませんか？	着信拒否の登録を消去してください。 「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）」（☞ 6-4 ページ）
	番号非通知の電話を受けない設定になっていませんか？	「非通知ガード」を解除してください。 「番号非通知の電話を受けない（非通知ガード）」（☞ 6-3 ページ）
通話しているときに、雑音が聞こえる、聞き取りにくい、途切れる	アンテナマークが、 や になっていませんか？	アンテナマークの表示が、 や になる場所に移動してください。 「電話をかける」（☞ 2-2 ページ）
	高いビルに囲まれたような場所で使われていませんか？	見通しのよい場所に移動してください。
充電してもすぐに電池がなくなる	本電話機を正しく卓上ホルダに置きましたか？	正しく置いて充電してください。 「充電する」（☞ 1-2 ページ）
	AC アダプタの電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	AC アダプタの電源プラグをコンセントに確実に差し込んでから充電してください。 「充電する」（☞ 1-2 ページ）
	本電話機の充電端子や卓上ホルダの電源端子が汚れていませんか？	端子を清掃してください。
	電池パックが消耗していませんか？	新しい電池パックと交換してください。 「電池パックを交換するときは」（☞ 1-4 ページ）
電話帳に登録してあるのに着信時に名前が表示されない	相手の電話番号がシークレット設定されていませんか？	シークレットの設定を解除してください。 「シークレットを設定する」（☞ 2-30 ページ）
	同じ電話番号が空白で二重登録されてませんか？	電話帳の登録内容を確認してください。「電話帳を使って電話をかける」（☞ 2-31 ページ）
時計表示を「OFF」以外に設定したのに、時計が表示されない	省電力モードが設定されていませんか？	省電力モードを「OFF」に設定してください。「省電力モードを設定する」（☞ 7-11 ページ）
キーライト点灯を「ON」に設定したのにキーライトが点灯しない	省電力モードが設定されていませんか？	省電力モードを「OFF」に設定してください。「省電力モードを設定する」（☞ 7-11 ページ）

症状	確認点	対処方法
着信ランプを「ON」に設定したのに、イルミネーション、リマインダーが点灯しない	省電力モードが設定されていませんか？	省電力モードを「OFF」に設定してください。「省電力モードを設定する」（☞ 7-11 ページ）
待受モードがデュアルモード時に発信できない	優先発信切替の設定は正しいですか？	優先発信切替の設定を必要に応じて変更してください。「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（☞ 8-5 ページ）
＜オフィスモード＞外線発信ができない	外線発信番号は正しく登録されていますか？	外線発信番号の設定を確認してください。「外線発信番号を登録する（外線発信番号）」（☞ 8-4 ページ）
自動外線発信番号付加を「ON」に設定しているのに外線発信番号が付加されない	外線発信番号は正しく登録されていますか？	外線発信番号の設定を確認してください。「外線発信番号を登録する（外線発信番号）」（☞ 8-4 ページ）
充電器に置いても充電ランプが点灯しない	電池パックを長時間使用しなかったり、使い切った状態で充電せずに放置していましたか？	電池パックの寿命や故障でなければ、数分間充電を続けると充電ランプが点灯します。「充電する」（☞ 1-2 ページ）
充電してもすぐに電池がなくなる	＜オフィスモード＞ 圏外 が表示される場所での使用が多くありませんか？	内線圏外の場所では、待受モードを公衆モードにしてご使用ください。「待受モードを切り替える（待受モード設定）」（☞ 8-2 ページ）
電話機からソフトウェア更新ができない	オンラインサインアップを行いましたか？	オンラインサインアップを行ってください。「オンラインサインアップを行う」（☞ 3-6 ページ）
	電池マーク表示が 1 本以下ですか？	電池マーク表示が 2 本以上になるまで充電を行ってからソフトウェアを更新してください。「充電する」（☞ 1-2 ページ）

お知らせ

- 上記の対処方法をしても改善されない場合は、使用を中止してウィルコムサービスセンターにご連絡ください。「お問い合わせ窓口」（☞ A-10ページ）

エラーメッセージ一覧

	表示	原因	対処方法	分類
記号・アルファベット（A～Z）	＊は複数設定できません	着信拒否番号で＊を複数の箇所に設定しました。	＊は番号の最後に 1 つだけ使用してください。「着信拒否番号を登録する」(☞ 6-4 ページ)	セキュリティ
	＊以降には設定できません	着信拒否番号で＊以降に番号を設定しました。	＊は番号の最後に使用してください。「着信拒否番号を登録する」(☞ 6-4 ページ)	セキュリティ
	DNS の参照でエラーが発生しました	DNS の設定が正しくないか、URL が正しくありません。	DNS サーバの設定を確認してください。または、URL を確認してください。「ダイヤルアップの詳細情報を設定する」(☞ 4-28 ページ)	インターネット
	E メール制限設定中です	管理者ロックにより E メールが制限されているにもかかわらず、E メール機能を使用しようとしました。	E メール制限を「OFF」にしてください。「管理者ロック機能の設定をする」(☞ 6-17 ページ)	セキュリティ
	Web 制限設定中です	管理者ロックにより Web が制限されているにもかかわらず、Web 機能を使用しようとしました。	Web 制限を「OFF」にしてください。「管理者ロック機能の設定をする」(☞ 6-17 ページ)	セキュリティ
ア行	新しい暗証番号が正しくありません	新しい暗証番号の、1 回目と 2 回目の入力が一致していませんでした。	新しい暗証番号を入力し直してください。「暗証番号を設定する」(☞ 6-6 ページ)	セキュリティ
	新しい管理者パスワードが正しくありません	新しい管理者パスワードの、1 回目と 2 回目の入力が一致していませんでした。	新しい管理者パスワードを入力し直してください。「管理者パスワードを設定する」(☞ 6-16 ページ)	セキュリティ
	アドレスが不正です	Web ページのアドレスが正しくありません。	正しいアドレスを入力してください。	インターネット
	アプリケーションが保存されているため削除できません	フォルダ内にアプリケーションが保存されていました。	フォルダ内のアプリケーションを削除してからフォルダを削除してください。「Java アプリケーションを管理する」(☞ 7-45 ページ)	データフォルダ
	暗証番号が違います	登録されていない番号が入力されました。	正しい番号を入力してください。「暗証番号で認証を行う」(☞ 6-6 ページ)	認証
	移動失敗しました	メールの移動に失敗しました。	フォルダを確認してください。「受信 BOX のフォルダを活用する」(☞ 3-14 ページ)	メール

	表示	原因	対処方法	分類
ア行	エラーが発生しました	コンテンツの内部でエラーが発生しました。	もう一度操作し直してください。	インターネット
	オートサイレント起動中です	オートサイレントが起動しているのでマナーモードのON/OFFができませんでした。	オートサイレントを解除してからマナーモードを設定してください。「特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）」（☞ 2-44ページ）	電話機能
	おかけなおしください	相手にかかりませんでした。	しばらくしてからおかけください。	電話機能
	オンラインサインアップを実行した後再度操作して下さい	オンラインサインアップを行っていません。	オンラインサインアップを行ってください。「オンラインサインアップを行う」（☞ 3-6ページ）	ウェブ・メール
カ行	該当データがありません	電話帳に検索条件に該当するデータが登録されていませんでした。または、そのデータには使用しようとしている項目が登録されていませんでした。	検索条件を変更して、検索し直してください。 「電話帳を使って電話をかける」（☞ 2-31ページ）	電話帳
	拡張子を入力して下さい	拡張子が入力されませんでした。	適切な拡張子を入力してください。「拡張子を変更する」（☞ 7-50ページ）	データフォルダ
	加入者なし	存在しない電話番号に発信しようとしました。	−	電話機能
	管理者パスワードが初期値のままです	管理者パスワードが初期値のまま暗証番号が登録されました。	安全のため、管理者パスワードも変更することをお勧めします。「管理者による制限を行う（管理者ロック）」（☞ 6-16ページ）	セキュリティ
	管理者パスワードが違います	登録されていない管理者パスワードが入力されました。	正しい管理者パスワードを入力してください。「管理者による制限を行う（管理者ロック）」（☞ 6-16ページ）	セキュリティ
	国・地域名が違います	ライトメールからコピーした情報が正しくありません。	もう一度コピーし直すか、ローミング情報をご自分で入力してください。「手動でローミング情報を登録する」（☞ 7-54ページ）	国際ローミング
	グループx 登録がありません	未登録のグループ番号を押しました。	登録されているグループ番号を押してください。「相手を呼び出す〔トランシーバ通話〕」（☞ 8-9ページ）	グループモード
	グループ番号を押して下さい	グループ番号を選択する際に、無効なキーを押しました。	登録されているグループ番号を押してください。「相手を呼び出す〔トランシーバ通話〕」（☞ 8-9ページ）	グループモード

	表示	原因	対処方法	分類
カ行	件数オーバーです 整理してください	データの件数が保存容量の制限をオーバーしました。	不要なデータを削除してください。「データを削除する」（☞ 7-49 ページ）	データフォルダ
	コピーした RM 情報に誤りがあります　登録ライトメール情報のすべてをコピーしてください	ライトメールからコピーした情報が正しくありません。	もう一度コピーし直すか、ローミング情報をご自分で入力してください。「手動でローミング情報を登録する」（☞ 7-54 ページ）	国際ローミング
サ行	サイズオーバーです	ファイルのサイズが、最大サイズを超えました。	最大サイズを超えるファイルは表示／再生できません。「データフォルダを活用する」（☞ 7-38 ページ）	データフォルダ
	サイズオーバーです　失敗しました	赤外線送信しようとしたデータのサイズが、最大サイズを超えました。	最大サイズを超えるデータは送信できません。「赤外線通信を行う」（☞ 2-36 ページ）	赤外線通信
	サイズオーバーです　全件送信できません	赤外線送信しようとしたデータのサイズが、最大サイズを超えました。	最大サイズを超えるデータは送信できません。「赤外線通信を行う」（☞ 2-36 ページ）	赤外線通信
	再生できません	本電話機で対応していない拡張子のファイルまたは、壊れたファイルを再生しようとしました。	—	データフォルダ
	最大サイズを超えるため受信できないメールがあります	受信しようとするメールのサイズが、最大サイズを超えました。	—	メール
	サーバが見つかりません	指定されている DNS サーバが見つかりませんでした。	DNS サーバの設定を正しく行ってください。「ダイヤルアップの詳細情報を設定する」（☞ 4-28 ページ）	インターネット
	サポートしていないフォーマットです	本電話機で対応していない拡張子のファイルまたは、壊れたファイルを再生しようとしました。	—	データフォルダ
	シークレットデータが登録されています	電話帳を登録する際、すでに登録されているメモリ No. に登録しようとした場合に、そのメモリ No. がシークレットデータとして登録されているため、上書きできませんでした。	別のメモリ No. で登録してください。「電話帳に登録する」（☞ 2-28 ページ）	電話帳
	下書きメール件数がオーバーしています	E メール：下書きメールが 20 件を超えました。 ライトメール：下書きメールが 10 件を超えました。	不要な下書きメールを削除してください。「メールを削除する」（☞ 3-18 ページ）	メール
	しばらくしておかけなおしください	相手にかかりませんでした。	しばらくしてからおかけください。	電話機能
	充電して下さい	電池残量が足りませんでした。	充電してください。「充電する」（☞ 1-2 ページ）	電池パック

	表示	原因	対処方法	分類
サ行	受信失敗	電話帳またはブックマークの受信に失敗しました。	もう一度、やり直してください。「グループ内で電話帳やブックマークを転送する(電話帳 / ブックマーク転送)」(☞ 8-10 ページ)	グループモード
	受信失敗 [PWR] を押して下さい	グループ登録する際に、受信側の登録操作を失敗しました。	[PWR] を押して、もう一度やり直してください。「受信側の操作」(☞ 8-7 ページ)	グループモード
	受信失敗しました	メールの受信に失敗しました。	メールアカウントの設定が正しいかどうか確認してください。「E メールアドレスを作成する」(☞ 3-5 ページ)	メール
	既に登録されています	着信拒否の電話番号を登録する際に、すでに登録されている電話番号を登録しようとしました。	「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）」(☞ 6-4 ページ)	セキュリティ
	接続できません	接続に失敗しました。	電波状態のよい場所に移動して、もう一度操作し直してください。	インターネット
	接続に失敗しました	サーバへの接続に失敗しました。	しばらくしてから送受信を行ってください。それでも接続できないときは、メールアカウントの設定が正しいかどうか確認してください。「E メールアドレスを作成する」(☞ 3-5 ページ)	メール
	全桁0は無効です もう一度入力してください	通知許可パスワードとして、全桁 0 を入力しました。	正しいパスワードを入力してください。「発信型機能を利用する」(☞ 7-34 ページ)	位置情報
	センターに E メールがあります E メール	管理者ロックによる E メール制限中に自動受信を行おうとして受信できませんでした。	E メール制限を「OFF」にしてください。「管理者ロック機能の設定をする」(☞ 6-17 ページ)	セキュリティ
	先頭一致発信許可設定中です	管理者ロックによって先頭一致発信許可設定中に、許可されていない番号へ発信しようとしました。	発信許可されている番号に発信するか、先頭一致発信許可設定を「未登録」にしてください。「管理者ロック機能の設定をする」(☞ 6-17 ページ)	セキュリティ
	先頭に $ は使えません	フォルダ名またはファイル名を編集する際に、先頭に $ を入力しました。	フォルダ名またはファイル名の先頭には $ を使用しないでください。「フォルダを作成する」(☞ 7-51 ページ)「データ名を変更する」(☞ 7-49 ページ)「フォルダ名を変更する」(☞ 7-51 ページ)	データフォルダ

	表示	原因	対処方法	分類
サ行	先頭に ` は使えません	フォルダ名またはファイル名を編集する際に、先頭に ` を入力しました。	フォルダ名またはファイル名の先頭には ` を使用しないでください。「フォルダを作成する」(☞ 7-51 ページ)「データ名を変更する」(☞ 7-49 ページ)「フォルダ名を変更する」(☞ 7-51 ページ)	データフォルダ
	先頭に＊は設定できません	着信拒否番号の先頭に＊を設定しました。	先頭に＊は使用しないでください。「着信拒否番号を登録する」(☞ 6-4 ページ)	セキュリティ
	送信に失敗しました 再送信しますか？	相手にメールが送信できませんでした。	宛先の電話番号が正しいかどうか確認してください。電話番号に間違いがないときは、しばらくしてから送信してください。「ライトメールを作成して送信する」(☞ 3-28 ページ)	ライトメール
	送信メールはありません	送信履歴が 0 件でした。	－	メール
	送信履歴がありません	送信履歴が 0 件でした。	－	メール
タ行	タイムアウトしました　接続できません	HTTP リクエストの送信でタイムアウトしました。	もう一度操作し直してください。	インターネット
	ダイヤルアップ制限設定中です	管理者ロックによりダイヤルアップが制限されているにもかかわらず、ダイヤルアップを行おうとしました。	ダイヤルアップ制限を「OFF」にしてください。「管理者ロック機能の設定をする」(☞ 6-17 ページ)	セキュリティ
	短縮設定番号は入力できません	電話帳を登録する際に、000 ～ 009 のメモリ No. に登録しようとしました。	000 ～ 009 以外のメモリ No. に登録してください。	電話帳
	短縮番号しか空きがありません 短縮設定してください	電話帳データのメモリ No. を登録する際に、短縮番号しか空きがありませんでした。	電話帳データに短縮番号を設定してください。「短縮番号を設定する」(☞ 2-29 ページ)	電話帳
	データはありません	発信履歴、着信履歴、番号メモのデータがありませんでした。	－	電話機能
	データフォルダにエラーが発生しました	データフォルダにエラーが発生し、データを保存できませんでした。	本電話機の電源を入れ直してからもう一度操作してください。	データフォルダ
	データフォルダの空き容量が足りません	データフォルダ内のデータ容量に空きがありませんでした。	不要なデータを削除してください。「データを削除する」(☞ 7-49 ページ)	データフォルダ
	展開に失敗しました	圧縮データを開くことができませんでした。	圧縮データにパスワードが設定されているか、データが破損している可能性があります。データを再入手するか入手元に問い合わせください。「圧縮データを開く」(☞ 7-44 ページ)	データフォルダ

	表示	原因	対処方法	分類
タ行	転送失敗	① 電話帳またはブックマークの転送接続に失敗しました。 ② 相手側が受信待ち受け設定をしていないため、電話帳またはブックマークの転送に失敗しました。	① もう一度やり直してください。 ② 相手が受信待ち受け設定をしていることを確かめてから、もう一度やり直してください。 「グループ内で電話帳やブックマークを転送する（電話帳 / ブックマーク転送）」（☞ 8-10 ページ）	グループモード
	電話帳データがありません	電話帳にデータが登録されていませんでした。	電話帳にデータを登録してください。「電話帳を利用する」（☞ 2-26 ページ）	電話帳
	電話帳の起動に失敗しました	電話帳を開くことができませんでした。	もう一度操作し直してください。	メール
	電話帳ロック中です	電話帳がロックされている状態で、電話帳の機能を使用しようとしました。	電話帳のロックを解除してください。「ユーザの情報をロックする（機能ロック）」（☞ 6-14 ページ）	セキュリティ
	同名のファイルが既にあります	ファイル名を編集する際に、すでに存在するファイル名を入力しました。	別のファイル名を入力してください。「データ名を変更する」（☞ 7-49 ページ）	データフォルダ
	同名のフォルダが既にあります	フォルダ名を編集する際に、すでに存在するフォルダ名を入力しました。	別のフォルダ名を入力してください。「フォルダを作成する」（☞ 7-51 ページ） 「フォルダ名を変更する」（☞ 7-51 ページ）	データフォルダ
		すでに登録されているフォルダ名を入力しました。	フォルダ名を確認し、正しいフォルダ名を入力してください。「Java アプリケーションを管理する」（☞ 7-45 ページ）	データフォルダ
ナ行	入力情報に誤りがあります	入力した ID や番号に誤りがあります。	正しい情報を入力してください。「国際ローミングを利用する（国際ローミング）」（☞ 7-53 ページ）	国際ローミング
	入力できない文字が含まれています	引用または貼り付けするデータ内に一部入力不可な文字がありました。	入力可能な文字に置き換えて入力してください。「文章をコピー／貼り付けする」（☞ 2-23 ページ） 「電話帳／ブックマーク／プロフィール／メモ帳から引用する」（☞ 2-23 ページ）	文字入力
	入力できない文字が含まれています 引用できません	引用データがすべて入力不可な文字でした。	入力可能な文字に置き換えて入力してください。「電話帳／ブックマーク／プロフィール／メモ帳から引用する」（☞ 2-23 ページ）	文字入力
	入力できない文字が含まれています ペーストできません	貼り付けするデータがすべて入力不可な文字でした。	入力可能な文字に置き換えて入力してください。「文章をコピー／貼り付けする」（☞ 2-23 ページ）	文字入力

	表示	原因	対処方法	分類
ナ行	認証に失敗しました	認証に失敗しました。	しばらくしてから送受信を行ってください。それでも接続できないときは、メールアカウントの設定が正しいかどうか確認してください。「E メールアドレスを作成する」（☞ 3-5 ページ）	メール
	ネットワークが利用できません。	ネットワークの設定が正しく行われていません。	インターネット設定の公衆接続モード選択を「1. 接続モード 1」に設定してください。「接続モードを選択する」（☞ 4-30 ページ） 一般のプロバイダや会社のネットワークをご使用の場合は、E メールアカウント設定およびインターネット設定が正しく設定されているかご確認ください。 「プロバイダのメールアカウントを利用する」（☞ 3-26 ページ） 「接続先を変更する（インターネット設定）」（☞ 4-26 ページ）	ウェブ・メール
ハ行	発信制限設定中です	管理者ロックにより発信が制限されているにもかかわらず、発信を行おうとしました。	発信制限を「OFF」にしてください。「管理者ロック機能の設定をする」（☞ 6-17 ページ）	セキュリティ
	発信できません	電波が届いていない場所で発信しようとしました。	圏外 が消灯し、📶 や 📶 が点灯する場所に移動してください。 「電話をかける」（☞ 2-2 ページ）	電話機能
	話し中	相手が通話中のため、かかりませんでした。	しばらくしてからおかけください。	電話機能
	必要なファイルが足りません	JAD ファイルと同じ名前の JAR ファイルがありませんでした。	JAD ファイルと同じ名前の JAR ファイルを保存してから、インストールしてください。「Java アプリケーションを活用する」（☞ 7-44 ページ）	データフォルダ
	表示 / 再生できません	表示 / 再生できないファイルを選択しました。	選択したファイルは本電話機では表示／再生できません。「添付されているファイルを開く」（☞ 3-13 ページ）	メール
	ファイルサイズがオーバーしました。添付できません	添付ファイルによって、メールの最大サイズを超えました。	添付ファイルが複数ある場合は添付ファイルの数を減らしてください。メールの本文が長い場合は、本文を短くすることで添付できることもあります。「ファイルを添付する」（☞ 3-8 ページ）	メール
	フォルダ名を入力してください	新たにフォルダを作成する際に、フォルダ名を入力しませんでした。	フォルダ名を入力してください。「フォルダを作成する」（☞ 7-51 ページ）	データフォルダ
	不正なデータです	本電話機で対応していない拡張子のファイルまたは、壊れたファイルを再生しようとしました。	–	データフォルダ

	表示	原因	対処方法	分類
ハ行	ブックマークがありません	ブックマークが登録されていません。	ブックマークを登録してください。「ブックマークを登録する」(☞ 4-9 ページ)	インターネット
	保護のため削除できません	ページメモが保護されています。	ページメモを確認し、必要なら保護設定を解除してください。「ページメモを保護／保護解除する」(☞ 4-13 ページ)	インターネット
	保存失敗しました	メールの保存、または添付ファイルの保存に失敗しました。	メール、または添付ファイルを確認してください。「作成中の E メールを保存する」(☞ 3-9 ページ)「作成中のライトメールを下書きとして保存する」(☞ 3-30 ページ)「添付されているファイルを開く」(☞ 3-13 ページ)	メール
	保存に失敗したメールがあります	受信後、メールの保存に失敗しました。	–	メール
マ行	メモリがいっぱいです　オフィスのサーバに E メールが残っています E メール	本電話機のメモリに空き容量がないため、E メールが受信できませんでした。	不要なデータを削除して、空き容量を増やしてから E メールを受信してください。「メールを削除する」(☞ 3-18 ページ)	メール
	メモリ不足です	本電話機の容量を超えたサイズの画像データを開きました。	最大サイズを超える画像データは表示することができません。「画像データを活用する」(☞ 7-39 ページ)	データフォルダ
	メール件数がオーバーしています	未送信 BOX と送信 BOX の合計で 120 件を超えました。	不要な送信メール、未送信メールを削除してください。「メールを削除する」(☞ 3-18 ページ)	メール
	メール BOX がいっぱいです。受信できないメールがあります	受信 BOX の容量が不足しているためメールが受信できません。	不要な受信メール、送信メール、未送信メールを削除してください。「メールを削除する」(☞ 3-18 ページ)	メール
	メール受信中　受信完了後に実行して下さい	メールのバックグランド受信中に、受信と並行して実行できない機能を使用しようとしました。	受信完了後に実行してください。	メール
	メールの読込みに失敗しました	メールの読み込みに失敗しました。	–	メール
	目的のデータがありません	データフォルダから通話録音データが削除され、再生するデータがありません。	削除された録音データは再生できません。	電話機能
	文字数オーバーです　新規として作成します	メモ帳で編集しようとしたデータの文字数が全角 5000 文字（半角 10000 文字）を超えているため、編集可能な文字数までの分で新規のデータを作成しました。	–	メモ帳

	表示	原因	対処方法	分類
ヤ行	容量が不足しています	メールの新規作成に必要な容量が不足しています。	不要な受信メール、送信メール、未送信メールを削除してください。「メールを削除する」（☞ 3-18 ページ）	メール
ラ行	利用できません	ライトメールの利用できないモードです。	公衆モードに設定してください。「利用するモードを選ぶ」（☞ 8-2 ページ）	ライトメール

付　録

記号・絵文字一覧……………………………………A-2
定格・仕様…………………………………………A-3
商標・登録商標……………………………………A-4
索引…………………………………………………A-5
お問い合わせ窓口………………………………A-10

記号・絵文字一覧

記号･絵文字一覧は､文字入力画面の下半分に表示されます｡「記号や絵文字を入力する」(☞2-21ページ)「半角記号」の画面から「全角記号8/8」の画面までの各一覧画面までは、ページを切り替えていくことですべて表示されます。「Web入力用絵文字1/6」の画面から「絵文字4/4」の画面までの各一覧画面までは、ページを切り替えていくことですべて表示されます。
[:] で次のページ、[･] で前のページを表示することができます。

半角記号	! ” # $ % & ’ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ﾞ ﾟ
全角記号 1/8	、 。 ， ． ・ ： ； ？ ！ ゛ ゜ ´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ヽ ヾ ゝ ゞ 〃 仝 々 〆 〇 ー ― ‐ ／ ＼ ～ ∥ ｜ … ‥ ‘ ’ “ ” （ ） 〔 〕 ［ ］ ｛ ｝ 〈 〉
2/8	《 》 「 」 『 』 【 】 ＋ － ± × ÷ ＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ￠ ￡ ％ ＃ ＆ ＊ ＠ § ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼
3/8	※ 〒 → ← ↑ ↓ 〓 ∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩ ∧ ∨ ¬ ⇒ ⇔ ∀ ∃ ∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡ ≒ ≪ ≫ √ ∽ ∝ ∵ ∫ ∬ Å ‰ ♯ ♭ ♪ † ‡ ¶ ◯ Α Β Γ Δ
4/8	Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω А Б В Г Д Е
5/8	Ё Ж З И Й К Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с т у ф х
6/8	ц ч ш щ ъ ы ь э ю я ─ │ ┌ ┐ ┘ └ ├ ┬ ┤ ┴ ┼ ━ ┃ ┏ ┓ ┛ ┗ ┣ ┳ ┫ ┻ ╋ ┠ ┯ ┨ ┷ ┿ ┝ ┰ ┥ ┸ ╂ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧
7/8	⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ㍉ ㌔ ㌢ ㍍ ㌘ ㌧ ㌃ ㌶ ㍑ ㍗ ㌍ ㌦ ㌣ ㌫ ㍊ ㌻ ㎜ ㎝ ㎞ ㎎ ㎏ ㏄ ㎡ ㍻ 〝 〟 № ㏍
8/8	℡ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㈱ ㈲ ㈹ ㍾ ㍽ ㍼ ≒ ≡ ∫ ∮ ∑ √ ⊥ ∠ ∟ ⊿ ∩ ∪

Web 入力用絵文字 1/6	
2/6	
3/6	
4/6	
5/6	
6/6	
絵文字 1/4	
2/4	
3/4	
4/4	

定格・仕様

防水タイプ　WX330J

■電話機

無線周波数帯	1900 MHz帯
送信出力	10 mW（平均）
電源	DC 3.7V 630mAh リチウムイオン電池パック
外形寸法	約 44 mm(幅)× 11.5 mm（奥行き）× 125 mm（高さ）
質量（電池パック含む）	約 94 g
連続待受時間	約 700時間（公衆モード、省電力モード「ON」設定時）
連続通話時間	約 6.5時間（公衆モード）

■ACアダプタ

外形寸法	約 49 mm(幅)× 20 mm（奥行き）× 53 mm（高さ）
質量	約 54 g
電源	AC 100 V（50/60 Hz）
出力	5.0 V、550 mA

■卓上ホルダ

外形寸法	約 62 mm(幅)× 62 mm（奥行き）× 36 mm（高さ）
質量	約 28 g

非防水タイプ　WX330J E

■電話機

無線周波数帯	1900 MHz帯
送信出力	10 mW（平均）
電源	DC 3.7V 630mAh リチウムイオン電池パック
外形寸法	約 43 mm(幅)× 11.3 mm（奥行き）× 122 mm（高さ）
質量（電池パック含む）	約 80 g
連続待受時間	約 700時間（公衆モード、省電力モード「ON」設定時）
連続通話時間	約 6.5時間（公衆モード）

■ACアダプタ

外形寸法	約 49 mm(幅)× 20 mm（奥行き）× 53 mm（高さ）
質量	約 54 g
電源	AC 100 V（50/60 Hz）
出力	5.0 V、550 mA

■卓上ホルダ

外形寸法	約 62 mm(幅)× 62 mm（奥行き）× 36 mm（高さ）
質量	約 28 g

商標・登録商標

- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac OSはApple Inc.の登録商標です。
- 本電話機は、日本語入力エンジンとして「かな漢字変換ライブラリFSKAREN®」を搭載しています。FSKAREN® は富士ソフト株式会社の登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Mobile Client Suiteを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国またはその他の国における登録商標または商標です。

  本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

NetFront®
Mobile Client Suite

- Sun™、Sun Microsystems、サンのロゴマーク、Java™、Java™関連の商標およびロゴは、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本電話機は、Red Bend Software社のソフトウェアを搭載しています。

redbend
software

- FlashFX® is a registered trademark of Datalight, Inc.

  U.S.Patent Office 5,860,082/6,260,156
  FlashFX® Pro™ is a trademark of Datalight, Inc.
  Datalight® is a registered trademark of Datalight, Inc.

-

・その他、本取扱説明書に記載されている会社名・システム名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

索　引

数字

184 ･･････････････････････････････････ 2-3
186 ･･････････････････････････････････ 2-3
1x パケット方式 ････････････････････ 5-4
2x パケット方式 ････････････････････ 5-4
32kPIAFS 方式･･････････････････････ 5-4
4x パケット方式 ････････････････････ 5-3
64kPIAFS の選択････････････････････ 5-14
64kPIAFS 方式･･････････････････････ 5-4

アルファベット

A

AC アダプタ ････････････････････････ 1-8
APOP ･･････････････････････････････ 3-27

B

Bcc ････････････････････････････････ 3-8
BGM の音量を調整 ････････････････････ 4-16
BG サウンドリスト ･･････････････････ 4-16
BMP･････････････････････････････････ 4-15

C

Cc ･････････････････････････････････ 3-8
CLUB AIR-EDGE･･････････････････････ 4-2
Cookie･･････････････････････････････ 4-23

E

E メール･････････････････････････････ 3-2
　移動･･････････････････････････････ 3-15
　コピー････････････････････････････ 3-18
　削除･･････････････････････････････ 3-18
　作成･･････････････････････････････ 3-7
　下書き････････････････････････････ 3-9
　受信･･････････････････････････････ 3-11
　送信･･････････････････････････････ 3-7
　転送･･････････････････････････････ 3-14
　電話帳登録････････････････････････ 3-17
　入力･･････････････････････････････ 3-9
　ブックマーク登録･･････････････････ 3-17
　返信･･････････････････････････････ 3-13
　保護／保護解除････････････････････ 3-19
　保存･･････････････････････････････ 3-9
　文字サイズ････････････････････････ 3-21
E メール自動受信機能････････････････ 3-23

F

feelsound ･･････････････････････････ 7-42

G

GIF ････････････････････････････････ 4-15

H

H-Free･･････････････････････････････ 2-10
HTML ･･･････････････････････････････ 7-44
HTML データ ････････････････････････ 7-44

I

IC レコーダ ････････････････････････ 7-27
　再生･･････････････････････････････ 7-27
　削除･･････････････････････････････ 7-28
　編集･･････････････････････････････ 7-28
　録音･･････････････････････････････ 7-27

J

JavaScript ･････････････････････････ 4-20
Java アプリケーション ･･････････････ 7-44
　インストールする･･････････････････ 7-44
　ダウンロードする･･････････････ 4-19, 7-44
JPEG････････････････････････････････ 4-15

M

Mac OS 9 ･･･････････････････････････ 5-12
Mac OS X ･･･････････････････････････ 5-9
MIDI････････････････････････････････ 7-41
MNG ････････････････････････････････ 4-15

P

PNG･････････････････････････････････ 4-15
POP･････････････････････････････････ 3-26
POP サーバ ･････････････････････････ 3-26
Proxy サーバ名 ･････････････････････ 4-27
Proxy ポート番号 ･･･････････････････ 4-27
Proxy 利用 ･････････････････････････ 4-27

S

SMTP ･･･････････････････････････････ 3-26
SMTP サーバ･････････････････････････ 3-26
SSL 証明書･･････････････････････････ 4-18

U

USB で充電する ･････････････････････ 7-6
USB ドライバのインストール ･････････ 5-4

W

Web ････････････････････････････････ 4-2
　開始する／終了する････････････････ 4-2
　公式サイト････････････････････････ 4-2

Web ページ・・・4-2
　コピー・・・4-15
　電話帳に登録・・・4-16
　電話をかける・・・4-3
　メールを送信・・・4-3
　文字サイズ・・・4-17
Windows 2000・・・5-8
Windows Vista・・・5-5
Windows XP・・・5-7

かな

あ

アクセスポイント・・・4-27, 5-15
圧縮データ・・・7-44
アップロード・・・4-19
宛先（To）・・・3-8
アドレス・・・4-6
アドレスを入力して Web ページに接続・・・4-6
アニメーション
　ブラウザ・・・4-20
　ライトメール・・・3-28
暗証番号・・・6-6
安全運転モード・・・2-44
位置情報通知機能・・・7-32
　サブアドレス方式・・・7-34
　自動位置情報送出設定・・・7-34
　着信型機能・・・7-34
　発信型機能・・・7-34
　ユーザ・ユーザ方式・・・7-34
移動
　E メール・・・3-15
　データを管理・・・7-48
イヤホン自動応答・・・7-36
イヤホン装着時鳴動先・・・7-36
イヤホンマイク端子・・・7-36
イルミネーション・・・7-10
インターネット・・・4-2
インターネット検索・・・4-12
インターネット設定・・・4-26
英語表示・・・7-12
英字モード・・・2-19
エニーキーアンサー・・・7-12
絵文字・・・2-21
エラーメッセージ・・・9-5
エンコード・・・4-17
オートサイレント・・・2-44
お問い合わせ・・・A-10
オフィス接続モード選択・・・4-30
オフィス番号切替・・・8-6
オフィスモード・・・8-2, 8-3
　外線・・・8-3
　転送・・・8-4
　電話を受ける・・・8-4
　電話をかける・・・8-3
　内線・・・8-3
オンラインサインアップ・・・3-6
オンラインサインアップ情報を削除・・・3-6

か

改行・・・2-20
外線発信番号・・・8-4
ガイダンス表示・・・1-17
拡大／縮小・・・7-40
カスタムボタン・・・7-15
画像データ・・・7-39
カタカナモード・・・2-18
壁紙・・・7-40
画面・・・1-14
カレンダー表示・・・7-8
漢字モード・・・2-15
管理者パスワード・・・6-16
管理者ロック・・・6-16
キー確認音・・・2-45
キーロック・・・6-7
キーロック起動・・・6-8
記号・・・2-21
機能ロック・・・6-14
キャッシュ・・・4-22
ギャランティー・・・5-14
グループ設定・・・2-34
グループ着信設定・・・2-34
グループ登録を削除・・・8-9
グループ名を編集・・・8-8
グループモード・・・8-2, 8-7
　相手の呼び出しに応じる・・・8-9
　相手を呼び出す・・・8-9
　受信側の操作・・・8-7
　送信側の操作・・・8-7
グループリストを削除・・・8-8
グループリストを登録・・・8-8
グループを登録・・・8-7
圏外／充電警告音・・・2-46
検索
　電話帳・・・2-32
件名（Sub）・・・3-8
効果音・・・2-45, 2-46
公衆 / オフィスモード・・・8-2
公衆 / グループモード・・・8-2
公衆接続モード選択・・・4-30
公衆電話発信・・・2-6
公衆モード・・・8-2
高速化サービス追加設定・・・7-59
国際電話・・・7-56
国際プリフィックス・・・7-54
国際ローミング・・・7-53
固定サウンド・・・2-41
コピー
　E メール・・・3-18
　Web ページ・・・4-15
　文字入力・・・2-23
コンテンツダイレクトアクセス
　・・・2-40, 2-47, 7-40, 7-44

付録　索引

さ

サービス…… 2-2
最後に表示していたWebページのアドレスを表示…… 4-6
最大リダイレクト回数…… 4-24
最大リフレッシュ回数…… 4-23
サイドロックスイッチ…… 1-12, 6-7
再読込み…… 4-15
サウンドデータ…… 7-41
削除
- Eメール…… 3-18
- ICレコーダ…… 7-28
- スケジュール…… 7-22
- データを管理…… 7-49
- 電話帳…… 2-33
- フォルダを管理…… 7-51
- ブックマーク…… 4-10
- ページメモ…… 4-14
- マイメニュー…… 2-50
- 留守録音…… 2-48

作成
- Eメール…… 3-7
- フォルダを管理…… 7-51
- ライトメール…… 3-28

サブアドレス…… 7-12
シークレット…… 2-30
シークレット一時表示…… 2-35
下書き
- Eメール…… 3-9
- ライトメール…… 3-30

指定着信音…… 2-30
自動判別言語…… 4-21
充電…… 1-2
受信
- Eメール…… 3-11
- ライトメール…… 3-30

受信行数制限設定…… 3-25
受信BOX…… 3-12
受信メールアカウント…… 3-26
受話音量…… 2-8, 2-39
仕様…… A-3
使用可能時間…… 1-10
省電力モード…… 7-11
証明書…… 4-25
署名…… 3-24
シンプルメニュー…… 7-14
数字モード…… 2-20
スケジュール…… 7-18
- 削除…… 7-22
- 登録…… 7-19
- 表示…… 7-21
- 変更…… 7-22

スピーカ受話…… 2-10
成功／エラー音…… 2-45
セカンダリDNS…… 4-28
赤外線通信…… 2-36, 6-20, 7-6, 7-41
接続モード…… 4-29
接続モードを初期化…… 4-30
設定確認…… 4-25
送信
- Eメール…… 3-7
- ライトメール…… 3-28

送信メール…… 3-16
送信メールアカウント…… 3-26
送達確認音…… 2-46
挿入…… 2-23
ソート…… 3-20
ソフトウェア更新…… 7-62

た

タイのローミング情報を登録…… 7-54
タイマ起動…… 6-8
ダイヤルアップ…… 4-26
ダイヤルアップ設定を初期化…… 4-28
ダイヤルロック…… 6-8
台湾のローミング電話番号を登録…… 7-53
ダウンロード…… 4-18
卓上ホルダ…… 1-6
タブ…… 4-8
短縮番号…… 2-33
端末情報…… 4-4
着信拒否…… 6-4
着信転送サービス…… 7-58
着信メロディ…… 2-39
着信ランプ…… 7-10
着信履歴…… 2-3
中国のローミング情報を登録…… 7-54
通知不可能…… 2-6
通信方式…… 5-3
通話録音…… 2-8
通話録音を再生…… 2-9
通話録音を削除…… 2-9
定格…… A-3
定型文…… 2-21
データ通信…… 5-3
- 着信…… 5-17
- 発信…… 5-15

データフォルダ…… 7-38
- 表示…… 7-39

データを管理…… 7-47
- 移動…… 7-48
- 削除…… 7-49
- 詳細情報…… 7-48
- 並べ替え…… 7-47

テーブル…… 4-20
テキストデータ…… 7-43
手に持たずに通話する…… 2-10
電源…… 1-11
- 入れる…… 1-11
- 切る…… 1-11

転送
- Eメール…… 3-14
- オフィスモード…… 8-4
- ライトメール…… 3-30

転送モード…… 8-2, 8-10
- 電話帳を転送…… 8-10
- ブックマークを転送…… 8-11

電卓…… 7-26

付録

索引

電池残量 1-10
電池パック 1-2
添付 3-8, 3-13
電話帳 2-26
　引用 2-23
　検索 2-10, 2-32, 2-33
　削除 2-33
　登録 2-28
　編集 2-33
電話帳ロック 6-15
電話帳を検索 2-10, 2-32, 2-33
電話を受ける 2-6
電話をかける 2-2
登録
　スケジュール 7-19
　電話帳 2-28
　ブックマーク 4-9
　マイメニュー 2-50
登録件数表示 2-35
トランシーバ通話 8-9

な

日時 1-21
日時の自動補正を設定する 7-8
日時表示 7-7
入力モード 2-13, 2-14
入力履歴 4-6
認証データ 4-24
認証方式設定 3-27

は

パソコンと接続 5-2
バックライト 7-9
発信先応答通知 2-47
発信者番号の通知／非通知 2-3
発信するモードを一時的に切り替える 8-5
発信履歴 2-3
貼り付け
　文字入力 2-23
パワーサーチ 2-3
番号通知 6-2
番号メモ 2-3, 2-11
ハンズフリー通話 2-10
ビジネス安心サービス 7-60
ひそひそ通話 2-10
非通知ガード 6-3
表示
　スケジュール 7-21
　データフォルダ 7-39
　ページメモ 4-13
表示モード 4-21
表示履歴 4-7
フィルタ 3-21
フォルダ一覧 3-12
フォルダを管理 7-51
　削除 7-51
　作成 7-51
　変更 7-51
ブックマーク 4-9
　引用 2-23
　削除 4-10
　接続 4-9
　タイトルやアドレスを編集 4-10
　フォルダ名を変更 4-9
　マイメニューにブックマークを登録 4-10
プライマリ DNS 4-28
ブラウザ 4-20
　BGM 4-21
　アニメーション 4-20
　画像 4-20
　ズーム 4-22
　スクロール 4-22
　表示モード 4-21
フレーム 4-4
フレックスチェンジ方式 5-4
プロバイダのメールアカウント 3-26
プロパティ 4-17
プロフィール 7-5
　引用 2-24
分計サービスを使って電話をかける 7-57
ページメモ 4-13
　削除 4-14
　表示 4-13
　編集 4-13
　保護／保護解除 4-13
　保存 4-13
ベストエフォート 5-3
ベトナムのローミング情報を登録する 7-54
編集
　IC レコーダ 7-28
　電話帳 2-33
　ページメモ 4-13
返信
　E メール 3-13
　ライトメール 3-30
返信メールアドレス 3-24
ポーズ 2-5
ホームページ 4-5
ポケベル方式 2-24
保護／保護解除
　E メール 3-19
　ページメモ 4-13
保存
　E メール 3-9
　ページメモ 4-13
ボタン 1-18
ポップアップブロック 4-24
保留 2-8
保留音 2-46
本文の引用 3-23
翻訳 4-15

ま

マイメニュー 2-50
　削除 2-50
　操作 2-50
　登録 2-50

前のページに戻る／次のページに進む········ 4-2
待受モード設定··························· 8-2
マナーモード·························· 2-43
未送信メール·························· 3-10
メインメニュー························ 1-19
メインメニュー画面···················· 7-13
メールアカウント······················ 3-26
メールアドレス························· 3-5
メールメニュー························· 3-4
メールを送信··························· 4-3
目覚まし······························ 7-24
メニュー一覧表························· 7-2
メモ帳································ 7-30
　引用································ 2-24
メモ帳に入力·························· 2-11
メモリ No.···························· 2-28
メモリの使用状況······················ 7-51
メモリの内容をすべて削除·············· 7-52
文字コード···························· 4-17
文字サイズ
　E メール···························· 3-21
　Web ページ·························· 4-17
文字入力······························ 2-13
　コピー······························ 2-23
　削除································ 2-23
　貼り付け···························· 2-23
文字列検索···························· 4-12

や

ユーザ非通知··························· 2-6
ユーザエージェント···················· 4-24
ユーザ辞書···························· 2-17
優先発信切替··························· 8-5
予測変換······························ 2-16

ら

ライトメール·························· 3-28
　アニメーション······················ 3-28
　作成································ 3-28
　下書き······························ 3-30
　受信································ 3-30
　返信································ 3-30
　送信································ 3-28
　転送································ 3-30
リセット······························ 6-23
　オール設定リセット·················· 6-23
　完全消去＋初期化···················· 6-23
リダイヤル····························· 2-5
リマインダー·························· 7-11
リモートロック························ 6-10
　実行································ 6-12
　設定································ 6-10
料金分計サービス······················ 7-57
リンク································· 4-3
留守番電話サービス···················· 7-57
留守録音······························ 2-48
　応答時間···························· 2-48
　応答メッセージ······················ 2-48
　再生································ 2-48
　削除································ 2-49
　設定／解除·························· 2-48
ローミングモード······················ 7-53
録音データ···························· 7-42
ロック中着信表示······················ 2-35

わ

ワンタイムパスワード·················· 4-27

付録

索引

お問い合わせ窓口

以下のような内容は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

- ご契約内容（加入・変更・引越等）
- 基本料金・通話料等
- オプションサービス
- サービスエリア
- 本電話機の修理
- 本電話機の紛失
- その他、通信サービスについて

ウィルコムサービスセンター

■お申し込み・お問い合わせ ［受付時間］10:00 ～ 18:00（土・日・祝日を除く）

ウィルコムの電話から ［局番なしの］116　一般加入電話・携帯電話などから 0120-921-156

■データ通信に関するお問い合わせ ［受付時間］10:00 ～ 18:00（土・日・祝日を除く）

ウィルコムの電話から ［局番なしの］157　一般加入電話・携帯電話などから 0120-921-157

●お申し込み・各種お手続きは、一部を除き自動音声応答にて、24時間受付しております。

●コース変更や住所変更などは、インターネット上でも行えます。

▶ウィルコムストア「My WILLCOM」へアクセス　https://store.willcom-inc.com/my/

ホームページ http://www.willcom-inc.com/

本電話機に関するご相談

■ご相談窓口（JRCサポートセンター）

受付時間：平日のみ 9:00 ～ 17:00

- **本電話機・携帯電話から**

  0422-45-7772

- **一般加入電話・公衆電話から**

  0570-003899（ナビダイヤル）

- **サポートWebサイト**

  http://www.jrcphs.jp/

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

ご相談窓口でお受けした、お客様のお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。
また、お客様の同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

＜利用目的＞
ご相談窓口でお受けした個人情報は、本電話機に関するご相談、お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。

■保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より１年間です。
なお、保証期間中でも有料となることがあります。保証書の記載内容をご確認ください。

■修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、「故障かな？ちょっと確認してください」（☞9-2ページ）をお読みのうえご確認ください。
それでも異常が認められる場合には、使用を中止し、ウィルコムサービスセンターにご相談ください。

◎ **保証期間中の修理は**
保証書の記載内容により、無料修理いたします。

◎ **保証期間を過ぎているとき**
修理によって機能が回復可能でお客様がご希望の場合は、有料で修理を承ります。

◎ **連絡していただきたいこと**
- 製品名、お買い上げ年月日
- 故障または異常の状況を具体的に、できるだけ詳しく
- お客様のご氏名、ご住所、お電話番号

■補修用性能部品の最低保有年数について

当社では、本製品の性能を維持するために必要な補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後７年保有しています。

ご注意

- この電話機は、容易に開けられない構造となっております。むやみに中を開けて改造すると電波法に触れます。また、改造されますと修理をお引き受けできませんのでご注意ください。
- 修理内容により、電話帳の内容、受信メール、送信メール、録音データ、サイトからダウンロードした画像やメロディなどのお客様が登録・保存されたデータが消失する場合があります。大切な情報はあらかじめメモに控えたり、外部の記録媒体等にデータを保管してください。
- 商品の故障・誤動作・電池の消耗、または停電などの外部要因で本電話機が使用できなかったことによる、通話および通話料金などの間接的損害または付随的補償については、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本取扱説明書の内容は2009年10月現在のものです。

この「取扱説明書」は環境にやさしい
大豆油インキを使用しております

7ZPAN0183A
2009.10　第1.1版